

 **YAMAHA PORTATONE**

PSR - 740

PSR - 640

取扱説明書

GENERAL
MIDI

XG

XF

VX
for XG

DISK
ORCHESTRA

STYLE
FILE

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

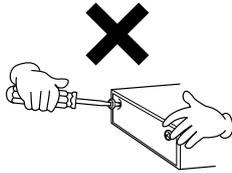
● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

 この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
感電や火災、または故障の原因になります。

 電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

 電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

 電源アダプターは、必ず指定のもの(PA-6)を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)

 手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

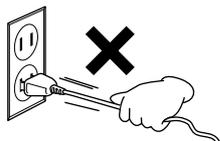
 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

⚠️ 注意

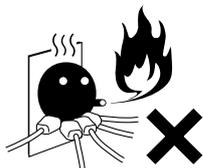
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

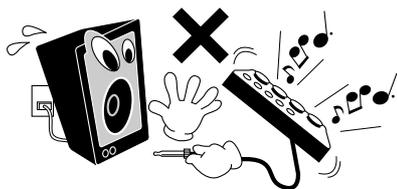


❌ タコ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質の原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❌ 指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



作成したデータの保存について

❗ 作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

はじめに

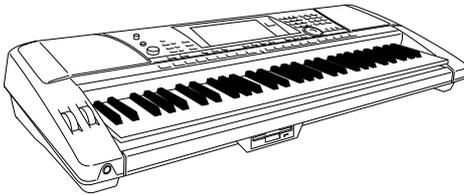
このたびはヤマハポータートーンPSR-740/640をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

PSR-740/640のいろいろな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

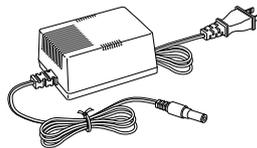
なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

同梱品(お確かめください)

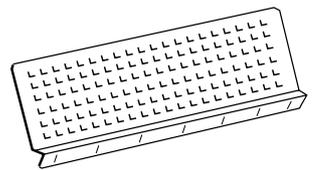
本体



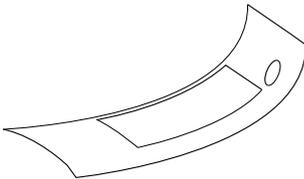
電源アダプター-PA-6



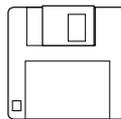
譜面立て(14ページ)



和文シート(14ページ)



サンプルディスク



取扱説明書
保証書

PSR-740はIVL Technologies Ltd社より、アメリカ特許 5,231,671、5,301,259、5,428,708、5,567,901号のライセンスを受けて製造しています。

音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

取扱説明書の使いかた

ご使用前の準備

12ページ
電源の接続方法やフットスイッチ(ペダル)との接続方法について説明します。

特長

8ページ
PSR-740/640のさまざまな機能とそれが説明してあるページを並べています。
使ってみたい機能をここで探してみましょう。

目次

6ページ

パネル各部の名称

10ページ
パネルのボタン一覧です。
各ボタンについて説明してあるページも合わせて載せています。

ディスプレイの見かた

16ページ
ディスプレイに表示される内容について説明します。

基本操作

17ページ
さまざまな機能に共通した操作方法を説明します。
メニューの選択方法、数値の入力方法や、便利なヘルプ機能、ダイレクトアクセス機能についても説明します。

機能ツリー図

22ページ
PSR-740/640のさまざまな機能をツリー図としてまとめたものです。

リスト

140ページ
ボイス(音色)やスタイル、エフェクトなどのリストを掲載しています。

故障かな?と思ったら

162ページ
PSR-740/640がうまく機能しない場合にお読みください。
ヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談になる前にお読みください。

索引

181ページ
五十音順、アルファベット順の2つあります。

この取扱説明書に掲載されている画面やイラストは、PSR-740のもので、また、掲載画面やイラストはすべて操作説明のためのもので、実際の仕様と異なる場合があります。

目次

同梱品	4
-----	---

取扱説明書の使いかた	5
------------	---

PSR-740/640の特長	8
----------------	---

パネルに印刷されているロゴについて	9
-------------------	---

パネル各部の名称	10
----------	----

フロントパネル	11
リアパネル	11

ご使用前の準備	12
---------	----

電源の準備	12
フットスイッチの接続	12
オーディオ機器との接続	13
マイクとの接続(PSR-740)	13
MIDIケーブル/シリアルケーブルとの接続	13
譜面立て	14
和文シート	14

デモソングを聴いてみましょう	15
----------------	----

ディスプレイの見かた	16
------------	----

基本操作を覚えましょう	17
-------------	----

操作画面の切り替え	17
ヘルプ/操作ガイドの見かた	18
メニューの選びかた	19
数値の入力方法	20
データ/ファイルの名前のつけかた	21
ダイレクトアクセス	21

機能ツリー図	22
--------	----

ダイレクトアクセス一覧表	24
--------------	----

モードについて	25
---------	----

スタイルモード	25
ソングモード	25
録音モード(ソング/スタイル/マルチパッド)	25
ディスクモード	25

ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾いてみましょう	26
------------------------	----

ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾く	26
2つのボイス(音色)を同時に鳴らす	27
右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす	28
鍵盤の持つ機能	29
鍵盤の音程を移調する	30
鍵盤のピッチを変化させる	30
鍵盤の音にビブラートをかける(PSR-740)	30
鍵盤の音に余韻をつける	31
鍵盤で打楽器を鳴らす(キーボードパーカッション)	31

オルガンサウンドを 作ってみましょう(PSR-740)	32
--------------------------------	----

オルガンサウンドを作る	33
-------------	----

自動伴奏を使ってみましょう	34
---------------	----

リズムだけを再生する	34
左手でコードを押さえて全トラックを再生する	35
自動伴奏のパターンに変化をつける(セクション)	36
自動伴奏のテンポ設定	38
特定のトラックを消音(オフ)して再生する	39
自動伴奏だけの音量を変更する	39
コードの押さえ方	40
コード鍵域と右手鍵域(R1, R2)の境界点	42
シンクロストップ	43
ワンタッチセッティング	44

自動伴奏の発音タイミングやアクセントを 変えてみましょう(グループ)(PSR-740)	45
--	----

グループ/ダイナミクスをかける	45
グループ/ダイナミクスの設定を変更する	46

マルチパッドを鳴らしてみましょう	48
------------------	----

マルチパッドを鳴らす	48
コードに合わせて鳴らす	48
バンクを選ぶ	49
コードマッチを設定する	49

エフェクトを使ってみましょう	50
----------------	----

リバーブ	50
コーラス	52
DSP(PSR-640)	53
システムエフェクトとインサクションエフェクト	54
マルチエフェクト(DSP1~3)(PSR-740)	54
ハーモニー/エコー	56
マスターイコライザー(PSR-740)	59

パネルの設定を記憶させましょう	62
-----------------	----

パネル設定を記憶させる	63
パネル設定を呼び出す	63
バンクを選ぶ	64
バンクに名前をつける	64

ディスクを活用しましょう 65

フロッピーディスクの取り扱いについて	66
付属のディスクを活用してみましょう	67
フォーマット(フロッピーディスクの初期化)	68
セーブ(ディスクにデータを保存する)	68
ロード(ユーザーデータを呼び出す)	70
ディスクのソングファイルをコピーする	72
ディスクのファイルを削除(デリート)する	75

ディスクソングを聴いてみましょう 76

ディスクソングを再生する	76
ソングの特定のトラックを消音(オフ)して再生する	78
ソングだけの音量を変える	78
ソングの途中から再生する	79
ソングの一部を繰り返し再生する(リピート再生)	80
ソングだけの音程を変える	81

ボーカルハーモニー(PSR-740) 82

マイクとの接続	82
マイクを使って歌う	83
ボーカルハーモニーの設定	84
トークセッティング	86

各パートの設定をしましょう 88

各パートのボイスを変更する	89
各パートの音量を変更してバランスをとる	90
各パートのパラメーターを変更する	91

演奏を録音しましょう(ソング録音) 92

クイック録音	94
マルチトラック録音	96
部分的に録音をやり直す(パンチイン/アウト録音)	98
録音データのタイミングのばらつきを整える	100
録音したソングのボイスデータを書き替える	102
録音したソングに名前をつける	104
録音したソングをトラック別に消去する	105

マルチパッドに録音しましょう 106

ユーザーパッドに録音する	106
録音したパッドのコードマッチを設定する	108
録音したパッドのバンクに名前をつける	108
録音したパッドをクリア(消去)する	109

自動伴奏スタイルを自分で作ってみましょう 110

リズムトラックに録音する	112
ベース/フレーズ/パッド/コードトラックに録音する	114
録音データのタイミングのばらつきを整える	116
録音したスタイルに名前をつける	118
録音したスタイルを消去する	118
録音したスタイルにCTAB設定をする	119

MIDI機器を接続して演奏しましょう 122

MIDIって何?	122
MIDIでできること	124
MIDIデータの互換性について	125
パーソナルコンピューターと接続する	126
代表的なMIDI設定をワンタッチで設定する	128
MIDI送信設定	130
MIDI受信設定	131
ローカルコントロール	132
クロック	132
イニシャルセットアップセンド	133

その他の便利な機能 134

メトロノームを鳴らす	134
R1, R2, Lのオクターブを調整する	135
楽器全体のピッチを調整する	135
鍵盤ごとのピッチを調整する	135
スプリットポイントを設定する	135
鍵盤を弾いたときの感度を設定する	136
ボイスセット	136
フットスイッチの機能を設定する	137
フットボリュームの機能を設定する	138
ピッチベンドの変化幅を変更する	139
モジュレーションホイールの機能を設定する(PSR-740)	139

資料

ボイスリスト	140
PSR-740パネルボイスリスト	140
PSR-640パネルボイスリスト	143
PSR-740/640 XGボイスリスト	145
ドラムキットリスト	148
スタイルリスト	150
マルチパッドバンクリスト	151
デジタルエフェクト	
(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ	152
リバーブタイプリスト(PSR-740/640)	154
コーラスタイプリスト(PSR-740/640)	154
DSPタイプリスト(PSR-640)	154
DSPタイプリスト(PSR-740)	155
DSP1~4タイプリスト(PSR-740)	156
ハーモニー/エコータイプリスト	157
ボーカルハーモニー(PSR-740)	158
ボーカルハーモニータイプリスト	158
初期化(イニシャライズ)の方法	159
オプション商品のご紹介	159
エラーメッセージリスト	160
故障かな?と思ったら	162
MIDIデータフォーマット	163
MIDIインプリメンテーションチャート	178
索引	181
コンピューターを使って、PSR-740/640をもっと楽しんでいただくために	185
仕様一覧	186
保証とアフターサービス	187

エフェクト機能を活用しましょう

PSR-740/640の音に、コンサートホールやライブハウスで弾いているような残響効果(リバブ)をかけることができます。 50ページ

PSR-740/640の音に、複数のパートが同時に演奏しているような効果(コーラス)をかけることができます。 52ページ

リバブやコーラスに加え、ディストーションやトレモロのように特定の楽器(パート)に効果をかけるDSPエフェクトもあります。PSR-740では、このDSPが3系統あり、より複雑なエフェクト効果をかけることができます。(マルチエフェクト) 53~55ページ

鍵盤を1つ押さえただけでハーモニー音が付いたり、エコーがかかるエフェクト(ハーモニー/エコー)もあります。 56ページ

PSR-740には、演奏音全体を好みのサウンドに仕上げる5バンドデジタルイコライザー機能があります。 59ページ

ディスク(DISK)機能を活用しましょう

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入すれば、さまざまなデータを再生(演奏)させたり、保存(セーブ)/呼び出し(ロード)することができます。 65ページ

マイクを接続して歌いましょう (ボーカルハーモニー) (PSR-740)

PSR-740では、マイクを接続して鍵盤演奏や自動伴奏/ソングやバックに歌うことができます。その際、PSR-740のボーカルハーモニー機能を使えば、歌声にハーモニーやエコーなどのいろいろな効果をかけることができます。 82ページ

MIDI機能を活用しましょう

パーソナルコンピューターやMIDI対応機器とPSR-740/640を接続して、MIDIデータのやりとりをすることで、音楽の可能性を広げることができます。 122ページ
代表的なMIDI設定をワンタッチで呼び出せるMIDIテンプレート機能を使ってみましょう。 128ページ

パネルに印刷されているロゴについて



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。PSR-740/640はGMシステムレベル1に対応しています。



XG

「XG」は、音色配列に関する「GMシステムレベル1」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺環境にも対応させ、豊かな表現力とデータの継続性を可能としたヤマハの音源フォーマットです。「XG」では、音色の拡張方式やエディット方式、エフェクト構成やタイプなどを規定して、「GMシステムレベル1」を大幅に拡張しました。「XG」に対応した音源やソングデータには、このXGマークがついています。PSR-740/640はXGに対応しています。



XF

「スタンダードMIDIファイル」(125ページ)をより拡張し、歌詞表示などを可能にしたヤマハ独自のMIDIファイルフォーマットです。XFに対応した市販データ曲集にはXFマークがついています。



Vocal Harmony(ボーカルハーモニー) (PSR-740)

PSR-740では、マイクを接続して鍵盤演奏や自動伴奏/ソングやバックに歌うことができます。その際、PSR-740のボーカルハーモニー機能を使えば、歌声にハーモニーやエコーなどのいろいろな効果をかけることができます。



DOC(ディスクオーケストラコレクション)

クラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器で対応している音色配列フォーマットです。ディスクオーケストラコレクションに対応した市販ディスクにはDOCマークがついています。PSR-740/640はDOCに対応しています。



スタイルファイル

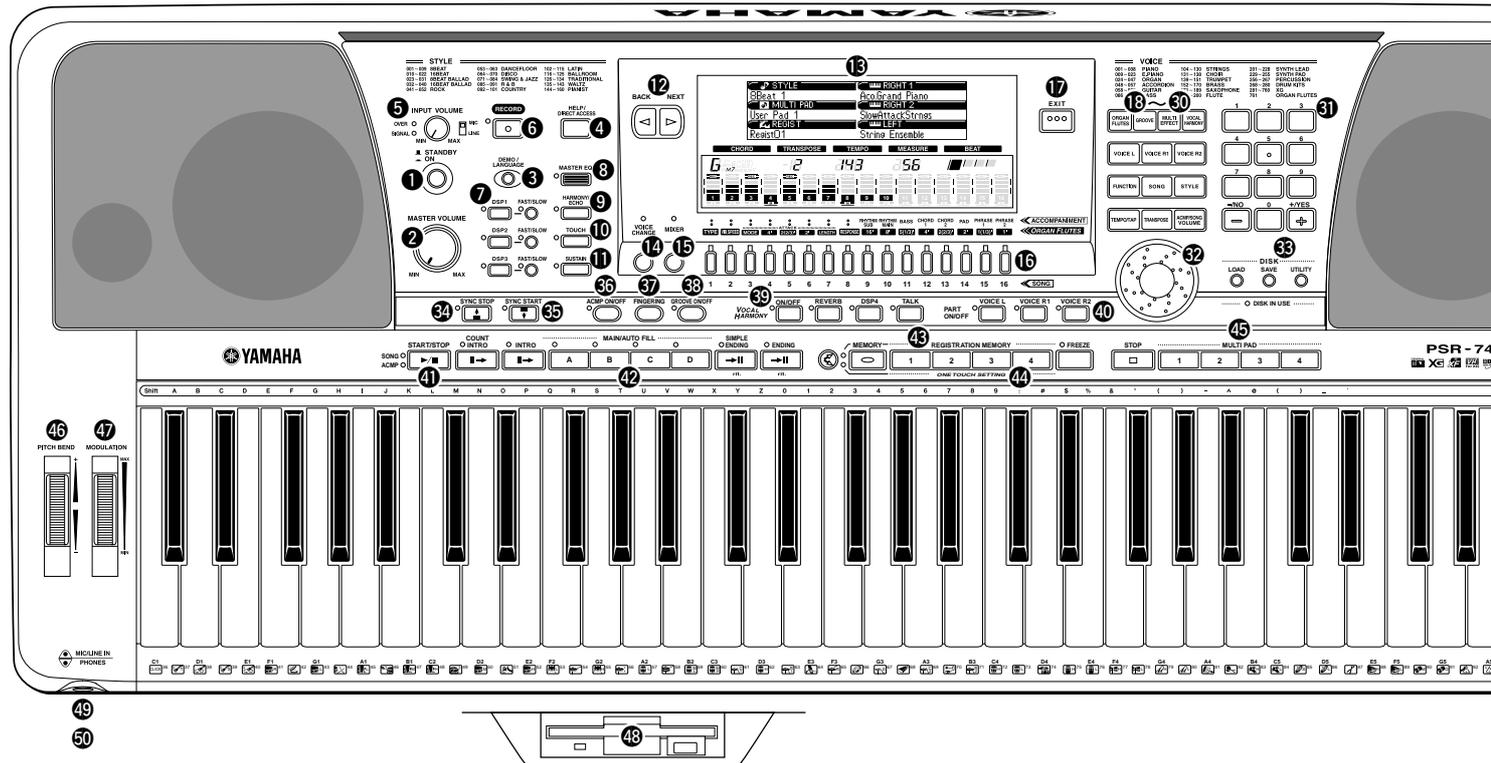
スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏(オートアカンパニメント)機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。スタイルファイルフォーマット対応のPSR-740/640では、スタイルファイルフォーマットで作成されたスタイルデータのディスクを本体にロードして再生させることができます。

また上記のロゴ以外にも、PSR-740/640を使用する上で関連するフォーマットについて、125ページで説明します。

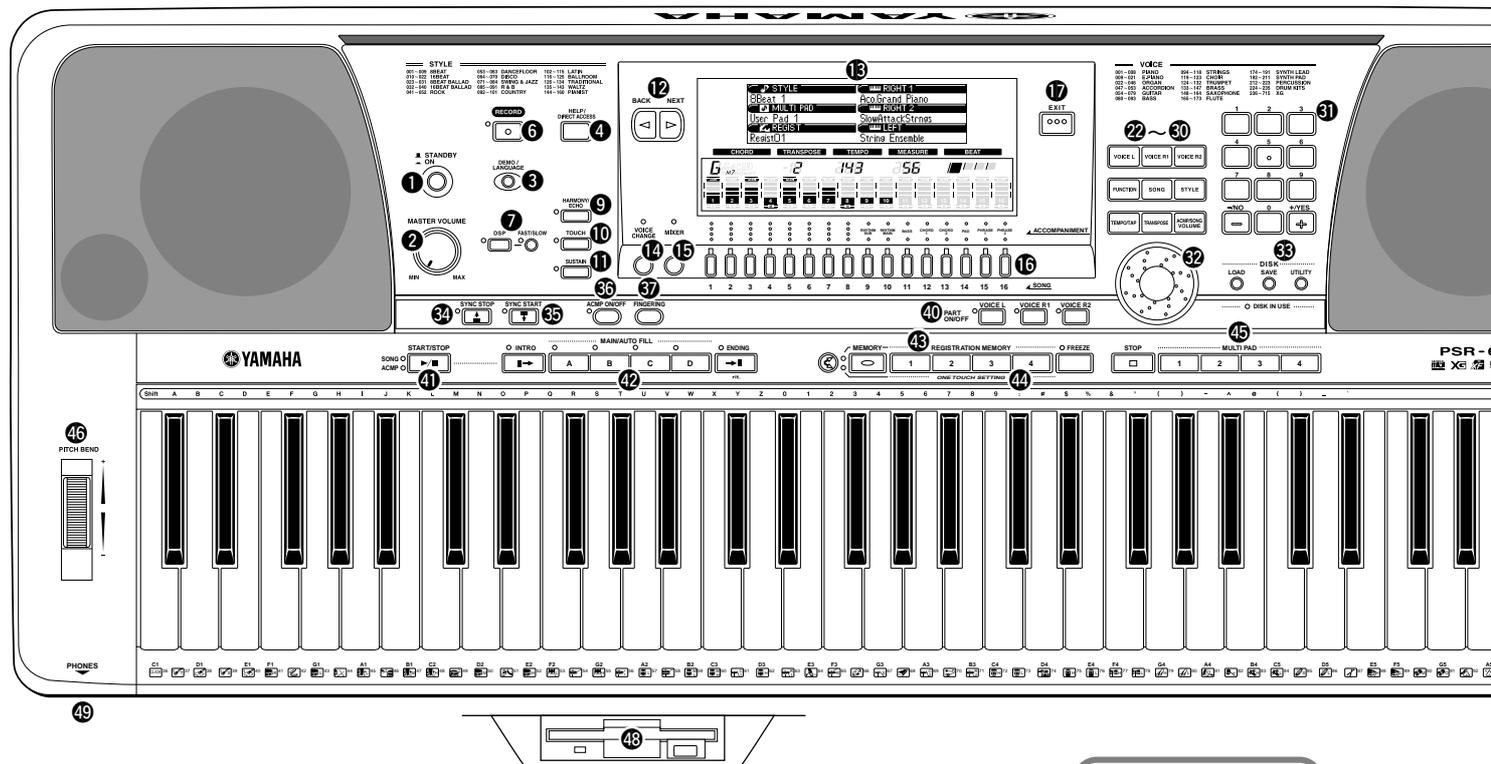
MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

パネル各部の名称

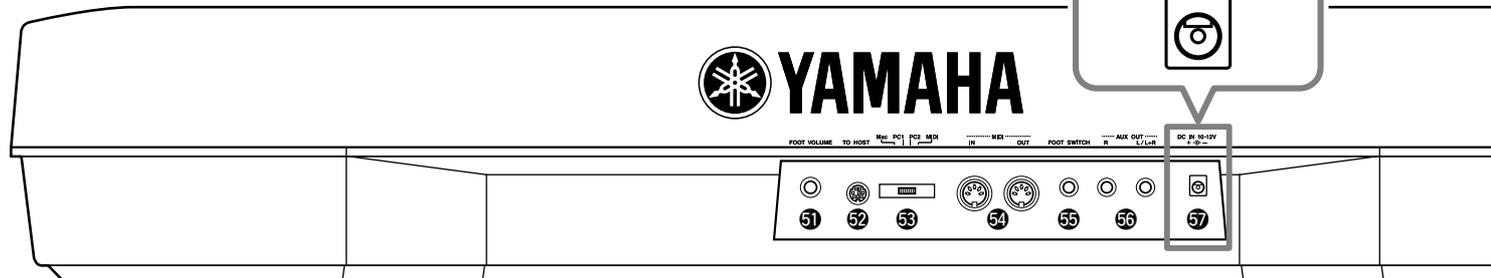
PSR-740



PSR-640



PSR-740/640



フロントパネル

- ① STANDBY/ON スタンバイ/オンスイッチ .. 12
- ② MASTER VOLUME マスターボリューム 15
- ③ DEMO/LANGUAGE デモ/ランゲージボタン 15
- ④ HELP/DIRECT ACCESS
ヘルプ/ダイレクト
アクセスボタン 18, 21
- ⑤ INPUT VOLUME インプットボリューム 82
PSR-740
- ⑥ RECORD 録音ボタン
..... 17, 25, 92, 106, 110
- ⑦ DSP DSPボタン 50
DSP1, DSP2, DSP3 PSR-740
DSP PSR-640
FAST/SLOW ファースト/スロー
- ⑧ MASTER EQ マスターEQボタン 50
PSR-740
- ⑨ HARMONY/ECHO ハーモニー/エコーボタン .. 50
- ⑩ TOUCH タッチボタン 136
- ⑪ SUSTAIN サステインボタン 31
- ⑫ BACK, NEXT バックボタン、
ネクストボタン 17
- ⑬ LCD ディスプレイ 16
- ⑭ VOICE CHANGE ボイスチェンジボタン 89
- ⑮ MIXER ミキサーボタン 90
- ⑯ トラック1～16ボタン 39, 78
- ⑰ EXIT エグジットボタン 17
- ⑱ ORGAN FLUTES オルガンフルートボタン 32
- ⑲ GROOVE グループボタン 45
- ⑳ MULTI EFFECT マルチエフェクトボタン 54
- ㉑ VOCAL HARMONY ボーカルハーモニーボタン 82
⑬～㉑ PSR-740
- ㉒ VOICE L ボイスLボタン 28
- ㉓ VOICE R1 ボイスR1ボタン 26
- ㉔ VOICE R2 ボイスR2ボタン 27
- ㉕ FUNCTION ファンクション(機能)ボタン
..... 17, 91, 134
- ㉖ SONG ソングボタン 17, 25, 76
- ㉗ STYLE スタイルボタン 17, 25, 34
- ㉘ TEMPO/TAP テンポ/タップボタン 38
- ㉙ TRANSPOSE トランスポーズ(移調)ボタン 30
- ㉚ ACMP/SONG VOLUME 自動伴奏/ソング音量ボタン
..... 39, 78
- ㉛ ナンバーボタン [0]-[9]
[- /NO][+ /YES] 20
- ㉜ ダイアル 20
- ㉝ DISK
SAVE セーブボタン 17, 68
LOAD ロードボタン 17, 70
UTILITY ユーティリティボタン
..... 17, 72, 75

- ㉞ SYNC STOP シンクロストップボタン 43
- ㉟ SYNC START シンクロスタートボタン 35
- ㊱ ACMP ON/OFF 自動伴奏オン/オフボタン
..... 25, 35
- ㊲ FINGERING フィンガリングボタン 40
- ㊳ GROOVE ON/OFF グループオン/オフボタン .. 45
- ㊴ VOCAL HARMONY
ON/OFF ボーカルハーモニー
オン/オフボタン 83
REVERB リバーブボタン 83
DSP4 DSP4ボタン 83
TALK トークボタン 83
㊳～㊴ PSR-740
- ㊵ PART ON/OFF パートオン/オフ
VOICE L ボイスLボタン 28
VOICE R1 ボイスR1ボタン 28
VOICE R2 ボイスR2ボタン 28
- ㊶ START/STOP スタート/ストップボタン
..... 34, 76
- ㊷ 自動伴奏コントロール 36
INTRO イントロ
COUNT INTRO カウントイントロ PSR-740
MAIN A, B, C, D メインA, B, C, D
ENDING エンディング
SIMPLE ENDING シンプルエンディング
PSR-740
- ㊸ REGISTRATION MEMORY レジストレーションメモリー
..... 62
- ㊹ ONE TOUCH SETTING ワンタッチセッティング 44
- ㊺ MULTI PAD マルチパッド 48
- ㊻ PITCH BEND ピッチバンドホイール 30
- ㊼ MODULATION モジュレーションホイール 30
PSR-740
- ㊽ ディスクドライブ 65
- ㊾ PHONES ヘッドフォン端子 13
- ㊿ MIC/LINE IN マイク/ライン入力端子 13
PSR-740

リアパネル

- ① FOOT VOLUME フットボリューム端子 12
- ② TO HOST トゥーホスト端子 13
- ③ HOST SELECT ホストセレクトスイッチ . 126
- ④ MIDI IN/OUT MIDI IN/OUT端子 13
- ⑤ FOOT SWITCH フットスイッチ端子 12
- ⑥ AUX OUT R, L/L+R 外部出力端子 13
- ⑦ DC IN 10-12V 電源アダプター端子 12

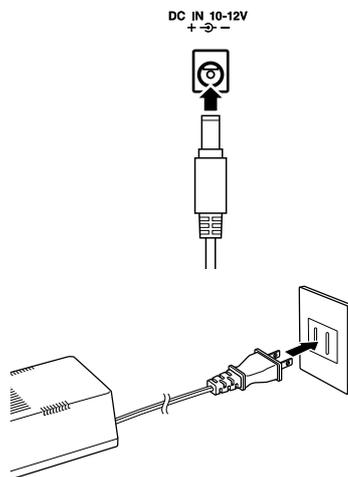
ご使用前の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

付属の電源アダプターPA-6をご使用ください。

- 1 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイ)になっていることを確認してください。
- 2 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 10-12V(電源アダプター接続)端子にさし込みます。
- 3 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



アダプターを抜くときは、必ず逆の手順にしてください。



電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-6をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。



使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。



電源を切った状態でも、録音データやパネル設定などを保持することができます。詳細は159ページをご参照ください。

フットスイッチの接続

フットスイッチ端子(FOOT SWITCH端子)

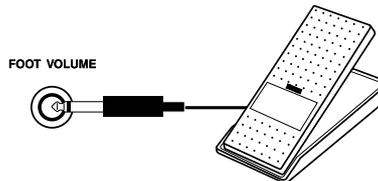
リアパネルのFOOT SWITCH端子にフットスイッチ(FC4またはFC5:別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行えます。サステインとは、ピアノのペダルのように押鍵した音に余韻を付け加える機能です。また、この端子に接続したフットスイッチ(ペダル)に、自動伴奏のスタート/ストップなど、パネルのボタン機能を持たせることもできます。(137ページ)



フットスイッチの抜き差しは電源を切った状態で行ないましょう。フットスイッチにサステイン、またはソステヌート機能を持たせている場合(137ページ)、フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

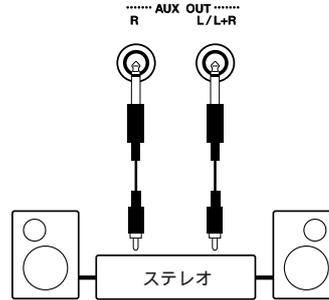
フットボリューム端子(FOOT VOLUME端子)

リアパネルのFOOT VOLUME端子にフットコントローラー(FC7:別売)を接続すると、コントローラー(足)で鍵盤演奏のボリュームをコントロールすることができます(エクスペクション機能)。また、この端子に接続したフットコントローラー(ペダル)に、自動伴奏のボリュームやソングボリュームなど、主にボリューム調整の機能を持たせることができます。(138ページ)



オーディオ機器との接続

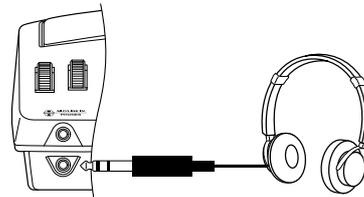
外部出力端子(AUX OUT R, L/L+R端子)
PSR-740/640の音声信号を出力する端子です。キーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子と接続すれば、PSR-740/640の演奏をオーディオ機器で鳴らすことができます。PSR-740/640をモノラルサウンドシステムに接続する場合は、L/L+R端子だけに接続します。左右のチャンネル信号が混ぜ合わされモノラル信号で送られます。(Phoneプラグを使用してください)



PSR-740/640を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。

ヘッドフォン端子(PHONES端子)

ヘッドフォンを使用する場合は、この端子に接続します。接続すると同時に、PSR-740/640のスピーカーからは音が出なくなります。

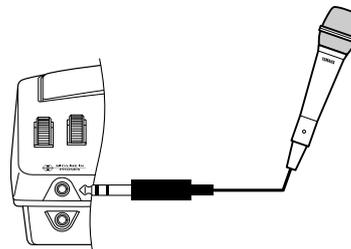


大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

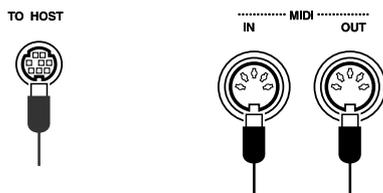
マイクとの接続(PSR-740)

MIC/LINE IN端子について

マイクを接続する端子です。
MIC/LINE IN端子にマイクを接続すれば、PSR-740のボカールハーモニー機能(82ページ)で、自分の歌声にさまざまなエフェクトをかけることができます。



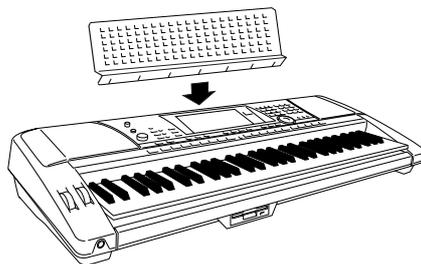
MIDIケーブル/シリアルケーブルとの接続



123ページを参照してください。

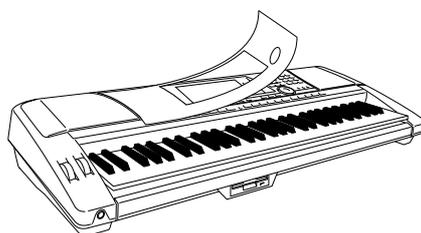
演奏に際して、付属の譜面立てや和文シートをご使用になると便利です。

譜面立て



楽譜を見ながら演奏する場合は、付属の譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-740/640のパネル上のスロットに差し込んでください。

和文シート



PSR-740/640のパネルは英語で表記されています。この取扱説明書の操作説明は英語表記を使用しますが、付属の和文シートをパネルにのせてご利用になることもできます。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。

デモソングを聴いてみましょう

デモ
DEMO

PSR-740には10曲、PSR-640には8曲のデモソングがあります。
電源の接続ができれば、最初にデモソングを鳴らしてみましょう。

- 1** スタンバイ/オン
[STANDBY/ON] スイッチを押して電源を入れます。
もう一度押すと電源が切れます。



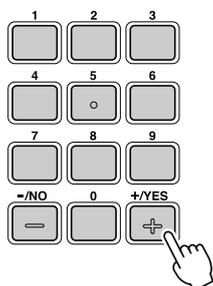
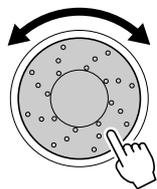
スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。PSR-740/640を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。

- 2** デモ/言語
[DEMO/LANGUAGE] ボタンを押します。

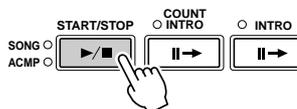


- 3** デモソングを選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使って、カーソルを移動させることにより選びます。



- 4** スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、デモソングがスタートします。



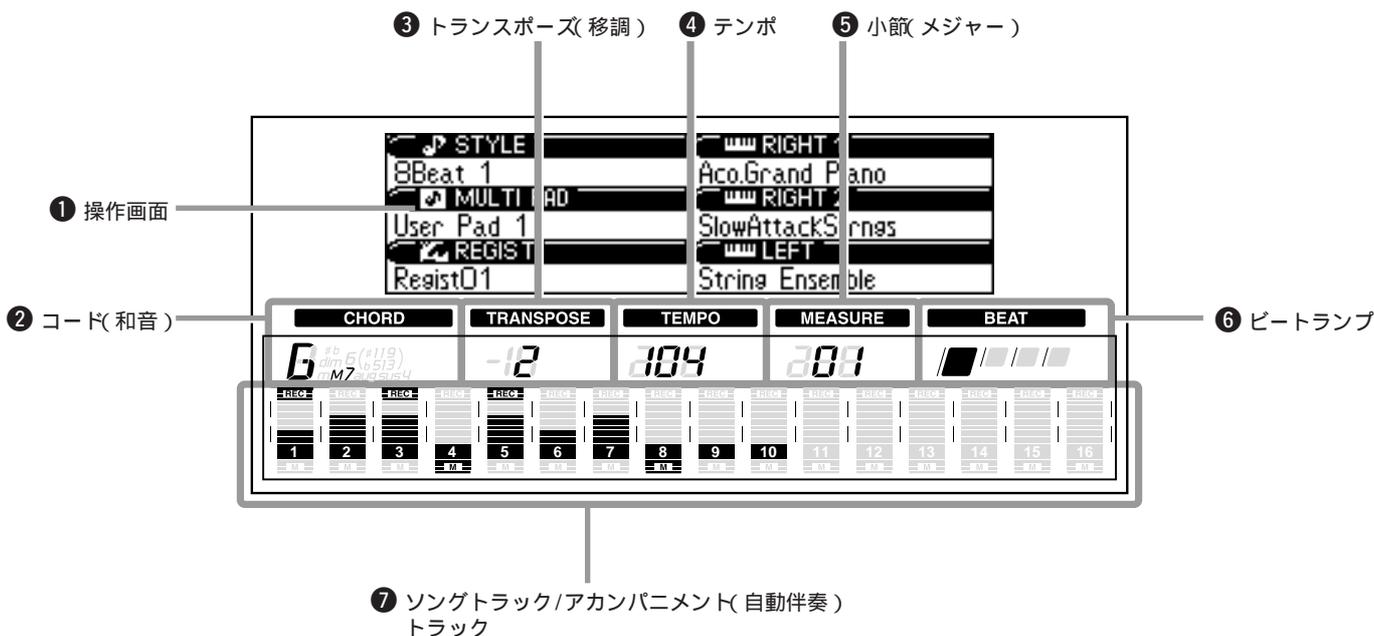
- 5** マスターボリューム
MASTER VOLUMEで音量を調整します。



- 6** スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンをもう1度押すと、デモソングの演奏はストップします。

ディスプレイの見かた

PSR-740/640は、各機能の設定状況をフロントパネル中央のディスプレイに表示します。

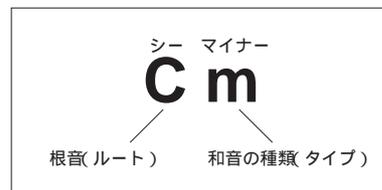


1 操作画面

PSR-740/640の各機能のメニューを表示します。また次にする操作を案内するメッセージも表示されます。詳細は「基本操作を覚えましょう」(17ページ)をご参照ください。

2 コード(和音)

PSR-740/640の自動伴奏(オートアカンパニメント)は、自動伴奏のコード鍵域で指定したコードにしたがって再生されます。ここではコード鍵域で指定したコードの根音(ルート)と種類(タイプ)が表示されます。(35ページ)



3 トランスポーズ(移調)

鍵盤演奏、自動伴奏(オートアカンパニメント)、ソングの音程を表示します。(30ページ)

4 テンポ

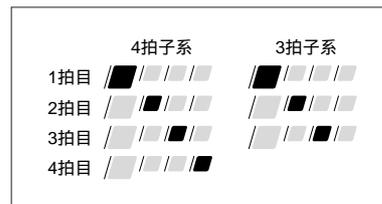
スタイル/ソングモード(25ページ)にしたがって、自動伴奏(オートアカンパニメント)、またはソングの再生時の速さ(テンポ)を表示します。

5 小節(メジャー)

再生中の曲(ソング)の小節ナンバーを表示します。

6 ビートランプ

自動伴奏(オートアカンパニメント)やソングがスタートすると、ディスプレイの4つのランプが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート(BEAT: 拍数)を表示します。



7 ソングトラック/アカンパニメント(自動伴奏)スタイルトラック

ソングモード(25ページ)、デモソングモード(15ページ)の場合
1~16すべてがソングトラックのボリューム表示になります。

スタイルモード(25ページ)の場合
9~16が自動伴奏トラックのボリューム表示になります。

録音モード(25ページ)の場合
1~16すべてがソングトラックのボリューム表示になり、また録音されているトラックには「REC」のマークが点灯表示されます。

基本操作を覚えましょう

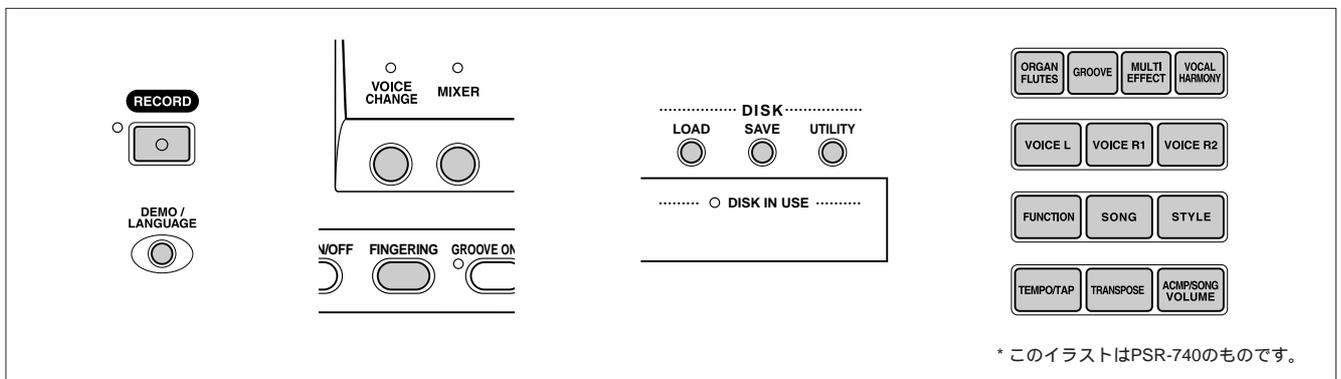
PSR-740/640のさまざまな機能に共通する操作方法について説明します。
フロントパネル中央のディスプレイの中の「操作画面」の見かた/使いかたの説明が中心になります。

操作画面の切り替え	17ページ
ヘルプ/操作ガイドの見かた	18ページ
メニューの選びかた	19ページ
数値の入力方法	20ページ
データ/ファイルの名前のつけかた	21ページ
ダイレクトアクセス	21ページ

操作画面の切り替え

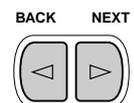
PSR-740/640のさまざまな機能の画面に切り替えるには、以下のボタンを押します。

- | | |
|---|---|
| ・ DEMO/LANGUAGE(デモ/言語)..... 15, 18ページ | ・ FINGERING(フィンガリング)..... 40ページ |
| ・ VOICE R1(ボイスR1)..... 26ページ | ・ DISK LOAD(ディスク ロード)..... 70ページ |
| ・ VOICE R2(ボイスR2)..... 27ページ | ・ DISK SAVE(ディスク セーブ)..... 68ページ |
| ・ VOICE L(ボイスL)..... 28ページ | ・ DISK UTILITY(ディスク ユーティリティ)..... 72, 75ページ |
| ・ STYLE(スタイル)..... 25, 34ページ | ・ RECORD(録音)..... 25, 92, 106, 110ページ |
| ・ SONG(ソング)..... 25, 76ページ | ・ ORGAN FLUTES(オルガンフルート)(PSR-740)..... 32ページ |
| ・ MIXER(ミキサー)..... 90ページ | ・ GROOVE(グループ) (PSR-740)..... 45ページ |
| ・ VOICE CHANGE(ボイスチェンジ)..... 89ページ | ・ MULTI EFFECT(マルチエフェクト)(PSR-740)..... 54ページ |
| ・ FUNCTION(ファンクション)..... 91, 134ページ | ・ VOCAL HARMONY (ボーカルハーモニー)(PSR-740)..... 82ページ |
| ・ ACMP/SONG VOLUME(自動伴奏/ソング音量)..... 39, 78ページ | |
| ・ TRANSPOSE(トランスポーズ)..... 30ページ | |
| ・ TEMPO/TAP(テンポ/タップ)..... 38ページ | |



これらのボタンを押すことで、各機能の画面になります。
詳細は機能ツリー図(22ページ)を参照してください。

各機能の画面に入ってから、ディスプレイ左の[BACK] [NEXT] ボタンを使って画面を切り替えます。次の画面に進む場合は[NEXT] ボタンを押し、1つ前の画面に戻る場合は[BACK] ボタンを押します。もちろん、上記のボタンを押して別の機能画面へ切り替えることも可能です。



各画面を抜ける方法

機能ツリー図(22ページ)で示したように、PSR-740/640にはさまざまな機能があり、それぞれの画面があります。各機能の画面から抜けるためには、[EXIT] ボタンを押します。

また、さまざまな画面があるため、操作をしているうちにどこの画面を表示させているのか、わからなくなることもあるかもしれません。そんなときは[EXIT] ボタンを何回か押してください。電源を入れたときの画面に戻ることができます。



ヘルプ/操作ガイドの見かた

PSR-740/640の操作画面では、機能別にさまざまな画面が表示されます。各画面では次の操作をガイドするメッセージを表示する機能があります。

メッセージには以下の2種類があります。

ヘルプ

下記のように吹き出しタイプで、[HELP/DIRECT ACCESS] (ヘルプ/ダイレクトアクセス) ボタンを押している間だけ表示されるものです。表示されている画面の意味や、操作方法がわからなくなった時にはHELP/DIRECT ACCESS [ヘルプ/ダイレクトアクセス] ボタンを押して、ヘルプを表示させましょう。



この画面の見かた
「ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタン [0] ~ [9] を使ってボイス (音色) を選んでください。」
という意味です。

操作ガイド

下記のように操作画面いっぱいに表示されるタイプで、次の操作を実行するまで表示が続きます。



この画面の見かた
「[+ /YES] ボタンを押すと、セーブを実行します。」
という意味です。

ヘルプ/操作ガイドの言語選択

ヘルプ/操作ガイドは英語、日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の6カ国語の切り替えができます。

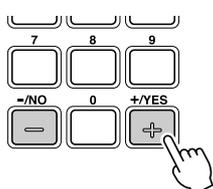
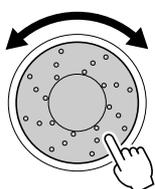
1 デモ/言語
[DEMO/LANGUAGE] ボタンを押します。



2 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



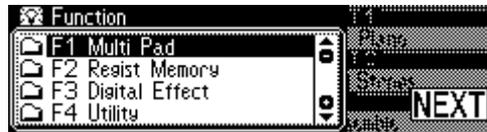
3 言語を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
日本語を選ぶ場合は「Japanese」を選んでください。



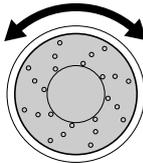
メニューの選びかた

PSR-740/640では、ボイス(音色)やデモソング、スタイルなど、各機能の画面でメニューを選ぶ場合があります。

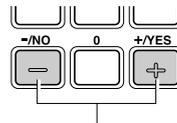
たとえば、以下の画面は「FUNCTION」ボタンを押したときに表示される画面で、「FUNCTION(ファンクション)」を選ぶ場合です。



この場合は、ダイヤルを回すか、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを押してカーソルを移動させることで、ファンクションを選ぶことができます。



ダイヤル
右に回す(時計回り)とカーソルが下に移動します。左に回す(反時計回り)とカーソルが上へ移動します。



[- /NO]ボタンを押すとカーソルが上に移動し、[+ /YES]ボタンを押すとカーソルは下に移動します。

また、[+ /YES]ボタンと [- /NO]ボタンを同時に押すと、設定中の値は初期設定値に戻ります。

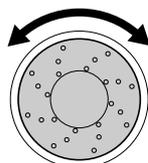
また、以下の画面は「VOICE R1」ボタンを押したときに表示される画面で、「ボイス(音色)」を選ぶ場合です。



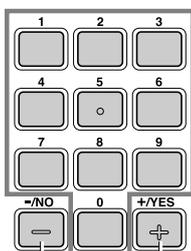
この場合も上記のようにダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使えばボイス(音色)を選ぶことはできますが、さらにナンバーボタン[1]-[0]で数値入力する方法もあります。(次ページ)

数値の入力方法

ボイス(音色)ナンバーやソング/スタイルナンバーや、さまざまなパラメーターの数値を設定する方法を説明します。数値の入力には、ナンバーボタン[0]~[9]、[+]/YES ボタン、[-]/NO ボタン、ダイヤルを使います。



ダイヤル
右に回すと(時計回り)と値が増加し、左に回すと(反時計回り)と値が減少します。



ナンバーボタン
下記の説明を参照してください。

[+]/YES ボタンを押すと値が増加し、[-]/NO ボタンを押すと値が減少します。ボタンを長く押すと、値が連続で増加/減少します。

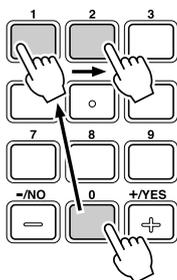
また、[+]/YES ボタンと[-]/NO ボタンを同時に押すと、設定中の値は初期設定値に戻ります。

ナンバーボタン[0]~[9]で数値を入力する

ここでは、ボイスナンバーやスタイルナンバーなど入力できる数字の最大値が3桁の場合について説明します。

1桁、2桁の数値を設定する場合

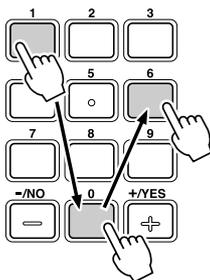
たとえば「12」という数字を設定する場合、ナンバーボタン[0] [1] [2]の順番に続けて押します。



すぐに、「012」という数値が認識されます。

3桁の数値を設定する場合

たとえば「106」という数字を設定する場合、ナンバーボタン[1] [0] [6]の順番に続けて押します。



すぐに、「106」という数値が認識されます。

メモ

1桁、2桁のボイスナンバーを選ぶ場合、ナンバーの頭に「0」をつけずに入力することもできます。たとえば、ナンバー12を選ぶ場合は、ナンバーボタンを[1]、[2]の順番に続けて押すと、しばらくしてから「012」という数値が認識されます。

LCD画面に表示されているパラメーター値が「- - -」と表示される場合があります。これはパネルの様々な設定条件により、画面に表示中のパラメーターの数値を変更することができないことを意味しています。

データ/ファイルの名前のつけかた

PSR-740/640ではソング、スタイル、レジストレーションメモリーなど、さまざまなデータを作成できます。それぞれのデータには自由に名前を付けることができます。

名前をつけることのできるデータは以下のとおりです。

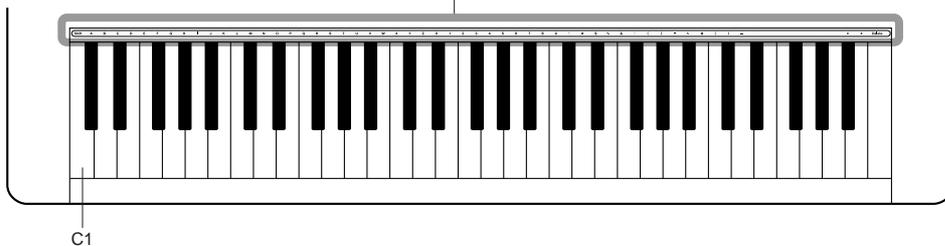
ディスクのファイル(ユーザーソング他)	69, 73, 74, 104ページ
ユーザースタイル	118ページ
ユーザーパッドバンク	108ページ
レジストレーションメモリーバンク	64ページ

下記の画面は、ディスクのファイルに名前をつける画面です。(69ページ)



名前の入力には鍵盤を使います。

ここにアルファベットや記号が掲載されています。



- 文字を入力 鍵盤を押すと、画面のカーソル位置の文字や数字が、その鍵盤の上にあるアルファベットに変わります。
- カーソル移動 ← →と印刷されている箇所の下の鍵盤を押すと、画面上のカーソルが左右に移動します。
- 小文字の入力 **Shift**と印刷されている箇所の下の鍵盤を押しながらアルファベットの鍵盤を押すと、カーソル位置に小文字が入力されます。
- 一文字削除 **Delete**と印刷されている箇所の下の鍵盤を押すと、カーソル位置の文字が削除されます。

メモ

ディスクのファイル名をつける場合、小文字は入力できません。



ダイレクトアクセス

[HELP/DIRECT ACCESS] ボタンを使うことにより、目的の画面へ速く切り替えることができます。たとえば、[HELP/DIRECT ACCESS] ボタンを押しながら [REGISTRATION MEMORY] ボタンを押すと、レジストレーションメモリーのバンクネーム入力画面に切り替わります。



ダイレクトアクセス機能で切り替えることのできる画面については、機能ツリー図(24ページ)を参照してください。

機能ツリー図

ボタン	画面タイトル	機能	参照ページ
DEMO/LANGUAGE	DEMO	デモソング選択	15
	LANGUAGE	ヘルプの言語指定	18
VOICE R1	VOICE RIGHT1	ボイスR1選択	26
	VOICE GROUP RIGHT1	ボイスグループR1選択	26
	DSP		
	TYPE	DSPタイプの選択	(PSR-740 ユーザースタイル録音時のみ) 50
	RETURN LEVEL	DSPリターンレベルの設定	(PSR-740 ユーザースタイル録音時のみ) 50
	DEPTH	DSPデプスの設定	(PSR-740 ユーザースタイル録音時のみ) 50
VOICE R2	VOICE RIGHT2	ボイスR2選択	27
	VOICE GROUP RIGHT2	ボイスグループR2選択	27
VOICE L	VOICE L	ボイスL選択	28
	VOICE GROUP L	ボイスグループL選択	28
STYLE	STYLE	スタイル選択	34
	STYLE GROUP	スタイルグループ選択	34
SONG	SONG	ソング選択	76
	SONG UTILITY		
	SONG PLAY MODE	ソング再生方法の選択	77
	SONG START MEASURE	ソング再生開始小節の設定	79
	SONG REPEAT	ソングリピート再生の設定	80
	SONG TRANSPOSE	ソングトランスポーズの設定	81
VOICE CHANGE	VOICE	ボイスR1, R2, L/スタイル/ソングトラックのボイス選択	89
	VOICE GROUP	ボイスR1, R2, L/スタイル/ソングトラックのボイスグループ選択	89
MIXER	R1/R2/L	ボイスR1/R2/Lの音量調整	 1, 2, 3 90
	STYLE	スタイルの音量調整	90
	SONG	ソングの音量調整	90
	VOCAL HARMONY	ボーカルハーモニーの音量調整	(PSR-740) 90
ORGAN FLUTES	FOOTAGE	(PSR-740)	32
	ATTACK MODE	(PSR-740)	32
	ORGAN TYPE	(PSR-740)	32
	SPEED	(PSR-740)	32
GROOVE	GROOVE TYPE	グループタイプの選択	(PSR-740) 45
	GROOVE SWING	グループスイングの設定	(PSR-740) 45
	DYNAMICS TYPE	ダイナミクスタイプの選択	(PSR-740) 45
	DYNAMICS DEPTH	ダイナミクスデプスの設定	(PSR-740) 45
MULTI EFFECT	MULTI EFFECT CONNECTION	マルチエフェクト接続方法	(PSR-740) 54
	MULTI EFFECT BLOCK SETTING	マルチエフェクトブロックの設定	(PSR-740) 54
	MULTI EFFECT TYPE	マルチエフェクトタイプの選択	(PSR-740)  4, 5, 6, 7 54
	MULTI EFFECT DRY/WET	マルチエフェクトドライ/ウェット設定	(PSR-740) 54
VOCAL HARMONY	VOCAL HARMONY TYPE	ボーカルハーモニータイプの選択	(PSR-740)  8 85
	VOCAL HARMONY LEAD GENDER TYPE	ボーカルハーモニーリードジェンダータイプ選択	(PSR-740) 85
	VOCAL HARMONY LEAD PITCH CORRECTION	ボーカルハーモニーリードピッチ補正	(PSR-740) 85
	VOCAL HARMONY PITCH TO NOTE	ボーカルハーモニーピッチトゥノート	(PSR-740) 85
	VOCAL HARMONY PART	ボーカルハーモニーパート	(PSR-740) 85
	VOCAL HARMONY SONG TRACK	ボーカルハーモニーソングトラック	(PSR-740) 85
ACMP/SONG VOLUME	ACMP VOLUME	自動伴奏の音量	39
	SONG VOLUME	ソングの音量	78
TRANSCOPE	TRANSCOPE	トランスポーズ値の設定	30
TEMPO/TAP	TEMPO	テンポ値の設定	38
FINGERING	FINGERING	フィンガリングの選択	40
DISK LOAD	DISK LOAD	ディスクからのロード	70
DISK SAVE	DISK SAVE	ディスクへのセーブ	68
DISK UTILITY	DISK UTILITY		
	FORMAT	ディスクのフォーマット	68
	COPY	ディスクソングのコピー	72
	DELETE	ディスクファイルのデリート	75

ボタン	画面タイトル	機能	参照ページ
FUNCTION	F1 MULTIPAD		
	— BANK	マルチパッドバンクの選択	9 49
	— CHORD MATCH	マルチパッドコードマッチのオン/オフ設定	10 49
	F2 REGISTRATION MEMORY		
	— BANK	レジストレーションメモリーバンクの選択	11 64
	— NAME	レジストレーションメモリーバンクの名前設定	12 64
	F3 DIGITAL EFFECT		
	— REVERB		
	— TYPE	リバーブタイプの選択	50
	— RETURN LEVEL	リバーブリターンレベルの設定	51
	— CHORUS		
	— TYPE	コーラスタイプの選択	52
	— RETURN LEVEL	コーラスリターンレベルの設定	52
	— DSP		
	— TYPE	DSPタイプの選択	(PSR-640) 13 53
	— RETURN LEVEL	DSPリターンレベルの設定	(PSR-640) 53
	— HARMONY/ECHO		
	— TYPE	ハーモニー/エコータイプの選択	14 56
	— VOLUME	ハーモニー/エコーボリューム	57
	— PART	ハーモニーパートの設定	58
	— EQ TYPE LOAD	マスターイコライザータイプの選択/設定	(PSR-740) 60
	— EQ GAIN	マスターイコライザーゲインの設定	(PSR-740) 15 61
	F4 UTILITY		
	— METRONOME	メトロノームのオン/オフ設定	16 134
	— PART OCTAVE	パートオクターブの設定	17, 18, 19 135
	— MASTER TUNING	マスターチューニングの設定	135
	— SCALE TUNING	スケールチューニングの設定	135
	— SPLIT POINT	スプリットポイントの設定	20 135
	— TOUCH SENSITIVITY	タッチセンスの設定	21 136
	— VOICE SET	ボイスセットオン/オフの設定	136
	— FOOT SWITCH	フットスイッチ機能の設定	22 137
	— FOOT VOLUME	フットボリューム機能の設定	23 138
	— PITCH BEND RANGE	ピッチベンドレンジの設定	24 139
	— MODULATION WHEEL	モジュレーションホイール機能の設定	(PSR-740) 25 139
	F5 MIDI		
	— TEMPLATE	MIDIテンプレートの選択	128
	— TRANSMIT	MIDI送信チャンネルの設定	130
	— RECEIVE	MIDI受信チャンネルの設定	131
	— LOCAL CONTROL	ローカルコントロールのオン/オフ設定	132
	— CLOCK	外部クロック/内部クロックの設定	132
	— INITIAL SETUP SEND	パネル設定値のMIDI送信	133
	F6 PARAMETER EDIT		
	— OCTAVE R1/R2/L	ボイスR1/R2/Lのオクターブ設定	91
	— OCTAVE SONG	ソングトラックのオクターブ設定	91
	— PAN R1/R2/L	ボイスR1/R2/Lのパン設定	91
	— PAN STYLE	スタイルトラックのパン設定	91
	— PAN SONG	ソングトラックのパン設定	91
	— PAN VOCAL HARMONY	ボーカルハーモニーパートのパン設定	(PSR-740) 91
	— REVERB DEPTH R1/R2/L	ボイスR1/R2/Lのリバーブデプス設定	91
	— REVERB DEPTH STYLE	スタイルトラックのリバーブデプス設定	91
	— REVERB DEPTH SONG	ソングトラックのリバーブデプス設定	91
	— REVERB DEPTH VOCAL HARMONY	ボーカルハーモニーのリバーブデプス設定	(PSR-740) 26 91
	— CHORUS DEPTH R1/R2/L	ボイスR1/R2/Lのコーラスデプス設定	91
	— CHORUS DEPTH STYLE	スタイルトラックのコーラスデプス設定	91
	— CHORUS DEPTH SONG	ソングトラックのコーラスデプス設定	91
	— CHORUS DEPTH VOCAL HARMONY	ボーカルハーモニーパートのコーラスデプス設定	(PSR-740) 91
	— DSP DEPTH R1/R2/L	ボイスR1/R2/LのDSPデプス設定	(PSR-640) 91
	— DSP DEPTH STYLE	スタイルトラックのDSPデプス設定	(PSR-640) 91
	— DSP DEPTH SONG	ソングトラックのDSPデプス設定	(PSR-640) 91
	F7 TALK SETTING		
	— TALK VOLUME	マイク入力音のボリューム調整	(PSR-740) 27 86
	— TOTAL VOLUME ATTENUATER	マイク入力音以外の音のボリューム調整	(PSR-740) 86
	— DSP TYPE	ボーカルハーモニー用DSPタイプの選択	(PSR-740) 86
	— VOCAL HARMONY TYPE	ボーカルハーモニータイプの選択	(PSR-740) 86
	— PARAMETER EDIT	ボーカルハーモニーパートのパラメーター調整	(PSR-740) 86

ボタン	画面タイトル	機能	参照ページ
RECORD	SONG		
	QUICK.....	ユーザーソングのクイック録音.....	94
	MULTI TRACK.....	ユーザーソングのマルチトラック録音.....	96
	PUNCH IN/OUT.....	ユーザーソングのパンチイン/アウト設定.....	98
	START MEASURE.....	ユーザーソングの録音開始小節の設定.....	98
	EDIT		
	QUANTIZE.....	ユーザーソングデータのクオンタイズ.....	100
	SETUP DATA.....	ユーザーソングのセットアップデータ編集.....	102
	NAME.....	ユーザーソングの名前設定.....	104
	CLEAR.....	ユーザーソングのクリア.....	105
	STYLE		
	RECORD.....	ユーザースタイル録音.....	112
	EDIT		
	QUANTIZE.....	ユーザースタイルデータのクオンタイズ.....	116
	NAME.....	ユーザースタイルの名前設定.....	118
	CLEAR.....	ユーザースタイルのクリア.....	118
	CTAB EDIT.....	ユーザースタイルのCTAB設定.....	119
	NOTE LIMIT.....	ユーザースタイルのノートリミット設定.....	119
	HIGH KEY.....	ユーザースタイルのハイキー設定.....	119
	SOURCE CHORD.....	ユーザースタイルのソースコード設定.....	119
	PAD		
	RECORD.....	ユーザーパッド録音.....	106
	EDIT		
	CHORD MATCH.....	ユーザーパッドのコードマッチ設定.....	108
	NAME.....	ユーザーパッドバンクの名前設定.....	108
	CLEAR.....	ユーザーパッドのクリア.....	109



ダイレクトアクセス一覧表

機能ツリー図番号/画面		[HELP/DIRECT ACCESS]ボタンと同時に押すボタン
1	ボイスLの音量調整	PART ON/OFF[VOICE L]
2	ボイスR1の音量調整	PART ON/OFF[VOICE R1]
3	ボイスR2の音量調整	PART ON/OFF[VOICE R2]
4	マルチエフェクトDSP1タイプの選択 (PSR-740)	[DSP1]
5	マルチエフェクトDSP2タイプの選択 (PSR-740)	[DSP2]
6	マルチエフェクトDSP3タイプの選択 (PSR-740)	[DSP3]
7	マルチエフェクトDSP4(マイク入力音用)タイプの選択 (PSR-740)	VOCAL HARMONY[DSP4]
8	ボーカルハーモニータイプの選択 (PSR-740)	VOCAL HARMONY[ON/OFF]
9	マルチパッドバンクの選択	MULTI PAD[STOP]
10	マルチパッドコードマッチのオン/オフ設定	MULTI PAD[1]~[4]
11	レジストレーションメモリーバンクの選択	REGISTRATION MEMORY[1]~[4]
12	レジストレーションメモリーバンクの名前設定	REGISTRATION MEMORY[MEMORY]
13	DSPタイプの選択 (PSR-640)	[DSP]
14	ハーモニー/エコータイプの選択	[HARMONY/ECHO]
15	マスターイコライザーゲインの設定 (PSR-740)	[MASTER EQ]
16	メトロノームのオン/オフ設定	[TEMPO/TAP]
17	パートオクターブLの設定	[VOICE L]
18	パートオクターブR1の設定	[VOICE R1]
19	パートオクターブR2の設定	[VOICE R2]
20	スプリットポイントの設定	[ACOMP ON/OFF]
21	タッチセンスの設定	[TOUCH]
22	フットスイッチ機能の設定	フットスイッチ
23	フットボリューム機能の設定	フットボリューム
24	ピッチベンドレンジの設定	ピッチベンド
25	モジュレーションホイール機能の設定 (PSR-740)	モジュレーションホイール
26	ボーカルハーモニーのリバースデプス設定 (PSR-740)	VOCAL HARMONY[REVERB]
27	マイク入力音のボリューム調整 (PSR-740)	VOCAL HARMONY[TALK]

モードについて

PSR-740/640は、パネル操作によってさまざまな状態になります。
それぞれの状態をモードと呼びます。ここではそれらモードについて、主なものについて説明します。

スタイルモード

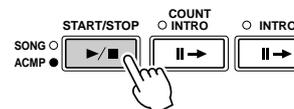
34ページ



[STYLE] ボタンを押すと、このモードになります。(電源を入れたときのモードです。)

鍵盤をフルに使って演奏したり、自動伴奏を使って演奏するためのモードです。

スタイルとは自動伴奏で鳴らすいろいろなリズムパターンのことです。このモードでは [START/STOP] ボタンを押すと(ソングではなく)自動伴奏がスタートします。



自動伴奏オン/オフ(ACMPオン/オフ) 35ページ

[ACMP ON/OFF] ボタンでオン/オフを切り替えます。

自動伴奏オンは、鍵盤を2つの範囲に分割し左側の鍵域はコード鍵域になります。

シンクロ待機状態オン/オフ (SYNC STARTオン/オフ) 35ページ

[SYNC START] ボタンでオン/オフを切り替えます。

シンクロ待機状態オンは、鍵盤を押すと同時に自動伴奏がスタートする状態です。

ソングモード

76ページ

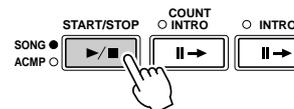


[SONG] ボタンを押すと、このモードになります。

またソングデータの入ったフロッピーディスクをディスクドライブに挿入すると自動的にこのモードになります。

鍵盤をフルに使って演奏したり、ソングを再生するためのモードです。

このモードでは [START/STOP] ボタンを押すと(自動伴奏ではなく)ソングがスタートします。



録音モード(ソング/スタイル/マルチパッド)



[RECORD] ボタンを押すと、このモードになります。

演奏をソングに録音したり、オリジナルのスタイルやマルチパッドを制作するモードです。

ソング録音モード 92ページ

- ・リハーサルモード(シンクロ待機オフ)
- ・録音待機(シンクロ待機)状態
- ・録音中

スタイル録音モード 110ページ

- ・録音待機(シンクロ待機オン/オフ)状態
- ・録音中

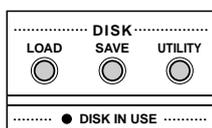
パッド録音モード 106ページ

- ・リハーサルモード(シンクロ待機オフ)
- ・録音待機(シンクロ待機)状態
- ・録音中

録音待機(シンクロ待機)状態とは、鍵盤を押すと同時に録音が始まる状態です。

ディスクモード

65ページ



DISKの [LOAD] [SAVE] [UTILITY] ボタンを押すと、このモードになります。

ディスクからデータをロード(呼び出し)したり、ディスクにデータをセーブ(保存)したり、ディスクのデータを削除したりするモードです。

このモードでは、ディスクに関連する操作を除いて、パネル操作ができなくなります。

ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾いてみましょう

ボイスR1/R2/L
VOICE R1/R2/L

PSR-740/640では、さまざまな楽器のボイス(音色)を選んで弾くことができます。パネルに印刷されたボイスリストや、巻末のボイスリスト(140ページ)を参考にして、いろいろなボイス(音色)を試してみましょう。

- さまざまな楽器のボイス(音色)を選んで弾くことができます。
ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾く。 26ページ
鍵盤で打楽器を鳴らす。 31ページ
- 鍵盤に3種類のボイス(音色)を割り当てて弾くことができます。
2つのボイス(音色)を同時に鳴らす。 27ページ
右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす。 28ページ
鍵盤が持つ機能 29ページ
- さらに以下の機能も使ってみましょう。
鍵盤のピッチを変化させる。(ピッチベンド) 30ページ
鍵盤の音にビブラートをかける。(モジュレーションホイール)(PSR-740) 30ページ
鍵盤の音程を移調する。(トランスポーズ) 30ページ
鍵盤の音に余韻をつける。(サステイン) 31ページ
鍵盤を弾いたときの強弱に対する感度を調整する。(タッチセンス) 136ページ

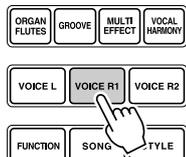
ボイス(音色)を選んで鍵盤を弾く

ボイスR1
VOICE R1

1

ボイスR1

[VOICE R1] ボタンを押します。



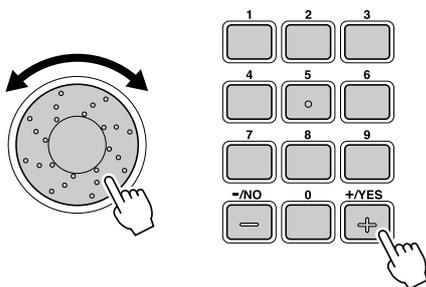
メモ

ここで選ぶボイスのことをPSR-740/640では「ボイスR1 (RIGHT1)」と呼びます。「ボイスR1 (RIGHT1)」については、29ページを参照してください。

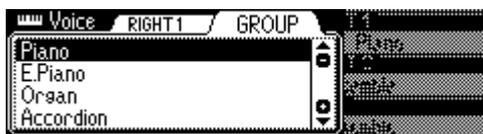
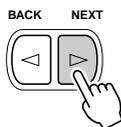
2

ボイス(音色)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。パネル上のボイスリストや巻末のボイスリスト(140ページ)を参考にしてください。



[NEXT] ボタンを押すと、ボイスグループが表示されます。これはボイスをグループ(カテゴリー)別に分けたものです。ボイスの数が多くて、どれを選ぶのが迷ったときに利用してください。



[BACK] ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

3

弾いてみましょう。



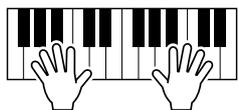
2つのボイス(音色)を同時に鳴らす

ボイスR1/R2
VOICE R1/R2

- 1** パートオン/オフ ボイスR2
[PART ON/OFF VOICE R2] ボタンを押して、ランプを点灯させます。



- 2** 弾いてみましょう。
2つのボイス(音色)が同時に鳴ります。

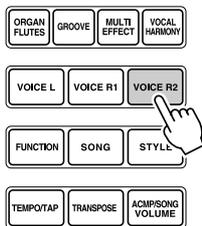


26ページで鳴らしたボイスを右手で弾くボイスという意味でボイスR1(RIGHT 1)、この手順で鳴らした2つめのボイスを右手で弾く2番めのボイスという意味でボイスR2(RIGHT 2)といいます。

ボイスR2を選ぶ

ボイスR2
VOICE R2

- 1** ボイスR2
[VOICE R2] ボタンを押します。

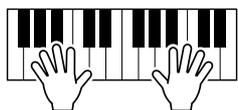


- 2** ボイス(音色)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
また、[NEXT] ボタンを押すと、ボイスグループが表示されます。[BACK] ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

パネル上のボイスリストや巻末のボイスリスト(140ページ)を参考にしてください。
ここで選ぶボイス(音色) X VOICE R2 先、26ページで選んだボイス(音色) X VOICE R1 先
選べるボイス(音色)は同じです。

- 3** 弾いてみましょう。



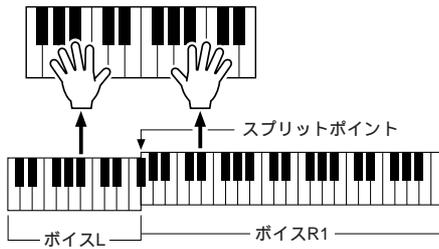
右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす

ボイスR1/L
VOICE R1/L

1 パートオン/オフ ボイスL
[PART ON/OFF VOICE L] ボタンを押して、ランプを点灯させます。



2 弾いてみましょう。
左手と右手とで別々のボイス(音色)が鳴ります。



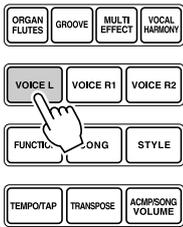
26ページで鳴らしたボイスを右手で弾くボイスという意味でボイスR1(RIGHT 1) この手順で鳴らしたボイスを左手で弾くボイスという意味でボイスL(LEFT)といいます。

メモ
ボイスLとボイスR1の鳴る鍵盤の境界点をスプリットポイントといいます。(29ページ)

ボイスLを選ぶ

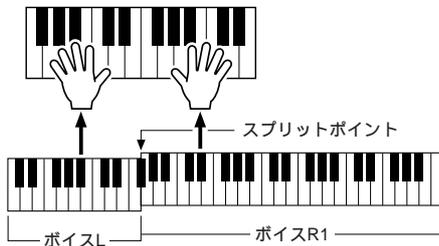
ボイスL
VOICE L

1 ボイスL
[VOICE L] ボタンを押します。



2 ボイス(音色)を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
パネル上のボイスリストや巻末のボイスリスト(140ページ)を参考にしてください。
ここで選ぶボイス(音色) VOICE L も、26ページで選んだボイス(音色) VOICE R1 も選べるボイス(音色)は同じです。

3 弾いてみましょう。



ボイスLとボイスR1/R2の境界点

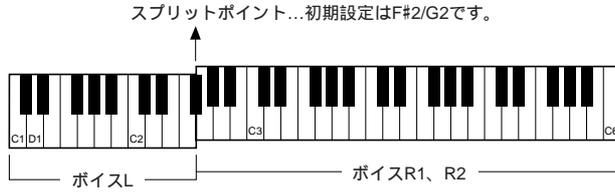
スプリットポイント
Split Point

ボイスLとボイスR1/R2の鳴る鍵盤の境界点をスプリットポイントといいます。

初期設定ではスプリットポイントはF#2/G2ですが、自由に設定することもできます。設定方法については、135ページをご参照ください。

メモ

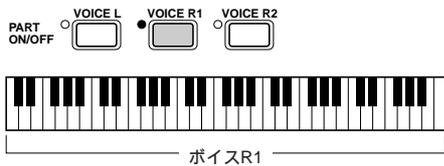
鍵盤には音名がついています。たとえば、一番左の最低音はC1で一番右の最高音はC6です。詳細は下記を参照してください。



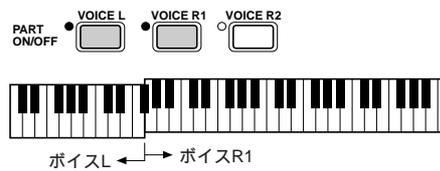
鍵盤の持つ機能

今まで説明してきたように、PSR-740/640の鍵盤では、3つのボイス(音色)を鳴らすことができます。そのしくみについてまとめると、以下のようになります。

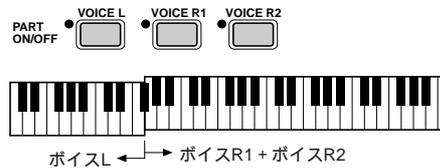
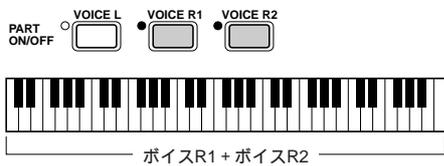
1つのボイス(音色)を鳴らす



右手と左手で別々のボイス(音色)を鳴らす。



2つのボイス(音色)を同時に鳴らす



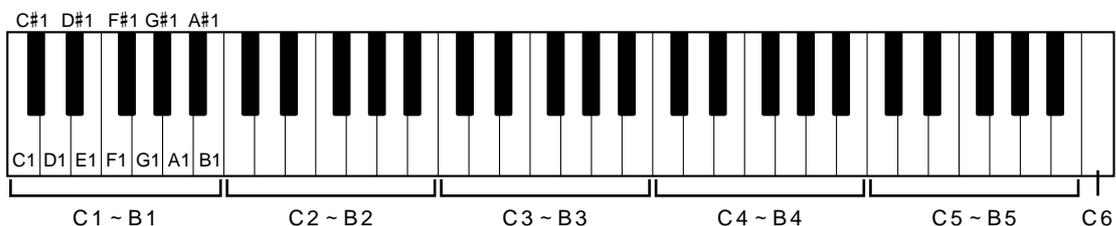
また、音を鳴らす以外にもPSR-740/640の鍵盤には以下のような機能があります。

自動伴奏をオン(35ページ)にすると、ボイスLの鍵盤がコードを指定するための鍵盤になります。



ディスクのソングファイルなどに名前を付ける機能もあります。(21ページ)

なお、鍵盤には音名がついています。たとえば、一番左の最低音はC1で一番右の最高音はC6です。

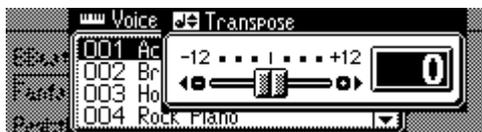
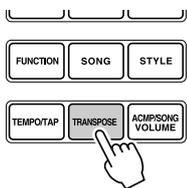


鍵盤の音程を移調する

トランスポーズ(移調)
TRANPOSE

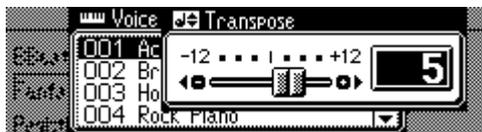
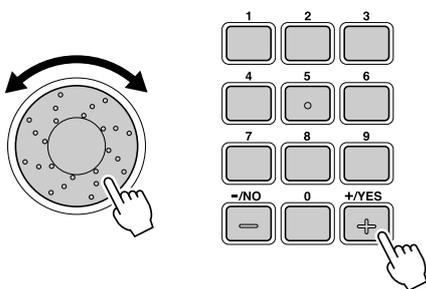
鍵盤の音程を半音単位で変更することができます。

1 トランスポーズ
[TRANPOSE] ボタンを押します。



2 トランスポーズ値を変更します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



メモ

ドラムキット(31ページ)を選んだとき、トランスポーズはかかりません。

[+/YES] ボタンと [-/NO] ボタンを同時に押すと、初期設定 = 0 に戻ります。

トランスポーズ変更後、次の押鍵から新しく設定したトランスポーズで発音します。

[-/NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

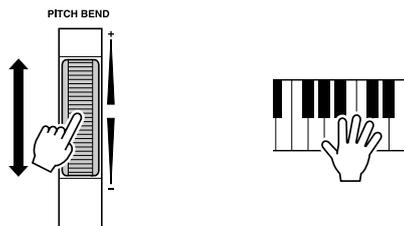
鍵盤のピッチを変化させる

ピッチベンド
PITCH BEND

ピッチベンドは、鍵盤演奏(ボイスR1、ボイスR2、ボイスL)のピッチを滑らかに変化(アップ、またはダウン)させる機能です。

押鍵中にPITCH BEND(ピッチベンド)ホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。

鍵盤を弾きながら、ピッチベンドを上下に動かしてみましょう。



メモ

ピッチベンドの変化幅を自由に設定することができます。(139ページ)

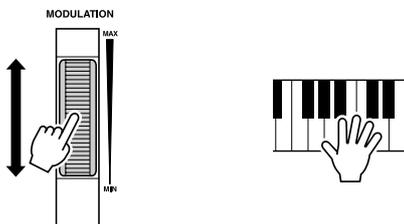
鍵盤の音にビブラートをかける(PSR-740)

モジュレーションホイール
MODULATION

モジュレーションは、鍵盤演奏(ボイスR1、ボイスR2、ボイスL)にビブラート(変調効果)をかける機能です。

MODULATION(モジュレーション)ホイールを一番手前まで回すと効果の深さが最少になり、奥に回すと効果が大きくなります。

鍵盤を弾きながら、モジュレーションホイールを上下に動かしてみましょう。



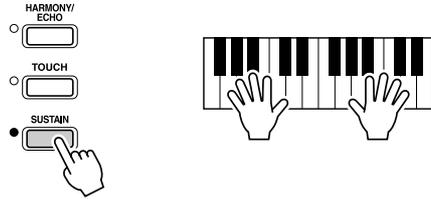
メモ

演奏に意図せずビブラートをかけないように、モジュレーションホイールを使わない時はMIN(最小)に戻しておきましょう。

モジュレーションホイールにビブラートをかける以外の機能を持たせることができます。(139ページ)

鍵盤の音に余韻をつける サステイン SUSTAIN

[SUSTAIN] (サステイン) ボタンをオン(点灯)にすると、鍵盤演奏(ボイスR1、ボイスR2、ボイスL)に余韻をつけることができます。



鍵盤で打楽器を鳴らす(キーボードパーカッション) ドラムキット Drum Kit

- 1 ボイスR1
[VOICE R1] ボタンを押します。
- 2 ネクスト ボイスグループ
[NEXT] ボタンを押して、Voice GROUP画面にします。
- 3 ドラムキット
「Drum Kit」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



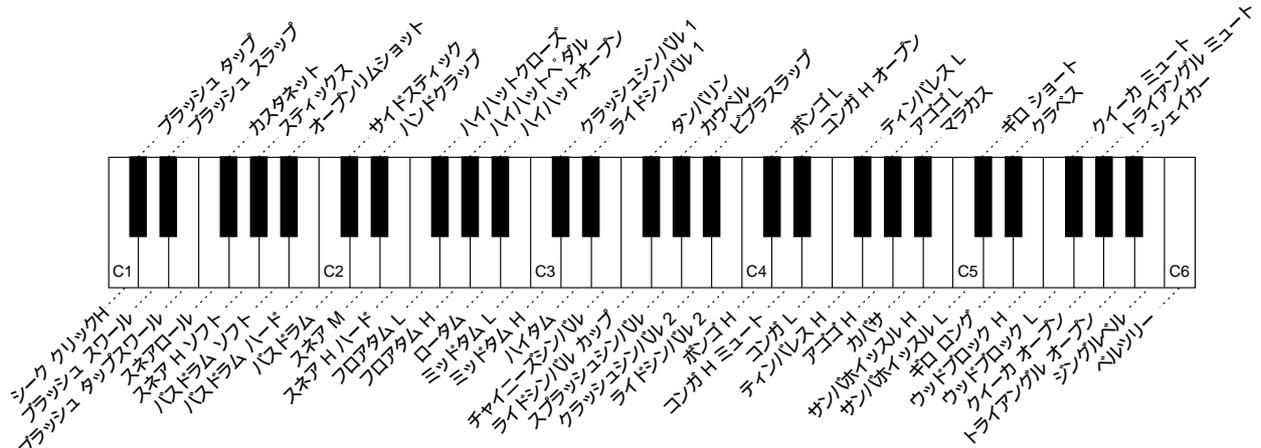
- 4 バック
[BACK] ボタンを押して、ボイス画面に戻します。

- 5 弾いてみましょう。

以下のイラストや巻末のドラムキットリスト(148ページ)を参考にしてください。
また、鍵盤の下にスタンダードキット1(Std.Kit1)を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストが印刷してあります。

メモ
ドラムキットにはトランスポーズ(30ページ)はかかりません。
鍵盤には音名がついています。たとえば、一番左の最低音はC1で一番右の最高音はC6です。詳細は29ページを参照してください。

[スタンダードキット1の場合]



オルガンサウンドを作ってみましょう(PSR-740)

オルガンフルート
ORGAN FLUTES

オルガンフルート機能を使うことによって、多彩なオリジナルサウンドを作ることができます。フルートフッテージを上げ下げしたり、パーカッシブサウンドを加えたりして、ゴージャスなオルガンサウンドを作れます。

作ったオルガンサウンドは、ボイスナンバー761(ORGAN FLUTES = オルガンフルート)を選ぶことで演奏できます。

以下のパラメーターで構成されます。

オルガンタイプ

オルガンサウンド作りの基本となる波形を決めます。

- ・SINE1(サイン波1)
- ・SINE2(サイン波2)
- ・SINE3(サイン波3)
- ・SINE4(サイン波4)
- ・VINTAGE1(ビンテージ1)
- ・VINTAGE2(ビンテージ2)
- ・VINTAGE3(ビンテージ3)
- ・VINTAGE4(ビンテージ4)

ビブラートスピード

ビブラートの速さを設定します。

アタックモード

押した鍵盤のどの音にアタックを付けるかを決めます。

- ファースト
・FIRST : 最初に押した鍵盤の音にだけアタックが付きます。この場合、どれか鍵盤が押さえられている間、他の鍵盤の音にアタックが付きません。
- イーチ
・EACH : 全部の音にアタックが付きます。

アタックフッテージ

アタックの音量を設定します。4', 2²/₃', 2'のアタックフッテージのセッティングができます。

アタックレングス

アタックの音の長さを決定します。

レスポンス

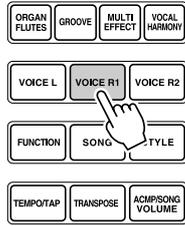
オルガンフルートボイス全体のレスポンスの速さを決定します。レベルを上げるとレスポンスが遅くなります。

フッテージ

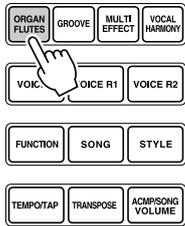
発音後の持続音のボリュームを調整します。16', 8', 5¹/₃', 4', 2²/₃', 2', 1¹/₃', 1'のボリューム調整ができます。

オルガンサウンドを作る

1 ボイスR1
[VOICE R1] ボタンを押す。



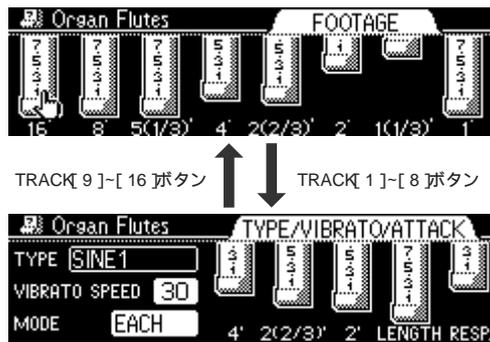
2 オルガンフルート
[ORG FLUTES] ボタンを押します。



3 各パラメーターを調整します。

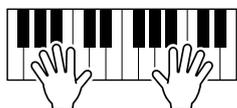
- 1) TRACK[1]-[16] ボタンを押して、設定したいパラメーターを選びます。
各パラメーターの説明は32ページを参照してください。

TRACK[1].....	オルガンタイプ	TRACK[7].....	アタックレングス
TRACK[2].....	ビブラートスピード	TRACK[8].....	レスポンス
TRACK[3].....	アタックモード	TRACK[9]-[16].....	フッタージ
TRACK[4]-[6]...	アタックフッタージ		



- 2) ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使って調整します。

4 弾いてみましょう。



自動伴奏を使ってみましょう

オートアカンパニメント(自動伴奏)
ACCOMPANIMENT

自動伴奏(オートアカンパニメント)とは、楽譜のコード進行にしたがって左手でコードだけ押さえれば、伴奏パターンが自動的に演奏される機能です。自動伴奏(オートアカンパニメント)を使えば、一人で演奏しても、バンドやオーケストラの伴奏付きの演奏を楽しむことができます。

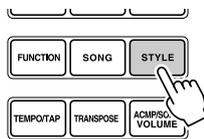
PSR-740/640にはいろいろなジャンルの160スタイル(スタイルナンバー001~160)が伴奏パターンとして内蔵されています。いろいろなスタイル(150ページ)を選んで、自動伴奏を鳴らしてみましょう。

自動伴奏(オートアカンパニメント)を再生する方法として以下の2種類に分けられます。	
自動伴奏のリズムだけを再生する。	34ページ
自動伴奏を左手でコードを押さえて全トラックを再生する。	35ページ
自動伴奏(オートアカンパニメント)を、より楽しく使うために以下の機能もあります。	
自動伴奏のパターンに変化をつける。(セクション)	36ページ
自動伴奏のテンポを変更する。	38ページ
自動伴奏の特定のトラックを消音(オフ)して再生する。	39ページ
自動伴奏だけの音量を変更する。(アカンパニメントボリューム)	39ページ
左手でコードを押さえて再生する方法として、以下の機能があります。	
コードの押さえ方(フィンガリング)	40ページ
コードを押さえる鍵域を変更する(スプリットポイント)	42ページ
シンクロストップ	43ページ
自動伴奏(オートアカンパニメント)を使うためのパネル設定をワンタッチで簡単に呼び出すこともできます。	
ワンタッチセッティングで自動伴奏をスタートする。	44ページ

リズムだけを再生する

1

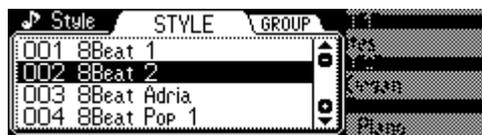
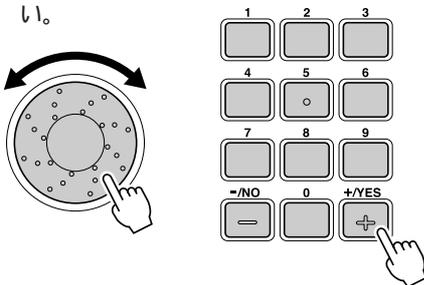
スタイル
[STYLE] ボタンを押します。



2

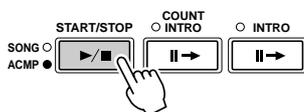
スタイルを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。また、パネル上のスタイルリストや巻末のスタイルリスト(150ページ)も参考にしてください。



3

スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、自動伴奏のリズムだけがスタートします。



4

スタート/ストップ
もう一度 [START/STOP] ボタンを押すと、再生がストップします。

左手でコードを押さえて全トラックを再生する

1 スタイル
[STYLE] ボタンを押します。

2 スタイルを選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
また、パネル上のスタイルリストや巻末のスタイルリスト(150ページ)を参考にしてください。

3 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。

[ACMP ON/OFF] ボタンを押してください。[ACMP ON/OFF] ボタンのランプが点灯し、鍵盤の左手側(低音鍵域)が自動伴奏用のコードを押さえるための鍵域になります。もう1度 [ACMP ON/OFF] ボタンを押すとランプが消灯し、自動伴奏はオフになります。



メモ

ACMPIはACCOMPANIMENT (アカンパニメント=自動伴奏)の省略です。

4 シンクロスタートをオンにします。

[SYNC START] ボタンを押して、ランプを点灯させてください。
ビートランプがテンポに合わせて点滅します。この状態をシンクロ待機状態といいます。詳細は、25ページをご参照ください。
もう1度 [SYNC START] ボタンを押すとランプが消灯し、シンクロスタートはオフになります。

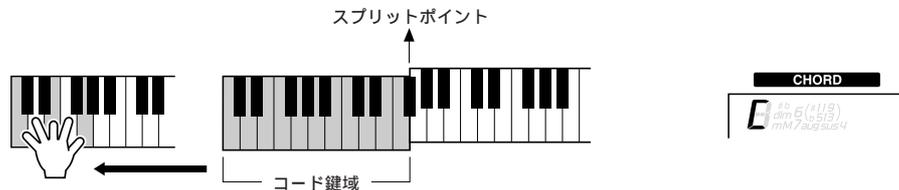


メモ

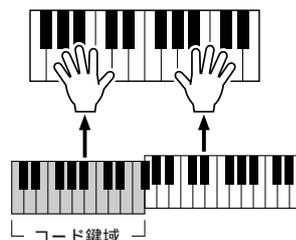
SYNC STARTはSYNCHRO START(シンクロスタート)の省略です。

5 左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。

たとえばCMa(Cメジャー)を押さえてみましょう。



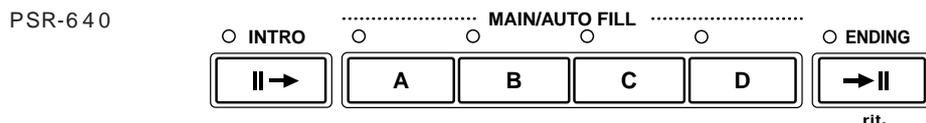
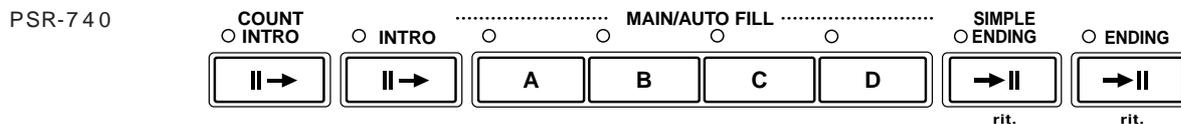
6 左手でいろいろなコードを押してみましよう。
コードの押さえ方については40ページを参照してください。



7 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、再生がストップします。

自動伴奏のパターンに変化をつける(セクション)

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にもバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。



イントロ(INTRO)セクション

曲の始まりに適したセクションです。イントロの演奏が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって違います。PSR-740には2つのイントロ(COUNT INTRO、INTRO)があります。

メイン(MAIN)セクション

曲のメイン部分の演奏で使います。他のセクションボタンを押すまで、数小節(2~4小節)の伴奏パターンを繰り返し演奏します。A~Dの4つのバリエーションがあり、左手で押さえたコードに基づいた自動伴奏(オートアカンパニメント)が演奏されます。

フィルイン(FILL IN)セクション

フィルインは、曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中にMAIN/AUTO FILL(A, B, C, D)ボタンを押すと、フィルインが自動的に演奏され(AUTO FILL: オートフィル)、自動伴奏にアクセントをつけることができます。フィルインの演奏が終了すると押したボタンのメイン(A, B, C, D)に移ります。フィルインには4つのバリエーションがあり、押したメインボタンに応じて最適なフィルインが演奏されます。

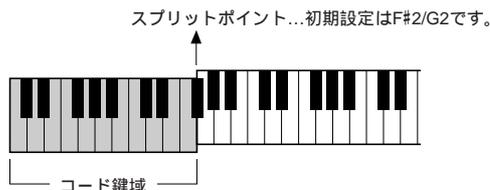
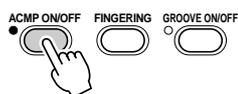
エンディング(ENDING)セクション

曲の終わりに適したセクションです。エンディングセクションの演奏が終わると、自動伴奏はストップします。エンディングセクションの小節数はスタイルによって違います。PSR-740には2つのエンディング(SIMPLE ENDING、ENDING)があります。

1 ^{スタイル} [STYLE] ボタンを押します。

2 スタイルを選びます。(34ページ)
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

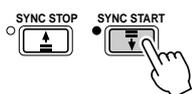
3 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(35ページ)



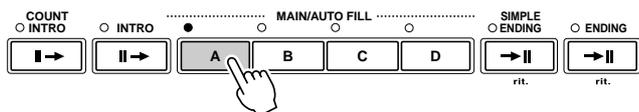
メモ

ACMPはACCOMPANIMENT (アカンパニメント=自動伴奏)の省略、SYNC STARTはSYNCHRO START(シンクロスタート)の省略です。

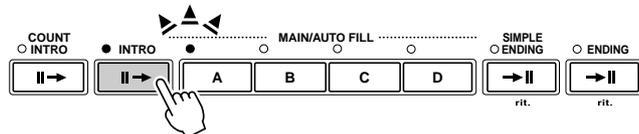
4 シンクロスタートをオンにします。(35ページ)



5 メイン/オートフィル MAIN/AUTO FILLの[A]ボタンを押します。

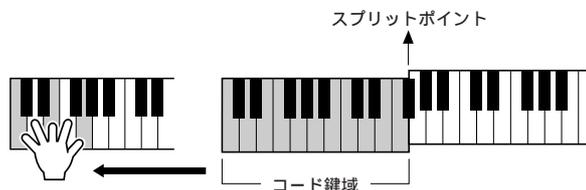


6 イントロ [INTRO]ボタンを押します。



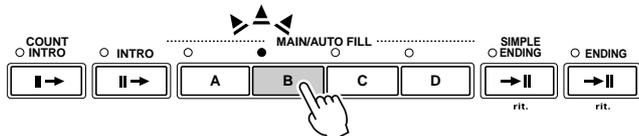
7 左手でコードを押すと、自動伴奏のイントロセクションがスタートします。

たとえばCMa(Cメジャー)を押さえてみましょう。
コードの押さえ方については40ページを参照してください。



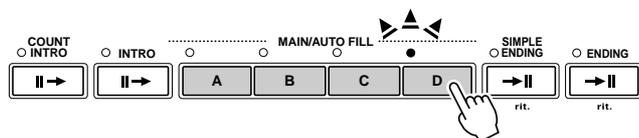
イントロの再生が終わると自動的にメインAセクションの演奏になります。

8 メイン/オートフィル MAIN/AUTO FILLの[B]ボタンを押します。



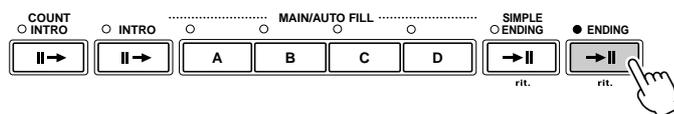
フィルインを再生してからメインBセクションの演奏になります。

9 メイン/オートフィル MAIN/AUTO FILLの[A]~[D]ボタンを自由に押してみましょ



フィルインを演奏してから押したボタンのメインセクションの演奏になります。

10 エンディング [ENDING]ボタンを押します。



エンディングセクションの演奏に切り替わります。エンディングセクションの演奏が終わると自動伴奏はストップします。
エンディングセクションの再生中にもう1度 [ENDING] ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)自動伴奏は終了します。

メモ

フィルイン演奏中は、MAINのいずれかのランプが点滅してフィルイン後の行き先のセクションを知らせます。点滅中にMAIN/AUTO FILL(A, B, C, D)ボタンを押せば、行き先を変更することができます。

曲中で[INTRO]ボタンを押すと、イントロ演奏を曲中でも使うことができます。

小節内の最後の半拍(8分音符)以降にMAIN/AUTO FILLのいずれかのボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。

メモ

エンディングの演奏中に[INTRO]/[COUNT INTRO]ボタンを押すと、エンディング終了後にイントロセクションの演奏が継続されます。

エンディングの演奏中にMAIN/AUTO FILLのいずれかのボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、メインセクションの演奏が継続されます。

自動伴奏演奏中に[SYNC START]ボタンを押すと、自動伴奏をストップし、シンクロススタート待機状態になります。

エンディングセクションから自動伴奏演奏を開始することもできます。その場合、エンディングセクションの演奏が終わっても自動伴奏はストップしません。

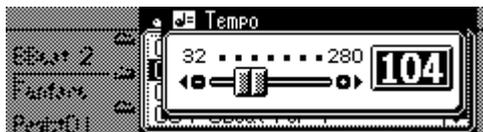
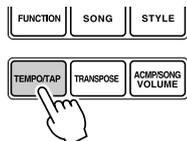
自動伴奏のテンポ設定

テンポ/タップ
TEMPO/TAP

PSR-740/640のスタイルデータではあらかじめテンポが決められているのですが、[TEMPO/TAP] ボタンで32～280の範囲で変更することもできます。

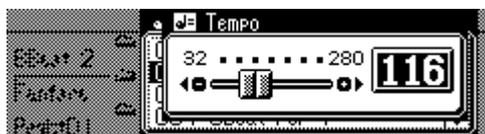
以下の手順は、これらが再生中であってもなくても同じです。

- 1 **テンポ/タップ**
[TEMPO/TAP] ボタンを押します。



- 2 テンポを変更します。

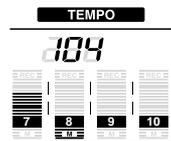
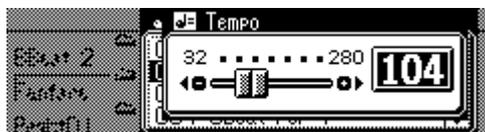
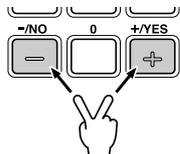
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



メモ

自動伴奏がストップしているときに自動伴奏スタイルを変更すると、自動的にそのスタイルの初期設定テンポがセットされますが、自動伴奏演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。

- 3 [+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを同時に押すと、あらかじめ決められたスタイルのテンポ値に戻ります。



タップ(TAP)機能を使う

[TEMPO/TAP] ボタンを続けて押すことによって、お好みのテンポで自動伴奏をスタートさせることもできます。

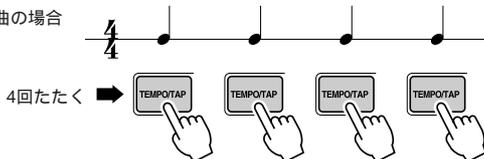
- 1 **スタイル**
[STYLE] ボタンを押します。

- 2 スタイルを選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

- 3 **テンポ/タップ**
[TEMPO/TAP] ボタンを4回続けて押します。

4拍子の曲の場合



4回たたく →

* 3拍子のスタイルが選ばれている場合は、3回押してください。

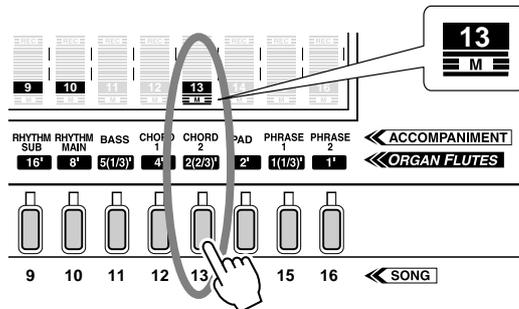
ボタンを4回押した速さをテンポとして、自動伴奏がスタートします。

メモ

自動伴奏再生中に[TEMPO/TAP] ボタンを2回続けて押すことで、テンポを変えることもできます。

特定のトラックを消音(オフ)して再生する

自動伴奏のスタイルは、それぞれ最大8つのトラック(RHYTHM SUB/MAIN、BASS、CHORD 1/2、PAD、PHRASE 1/2)で構成されています。スタイルを選んだときに、いずれかのセクションでそのトラックにデータがある場合は、それぞれのトラックのアイコンが点灯します。演奏中にそれぞれの[トラック]ボタン(9~16)を押して **M** アイコンを点灯させると、そのトラックはオフになりミュート(消音)されます。トラックのオン/オフを組み合わせれば、1つのスタイルをいくつもの伴奏アレンジとして楽しむことができます。



それぞれのトラックデータは以下のような特長を持っています。

RHYTHM SUB、RHYTHM MAIN(リズム サブ/メイン)
リズムトラック。ドラム、パーカッションを演奏します。

BASS(ベース)
ベーストラック。ベースラインを演奏します。

CHORD 1、CHORD 2(コード1/2)
コードトラック。コード伴奏のさまざまなパターンを演奏します。

PAD(パッド)
パッドトラック。ストリングスやオルガンなどのパッド系のコードを演奏します。

PHRASE 1、PHRASE 2(フレーズ1/2)
フレーズコードトラック。パンチのきいたプラスフレーズやアルペジオコードなどのフレーズを演奏します。オートアカンパニメントの中でひとときわ華やかなパートです。

自動伴奏だけの音量を変更する

アカンパニメント(自動伴奏)ボリューム
ACMP VOLUME

自動伴奏だけのボリュームを変更して、右手での鍵盤演奏とバランスをとることができます。

1 自動伴奏をスタートさせます。(35ページ)

2 アカンパニメント/ソングボリューム
[ACMP/SONG VOLUME] ボタンを押します。



メモ

ACMPはACCOMPANIMENT
(アカンパニメント=自動伴奏)
の省略です。

3 自動伴奏の音量を調整します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
また、右手で鍵盤を弾き、自動伴奏との音量バランスを聴いてみましょう。

4 自動伴奏をストップさせます。(35ページ)

コードの押さえ方

フィンガリング
FINGERING

自動伴奏のコード鍵域(35ページ)で左手でコードを押さえる方法をフィンガリングといいます。フィンガリングには下記の5種類があります。

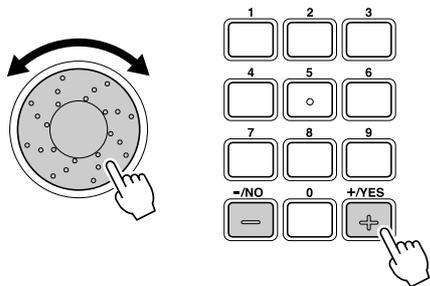
マルチフィンガー(MULTI FINGER)	42ページ
シングルフィンガー(SINGLE FINGER)	40ページ
フィンガード1(FINGERED 1)	40ページ
フィンガード2(FINGERED 2)	42ページ
フルキーボード(FULL KEYBOARD)	42ページ

1 フィンガリング [FINGERING] ボタンを押します。



2 コードを押さえる方法(フィンガリング)を選びます。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



メモ

フィンガリングの初期設定は「MULTI FINGER」(マルチフィンガー)です。

シングルフィンガー(SINGLE)

自動伴奏のコード鍵域で、1~3本の指で簡単にコードを作ることができる方法です。

シングルフィンガーモードで認識されるコードの押さえ方



メジャー(M)コード
ルートキーを押さえてください。



マイナー(m)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス(7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



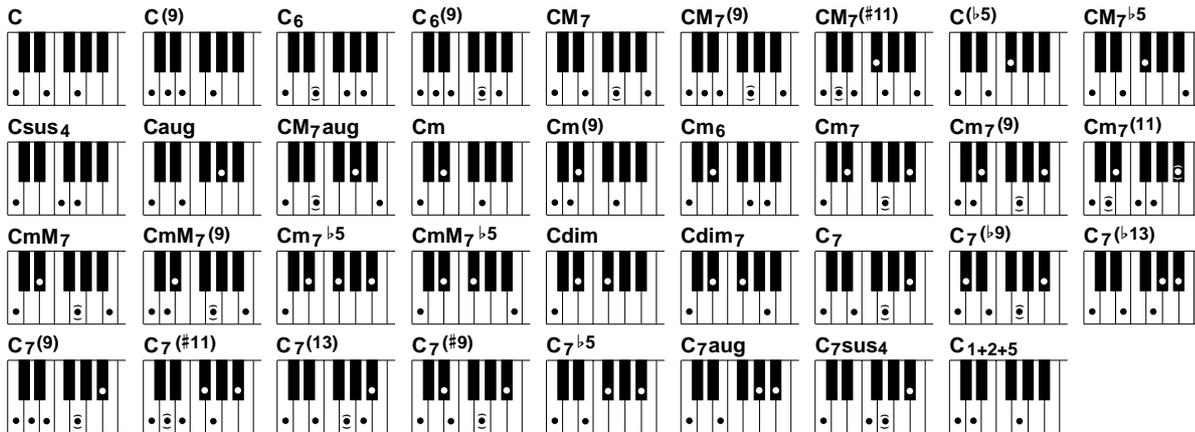
マイナーセブンス(m7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

フィンガード1(FINGERED 1)

自動伴奏のコード鍵域で、押さえたコードに従って自動伴奏が再生されます。

フィンガード1モードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]



[フィンガード1モードで認識されるコード]

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー[M]	1-3-5	C	C
アドナインズ[(9)]	1-2-3-5	C(9)	C(9)
シックス[6]	1-(3)-5-6	C6	C6
シックスナインズ[6(9)]	1-2-3-(5)-6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス[M7]	1-3-(5)-7または 1-(3)-5-7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインズ[M7(9)]	1-2-3-(5)-7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス[M7(#11)]	1-(2)-3-#4-5-7または 1-2-3-#4-(5)-7	CM7(#11)	CM7(#11)
フラットファイブ[(b5)]	1-3-b5	C(b5)	C(b5)
メジャーセブンスフラットファイブ[M7b5]	1-3-b5-7	CM7b5	CM7b5
サスフォー[sus4]	1-4-5	Csus4	Csus4
オーギュメント[aug]	1-3-#5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント[M7aug]	1-(3)-#5-7	CM7aug	CM7aug
マイナー[m]	1-b3-5	Cm	Cm
マイナーアドナインズ[m(9)]	1-2-b3-5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス[m6]	1-b3-5-6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス[m7]	1-b3-(5)-b7	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインズ[m7(9)]	1-2-b3-(5)-b7	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアッドイレブンス[m7(11)]	1-(2)-b3-4-5-(b7)	Cm7(11)	Cm7(11)
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1-b3-(5)-7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインズ[mM7(9)]	1-2-b3-(5)-7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ[m7b5]	1-b3-b5-b7	Cm7b5	Cm7b5
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ[mM7b5]	1-b3-b5-7	CmM7b5	CmM7b5
ディミニッシュ[dim]	1-b3-b5	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス[dim7]	1-b3-b5-6	Cdim7	Cdim7
セブンス[7]	1-3-(5)-b7または 1-(3)-5-b7	C7	C7
セブンスフラットナインズ[7(b9)]	1-b2-3-(5)-b7	C7(b9)	C7(b9)
セブンスアッドフラットサーティーンズ[7(b13)]	1-3-5-b6-b7	C7(b13)	C7(b13)
セブンスナインズ[7(9)]	1-2-3-(5)-b7	C7(9)	C7(9)
セブンスアッドシャープイレブンス[7(#11)]	1-(2)-3-#4-5-b7または 1-2-3-#4-(5)-b7	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアッドサーティーンズ[7(13)]	1-3-(5)-6-b7	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインズ[7(#9)]	1-#2-3-(5)-b7	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ[7b5]	1-3-b5-b7	C7b5	C7b5
セブンスオーギュメント[7aug]	1-3-#5-b7	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー[7sus4]	1-4-(5)-b7	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ[1+2+5]	1-2-5	C1+2+5	C

メモ

カッコ()内の音符は省略しても構いません。

パーフェクトフィフス(完全5度)の押鍵ではルート音と5度の音によるアカンパニメントが演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。

オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによるアカンパニメントが演奏されます。

黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器のみの伴奏になります。(コードキャンセル)

コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。

- m7, m7b5, 6, m6, sus4, aug, dim7, 7b5, 6(9), m7(11), 1+2+5

7sus4は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。

同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、オートアカンパニメントの演奏が変化しないことがあります。

鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

フィンガード2(FINGERED 2)

このモードでは、フィンガード1で認識するコードに加え、オンベースコード(押さえたコード音の中で一番低い音がベース音になります)も認識しますので、より高度なコード進行を利用した演奏が可能になります。

オンベースコードを認識させるには、各コードの転回形を使用します。

たとえば、CのコードはD(C)E(G)で構成され、基本形ではD(C)を最低音として押鍵されます。このコードを転回させて押鍵することによりオンベースコードが認識されます。



フルキーボード(FULL KEYBOARD)

このモードでは全鍵域でコードを検出し、自動伴奏を演奏します。また、同時に全鍵域で通常どおり鍵盤演奏も行えます。

メモ

フルキーボードでは、スプリットポイント(下記)の設定は無効になります。

マルチフィンガー(MULTI FINGER)

このモードでは、自動伴奏のコード鍵域で「シングルフィンガー」の押鍵ルールでコードを押さえても、「フィンガード1」の押鍵ルールでコードを押さえても、自動的にコードを識別します。

メモ

シングルフィンガーの押鍵ルールでコードを押さえる場合、マイナー、セブンス、マイナーセブンスを鳴らしたい時は、コードのルート音にもっとも近い白鍵や黒鍵を押してください。

コード鍵域と右手鍵域(R1, R2)の境界点

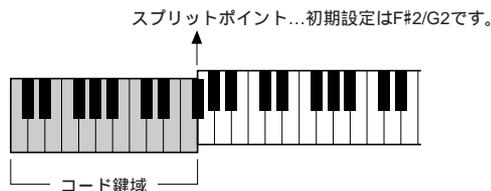
スプリットポイント
Split Point

コードを押さえる鍵域を変更することができます。

自動伴奏オンのときの、コードを押さえる鍵域と右手鍵域の境界をスプリットポイントといいます。

初期設定ではスプリットポイントはF#2/G2ですが、自由に設定することもできます。

設定方法については、135ページをご参照ください。

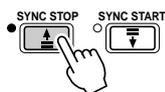


シンクロストップ

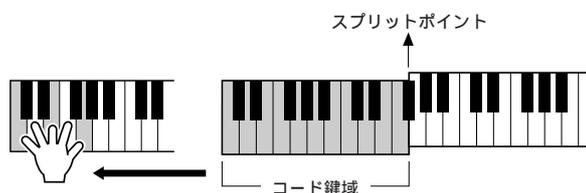
シンクロストップ
SYNC STOP

シンクロストップは、自動伴奏の演奏中にコード鍵域からすべての指を離すと、演奏を中断する機能です。演奏にブレイク(中断)を入れる場合に便利です。

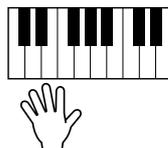
- 1 ^{スタイル} [STYLE] ボタンを押します。
- 2 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(35ページ)
[ACMP ON/OFF] ボタンを押して、ランプを点灯させてください。
- 3 シンクロスタートをオンにします。(35ページ)
[SYNC START] ボタンを押して、ランプを点灯させてください。
ビートランプがテンポに合わせて点滅します。
- 4 シンクロストップをオンにします。
[SYNC STOP] ボタンを押して、ランプを点灯させてください。



- 5 左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。
たとえばCマx(Cメジャー)を押さえてみましょう。



- 6 左手を鍵盤から離すと、自動伴奏はストップします。



- 7 左手でコードを押すと、自動伴奏が再スタートします。
手順5, 6をくり返すことで自動伴奏がスタート/ストップします。

- 8 シンクロストップをオフにします。
[SYNC STOP] ボタンを押してください。



左手を鍵盤から離しても自動伴奏はストップしません。

- 9 自動伴奏をストップします。(34ページ)

メモ

フィンガリングモードが「フルキーボード」の時、またはパネルの自動伴奏がオフの時は、シンクロストップをオンにできません。また、フィンガリングモードに「フルキーボード」を選ぶ、またはパネルの自動伴奏をオフにすると、シンクロストップは自動的にオフになります。

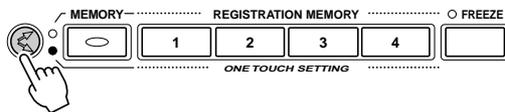
SYNC STOPはSYNCHRO STOP(シンクロストップ)の省略です。

ワンタッチセッティング

ワンタッチセッティング
ONE TOUCH SETTING

自動伴奏に関するいろいろなパネル設定を、自動的にしてくれる機能です。

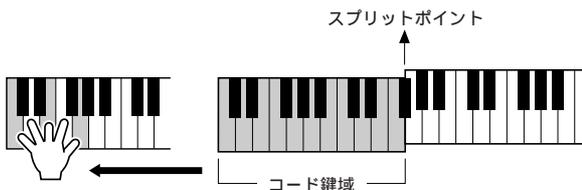
1 切り替えボタンを押して、ワンタッチセッティングのONE TOUCH SETTINGランプを点灯させます。



2 ONE TOUCH SETTINGの[1]~[4] ボタンのいずれかを押しします。

「左手でコードを押さえて全トラックを再生する(35ページ)中の手順3~4がワンタッチで設定されます。またその他にもスタイルに合ったさまざまなパネル設定(ボイス、デジタルエフェクト)がこのワンタッチで呼び出されます。(下記)

3 左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。
たとえばCMa(Cメジャー)を押さえてみましょう。



4 自動伴奏をストップさせます。

メモ

ワンタッチセッティングで呼び出したパネルの設定を変更して、オリジナルのセッティングを作ってみましょう。オリジナルのセッティングは、レジストレーションメモリー(62ページ)に記憶すれば、いつでも呼び出すことができます。

ユーザースタイル(110ページ)を選んだ状態ではワンタッチセッティングは機能しません。

ワンタッチセッティング設定内容

PSR-740/640には160種類の自動伴奏スタイルそれぞれに、最も適したパネル設定(ボイス、デジタルエフェクトなどの組み合わせ)が4種類ずつ内蔵されています。ワンタッチセッティングを活用すれば、その設定をワンタッチで呼び出すことができるため、ボイスやデジタルエフェクトなどをひとつひとつ設定しなくても、アカンパニメントにぴったりのサウンドですぐに演奏を始めることができ、たいへん便利です。

[ONE TOUCH SETTING ボタンを押すと以下のパラメーターがパネルに設定されます。

- ・パートオン/オフ(ボイスR1, R2) 29ページ
- ・ボイスチェンジ設定(ボイスR1, R2) 89ページ
- ・ミキサー設定(ボイスR1, R2) 90ページ
- ・パラメーターエディット設定(ボイスR1, R2) 91ページ
- ・自動伴奏オン 35ページ
- ・自動伴奏スタイル全トラック = オン 39ページ
- ・自動伴奏シンクロスタート = オン* 35ページ
- ・ハーモニーオン/オフ、タイプ、ハーモニーボリューム、およびハーモニーパート 56ページ
- ・DSPオン/オフ、タイプ、およびファースト/スロー、リターンレベル 50ページ
- ・マルチパッドバンクナンバー 49ページ
- ・パートオクターブ設定(ボイスR1, R2) 135ページ

* 自動伴奏を再生させていない場合に設定されるパラメーターです。

自動伴奏の発音タイミングやアクセントを変えてみましょう(グループ)(PSR-740)

グループ
GROOVE

グループ機能は、自動伴奏スタイルの演奏に対して、発音やアクセントのタイミングなどを一時的に変更する機能です。

グループ機能の中には、さらに以下の2種類の機能があります。

グループ

自動伴奏の発音タイミング(クロック)を微妙にずらして、音楽のノリやグループ感を演出します。

グループタイプ

11種類のタイプがあり、タイミングのずらし方が決まります。

たとえば「16 to 8」は16分音符のタイミングを8分音符のタイミングにずらすことを意味します。

グループスイング

ずらした後の音符をスイングさせる程度を決めます。

ダイナミクス

自動伴奏の、ある特定のタイミングの音を強めたり弱めたりすることで、アクセントの効いた演奏効果を出します。

ダイナミクスタイプ

18種類のタイプがあり、音を強めたり弱めたりするタイミングが決まります。

ダイナミクスデプス

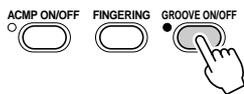
ダイナミクスタイプの効果(強弱の度合)を「%」で設定します。

グループを構成する上記の4項目(グループタイプ、グループスイング、ダイナミクスタイプ、ダイナミクスデプス)は、スタイルを選び [GROOVE ON/OFF] (グループオン/オフ) ボタンをオンにすることにより、各スタイルに最も適したタイプやレート値、デプス値が自動的に設定されます。

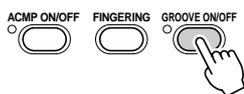
グループ/ダイナミクスをかける

1 スタイルを選び、自動伴奏をスタートさせます。(35ページ)

2 グループオン/オフ
[GROOVE ON/OFF] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
グループの効果がかけられます。



3 グループオン/オフ
もう1度、[GROOVE ON/OFF] ボタンを押すと、ランプは消灯しグループの効果は解除されます。

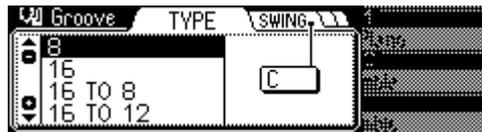
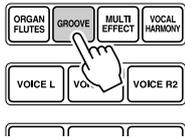


4 自動伴奏をストップさせます。(35ページ)

グループ/ダイナミクスの変更

グループを構成する前ページの4項目(グループタイプ、グループスイング、ダイナミクスタイプ、ダイナミクスデプス)は、スタイルを選ぶと、そのスタイルに最も適したタイプやレート値、デプス値が自動的に設定されます。したがって基本的には「GROOVE ON/OFF」ボタンをオンにするだけで、さまざまなグループ感を演出できますが、以下のように自由に設定することも可能です。

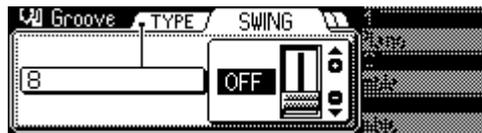
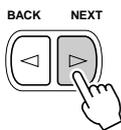
- 1** グループ
[GROOVE] ボタンを押します。



- 2** グループタイプを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
グループタイプリストは47ページを参照してください。

- 3** ネクスト グループスイング
[NEXT] ボタンを押して、Groove SWING画面にします。



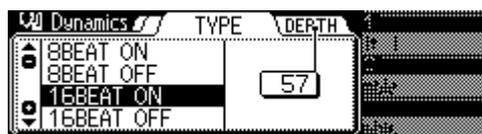
メモ

グループタイプによっては、グループスイングが変更できない場合があります。

- 4** グループスイングを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

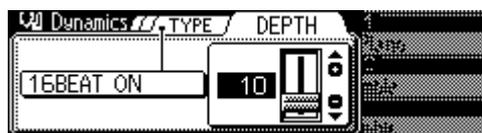
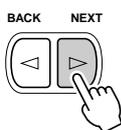
- 5** ネクスト ダイナミクスタイプ
[NEXT] ボタンを押して、Dynamics TYPE画面にします。



- 6** ダイナミクスタイプを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
ダイナミクスタイプリストは47ページを参照してください。

- 7** ネクスト ダイナミクスデプス
[NEXT] ボタンを押して、Dynamics DEPTH画面にします。



- 8** ダイナミクスデプスを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

グループタイプリスト

8
16
16 TO 8
16 TO 12
12 TO 8
12 TO 16A
12 TO 16B
24 TO 8
24 TO 16
24 TO 12
THRU

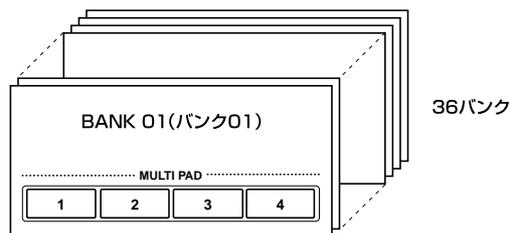
ダイナミクスタイプリスト

8BEAT ON	(8ビートオン)
8BEAT OFF	(8ビートオフ)
16BEAT ON	(16ビートオン)
16BEAT OFF	(16ビートオフ)
2nd BEAT OFF	(2ndビートオフ)
DANCE	(ダンス)
DISCO	(ディスコ)
TECHNO	(テクノ)
FUSION	(フュージョン)
REGGAE1	(レゲエ1)
REGGAE2	(レゲエ2)
BOSSA NOVA	(ボサノバ)
TANGO	(タンゴ)
RHUMBA BASS	(ルンバベース)
RHUMBA CHORD	(ルンバコード)
LATIN	(ラテン)
SAMBA	(サンバ)
THRU	(スルー)

マルチパッドを鳴らしてみましょ

マルチパッド
MULTI PAD

マルチパッドには演奏に効果的なファンファーレ、フレーズやリズムなどが入っています。PSR-740/640には全部で144種類(4個×36バンク)のパッドデータが入っています。

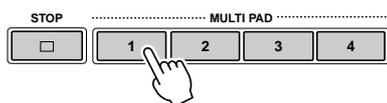


また、自動伴奏と同じようにコードに合わせて演奏内容の音程を変える(コードマッチ)機能もあります。

マルチパッドを鳴らす方法	48ページ
コードに合わせて鳴らす方法(コードマッチ)	48ページ
バンクを選ぶ方法	49ページ
コードマッチを設定する方法	49ページ

マルチパッドを鳴らす

マルチパッドを押します。



このイラストでは1番に入っているフレーズの演奏が始まります。演奏の途中でストップする場合は「STOP」ボタンを押してください。

メモ

パッドは、そのとき設定されているテンポで演奏されます。

複数のパッドを同時に演奏することも可能です。

演奏中のパッドを押すと、演奏をストップして最初から再スタートします。

コードに合わせて鳴らす

コードマッチ
CHORD MATCH

1

^{スタイル}
[STYLE] ボタンを押します。

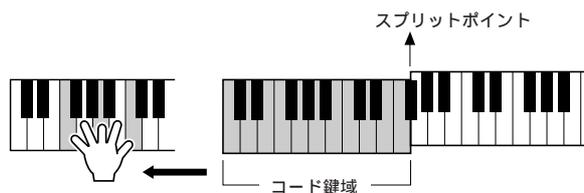
2

自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(35ページ)

3

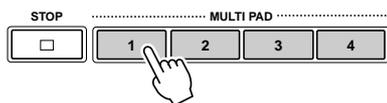
左手でコードを押します。

たとえばFMaj(Fメジャー)を押さえてみましょう。



4

マルチパッドを押します。



このイラストでは1番に入っているフレーズが、FMaj(Fメジャー)に変換されて演奏されます。いろいろなコードで試してみましょう。

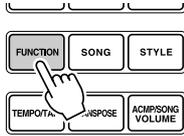
メモ

マルチパッドの中にはコードに合わせて演奏されない(コードマッチ)しないものもあります。詳細はマルチパッドバンクリスト(151ページ)を参照してください。

バンクを選ぶ

1

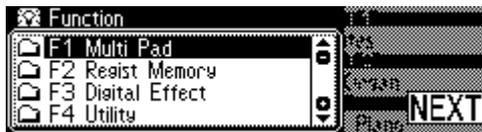
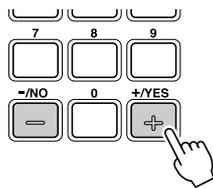
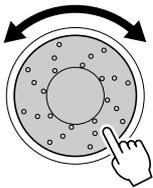
ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



2

マルチパッド
メニューの中から「Multi Pad」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



3

ネクスト
マルチパッドバンク
[NEXT] ボタンを押して、Multi Pad BANK画面にします。



4

バンクを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
マルチパッドバンクリスト (151 ページ) を参考にしてください。

コードマッチを設定する

1-3

上記「バンクを選ぶ」と同じ操作です。

4

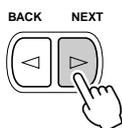
ネクスト
もう1度 NEXT ボタンを押します。



5

コードマッチ設定をしたいパッドを選びます。

[NEXT] [BACK] ボタンを押してください。



6

オン/オフを設定します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

メモ

他のマルチパッドバンクを選んだりすると、コードマッチの設定は失われます。レジストレーションメモリー(62 ページ) に記憶しておきましょう。

ドラムやパーカッションのサウンドがプリセットされているパッドは、コードマッチを「オン」に設定しても移調されません。

ユーザーパッド(106 ページ) のコードマッチを設定すると、その設定はユーザーパッドの録音データとして記録されます。

エフェクトを使ってみましょう

デジタルエフェクト マルチエフェクト
DIGITAL EFFECT / MULTI EFFECT

PSR-740/640には、鍵盤で弾いた音にコンサートホールで弾いているような残響効果をかけたり、ハーモニー音を付けるなど、さまざまな効果(エフェクト)をかけることができます。

PSR-740ではさらに、エフェクトをより効果的に活用できるマルチエフェクトや、周波数帯域ごとに音量を調整できるデジタルイコライザー機能も搭載しています。

リバーブ(REVERB) 50ページ

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響(リバーブ)効果のことで、PSR-740/640では常にオンの状態です。24種類のリバーブタイプがあり、自由に選ぶことができます。

コーラス(CHORUS) 52ページ

鍵盤で弾いた音に、複数のパートが同時に演奏しているような効果のことで、PSR-740/640では常にオンの状態です。PSR-740:20種類、PSR-640:16種類のコーラスタイプがあり、自由に選ぶことができます。

DSP

リバーブやコーラスに加え、特定の楽器(パート)に効果を加えることもできます。

PSR-740: PSR-740 は以下のDSPシステムで構成されます。

DSP 常にオンの状態です。
102種類のDSPタイプは、スタイル録音モードの時だけ選ぶことができます。

DSP 1~3 PSR-740 ではマルチエフェクトとして3つのDSP系統があり、
(マルチエフェクト) それぞれのオン/オフをパネルのボタンで操作します。
74種類のDSPタイプがあります。 54ページ

DSP 4 マイク入力音に対してかかるDSPで、オン/オフを
パネルのボタンで操作します。74種類のDSPタイプが
あり、自由に選ぶことができます。 82ページ

PSR-640: PSR-640 ではDSPは1系統あり、オン/オフをパネルのボタンで操作します。
74種類のDSPタイプがあり、自由に選ぶことができます。 53ページ

[FAST/SLOW]はDSPの各タイプのバリエーションになります。ロータリースピーカーのエフェクトなどで回転のスピードに変化(速い/遅い)をつけることができます。

ハーモニー/エコー(HARMONY/ECHO) 56ページ

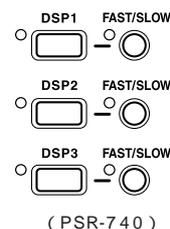
右手鍵域の演奏(ボイスR1/R2)に対してさまざまなハーモニー音を付加したり、エコーをかけたりします。

マスターイコライザー(MASTER EQ [PSR-740]) 59ページ

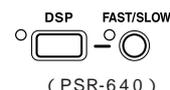
PSR-740の演奏全体に対して、周波数帯域ごとの音量を調整することにより、サウンドの印象を変えます。

メモ

デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP/マルチエフェクト、マスターイコライザー)のしくみについては152ページを参照してください。



(PSR-740)



(PSR-640)



リバーブ

リバーブ
Reverb

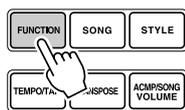
リバーブの種類(タイプ)を選ぶ

タイプ
TYPE

1

ファンクション

[FUNCTION] ボタンを押します。

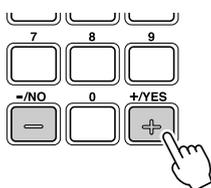
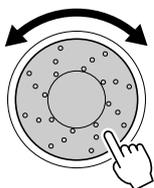


2

デジタルエフェクト

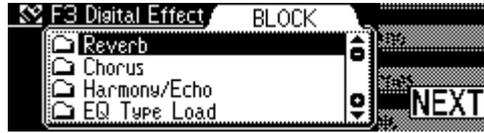
「 Digital Effect 」を選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



3 ネクスト [NEXT] ボタンを押して、Digital Effect画面にします。
デジタルエフェクト

4 リバーブ 「Reverb」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



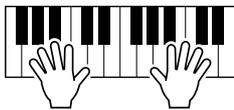
5 ネクスト [NEXT] ボタンを押します。



6 リバーブタイプを選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
巻末のリバーブタイプリストを参照してください。(154ページ)

メモ
自動伴奏のスタイルを変更すると、そのスタイルに合ったリバーブタイプが自動的に選ばれます。

7 弾いてみましょう。
いろいろなタイプをためしてみましょ。



リバーブのかかり具合を調整する

リターンレベル
RETURN LEVEL

リバーブのかかり具合を調整するのに2つのパラメーターがあります。

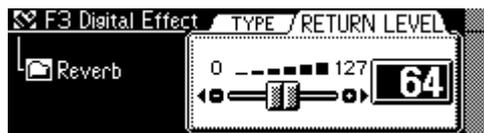
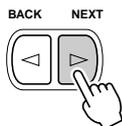
リバーブデプス(深さ) 91ページ

リバーブ効果の深さ(かかり具合)をパートごとに調整するものです。

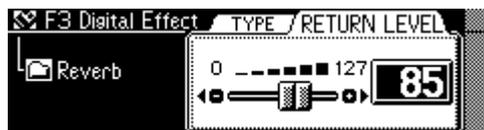
リバーブリターンレベル 下記

パートごとのリバーブデプスのバランスを保ったまま、PSR-740/640全体のリバーブ効果の深さ(かかり具合)を調整するものです。

8 ネクスト [NEXT] ボタンを押します。



9 リバーブリターンレベルを調整します。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



コーラス

コーラス
Chorus

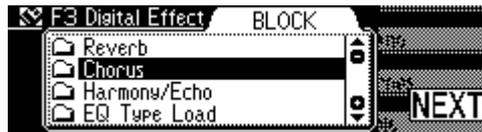
コーラスの種類(タイプ)を選ぶ

タイプ
TYPE

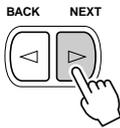
1~3 「リバーブ」と同じ操作です。(50ページ)

4 ^{コーラス} 「Chorus」を選びます。

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。



5 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。



6 コーラスタイプを選びます。

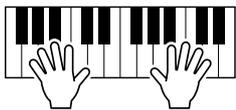
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
巻末のコーラスタイプリストを参照してください。(154ページ)

メモ

自動伴奏のスタイルを変更すると、そのスタイルに合ったコーラスタイプが自動的に選ばれます。

7 弾いてみましょう。

いろいろなタイプをためてみましょう。



コーラスのかかり具合を調整する

リターンレベル
RETURN LEVEL

コーラスのかかり具合を調整するのに2つのパラメーターがあります。

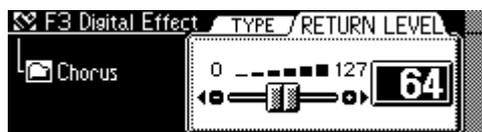
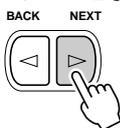
コーラスデプス(深さ) 91ページ

コーラス効果の深さ(かかり具合)をパートごとに調整するものです。

コーラスリターンレベル 下記

パートごとのコーラスデプスのバランスを保ったまま、PSR-740/640全体のコーラス効果の深さ(かかり具合)を調整するものです。

8 ^{ネクスト} [NEXT]ボタンを押します。



9 コーラスリターンレベルを調整します。

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

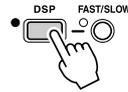
DSP(PSR-640)

DSP効果をかける

[DSP] ボタンを押します。

DSPタイプの設定にしたがって鍵盤演奏(R1、R2、L)にDSP効果がかかります。

[FAST/SLOW] ボタンを押してランプを点灯させると、各DSPタイプのバリエーション効果がかかります。主にトレモロやロータリーの回転スピードの切替(早くしたり遅くしたり)が効果的です。



メモ

ボイスセット(136ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイス(140ページ)を変更すると、DSPおよびFAST/SLOWのオン/オフが各ボイスの最適な状態に自動的に変更されます。

DSPの種類(タイプ)を選ぶ

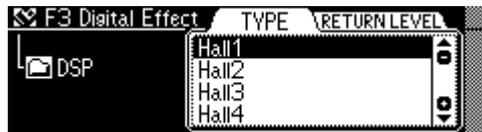
タイプ
TYPE

1~3 「リバーブ」と同じ操作です。(50ページ)

4 「DSP」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



6 DSPタイプを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

巻末のDSPタイプリストを参照してください。(154ページ)

7 弾いてみましょう。

いろいろなタイプをためてみましょう。

メモ

選択したDSPタイプがインサージョン(54、152ページ)の場合、エフェクトの効果はボイスR1にだけ、かかります。

DSPのかかり具合を調整する

リターンレベル
RETURN LEVEL

DSPのかかり具合を調整するのに2つのパラメーターがあります。

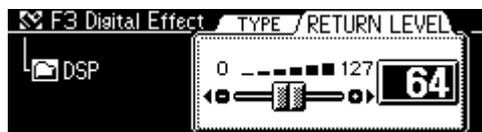
DSPデプス(深さ) 91ページ

DSP効果の深さ(かかり具合)をパートごとに調整するものです。

DSPリターンレベル 下記

パートごとのDSPデプスのバランスを保ったまま、PSR-740/640全体のDSP効果の深さ(かかり具合)を調整するものです。

8 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



9 DSPリターンレベルを調整します。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

メモ

DSPタイプにインサージョンエフェクト(54ページ)が選ばれていると、DSPリターンレベルを設定できません。

システムエフェクトとインサージョンエフェクト

リバーブ、コーラス、DSPのエフェクトには2つのタイプに分けられます。

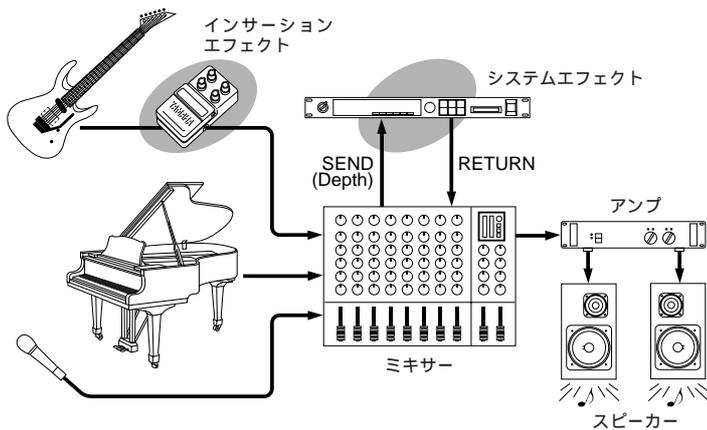
システムエフェクト

ミキサーに入力されたすべてのパートに対して効果をかけるエフェクトです。デプス(エフェクトへの送り量)とリターンレベル(エフェクトへからの戻り量)を設定します。リバーブやコーラスが代表的なタイプです。

インサージョンエフェクト

ミキサーに入力される前に、単独パートに対して効果をかけるエフェクトです。エフェクトを積極的に使った音作り/曲作りが可能です。デプスだけを設定します。ディストーションやトレモロが代表的なタイプです。

ミキサーを中心にとらえた下のイラストを参考に、イメージをつかみましょう。



- リバーブ 全タイプ、システムエフェクトとして機能します。
- コーラス 全タイプ、システムエフェクトとして機能します。
- DSP(PSR-640)..... タイプによりシステムエフェクト、インサージョンエフェクトとして機能します。
- DSP1~3 全タイプ、インサージョンエフェクトとして機能します。(PSR-740)

詳細は、「デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ」を参照してください。(152ページ)

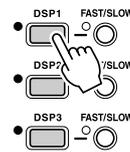
マルチエフェクト(DSP1~3) (PSR-740) マルチエフェクト MULTI EFFECT

PSR-740にはマルチエフェクト用に3系統のDSPがあります。
この3系統は6種類の接続方法があり、積極的なエフェクト作りが可能です。

マルチエフェクトをかける

[DSP1]~[DSP3] ボタンを押します。

マルチエフェクトの設定(下記)にしたがって鍵盤演奏(R1、R2、L)にマルチエフェクト効果がかかります。[FAST/SLOW] ボタンを押してランプを点灯させると、各DSPタイプのバリエーション効果がかかります。主にトレモロやロータリーの回転スピードの切替(早くしたり遅くしたり)が効果的です。



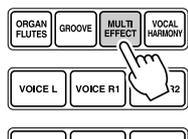
メモ

ボイスセット(136ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイス(140ページ)を変更すると、DSP1~3およびFAST/SLOWのオン/オフが各ボイスの最適な状態に自動的に変更されます。
ソングデータにマルチエフェクトが使われている場合があります。そのソングを再生させると、パネルのマルチエフェクト(DSP1~3)は自動的にオフになります。

マルチエフェクトを設定する

コネクション(接続) ブロック タイプ ドライ/ウェット
CONNECTION / BLOCK / TYPE / DRY/WET

1 マルチエフェクト [MULTI EFFECT] ボタンを押します。



2

マルチエフェクトの接続方法を決めます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
以下の6種類あります。

RIGHT1	RIGHT2	LEFT
DSP1 DSP2 DSP3		
DSP1 DSP2	DSP3	
DSP1 DSP2		DSP3
DSP1	DSP2	DSP3
DSP1	DSP2 DSP3	
DSP1		DSP2 DSP3

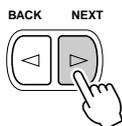
メモ

ボイスセット(136ページ)が
オンの場合、ボイスR1のパネル
ボイス(140ページ)を変更す
ると、マルチエフェクトの設定は
各ボイスの最適な状態に自動的
に変更されます。

3

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



4

設定をしたいマルチエフェクトのブロック(DSP1 ~ 3)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
なお、DSP4はマイク入力音(83ページ)用のDSPです。

5

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



6

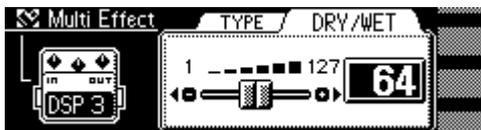
マルチエフェクトDSP1 ~ 3のタイプを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
巻末のマルチエフェクトタイプリスト(156ページ)を参照してください。

7

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



8

マルチエフェクトDSP1 ~ 3の効果のかかり具合を決めます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
ドライはエフェクトのかかっていない元の音の割合を、ウェットはエフェクトのかかった音の割合を表します。

ドライ/ウェット = 1 ドライ音(元の音)だけが出力されます。

ドライ/ウェット = 64 ドライ音(元の音)とウェット音(エフェクトのかかった音)が同じ比率で合成されて出力されます。

ドライ/ウェット = 127 ウェット音(エフェクトのかかった音)だけが出力されます。

メモ

エフェクトのタイプの中にはドライ/ウェットの設定ができないものがあります。

9

弾いてみましょう。

接続方法、タイプなどいろいろ試してみましょう。

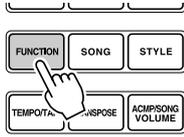


ハーモニー/エコー

ハーモニー/エコー
HARMONY/ECHO

ハーモニー/エコーの種類(タイプ)を選ぶ

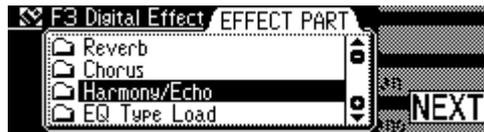
1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



2 デジタルエフェクト
「Digital Effect」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト デジタルエフェクト
[NEXT] ボタンを押してDigital Effect画面にします。

4 ハーモニー/エコー
「Harmony/Echo」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



6 ハーモニー/エコータイプを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
巻末のハーモニー/エコータイプリスト(157ページ)を参照してください。

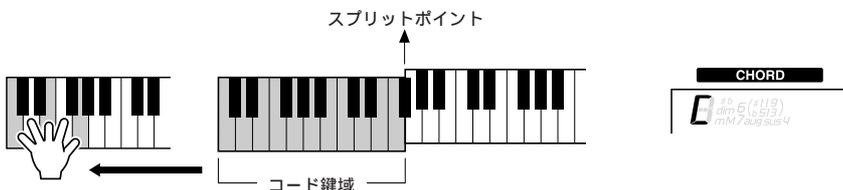
メモ
ボイスセット(136ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイス(140ページ)を変更すると、ハーモニータイプの設定も各ボイスに最適なタイプに自動的に変更されます。

ハーモニー/エコーをかける

1 スタイル
[STYLE] ボタンを押します。

2 自動伴奏(オートアカンパニメント)をオンにします。(35ページ)

3 左手でコードを押します。
たとえばCマ(Cメジャー)を押さえてみましょう。

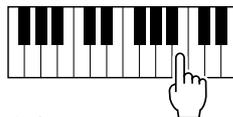


メモ
フィンガリングモード(40ページ)が「フルキーボード」の時は、ハーモニーをオンにできません。また、フィンガリングモードに「フルキーボード」を選ぶと、ハーモニーは自動的にオフになります。

4 ハーモニー/エコー
[HARMONY/ECHO] ボタンを押します。



5 右手鍵域の鍵盤を押します。



ハーモニータイプの場合 (Duet ~ Strum)

ひとつの鍵盤を押しただけで、別の音が同時に鳴りハーモニーとなります。

エコータイプの場合

ひとつの鍵盤を押しただけで、設定されたテンポでエコー(こだま)効果がかかります。

エコータイプを選んだ場合は手順 **1** ~ **3** の操作は不要です。

トレモロタイプの場合

ひとつの鍵盤を押しただけで、設定されたテンポでトレモロ効果がかかります。

トレモロタイプを選んだ場合は手順 **1** ~ **3** の操作は不要です。

トリルタイプの場合

2つの鍵盤を押さえると、それぞれの音が交互に、設定されたテンポで繰り返し発音します。

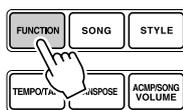
トリルタイプを選んだ場合は手順 **1** ~ **3** の操作は不要です。

ハーモニー/エコーのボリュームを調整する

ボリューム
VOLUME

押鍵音にかかるハーモニーやエコーの音量を調整することができます。

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



メモ

ボイスセット(136ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイス(140ページ)を変更すると、ハーモニー/エコーボリュームの設定も各ボイスに最適なタイプに自動的に変更されます。

ハーモニータイプが「Duet」~「Strum」の場合、ボイスR1によってはハーモニーボリュームを変更しても音量があまり変わらないものもあります。(例:オルガン系のボイス)

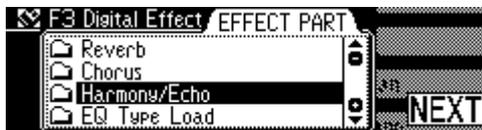
2 デジタルエフェクト
「Digital Effect」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト デジタルエフェクト
[NEXT] ボタンを押してDigital Effect画面にします。

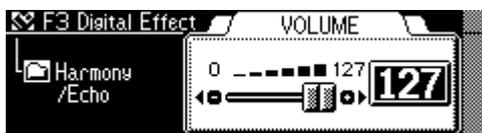
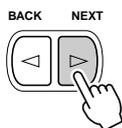
4 ハーモニー/エコー
「Harmony/Echo」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してタイプ選択画面にします。

6 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してボリューム調整画面にします。



7 ハーモニー/エコーボリュームを調整します。

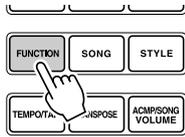
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

ハーモニー/エコーをかけるパートを変える

ハーモニーパート
HARMONY PART

押鍵音(ボイスR1/R2)にかかるハーモニーやエコーのパートを変えることができます。

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



2 デジタルエフェクト
「Digital Effect」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト デジタルエフェクト
[NEXT] ボタンを押してDigital Effect画面にします。

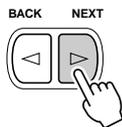
4 ハーモニー/エコー
「Harmony/Echo」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してタイプ選択画面にします。

6 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してボリューム調整画面にします。

7 ネクスト
[NEXT] ボタンを押してパート設定画面にします。



8 パートを設定します。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

- AUTO ボイスR1がオンの場合は、ボイスR1の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
ボイスR1がオフでボイスR2がオンの場合だけ、ボイスR2の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
- RIGHT 1 ボイスR1の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
ボイスR1がオフの場合は、ハーモニー/エコーの効果を聴くことはできません。
- RIGHT 2 ボイスR2の音がハーモニー/エコーとして鳴ります。
ボイスR2がオフの場合は、ハーモニー/エコーの効果を聴くことはできません。

メモ

ボイスセット(136ページ)がオンの場合、ボイスR1のパネルボイス(140ページ)を変更すると、ハーモニー/エコーのパート設定も各ボイスに最適なタイプに自動的に変更されます。

マスターイコライザー(PSR-740)

 マスターイコライザー
 MASTER EQ

一般的にイコライザーは、アンプやスピーカー、部屋の特性に合わせ音場環境を補正するために使用します。その設定は、音をいくつかの周波数帯域(バンド)に分けて、各帯域ごとにレベルを上げ下げすることで、サウンドを補正します。

演奏する曲のジャンルに合わせてサウンドを補正することで「クラシックはより繊細に、ポップスはより明確に、ロックはよりダイナミックに」というように、曲の特長を引き出し、音楽をより楽しめる環境を作ります。

PSR-740は、高品位な5バンド(帯域)デジタルイコライザー機能を持っています。PSR-740の音の出口で、イコライジングすることにより、最終的なエフェクト(トーンコントロール)を加えることができます。

周波数帯域(バンド)

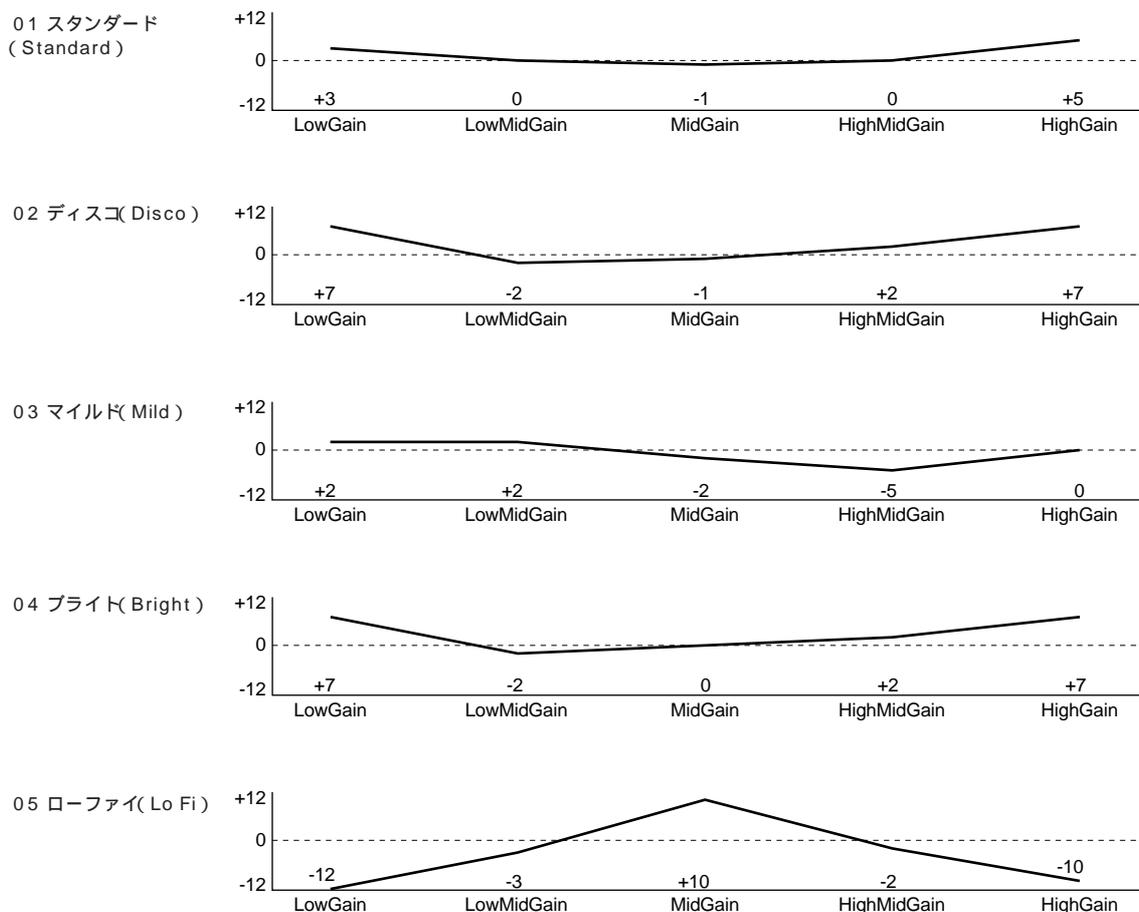
LowGain	ローゲイン(低域)
LowMidGain	ローミッドゲイン(低中域)
MidGain	ミッドゲイン(中域)
HighMidGain	ハイミッドゲイン(高中域)
HighGain	ハイゲイン(高域)

メモ

周波数帯域は、外部MIDI機器からエクスクルーシブデータで変更できます。(163ページ)

デジタルイコライザーは、5つの周波数帯域ごとにゲイン(音量)を -12 ~ 0 ~ +12(単位: デシベル [dB])の範囲で調節します。

PSR-740では、あらかじめ調節された5つのイコライザータイプがあります。



イコライザーの設定は、2つの方法があります。

上記の5つのタイプを選ぶ方法 60ページ
 自由に5バンドを調節する方法 61ページ

イコライザーをかける

1 マスターイコライザー
[MASTER EQ] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
イコライザー効果がかかります。



自動伴奏、デモ、ソングなどを再生させてサウンドの違いを確かめてみましょう。

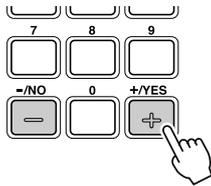
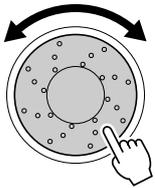
2 マスターイコライザー
もう1度、[MASTER EQ] ボタンを押すと、イコライザー効果は解除されます。

イコライザーの種類(タイプ)を選ぶ

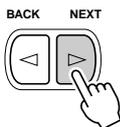
EQタイプロード
EQ Type Load

1~3 「リバーブ」と同じ操作です。(50ページ)

4 EQタイプロード
「EQ Type Load」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



6 イコライザータイプを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
イコライザータイプについては59ページを参照してください。

7 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



8 選んだタイプの周波数特性を呼び出します。
[+ / YES] ボタンを押してください。
呼び出しが完了すると以下の画面になります。



呼び出しをとりやめる場合は [- / NO] ボタンを押してください。

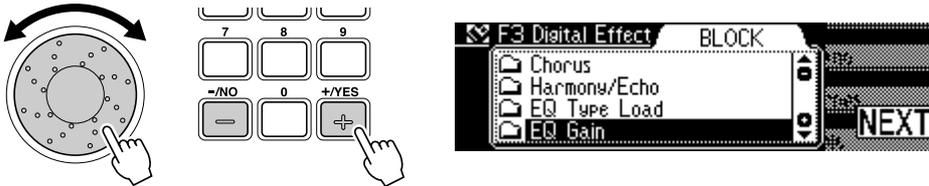
周波数特性を自分で調節する

EQゲイン
EQ Gain

1~3 「リバーブ」と同じ操作です。(50ページ)

4 ^{EQゲイン} 「EQ Gain」を選びます。

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

6 各帯域(バンド)のゲインを調節します。

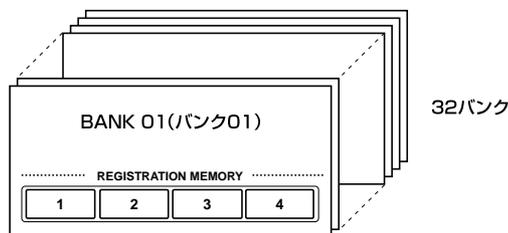
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

パネルの設定を記憶させましょう

レジストレーションメモリー REGISTRATION MEMORY

ボイス(音色)やスタイル、自動伴奏、エフェクトなどPSR-740/640のパネルでは、さまざまな設定ができます。たとえば、スタイルナンバー12番、ボイスナンバー(R1)1番、自動伴奏はオン、スプリットポイントはG#3で演奏したい場合、これらの設定をひとつひとつ操作しなくてもワンタッチで呼び出せれば、たいへん便利です。

レジストレーションメモリー(REGISTRATION MEMORY)は、ボイスや自動伴奏などに関するパネル設定を128種類(32バンク×4)まで記憶(メモリー)させ、演奏中でもワンタッチで呼び出すことができる機能です。



パネル設定を記憶させる方法	63ページ
パネル設定を呼び出す方法	63ページ
バンクを選ぶ方法	64ページ
バンクに名前をつける方法	64ページ

メモ

初期設定(工場出荷時)のレジストレーションメモリーには、電源を入れた時のパネル設定と同じデータが記録されています。

レジストレーションメモリーに記憶させることのできるパネル設定は以下のとおりです。

ボイスに関する設定

・パートオン/オフ(ボイスR1、R2、L).....	29ページ
・ボイスチェンジ設定(ボイスR1、R2、L).....	89ページ
・ミキサー設定(ボイスR1、R2、L、ボーカルハーモニー).....	90ページ
・パラメーターエディット設定(ボイスR1、R2、L).....	91ページ
・タッチセンス.....	136ページ
・DSPオン/オフ、FAST/SLOWオン/オフ、DSPタイプ、および DSPリターンレベル(PSR-640).....	53ページ
・HARMONY/ECHOオン/オフ、タイプ、ボリューム、パート.....	56ページ
・TOUCHオン/オフ.....	136ページ
・SUSTAINオン/オフ.....	31ページ
・ピッチベンドレンジ.....	139ページ
・スケールチューニング.....	135ページ
・フットスイッチの設定(極性を除く).....	137ページ
・フットボリュームの設定(極性を除く).....	138ページ
・トランスポーズ.....	30ページ
・パートオクターブ設定.....	135ページ
・モジュレーションホイールの設定(PSR-740).....	139ページ
・オルガンフルートの設定(PSR-740).....	32ページ
・ボーカルハーモニー設定(PSR-740).....	82ページ
・マルチエフェクトの設定(PSR-740).....	54ページ

自動伴奏(アカンパニメント)に関する設定

・自動伴奏オン/オフ.....	35ページ
・スタイルナンバー.....	34ページ
・テンポ.....	38ページ
・フィンガリングモード.....	40ページ
・スプリットポイント.....	135ページ
・自動伴奏ボリューム(アカンパニメントボリューム).....	39ページ
・自動伴奏セクション.....	36ページ
・グループオン/オフ、設定(PSR-740).....	45ページ
・トラックオン/オフ.....	39ページ
・ボイスチェンジ設定.....	89ページ
・ミキサー設定.....	90ページ
・パラメーターエディット設定.....	91ページ
・マルチパッドバンクナンバー、コードマッチオン/オフ.....	49ページ
・リバーブ設定.....	50ページ
・コーラス設定.....	52ページ
・DSP設定(PSR-740).....	50ページ

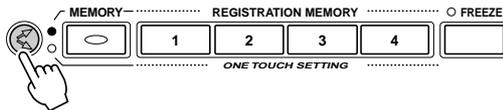
メモ

STANDBYスイッチをオフにして電源を切っても、アダプターが接続されていれば、レジストレーションメモリーの内容は保持されます。(159ページ)しかし、レジストレーションメモリーの内容をライブラリーとして保存するためにも、フロッピーディスクに保存することをおすすめします。(65ページ)

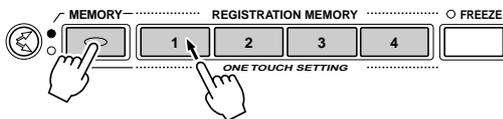
レジストレーションメモリーのデータはフロッピーディスクにセーブ/ロードして管理できません。(65ページ)

パネル設定を記憶させる

- 1 パネルを記憶させたい状態に設定します。
- 2 切り替えボタンを押して、REGISTRATION MEMORYランプを点灯させます。



- 3 [MEMORY] ボタンを押しながら、REGISTRATION MEMORYの[1]~[4] ボタンのいずれかを押しします。



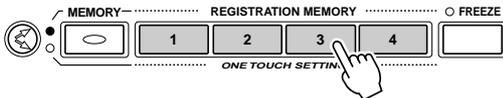
このイラストでは1番に記憶されます。

メモ

レジストレーションを記憶すると、そのREGISTRATION MEMORYナンバーに記憶されていたデータは消去され、新しいデータに書き換えられます。

パネル設定を呼び出す

- 1 REGISTRATION MEMORYの[1]~[4] ボタンのいずれかを押しします。



このイラストでは3番に記憶されたパネル設定が呼び出されます。

メモ

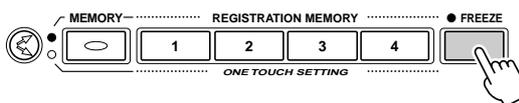
ワンタッチセッティングがオンになっている場合はレジストレーションメモリーは呼び出せません。

PSR-740/640のモードによっては呼び出されないパラメーターがあります。たとえばスタイル録音モードやパッド録音モードではボイスR1だけで演奏することになりますので、レジストレーションメモリーボタンを押しても、ボイスR2/Lのパラメーターは呼び出されません。

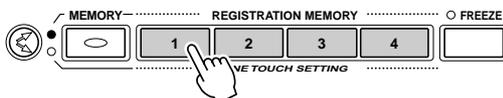
ボイスに関する設定だけを呼び出す方法(フリーズ機能)

フリーズ機能は、パネル上の自動伴奏およびボイスLに関する設定を固定(フリーズ)して、ボイスに関する設定だけを呼び出す機能です。自動伴奏を使った演奏中にスタイルナンバーを変更せずにレジストレーションメモリーを切り替えたい場合に便利です。

- 1 [FREEZE] ボタンを押して、ランプを点灯させます。



- 2 REGISTRATION MEMORYの[1]~[4] ボタンのいずれかを押しします。



このイラストでは1番に記憶されたパネル設定のうち、ボイスに関する設定(ただしボイスLに関する設定を除く)だけがパネルに呼び出されます。

メモ

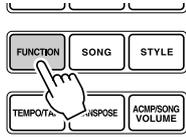
自動伴奏に関する設定に関しては62ページの「レジストレーションメモリーで記憶されるデータ」を参照してください。

ソングモード、スタイル録音モード、パッド録音モードでは、フリーズは自動的にオンになります。

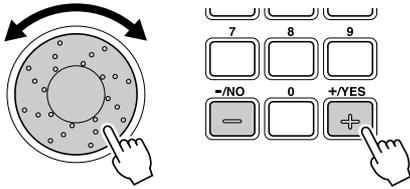
バンクを選ぶ

バンク
BANK

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。



2 レジストレーションメモリー
メニューの中から「Regist Memory」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



3 ネクスト レジストレーションメモリーバンク
[NEXT] ボタンを押して、Regist Memory BANK画面にします。



4 バンクを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

バンクに名前をつける

ネーム
NAME

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。

2 レジストレーションメモリー
メニューの中から「Regist Memory」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト レジストレーションメモリーバンク
[NEXT] ボタンを押して、Regist Memory BANK画面にします。

4 ネクスト ネーム
もう1度 [NEXT] ボタンを押して、NAME画面にします。



5 名前をつけます。
鍵盤を使ってください。(21ページ)
名前は16文字以内です。

ディスクを活用しましょう

フロッピーディスク FLOPPY DISK

PSR-740/640は、本体にディスクドライブを装備しています。ディスクドライブにフロッピーディスクを挿入すれば、さまざまなデータを再生(演奏)させたり、保存(セーブ)/呼び出し(ロード)することができます。

付属のサンプルディスクのソング、また以下のロゴマークの付いた市販のディスクソングを再生できます。 9ページ



GMロゴマークの付いた市販のディスクソフト



XGロゴマークの付いた市販のディスクソフト



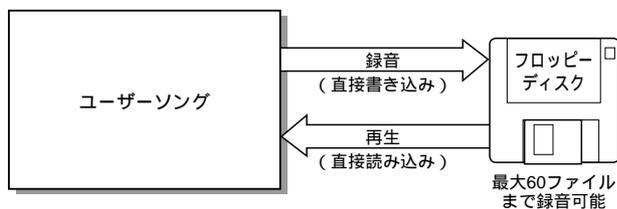
DOCロゴマークの付いた市販のディスクソフト

メモ

ロゴについての説明は9ページを参照してください。

付属のサンプルディスクのスタイルデータをロードし、本体で再生できます。

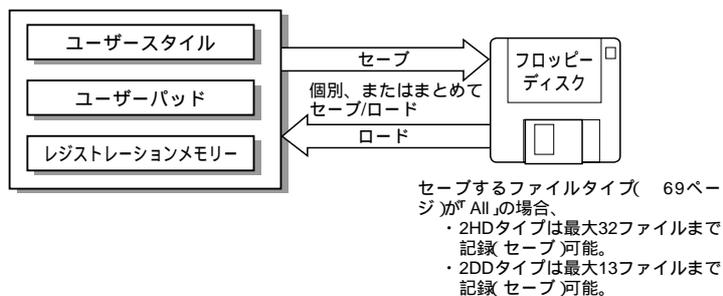
あなたの演奏をユーザーソングとして録音/再生できます。 92ページ



メモ

録音する曲の長さによっては60ファイルまで録音できない場合もあります。

本体に録音したユーザースタイル(110ページ)、ユーザーパッド(106ページ)をセーブ/ロード、レジストレーションメモリー(62ページ)をセーブ/ロードできます。 68ページ



メモ

セーブするデータの容量や種類(69ページ)によっては最大ファイル数は違ってきます。

PSR-740/640で扱えるユーザーデータをまとめると以下のとおりです。

データの種類	拡張子	セーブ	ロード
ユーザーソング (スタンダードMIDIフォーマット0)	.MID		
ユーザースタイル (スタイルファイルフォーマット)	.USR		
ユーザーパッド	.USR		
レジストレーションメモリー	.USR		

メモ

データの保存には、PSR-740/640でフォーマットしたフロッピーディスクをお使いください。
ファイルネームの後(ピリオドの次)に付ける3文字を拡張子と呼びます。拡張子はファイルの種類を表しています。
ユーザーソングは録音時に直接ディスクに書き込み、再生時には直接読み出すため、セーブ/ロードの操作は行いません。ディスクコピー/ソングコピー/デリートファイルの操作は行えます。

他にも以下のような機能があります。

- フォーマット(ディスクの初期化) 68ページ
- デリート(ディスク内のファイルの削除) 75ページ
- コピー(ソングファイルのバックアップ) 72ページ

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスク(ドライブ)をご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

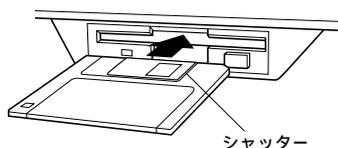
フロッピーディスクの種類

3.5インチの2DD、または、2HDフロッピーディスクがご使用になれます。

フロッピーディスクの挿入/取り出し

フロッピーディスクの入れかた

- ・フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまで正しい向きに差し込みます。

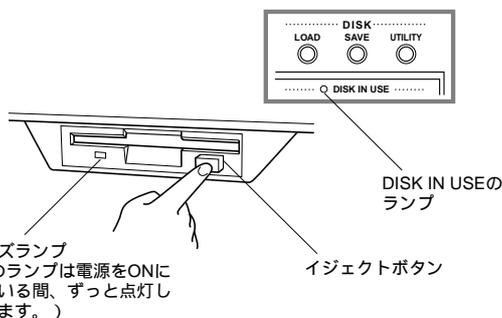


メモ

電源を入れると、ディスク挿入口左下のユーズランプは常に点灯して、フロッピーディスクドライブが使用可能であることを示します。

フロッピーディスクをディスク挿入口から取り出すときのご注意

- ・フロッピーディスクを取り出すときは、あらかじめ、DISK IN USEランプが消えたことを確認した上で(ディスクドライブが実行中でないことを確認した上で)、ディスク挿入口の右下にあるイジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出了たことを確認してから、ディスクを取り出してください。



- ・イジェクトボタンを中途半端に押ししたり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、ディスクドライブユニットが故障したりする原因になります。このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

録音中や再生中などは絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。

電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

磁気ヘッドの定期的なクリーニング

ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。

ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1ヵ月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。

ディスクドライブにフロッピーディスク以外の物を入れないうようご注意ください。ディスクドライブおよび、フロッピーディスク破損の原因になります。

メモ

磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

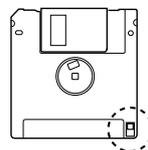
フロッピーディスクについてのご注意

フロッピーディスクの取り扱いと保管

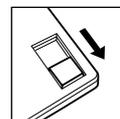
- ・(持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ・直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ・フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

誤消去防止

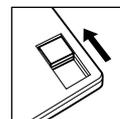
- ・フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、録音する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏面



録音不可
(演奏を録音できません。)



録音可
(演奏を録音できます。)

データのバックアップ

- ・フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをおすすめします。

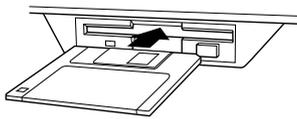
メモ

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

付属のディスクを活用してみましょう

ソングを聴いてみましょう

- 1** 付属のサンプルディスクをディスク挿入口に入れます。

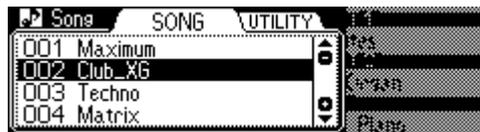
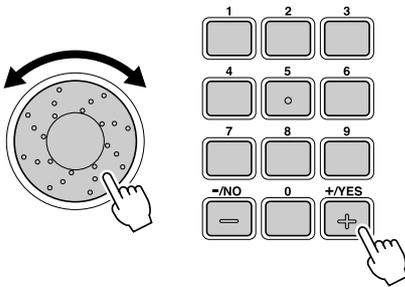


メモ

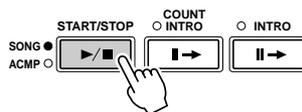
すでにディスクが挿入されている場合は[SONG]ボタンを押してください。

- 2** 再生させたい曲(ソング)を選びます。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



- 3** スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押すと、再生がスタートします。



- 4** スタート/ストップ
もう1度、[START/STOP] ボタンを押すと、再生がストップします。

ディスクソングの再生方法の詳細については「ディスクソングを聴いてみましょう」(76 ページ)を参照してください。

フォーマット(フロッピーディスクの初期化)

フォーマット
Format

市販のフロッピーディスク(3.5インチ、2HD/2DDタイプ)をPSR-740/640で使用できる状態にすることをフォーマット(初期化)と呼びます。

すでにフォーマットされたディスクでも、ファイルを一括して消去したい場合にこの機能を使うと便利です。

メモ

フォーマット実行直後、2HDタイプは1Mbyte、2DDタイプは720Kbyteのディスク容量があります。

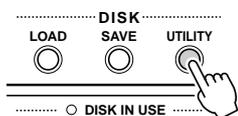
メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスクを挿入した場合、またファイルにプロテクトがかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(160ページ)が表示されフォーマットはできません。

1 ディスクをディスク挿入口に入れます。

未フォーマットディスク、およびPSR-740/640では読み込めないフォーマットのディスクを挿入すると、ディスクがフォーマットされていないことを示すメッセージが操作画面に表示されます。この場合、[EXIT]ボタンを押すと、手順4の画面になりますので、手順5に進んでください。

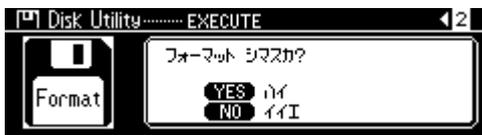
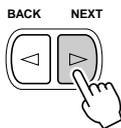
2 ユーティリティ [UTILITY] ボタンを押します。



3 フォーマット 「Format」を選びます。

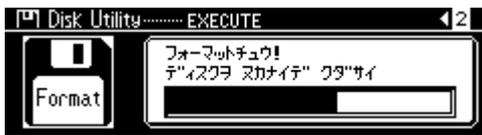
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

4 ネクスト [NEXT] ボタンを押し、Format画面に移ります。



5 フォーマットを実行します。

[+/YES]ボタンを押してください。フォーマットを取り止める場合は[-/NO]ボタンを押してください。



フォーマットが完了すると...



!

すでにデータが記録されているフロッピーディスクをフォーマットしないように注意してください。フォーマットを実行するとフロッピーディスクの内容はすべて消えてしまいます。

⊘

フォーマットの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

!

PSR-740/640で読み込めないフォーマットのディスクを挿入すると、未フォーマットディスクが挿入された時と同じ動作をします。大切なデータをフォーマットで消さないように注意してください。

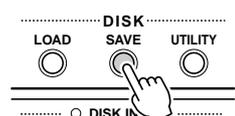
セーブ(ディスクにデータを保存する)

セーブ
SAVE

ここでは、本体に録音したユーザースタイル(110ページ)、ユーザーパッド(106ページ)、レジストレーションメモリー(62ページ)をディスクにセーブ(保存)する手順を説明します。

1 ディスクをディスク挿入口に入れます。

2 セーブ [SAVE] ボタンを押します。



メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスクを挿入した場合、またファイルにプロテクトがかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(160ページ)が表示されセーブはできません。

3 ディスクにセーブするデータの種類を選びます。

ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
データの種類のについては以下を参照してください。

All	ユーザースタイル(161~163)、ユーザーパッド(バンク37~40)、レジストレーションメモリ(バンク01~32)のデータおよびパネル上のほとんどすべての設定状態を1ファイルとしてセーブします。
Style + Reg.	ユーザースタイル(161~163)とレジストレーションメモリ(バンク01~32)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。
Style	ユーザースタイル(161~163)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。
Multi Pad	ユーザーパッド(バンク37~40)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。
Regist	レジストレーションメモリ(バンク01~32)のデータをまとめて1ファイルとしてセーブします。

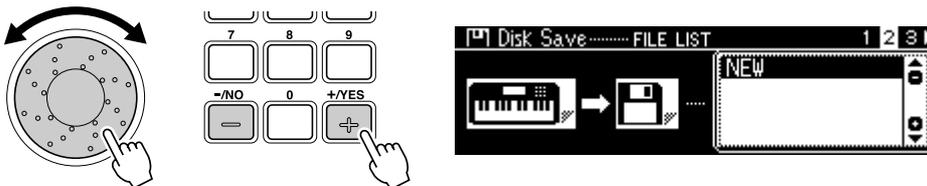
メモ

ユーザースタイル、ユーザーパッド、レジストレーションメモリのデータは、まとめて1ファイルとしてセーブされますが、ロードする際は個別に呼び出すことができます。(70ページ)

4 [NEXT] ボタンを押して、ファイル選択画面にします。

5 セーブするファイルを選びます。

ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
新規にファイルを作る場合はNEWを選びます。



6 [NEXT] ボタンを押して、NAME画面に進みます。

7 鍵盤を使ってファイル名をつけます。(21ページ)



メモ

すでに存在するファイルを選んだ場合でも、ここでファイル名を変更すれば、別のファイルとしてセーブされることになります。

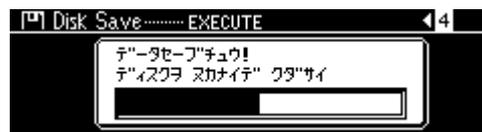
8 [NEXT] ボタンを押して、セーブ実行画面に進みます。



セーブの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

9 セーブを実行します。

[+ /YES]ボタンを押してください。
セーブを取り止める場合は[- /NO]ボタンを押してください。



↓ ディスクへのセーブが完了すると...



メモ

フロッピーディスクの空き容量が足りないと、エラーメッセージ(160ページ)が表示され、セーブできません。そのフロッピーディスクにセーブされている不要なファイルをデリートする(75ページ)か、新しいフロッピーディスクと交換して、もう一度セーブしてください。

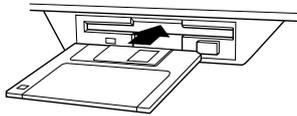
セーブ中に書き込みエラーが起こった場合、エラーメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直しても、繰り返しエラーが起こった場合は、フロッピーディスクに問題がある可能性があります。フロッピーディスクを交換してもう一度操作をやり直してください。

ロード(ユーザーデータを読み出す)

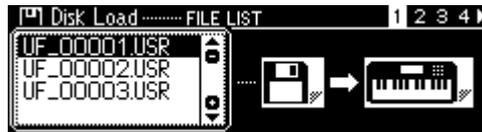
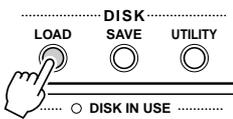
ロード
LOAD

ここでは、本体からディスクにセーブしたデータを、再び本体へロードする場合を説明します。

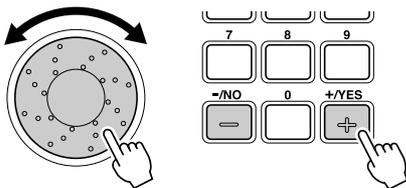
1 フロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。



2 ^{ロード} [LOAD] ボタンを押します。

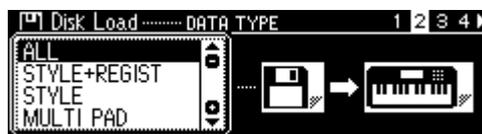
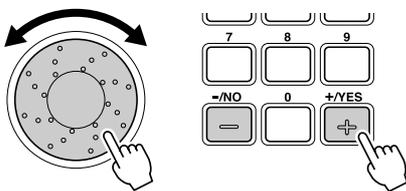


3 ディスクからロードするファイルを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押してデータタイプ選択画面にします。

5 ディスクからロードするデータのタイプを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

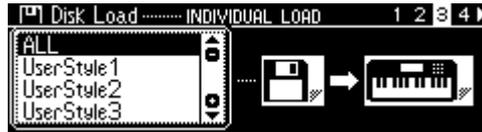


ロードできるデータタイプ	
All	➡ 手順10へ進んでください。
Style + Reg.	
Style	➡ 手順6へ進んでください。
Multi Pad	
Regist	

ここで選んだデータタイプによって、次の操作が違ってきます。表のとおりに従ってください。

6

ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



7

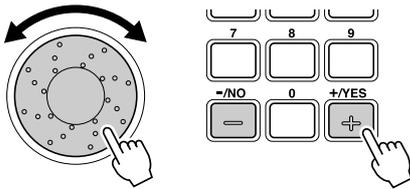
ディスクからロードするデータを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
「ALL」を選んだ場合は、手順 10へ進んでください。

8

ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、LOAD TO画面(= ロード先を選ぶ画面)
に移ります。

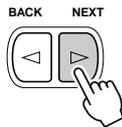
9

データのロード先を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



10

ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、ロード実行画面に移ります。

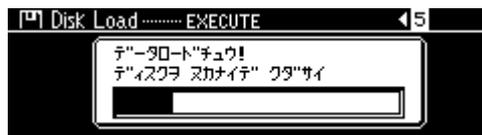
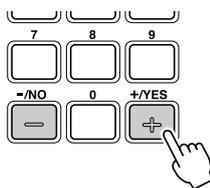


! フロッピーディスクのデータを PSR-740/640本体にロードすることによって、本体に記録されていたデータはフロッピーディスクのデータに書き替えられます。大切なデータはロードする前にフロッピーディスクにセーブしておきましょう。

⊘ ロードの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

11

ロードを実行します。
[+/YES] ボタンを押してください。
ロードを取り止める場合は [-/NO] ボタンを押してください。



↓ ディスクからのロードが完了すると...



メモ
ロード時にPSR-740/640本体 (RAM) の容量を越えた場合や、フロッピーディスクに問題がある場合、また、データが壊れていてロードできない場合などは操作画面にエラーメッセージ (160 ページ) が表示されます。

ディスクのソングファイルをコピーする

コピー
Copy

フロッピーディスクのソングファイルを、コピーすることにより、バックアップ(控え)をとります。ソングデータの編集(98ページ~105ページ)をする前にバックアップをとるとよいでしょう。コピーは一度に1ファイルだけできます。

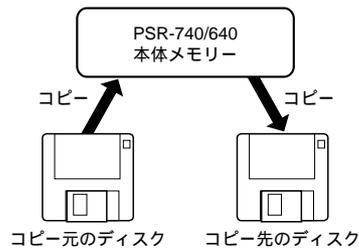
メモ

ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスクをコピー先のディスクとして挿入した場合、またファイルにプロテクトのかかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(160ページ)が表示されコピーはできません。

別のディスクにコピーする

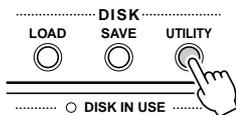
バックアップ用にもう1枚ディスクを準備してください。下図のように、コピー元のディスクのファイル内容を本体内部メモリーにいったんコピーした後に、コピー先のディスクにコピーします。

コピー元のディスクで選んだファイルのデータ量が、本体メモリー容量よりも大きい場合、何回かに分けてコピーすることになります。(手順11)



1 コピー元のディスクをディスク挿入口に入れます。

2 ^{ユーティリティ} [UTILITY] ボタンを押します。



3 ^{コピー} 「Copy」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

4 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、^{コピートゥー} COPY TO画面(= コピー先を選ぶ画面)に移ります。



5 ^{アナザー} 「ANOTHER」(= 別のディスク)を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、ファイル選択画面に移ります。



7 コピー元のファイルを選びます。
 ダイアル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、^{ネーム} NAME画面に移ります。



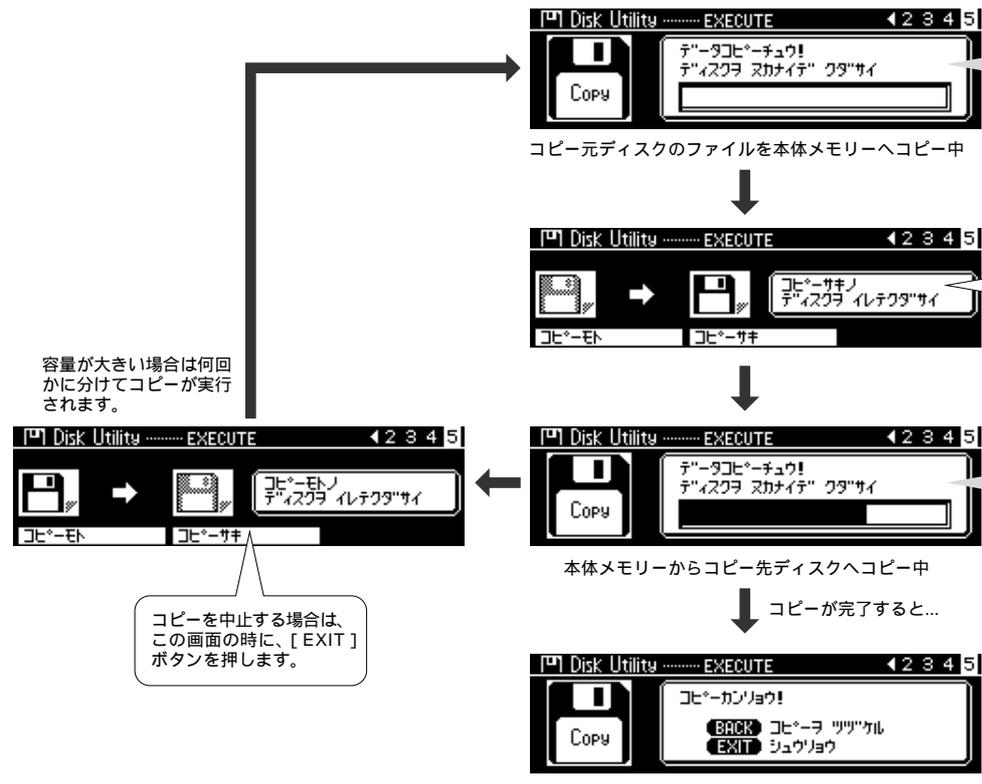
9 鍵盤を使ってコピー先のファイル名をつけます。(21ページ)

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、コピー実行画面に移ります。



11 コピーを実行します。
 [+ /YES] ボタンを押してください。
 コピーを取り止める場合は [- /NO] ボタンを押してください。

メモ
 コピーの手順の中で、関係のないディスクを挿入するとエラーメッセージ(160ページ)が操作画面に表示されます。



⊘ ディスクコピーの実行中は絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

コピーを中止する場合は、この画面の時に、[EXIT] ボタンを押します。

⊘ ディスクコピーの実行中は絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

容量が大きい場合は何回かに分けてコピーが実行されます。

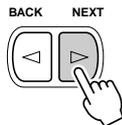
コピーを中止する場合は、この画面の時に、[EXIT] ボタンを押します。

同一ディスク内にコピーする

1~4 「別のディスクにコピーする」と同じ操作です。(72ページ)

5 ^{セーム} 「SAME (= 同じディスク) を選びます。

6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、ソングファイル選択画面にします。



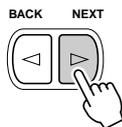
7 コピー元のファイルを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、^{ネーム} NAME画面に移ります。



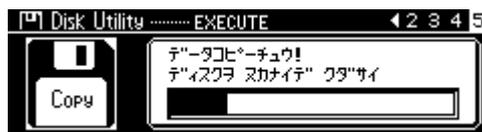
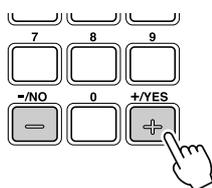
9 鍵盤を使ってコピー先のソングファイル名をつけます。(21ページ)

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、コピー実行画面に移ります。



11 コピーを実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。
コピーを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



コピーが完了すると...



コピーの実行中は絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

ディスクのファイルを削除(デリート)する

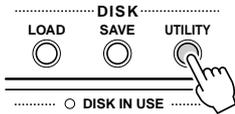
デリート
Delete

メモ

ライトプロテクトをオン(タブの窓が開いた状態)にしてあるディスクを挿入した場合、またファイルにプロテクトがかっているディスクを挿入した場合、エラーメッセージ(160ページ)が表示されデリートはできません。

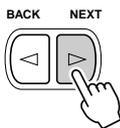
1 フロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。

2 ユーティリティ
[UTILITY] ボタンを押します。



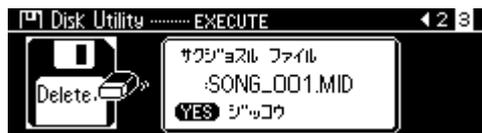
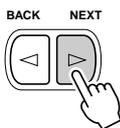
3 デリート
「Delete (= 削除) を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

4 ネクスト [NEXT] ボタンを押し、デリート Delete画面に移ります。

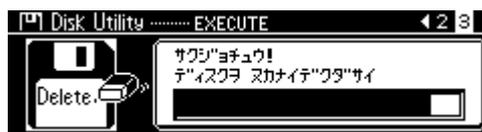
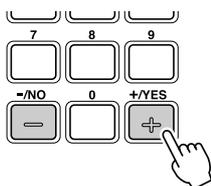


5 削除(デリート)したいファイルを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

6 ネクスト [NEXT] ボタンを押し、デリート実行画面に移ります。



7 デリートを実行します。
[+ / YES] ボタンを押してください。
デリートを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



デリートが完了すると...



デリートの実行中は絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

ディスクソングを聴いてみましょう

PSR-740/640では、ディスクドライブにフロッピーディスクを入れることにより、さまざまな曲(ソング)を再生させることができます。

付属のサンプルディスクをはじめ、PSR-740/640で再生させることのできるディスクは以下のとおりです。各ロゴについての詳細な説明は9ページを参照してください。



GMロゴマークの付いた市販のディスクソフト



XGロゴマークの付いた市販のディスクソフト



DOCロゴマークの付いた市販のディスクソフト



フロッピーディスクおよびディスクドライブの扱い方について、必ず66ページをお読みください。

ディスクソングを再生する方法(ソングプレイモード)として以下のようなものがあります。 77ページ

- 1曲だけを再生する。
- 1曲だけを繰り返し(リピート)再生する。
- ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて再生する。
- ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて繰り返し(リピート)再生する。
- ディスクに入っている曲(ソング)をランダムな順番で続けて再生する。

また他にも以下のような機能があります。

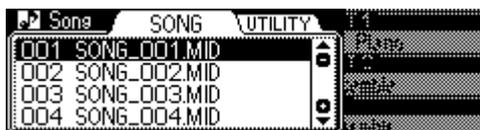
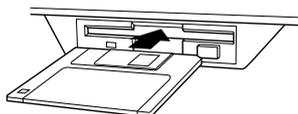
- ソングの特定のトラックを消音(オフ)して再生する。 78ページ
- ソングのテンポを変更する。 38ページ
- ソングだけの音量を変更する。(ソングボリューム) 78ページ
- ソングだけの音程を変える。(ソングトランスポーズ) 81ページ
- ソングの途中から再生をスタートさせる。(ソングスタートメジャー) 79ページ
- ソングの一部を繰り返し再生する。(リピート再生) 80ページ

ディスクソングを再生する

ソング
SONG

1

ソングデータの入っているディスクをディスク挿入口に入れます。



メモ

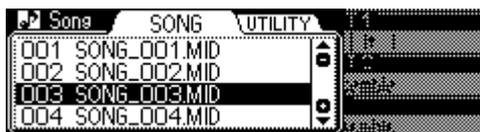
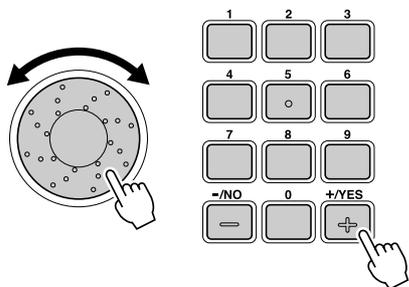
すでにディスクが挿入されている場合は[SONG]ボタンを押してください。

ソングデータの入っていないディスクをディスクドライブに入れた場合、自動的にソングモードにはなりません。

2

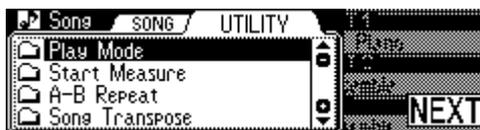
再生させたい曲(ソング)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES]ボタン、[- / NO]ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



3

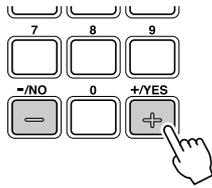
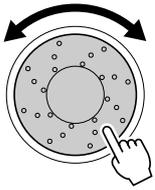
ネクスト
[NEXT]ボタンを押します。



4

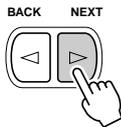
プレイモード
メニュー「Play Mode」を選びます。

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。



5

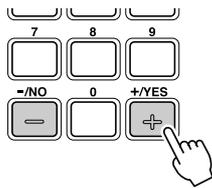
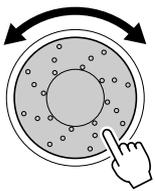
ネクスト
ソングプレイモード
[NEXT]ボタンを押してSong Play Mode画面に移ります。



6

再生方法 (プレイモード) を選びます。

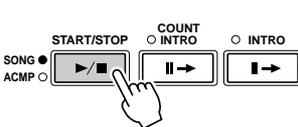
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。



- SINGLE(シングル)..... 1曲だけを再生します。
- SINGLE REPEAT(シングルリピート)..... 1曲だけを繰り返し(リピート)再生します。
- ALL(オール)..... ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて再生します。
- ALL REPEAT(オールリピート)..... ディスクに入っている曲(ソング)すべてを続けて繰り返し(リピート)再生します。
- RANDOM(ランダム)..... ディスクに入っている曲(ソング)をランダムな順番で続けて再生します。

7

スタート/ストップ
[START/STOP]ボタンを押すと、再生がスタートします。



メモ

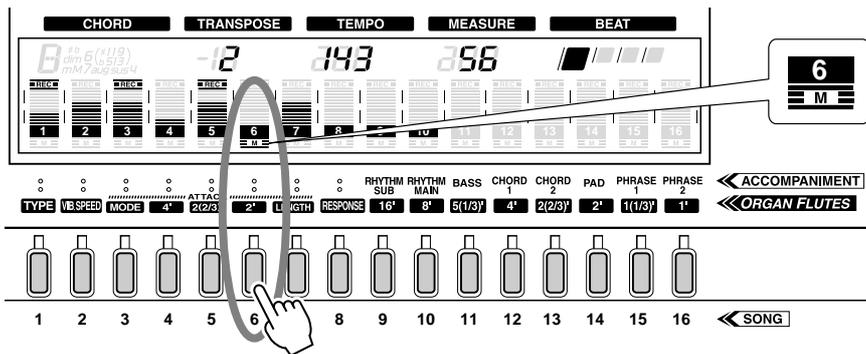
歌詞データの入っているディスクソング(スタンダードMIDIファイルフォーマット0)を再生すると、操作画面に歌詞が表示されます。PSR-740/640で歌詞表示を対応している言語は日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語です。

8

スタート/ストップ
もう1度、[START/STOP]ボタンを押すと、再生がストップします。

ソングの特定のトラックを消音(オフ)して再生する

- 1 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、ソング再生をスタートさせます。
- 2 音を消したいトラックのボタンを押します。
M アイコンが表示され、そのトラックの再生音が消えます。



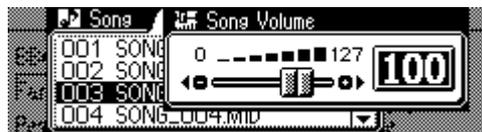
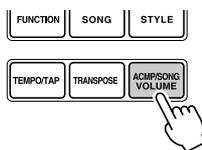
もう一度同じトラックボタンを押すと、再生音が鳴ります。

- 3 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

ソングだけの音量を変える

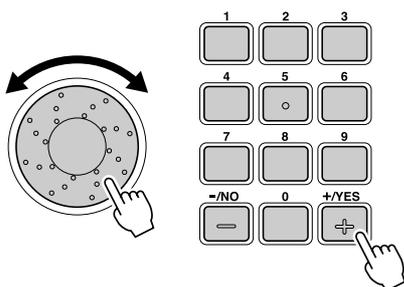
ソングボリューム
SONG VOLUME

- 1 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、ソング再生をスタートさせます。
- 2 アコンパニメント/ソングボリューム
[ACMP/SONG VOLUME] ボタンを押します。



メモ
この操作で、鍵盤演奏の音量が変わることはありません。

- 3 ソングボリュームを変更します。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

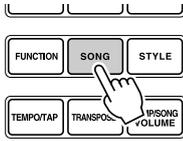


- 4 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

ソングの途中から再生する

スタートメジャー
Start Measure

1 ^{ソング}
[SONG] ボタンを押します。



2 ^{ネクスト} ^{ユーティリティ}
[NEXT] ボタンを押してUTILITY画面に移ります。

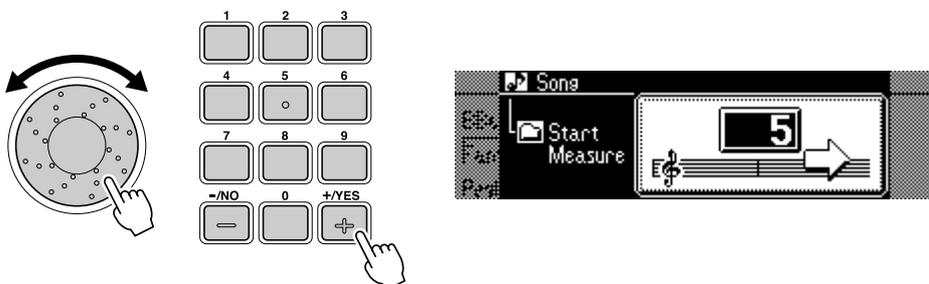
3 ^{スタートメジャー}
「Start Measure」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



4 ^{ネクスト} ^{ソングスタートメジャー}
[NEXT] ボタンを押してSong Start Measure画面に移ります。



5 再生をスタートさせたい小節ナンバーを設定します。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



6 ^{スタート/ストップ}
[START/STOP] ボタンを押すと、手順5で指定した小節から再生がスタートします。

7 ^{スタート/ストップ}
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

メモ

別のソングを選択すると、ソングスタートメジャーの設定は自動的にキャンセルされます。

ソングの一部を繰り返し再生する(リピート再生) リピート Repeat

1 ソング
[SONG] ボタンを押します。

2 ネクスト ユーティリティ
[NEXT] ボタンを押してUTILITY画面に移ります。

3 A-Bリピート
「A-B Repeat」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



4 ネクスト A-Bリピート
[NEXT] ボタンを押してA-B Repeat画面に移ります。



5 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、再生をスタートさせます。

6 メインA
リピートの開始位置(A点)にしたいタイミングにきたら[MAIN A] ボタンを押します。



7 メインB
リピートの終了位置(B点)にしたいタイミングにきたら[MAIN B] ボタンを押します。



これで繰り返し(リピート)再生が設定されました。
これ以降は、繰り返し(リピート)再生を続けます。

8 メインA
もう1度 MAIN A ボタンを押すと、リピート設定が解除されます。

9 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

メモ
Aだけをマークした場合は、ソング終了位置で自動的にBがマークされ、Aからソングの最後までを繰り返し演奏します。

メモ
別のソングを選択すると、リピート再生の設定は自動的にキャンセルされます。

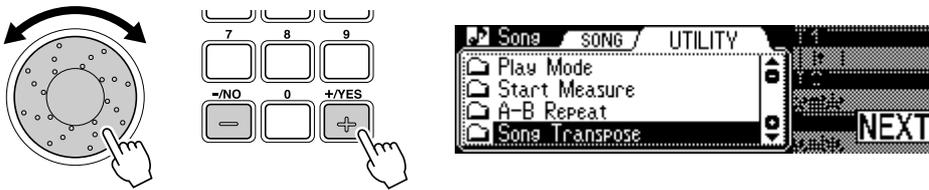
ソングだけの音程を変える

ソングトランスポーズ
Song Transpose

1 ^{ソング}
[SONG] ボタンを押します。

2 ^{ネクスト} ^{ユーティリティ}
[NEXT] ボタンを押してUTILITY画面に移ります。

3 ^{ソングトランスポーズ}
メニュー「Song Transpose」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



メモ

この操作で、鍵盤演奏の音程が変わることはありません。

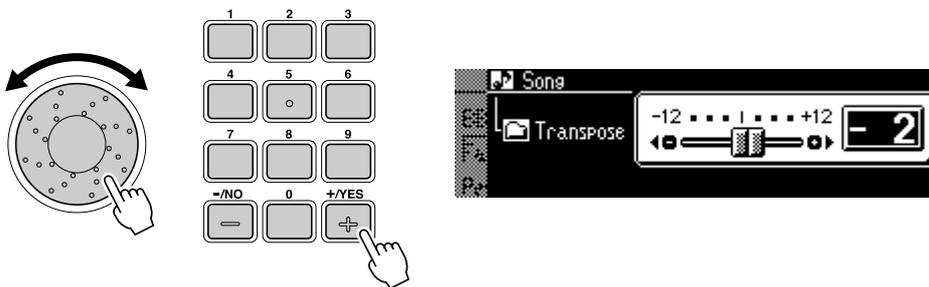
トランスポーズ(30ページ)の設定はPSR-740/640は全体にかかるため、その設定値を変更すると、ソングトランスポーズの設定値も同じ変化量だけ同時に変更されます。

ユーザーソングの録音モードに入ると、ソングトランスポーズの設定値は自動的に「0」になり、変更できなくなります。

4 ^{ネクスト} ^{ソングトランスポーズ}
[NEXT] ボタンを押してSong Transpose画面に移ります。



5 音程を - 12 ~ + 12 の範囲で変更します。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



メモ

[- /NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

6 ^{スタート/ストップ}
[START/STOP] ボタンを押して、再生をスタートさせます。

メモ

再生させながら、手順1~5の操作をすることも可能です。

7 ^{スタート/ストップ}
[START/STOP] ボタンを押して、再生をストップさせます。

ボーカルハーモニー(PSR-740)

ボーカルハーモニー
VOCAL HARMONY

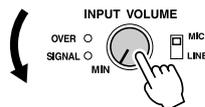
PSR-740では、マイクを接続して歌ったり、オーディオ装置から音声をとって鳴らすことができます。その際、PSR-740のボーカルハーモニー機能を使えば、歌声やオーディオ装置からの音声に、ハーモニーやエコーなどのいろいろな効果を加えることができます。

自動伴奏やソング再生をバックに歌うときに、いろいろな効果をつけてカラオケ気分を楽しみましょう。

マイクとの接続

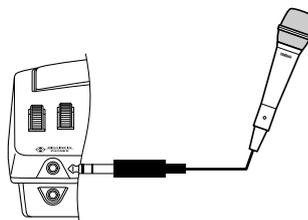
1

インプットボリューム
[INPUT VOLUME] (= 入力ボリューム)
を、MIN(最小)にします。



2

マイク/ラインイン
マイクをMIC/LINE INジャックに接続します。

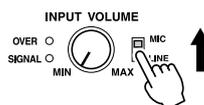


メモ

250ohmの標準ダイナミックマイクが推奨です。

3

マイク/ライン
[MIC/LINE]スイッチを「MIC」にします。



メモ

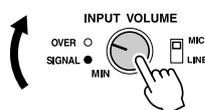
INPUT VOLUMEを調整しても、OVERランプが消灯しない場合は、マイクからの入力音が小さくなるよう調整してください。

4

インプット
マイクに向かって声を出しながら、[INPUT VOLUME]を調整します。

SIGNALランプは、音声が入力されたことを示すランプです。

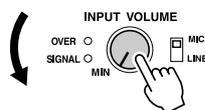
OVERランプは、入力している音声が大きすぎる場合に点灯します。



ライン入力を使う場合の接続

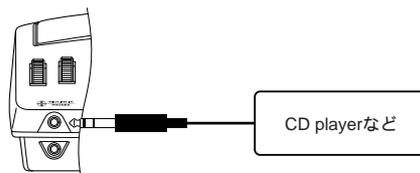
1

インプットボリューム
[INPUT VOLUME] (= 入力ボリューム)
を、MIN(最小)にします。



2

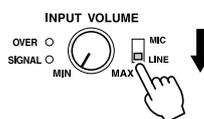
マイク/ラインイン
オーディオケーブルをMIC/LINE INジャックに接続します。



ライン入力を使用する場合、[MIC/LINE]設定が[MIC]にならないようご注意ください。[MIC]に設定した状態でCDプレイヤーやカセットデッキからのライン入力をすると、PSR-740の故障の原因となります。

3

マイク/ライン
[MIC/LINE]スイッチを「LINE」にします。



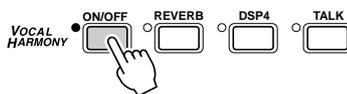
4

インプット
マイクに向かって声を出しながら、[INPUT VOLUME]を調整します。

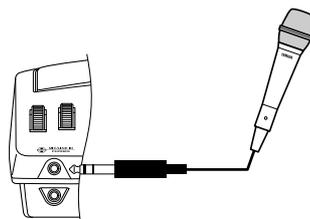
マイクを使って歌う

1 マイクを接続します。(82ページ)

2 ボカールハーモニー オン/オフ
VOCAL HARMONYのON/OFF ボタンを押してボカールハーモニーオンにします。



3 マイクに向かって声を出します。



メモ

マイクはスピーカーに近づけすぎないようにしてください。

マイクに、歌っている声以外の音が入ると、ハーモニーの音程がはっきりしなかったり、音が歪むなど、正常にハーモニーが付かない状態になります。その場合は以下のことに注意してご使用ください。

- ・マイクはなるべく口に近づけて使ってください。
- ・単一指向性マイクを使ってください。
- ・マスターボリュームまたは自動伴奏/ソングボリュームの音量を下げてください。

4 鍵盤を弾きながら、マイクに向かって声を出します。

ボカールハーモニーはコードに対して付けられるものです。そのコードをどのように指定するかは、ボカールハーモニーの設定によって違います。ここでは代表的な例をいくつかあげますが、詳細は85ページを参照してください。

ハーモニーモード = 「ボコーダー (VOCODER) 」のハーモニーパート = 「UPPER」の場合
マイクに向かって声を出しながら右手鍵域でコードを押さえると、コードに合わせてボカールハーモニーがかかります。



ハーモニーモード = 「コーダル (CHORDAL) 」の場合
自動伴奏をオンにして自動伴奏をスタートさせましょう。(35ページ)マイクに向かって声を出しながら左手鍵域コードを変更していくと、コードに合わせてボカールハーモニーがかかります。



ボカールハーモニーはコードの指定方法や、ハーモニータイプ、声質を変えるなど、さまざまな設定ができます。84ページを参照して、いろいろ試してみましょう。

5 リバーブ トーク
[REVERB] [DSP4] [TALK] ボタンをオンにしてみましょう。



REVERB(リバーブ)

50ページでタイプを設定したリバーブと同じリバーブです。マイク入力音に対して効果がかかるかどうか、このボタンでオン/オフを設定します。

DSP4

マイク入力音専用のDSPがあり、このボタンでオン/オフを設定します。DSP4タイプはMulti Effect(マルチエフェクト)画面の中か、トークセッティング画面の中で設定します。

TALK(トーク)

TALK SETTING(トークセッティング)を呼び出します。

マイク入力した声とPSR-740で鳴る音との音量バランスやボカールハーモニータイプ、DSPタイプを呼び出します。

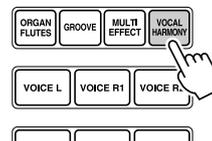
6 インプットボリューム
[INPUT VOLUME] (=マイクからの入力ボリューム)を、MIN(最小)にしてから電源を切ります。

ボーカルハーモニーの設定

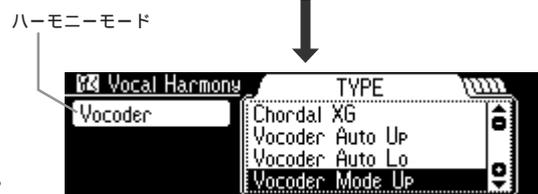
ボーカルハーモニー(マイク入力した声にかけるハーモニー)について、さまざまな設定ができます。
VOCAL HARMONYの[ON/OFF]ボタンをオンにすることで呼び出される設定です。

以下の手順で設定します。

1 ボーカルハーモニー
[VOCAL HARMONY]ボタンを押します。



2 ボーカルハーモニータイプを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。
タイプを選ぶと、ハーモニーモード(85ページ)も自動的に決まります。



3 リードジェンダータイプを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



4 ピッチ補正を選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



5 ピッチトゥーノート
PITCH TO NOTEを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



6 ハーモニーパートを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



7 ソングトラックを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



各パラメーターについて説明します。

ボークルハーモニータイプ(VOCAL HARMONY TYPE)

全部で50種類のボークルハーモニータイプがあり、自分の声にさまざまな効果を付けることができます。詳細は158ページのボークルハーモニータイプリストを参照してください。

リードジェンダータイプ(LEAD GENDER TYPE)

自分の声質を変更することができる機能です。以下のタイプがあります。

- ・OFF 声質は変更されません。
- ・UNISON MALE(男性)とFEMALE(女性)の中間の声がハーモニーとして付加されます。
- ・MALE 男性の声がハーモニーとして付加されます。
- ・FEMALE 女性の声がハーモニーとして付加されます。

ピッチ補正(PITCH CORRECTION)

自分の声の音程が多少ずれていても、それを正しい音程に補正してくれる機能です。

リードジェンダータイプがOFFの時、またはモードがデチューンのボークルハーモニータイプが選ばれているときは設定できません。

ピッチ トゥー ノート(PITCH TO NOTE)

歌った音程で、選ばれている音色を鳴らすことができる機能です。ここで、鳴らしたい音色のパートを選びます。

ハーモニーパート(HARMONY PART)

ハーモニーは鍵盤で演奏した音に対して付けられるものです。ここではハーモニーの基となる音を演奏する鍵盤のパートを選びます。ボークルハーモニーモードが、ボコーダーのタイプが選ばれている場合だけ、設定できます。

- ・OFF 鍵盤演奏に対してハーモニーは付きません。
- ・UPPER スプリットポイントより右側での鍵盤演奏に対してハーモニーが付きます。
- ・LOWER スプリットポイントより左側での鍵盤演奏に対してハーモニーが付きます。

ソングトラック

ソングの再生に合わせてハーモニーを付けることもできます。ここではハーモニーの基となる音を演奏するソングトラックを選びます。

ボークルハーモニーモード

上記のパラメーター以外にボークルハーモニーモードというパラメーターがあります。これはボークルハーモニータイプ別に決められているもので、タイプを選ぶことで自動的に設定されます。ボークルハーモニーは、ハーモニーモードとハーモニーパートとの組み合わせで、どのようにハーモニーを付けるかが決定されます。

以下の4つのモードがあります。

コーダル(CHORDAL)

自動伴奏コード鍵域で指定したコード、またはソングの再生にともなうコードに対してハーモニー音が付きます。

ボコーダー(VOCODER)

鍵盤(ボイスR1, R2, L)で演奏した音のとおりハーモニー音が付きます。

クロマティック(CHROMATIC)

演奏方法、ハーモニーパートに関係なく、自分の声の高さから一定の音程分離れたハーモニーが付きます。

デチューン(DETUNE)

演奏方法、ハーモニーパートに関係なく、自分の声の高さからわずかに音程をずらしたハーモニーが付きます。

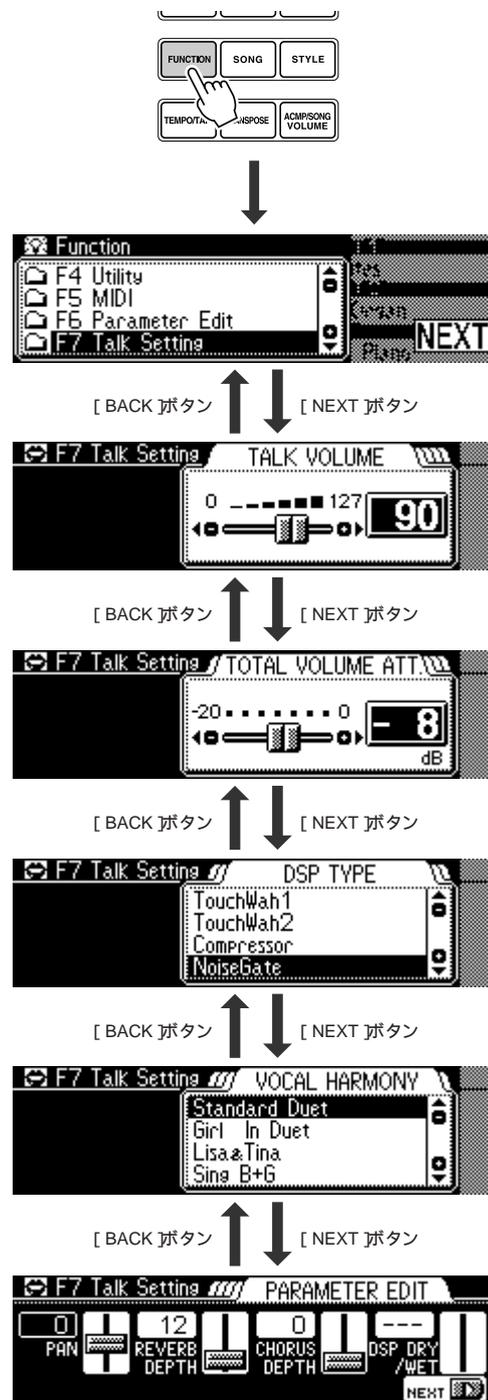
メモ

ボークルハーモニーデータが入っているソングを選ぶと、ボークルハーモニータイプは自動的に選ばれますが、ここでボークルハーモニータイプをパネル操作で選ぶと、選んだボークルハーモニータイプが有効になり、ソングデータ内のボークルハーモニーデータの内容は無効になります。

トークセッティング

VOCAL HARMONYの[TALK]ボタンをオンにすることで呼び出される設定です。

- 1** ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2** トークセッティング
「Talk Setting」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
- 3** トークボリュームを調整します。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
- 4** トータルボリュームを調整します。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
- 5** DSPタイプを選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
- 6** ボーカルハーモニータイプを選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
- 7** パン、リバーブデプス、コーラスデプス、DSPドライ/ウェットを調整します。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



各パラメーターについて説明します。

トークボリューム

マイク入力した声の音量(ボリューム)を0~127の範囲で調整します。

トータルボリューム

マイク入力した音声を除くPSR-740全体の音量(ボリューム)を-20dB~0dBの範囲で調整します。

DSP4タイプ

マイク入力音専用のDSPタイプ(DSP4タイプ)を選択します。

DSP4タイプはMulti Effect(マルチエフェクト)画面でも設定できます。TALKボタンをオンにした場合は、こちらの設定が呼び出され、オフにするとMulti Effect(マルチエフェクト)画面での設定に戻ります。

ボーカルハーモニータイプ

85ページで説明したボーカルハーモニータイプと同じものです。

TALKボタンをオンにした場合は、こちらの設定が呼び出され、オフにすると85ページで説明した画面での設定に戻ります。

パン、リバーブデプス、コーラスデプス、DSPドライ/ウェットの設定

パン、リバーブデプス、コーラスデプスについては、パラメーターエディットでの設定と同じです。TALKボタンをオンにした場合は、こちらの設定が呼び出され、オフにするとパラメーターエディットでの設定に戻ります。

DSPドライ/ウェットは上記のボーカルハーモニー専用のDSPの効果の深さを設定します。

各パートの設定をしましょう

ボイスチェンジ ミキサー パラメーターエディット
VOICE CHANGE / MIXER / PARAMETER EDIT

PSR-740/640では、手弾きの鍵盤演奏の他にも自動伴奏やソングなど多くのパートが演奏をします。

スタイルモードの場合

	パート名	
鍵盤演奏	ボイスR1	VOICE R1
	ボイスR2	VOICE R2
	ボイスL	VOICE L
自動伴奏	リズム サブ	RHYTHM SUB
	リズム メイン	RHYTHM MAIN
	ベース	BASS
	コード1	CHORD1
	コード2	CHORD2
	パッド	PAD
	フレーズ1	PHRASE1
	フレーズ2	PHRASE2
ボーカルハーモニー (PSR-740)	マイク	MIC
	ハーモニー	HARMONY

ソングモードの場合

	パート名	
鍵盤演奏	ボイスR1	VOICE R1
	ボイスR2	VOICE R2
	ボイスL	VOICE L
ソング	トラック1	TRACK1
	トラック2	TRACK2
	トラック3	TRACK3
	トラック4	TRACK4
	・	・
	・	・
	トラック15	TRACK15
	トラック16	TRACK16
ボーカルハーモニー (PSR-740)	マイク	MIC
	ハーモニー	HARMONY

これらの各パートについて、

- ボイスチェンジ機能で各パートのボイス(音色)を変更できます。 89ページ
- ミキサー機能で各パートのボリュームを変更し、パート間のバランス調整ができます。 90ページ
- それ以外にも、以下のようなパラメーター設定ができます。(パラメーターエディット) 91ページ
 - ・オクターブ
 - ・パン(ステレオでの音の定位)
 - ・リバーブデプス(リバーブ効果の深さ)
 - ・コーラスデプス(コーラス効果の深さ)
 - ・DSPデプス(DSP効果の深さ)(PSR-640)

各パートで設定できるパラメーターをまとめると以下のようになります。

パラメーター一覧

パラメーター	鍵盤演奏 ボイス R1, R2, L	自動伴奏 スタイル	ソング	ボーカル ハーモニー (PSR-740)	設定範囲	設定する機能名
ボイスナンバー					ボイスリスト参照 (140ページ)	ボイスチェンジ
ボリューム					0~127	ミキサー
オクターブ					-2~2	パラメーターエディット
パン					-64~63	パラメーターエディット
リバーブデプス(深さ)					0~127	パラメーターエディット
コーラスデプス(深さ)					0~127	パラメーターエディット
DSPデプス(深さ)(PSR-640)					0~127	パラメーターエディット

メモ

鍵盤演奏(ボイスR1, R2, L)

DSPタイプにインサージョンエフェクト(54ページ)が選ばれている場合、DSP効果はボイスR1にだけかかりますので、ボイスR2/LのDSPデプスは変更できません。またインサージョンエフェクトタイプの中にはボイスR1でもデプスを変更できない場合があります。(PSR-640)

電源を切ったり、パート設定の終了後にボイスR1で別のパネルボイスを選んだり、レジストレーションメモリーを呼び出したりすると、鍵盤演奏のパートの設定は失われます。パート設定を保存しておきたい場合レジストレーションメモリー(62ページ)に記憶しておきましょう。

ソング

パート設定したいソングは各画面に入る前に選んでください。

電源を切ったり、パート設定の終了後に別のソングを選んだりスタイルモードに移ると、ソングのパート設定は失われます。ディスクソングのデータを書きかえたい場合は、録音モードに入ってエディットしてください。(92ページ)

自動伴奏スタイル

RHYTHM MAIN(リズムメイン)トラックではドラムキット(31ページ)以外のボイスは選べません。

RHYTHM SUB(リズムサブ)トラックではすべてのボイスを選べますが、自動伴奏演奏時にコード変換されません。

パート設定したいスタイルは各画面に入る前に選んでください。

自動伴奏を演奏しながらパート設定することもできます。

スタイルのパート設定は、すべてのセクションに共通になります。

電源を切ったり、パート設定の終了後に別のスタイルを選んだり、レジストレーションメモリーを呼び出したりすると、スタイルのパート設定は失われます。パートの設定を保存しておきたい場合はレジストレーションメモリー(62ページ)に記憶しておきましょう。また、設定した内容をユーザースタイルのデータとして保存(録音)しておくこともできます。

各パートのボイスを変更する

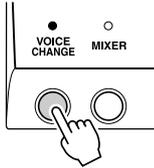
ボイスチェンジ
VOICE CHANGE

鍵盤演奏で使うボイス(R1, R2, L)だけでなく、自動伴奏やソングの各トラックのボイスを変更することができます。

1

ボイスチェンジ

[VOICE CHANGE] ボタンを押します。



2

ボイス変更したいパートを選びます。

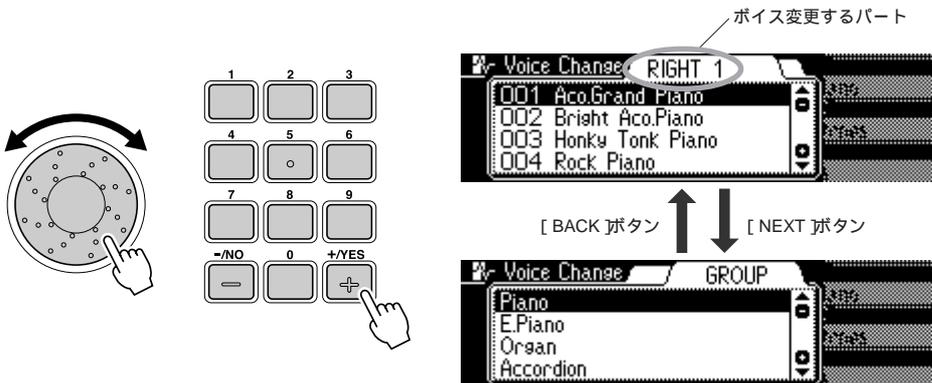
以下のとおり、ボタンを押して選んでください。

鍵盤演奏 PART ON/OFF [VOICE R1] [VOICE R2] [VOICE L] ボタン
 自動伴奏トラック [TRACK9] ~ [TRACK16] ボタン (スタイルモードの場合)
 ソングトラック [TRACK1] ~ [TRACK16] ボタン (ソングモードの場合)

3

ボイスを変更します。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
 パネル上のボイスリストや巻末のボイスリスト (140 ページ) を参照してください。



4

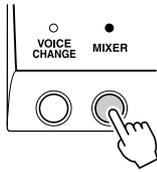
エグジット

[EXIT] ボタンを押して、ボイスチェンジ画面を抜けます。

各パートの音量を変更してバランスをとる

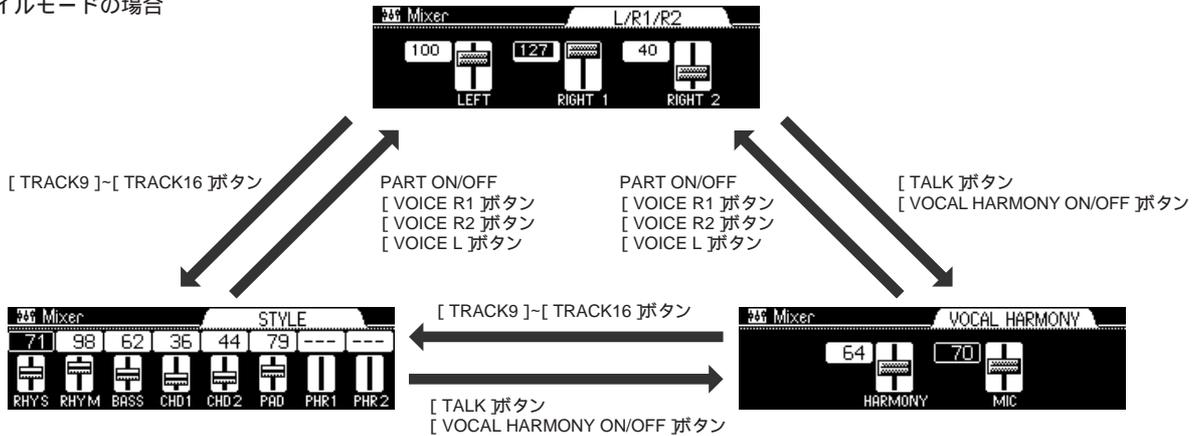
ミキサー
MIXER

- 1 ミキサー
[MIXER] ボタンを押します。
[MIXER] ボタンのランプが点灯します。

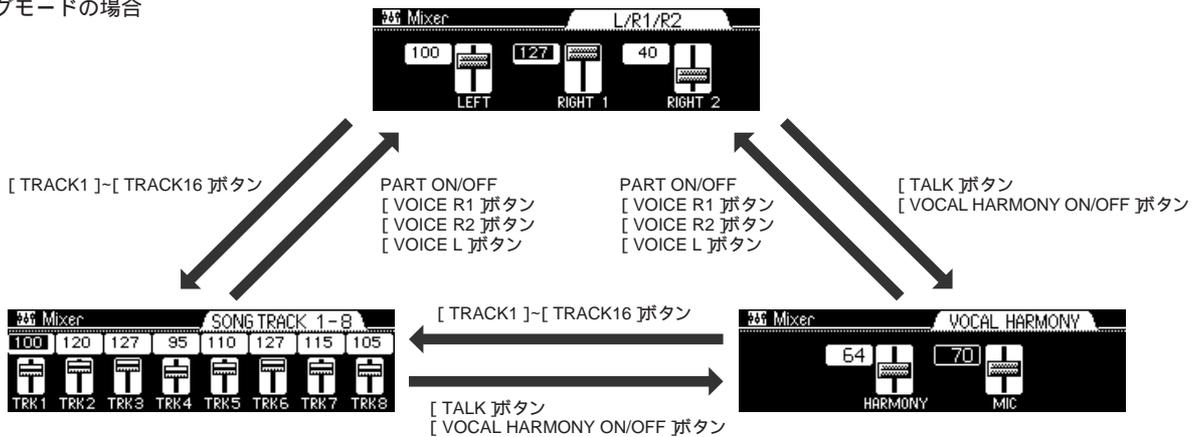


- 2 各画面でボリューム調整をします。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。
画面の切り替えかたは以下のイラストを参照してください。

スタイルモードの場合



ソングモードの場合



- 3 エグジット
[EXIT] ボタンを押すと、ミキサー画面を抜けます。

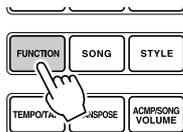
各パートのパラメーターを変更する

パラメーターエディット
Parameter Edit

1

ファンクション

[FUNCTION] ボタンを押します。



2

パラメーターエディット

メニューの中から「Parameter Edit」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



3

ネクスト

パラメーターエディット

[NEXT] ボタンを押して、Parameter Edit画面にします。

4

各画面でパラメーター値を調整をします。

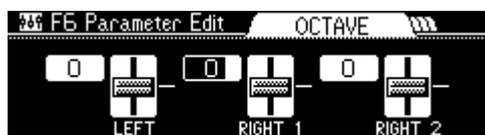
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

パートの切り替えはミキサーの場合と同じです。

パラメーター画面は下記の図のように [NEXT] ボタン、[BACK] ボタンで切り替えてください。

メモ

オクターブとパンを設定する場合、[- / NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定できます。



[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン



[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン



[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン



[BACK] ボタン ↑ ↓ [NEXT] ボタン



(PSR-640のみ)

演奏を録音しましょう(ソング録音)

レコード
RECORD

ユーザーソング(User Song)として、フロッピーディスクに自分の演奏を録音することができます。

ユーザーソングは16トラックに、鍵盤演奏(R1, R2, L)だけでなく、自動伴奏の演奏やボーカルハーモニー(PSR-740のみ 82ページ)の設定も録音できます。

メモ

ユーザーソングは、フロッピーディスクに録音します。フロッピーディスクが挿入されていない場合は録音できません。

PSR-740/640の録音方法には、「クイック録音」と「マルチトラック録音」の2種類があります。また、録音したソングのデータを後から編集する機能もあります。

クイック録音(QUICK) 94ページ

細かい設定をすることなく、簡単に録音する方法です。

マルチトラック録音(MULTI TRACK) 96ページ

トラックごとに録音パートを設定してから録音する方法です。

また、一度録音したソングを部分的に録音し直す方法もあります。

パンチイン/アウト パンチインに指定した小節 ~ パンチアウトに指定した小節までの録音をやりなおします。 98ページ

スタートメジャー 録音をスタートする小節(メジャー)を設定します。 98ページ

編集(エディット) EDIT) 100ページ

録音したソングのデータを後から編集する機能です。以下の4つの機能があります。

クオンタイズ 録音したノートデータ(音符)のタイミングを揃えます。 100ページ

セットアップデータ ノートデータ(音符)以外のデータを編集します。 102ページ

ネーム 録音したソングに名前(12文字以内)をつけます。 104ページ

クリア ソングの一部または全部をクリア(消去)します。 105ページ

録音したユーザーソングは内蔵のデモソングやディスクソングと同じように鳴らすことができます。

ユーザーソングに録音できる演奏データ

・ テンポ	38
・ 拍子	16
・ 自動伴奏スタイルナンバー	34
・ 自動伴奏セクションの変更、およびそのタイミング	36
・ 自動伴奏コードの変更、およびそのタイミング	40
・ 自動伴奏ボリューム	39
・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)	122
・ ベロシティ(押鍵の強弱)	122
・ ピッチベンド操作、およびピッチベンドレンジ	30, 139
・ モジュレーションホイール操作 (モジュレーション、ブライツネス、レゾナンス)(PSR-740)	30, 139
・ フットスイッチ操作(サステイン、ソステヌート、ソフト)	12
・ フットボリューム操作(エクスプレッション)	12
・ ボイスチェンジの設定	89
・ ミキサーの設定	90
・ パラメーターエディットの設定	91
・ リバーブタイプ、および設定	50
・ コーラスタイプ、および設定	52
・ DSP(FAST/SLOW含む)オン/オフ、およびタイプ(PSR-640)	53
・ DSP1 ~ 3(FAST/SLOW含む)オン/オフ、およびタイプ、設定(PSR-740)	54
・ ハーモニー/エコーのオン/オフ、およびタイプ	56
・ スケールチューニング	135
・ サステインオン/オフ	31
・ ボーカルハーモニーの設定(PSR-740)	82
・ オルガンフルートの設定(PSR-740)	32

メモ

PSR-740/640で録音したソングは、SMF(スタンダードMIDIファイルフォーマット0)になります。SMFについては125ページを参照してください。

ノートオン/オフや、ベロシティを録音できるということは、鍵盤演奏はもちろんだ、フォルテやピアノ、クレッシェンドやデクレッシェンドなど細やかな演奏表現を、そのまま録音できるということです。

ノートオンは「鍵盤を押す」、ノートオフは「鍵盤を離す」、ベロシティは「鍵盤を押す強弱」というMIDIデータ(演奏情報)です。(122ページ)

ソングメモリーの容量は、2DDディスク = 約65,000音、2HDディスク = 約130,000音です。

ユーザーソングのトラック構成

ユーザーソングに録音できるトラックは以下のような構成になっています。

トラック	設定できるパート/トラック	初期設定パート
1	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R1
2	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R2
3	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE L
4	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R1
5	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R1
6	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R1
7	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R1
8	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	VOICE R1
9	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) RHYTHM SUB
10	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) RHYTHM MAIN
11	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) BASS
12	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) CHORD1
13	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) CHORD2
14	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) PAD
15	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) PHRASE1
16	VOICE R1, R2, L, 自動伴奏, Vocal Harmony	自動伴奏(ACCOMPANIMENT) PHRASE2

PSR-740/640の録音方法には、「クイック録音」と「マルチトラック録音」の2種類があります。

マルチトラック録音は、上記のトラック構成を設定してから録音する方式です。同時に複数トラックの録音が可能です。また、一度録音したデータで録音し直したり、録音していないトラックに追加録音することができます。

クイック録音は、上記のトラック構成を気にすることなく簡単に録音する方式です。以下のルールで録音されます。

- ・録音方法が「MELODY」(メロディ)の場合
トラック1～3に、鍵盤演奏(VOICE R1, R2, L)が録音されます。
- ・録音方法が「ACMP」(自動伴奏)の場合
トラック9～16に、自動伴奏の演奏が録音されます。
- ・録音方法が「MELODY+ACMP」(メロディ+自動伴奏)の場合
トラック1～2に鍵盤演奏(VOICE R1, R2)が、トラック9～16に自動伴奏の演奏が録音されます。

クイック録音、マルチトラック録音は録音方法は違いますが、録音されるデータフォーマットは同じです。したがって、クイック録音で録音したユーザーソングを後で録音し直したい場合にマルチトラック録音を使うこともできます。

メモ

録音のときに知っておくと便利なポイントや注意点を説明します。

メトロノームの設定(134ページ)をオンしておけば、録音待機状態や録音中にメトロノーム音が鳴ります。自動伴奏を使わない録音をする場合は便利です。

録音中にレジストレーションメモリーを使えば、ボイスなどいろいろな設定をワンタッチで呼び出せるので、便利です。なお、録音モードに入るとレジストレーションメモリーのフリーズ設定が自動的にオンになります。(オフにできません。)

録音モードに入るとシンクロストップ(43ページ)は自動的にオフになり、使えません。

すでに録音済みのトラックを録音する場合、録音をスタートすると、そのトラックに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

別売のディスクソフトでライトプロテクトのかかっていないソングファイルを選んで、録音(エディット)することもできます。ソングファイルがPSR-740/640ユーザーソング用フォーマットと違う場合、ソングファイルを選んだ時に、データ変換をするかどうかの確認メッセージが操作画面に表示されます。この時[+/YES]ボタンを押すと、選ばれたソングファイルをPSR-740/640ユーザーソング用のフォーマットに変換する作業が始まります。データ変換終了後、録音できるようになります。

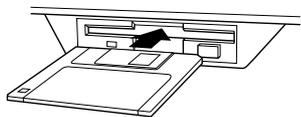
録音途中にディスク容量がいっぱいになると、録音は自動的にストップします。

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、ソングデータが失われますのでご注意ください。

クイック録音

クイック
Quick

- 1** 空のフロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。

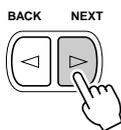


- 2** ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。



- 3** ^{ソング} 「Song」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

- 4** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



- 5** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



- 6** ^{クイック} 「Quick」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

- 7** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



- 8** 演奏方法を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

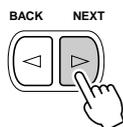
- MELODY 自動伴奏を使わずに、メロディ演奏(ボイスR1/R2/L)を録音します。
- ACMP 自動伴奏だけを録音します。この方法を選ぶと自動的に自動伴奏オンになります。
- MELODY + ACMP 自動伴奏を使ったメロディ演奏(ボイスR1/R2)を録音します。この方法を選ぶと自動的に自動伴奏オンになります。

9

ネクスト

[NEXT] ボタンを押し、録音待機画面に移ります。

[SYNC START] ボタンのランプが点灯し、ビートランプがテンポに合わせて点滅します。この状態をシンクロ待機状態 (35 ページ) といいます。



10

演奏しましょう。(= 録音スタート)

手順5で「MELODY」または「MELODY + ACMP」を選んだ場合
鍵盤を弾くと、録音がスタートします。

手順5で「ACMP」を選んだ場合

スプリットポイントより左側の自動伴奏コード鍵域でコードを押すと、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

[START/STOP] ボタンで録音をスタートすることもできます。

メモ

録音がスタートすると、自動伴奏のオン/オフの切り替えはできません。



11

録音をストップします。

手順5で「MELODY」を選んだ場合

[START/STOP] ボタンを押してください。

手順5で「ACMP」または「MELODY + ACMP」を選んだ場合

[START/STOP] ボタンを押してください。

また、エンディングを再生して自動伴奏を終了させると録音もストップします。



12

演奏をディスクにセーブ(保存)するかどうかを選びます。

録音しなおしたい場合

[- / NO] ボタンを押してください。TRACK SELECT (トラック選択) 画面に戻りますので、手順8から、やりなおしてください。

ディスクにセーブ(保存)したい場合

[+ / YES] ボタンを押してください。



データのセーブ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。



13

レコード

[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。



マルチトラック録音

1~3 「クイック録音」と同じ手順です。(94ページ)

4 ネクスト
[NEXT]ボタンを押します。



5 ネクスト
[NEXT]ボタンを押します。



6 マルチトラック
「Multi Track」を選びます。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

7 ネクスト パート
[NEXT]ボタンを3回押し、PART設定画面に移ります。



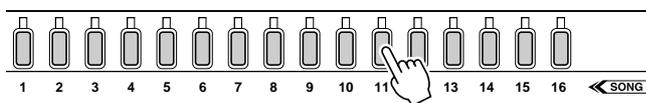
メモ

PUNCH IN/OUT(パンチイン/アウト)、およびスタートメジャーについては98ページを参照してください。

8 各トラックに録音設定をします。

1)トラックを選びます。

[TRACK1]~[TRACK16]のいずれかのボタンを押してください。



メモ

トラックの構成については、93ページを参照してください。

自動伴奏を録音したい場合はACMPボタンをオンにしてください。

複数のトラックに同じパートを設定できません。

2)そのトラックに割り当てるパートを設定します。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



[BACK]ボタン ↑ ↓ [NEXT]ボタン

3)そのトラックに録音する場合は「REC」に設定します。

ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



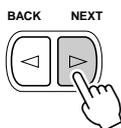
1)~3)の操作をくり返して各トラックに必要な設定をしてください。

9

ネクスト

[NEXT] ボタンを押し、リハーサル画面に移ります。

この画面のときに、ボイスやスタイルなどの設定ができます。
設定終了後に [EXIT] ボタンを押すと、この画面に戻ります。



10

ネクスト

[NEXT] ボタンを押し、録音待機画面に移ります。

[SYNC START] ボタンのランプが点灯し、ビートランプがテンポに合わせて点滅します。この状態をシンクロ待機状態といいます。



11

演奏しましょう。(= 録音スタート)

鍵盤を弾くと録音がスタートします。

手順7~9で自動伴奏トラックも録音に設定した場合は、スプリットポイントより左側の自動伴奏コード鍵域でコードを押すと、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

[START/STOP] ボタンで録音をスタートすることもできます。

メモ

録音がスタートすると、自動伴奏のオン/オフの切り替えはできません。



12

録音をストップします。

[START/STOP] ボタンを押してください。

手順8で自動伴奏トラックも録音に設定した場合は、エンディングを再生して自動伴奏を終了させると、録音もストップします。



13

演奏をディスクにセーブ(保存)します。

録音しなおしたい場合は、[- / NO] ボタンを押してください。パート設定画面に戻りますので、手順8から、やりなおしてください。

ディスクにセーブ(保存)したい場合は、[+ / YES] ボタンを押してください。



データのセーブ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。



14

レコード

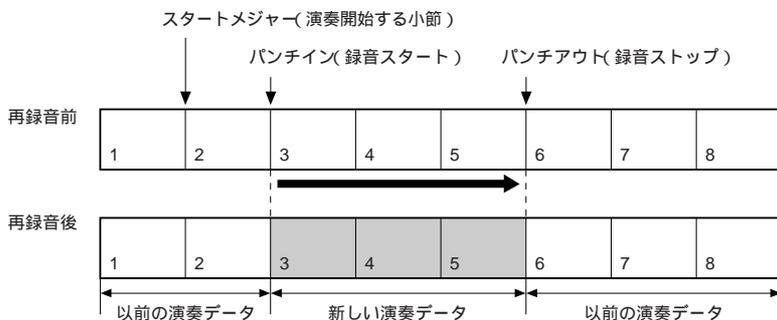
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

部分的に録音をやり直す(パンチイン/アウト録音)

パンチイン/アウト スタートメジャー
PUNCH IN/OUT / START MEASURE

一度録音した曲(ソング)を部分的に録音し直す方法を説明します。

たとえば、8小節のソングの中で3小節~5小節の間を録音し直したい場合は以下ようになります。



1 フロッピーディスクをディスク挿入口に入れます。

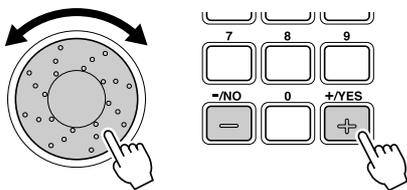
2 レコード [RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。



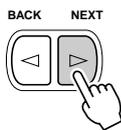
3 ソング 「Song」を選びます。

4 ネクスト [NEXT] ボタンを押して、ソングファイル選択画面にします。

5 録音をやりなおしたいソングファイルを選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



6 ネクスト [NEXT] ボタンを押します。



7 マルチトラック 「Multi Track」を選びます。
ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

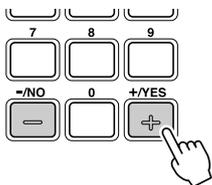
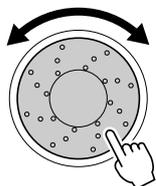
8

ネクスト [NEXT] ボタンを押し、パンチイン/アウト設定画面に移ります。

9

オン 「ON」を選びます。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。



10

ネクスト [NEXT] ボタンを押し、PUNCH IN/OUTの小節を設定する画面に移ります。

11

パンチイン PUNCH INの小節と、パンチアウト PUNCH OUTの小節を設定します。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

[NEXT] ボタンでPUNCH OUT PUNCH OUTへカーソルが移動します。

[BACK] ボタンでPUNCH IN PUNCH INへカーソルが移動します。

メモ

パンチアウトの小節ナンバーは、パンチインの小節ナンバーより小さく設定できません。



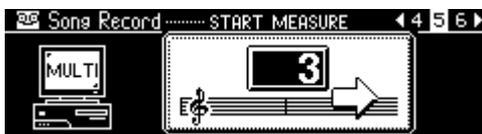
12

ネクスト [NEXT] ボタンを押し、START MEASURE設定画面に移ります。

13

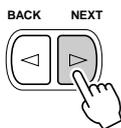
スタートメジャー(演奏をスタートする小節)を設定します。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。



14

ネクスト [NEXT] ボタンを押し、PART設定画面に移ります。



メモ

自動伴奏トラックやボーカルハーモニーパート(PSR-740)はパンチイン/アウト録音ができません。

15

「マルチトラック録音(96ページ)の手順7以降の操作をしてください。

メモ

録音中、TRACKボタンを押して、他の録音済みのトラックの再生をオン/オフすることができます。

録音データのタイミングのばらつきを整える

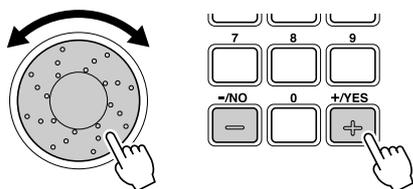
クオンタイズ
Quantize

たとえば、以下のような4拍子のフレーズを録音したとします。



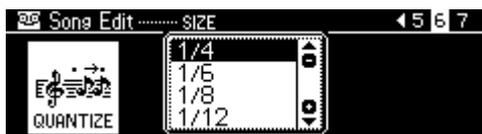
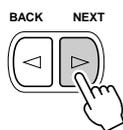
演奏しているときは、正確に弾いているつもりでも、タイミングが微妙に遅れたり早かったりする場合もあります。クオンタイズはそういった微妙な「ずれ」を補正してデータを書き直す機能です。

1~4 「部分的に録音をやり直す」(98ページ)と同じです。

5 クオンタイズをかけたいソングファイルを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。6 ネクスト
[NEXT]ボタンを押します。7 エディット
「Edit」を選びます。8 ネクスト
[NEXT]ボタンを押します。9 クオンタイズ
「Quantize」を選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。10 ネクスト
[NEXT]ボタンを押して、トラック選択画面にします。11 クオンタイズをかけたいトラックを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

12

ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



13

クオンタイズのサイズ(分解能)を選びます。

ダイヤル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
クオンタイズサイズはそのトラックで使用されている最小の音符に合わせて設定してください。たとえば、4分音符と8分音符が録音されているデータは、クオンタイズサイズ「1/8」でクオンタイズしてください。これを「1/4」でクオンタイズすると8分音符は、4分音符上に移動してしまいます。

クオンタイズサイズ一覧

サイズ	音符
1/4	4分音符
1/6	3連4分音符
1/8	8分音符
1/12	3連8分音符
1/16	16分音符
1/24	3連16分音符
1/32	32分音符

クオンタイズする前の音符の状態

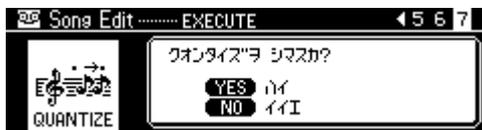


クオンタイズ値「8」でクオンタイズした後の音符の状態



14

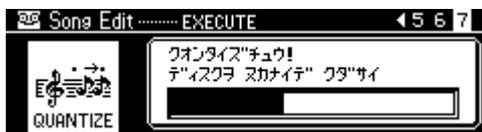
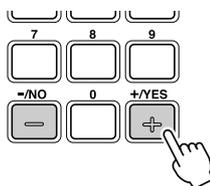
ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、クオンタイズ実行画面に移ります。



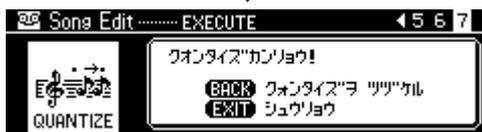
15

[+ /YES] ボタンを押してクオンタイズを実行します。

クオンタイズを取り止める場合は [- /NO] ボタンを押してください。



クオンタイズが完了すると...



クオンタイズ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出した
り、電源を切ったりしないでください。

16

レコード
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。



録音したソングのボイスデータを書き替える

セットアップデータ
Setup Data

録音したソングデータの各トラックでのボイスデータ(セットアップデータ)を変更することができます。変更できるパラメーターは以下のとおりです。

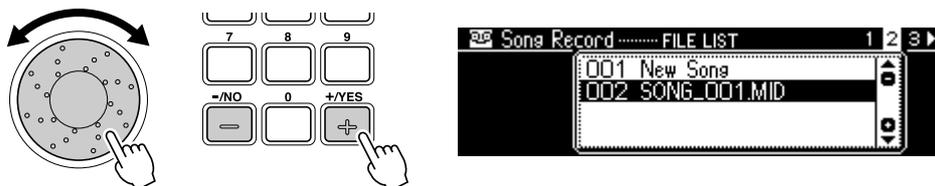
- ボイス 各トラックのボイス(音色)を変更します。
- ボリューム 各トラックのボリューム(音量)を変更し、トラック間のバランスを調整します。
- オクターブ 各トラックのノートデータのオクターブを変更します。
- パン 各トラックのパン(音の定位)を変更します。
- リバーブデプス リバーブ効果の深さ(デプス)を変更します。
- コーラスデプス コーラス効果の深さ(デプス)を変更します。
- DSPデプス DSP効果の深さ(デプス)を変更します。

メモ

セットアップデータの設定は、1トラックにつき1パラメーターだけ記録できます。曲途中のデータは失われます。ただしボリュームだけは曲途中のデータに対するオフセット値として設定されるので、曲途中のデータが失われることはありません。

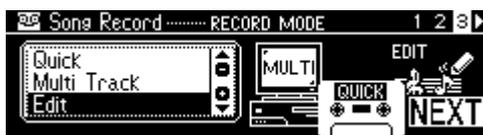
1~4 「部分的に録音をやり直す(98ページ)と同じです。

5 セットアップデータを変更したいソングファイルを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



6 ネクスト [NEXT]ボタンを押し、レコードモード RECORD MODE(= 録音モード)選択画面に移ります。

7 エディット 「Edit (= 編集)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



8 ネクスト [NEXT]ボタンを押します。

9 セットアップデータ 「Setup Data」を選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

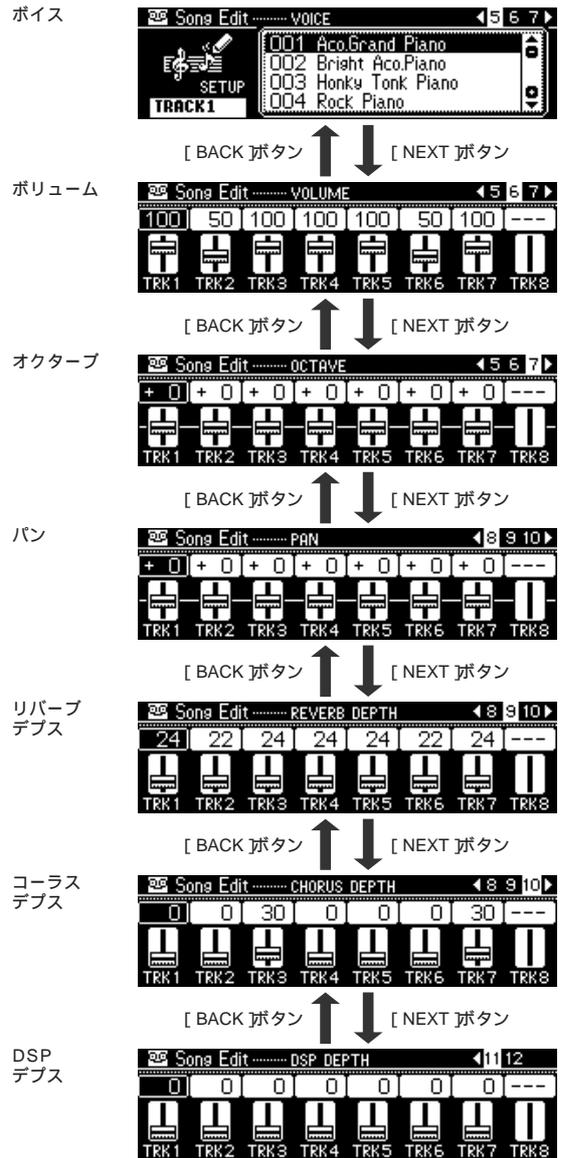


10 ネクスト [NEXT]ボタンを押して、セットアップ SETUP画面にします。

11

セットアップデータを編集します。

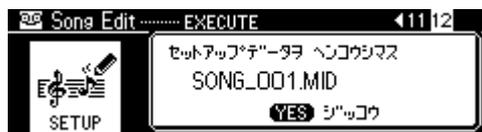
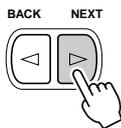
画面どうしの切り替えには NEXT ボタン、[BACK ボタンを押してください。また、各画面での設定では、ダイヤル、[+/YES ボタン、[-/NO ボタンを使ってください。また、トラックの選択は [TRACK1]~[TRACK16 ボタンを押してください。



12

ネクスト

[NEXT] ボタンを押して、データ保存画面に移ります。

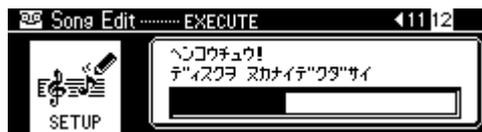
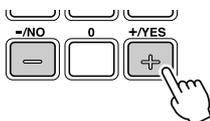


13

変更した設定をディスクにセーブ(保存)します。

編集しなおしたい場合は、[-/NO ボタンを押してください。編集画面に戻りますので、手順11から、やりなおしてください。

ディスクにセーブ(保存)したい場合は、[+/YES ボタンを押してください。



セーブが完了すると...



データのセーブ実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出ししたり、電源を切ったりしないでください。

14

レコード

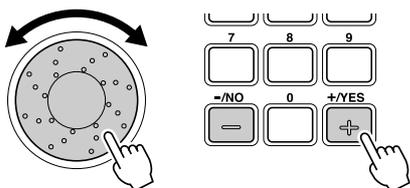
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したソングに名前をつける

ネーム
Name

1~4 「部分的に録音をやり直す」(98ページ)と同じです。

5 ソング名を変更したいソングファイルを選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。



6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



7 ^{エディット} 「Edit (= 編集)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



9 ^{ネーム} 「Name (= 名前)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して ^{ネーム} NAME画面にします。



11 名前をつけます。

鍵盤を使ってください。(21ページ)
名前は12文字以内です。

12 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。

録音したソングをトラック別に消去する

クリア
Clear

1~4 「部分的に録音をやり直す(98ページ)と同じです。

5 トラックを消去(クリア)したいソングファイルを選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

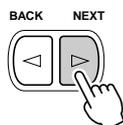
6 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、^{レコードモード} RECORD MODE (= 録音モード) 選択画面にします。

7 ^{エディット} 「Edit (= 編集) を選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

8 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押し、^{ソングエディット} Song Edit画面にします。

9 ^{クリア} 「Clear (= 消去) を選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。

10 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



11 クリアするトラックを選びます。
ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使ってください。
「ALL TRACKS」を選ぶとソング全体をクリアすることになります。

12 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



13 [+ /YES] ボタンを押してクリアを実行します。
クリアを取り止める場合は [- /NO] ボタンを押してください。



14 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。



クリアの実行中は、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

マルチパッドに録音しましょう

レコード
RECORD

ユーザーパッド (User Pad) として、マルチパッドバンクナンバー 37 ~ 40 に 4 個ずつ、合計 16 個のオリジナルパッドを作ることができます。

作った (録音した) マルチパッドは内蔵のマルチパッドと同じよう鳴らすことができます。

ユーザーパッドは本体メモリーに録音されますが、録音後にフロッピーディスクにセーブ/ロードして管理できます。

ユーザーパッドは、1トラックに鍵盤演奏 (R1) を録音し、コードマッチ (48ページ) もデータとして録音できます。

パッドに録音する	106ページ
録音したパッドのコードマッチを設定する	108ページ
録音したパッドのバンクに名前をつける	108ページ
録音したパッドをクリア (消去) する	109ページ

ユーザーパッドに録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ (押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ (押鍵の強弱)
- ・ ピッチベンド操作、およびピッチベンドレンジ
- ・ サステインボタンオン/オフ
- ・ モジュレーションホイール操作 (モジュレーション、ブライトネス、レゾナンス) (PSR-740)
- ・ フットボリューム操作 (エクスプレッション)
- ・ フットスイッチ操作 (サステイン、ソステヌート、ソフト)
- ・ ボイスチェンジの設定
- ・ ミキサーの設定
- ・ パラメーターエディットの設定

ユーザーパッドのメモリー容量は、1パッドにつき約 2,000音です。

メモ

ユーザーパッドは、ボイスR1の鍵盤演奏で録音します。ボイスR2、ボイスLや自動伴奏は使えません。

STANDBYスイッチをオフにして電源を切っても、アダプターが接続されていれば、ユーザーパッドの録音データは保持されます。(159ページ)しかし、ユーザーパッドの録音データをライブラリーとして保存するためにも、フロッピーディスクに保存することをおすすめします。(65ページ)

ユーザーパッドに録音する

ユーザーパッド
User Pad

1

レコード

[RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。



メモ

録音のときに知っておくと便利なポイントや注意点を説明します。

メトロノームの設定 (134ページ) をオンしておけば、録音待機状態や録音中にメトロノーム音が鳴り、便利です。

録音中にレジストレーションメモリーを使えば、ボイスなどいろいろな設定をワンタッチで呼び出せるので、便利です。なお、録音モードに入るとレジストレーションメモリーのフリーズ設定が自動的にオンになります。(オフにできません。)

すでに録音済みのパッドを録音する場合、録音をスタートすると、そのパッドに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

録音途中にPSR-740/640のメモリー容量がいっぱいになると、録音は自動的にストップします。

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、マルチパッドデータが失われますのでご注意ください。

2

マルチパッド

「Multi Pad」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



3

ネクスト

[NEXT] ボタンを押して、パッドバンク選択画面にします。

4

録音するユーザーパッドのバンクを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



6 レコード
「Record (= 録音) を選びます。

7 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



8 録音するパッドナンバーを選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

9 ネクスト
[NEXT] ボタンを押し、リハーサル画面に移ります。

この画面のときに、ボイスなどの設定ができます。
設定終了後に [EXIT] ボタンを押すと、この画面に戻ります。



10 ネクスト
[NEXT] ボタンを押し、録音待機画面に移ります。

[SYNC START] ボタンのランプが点灯し、ビートランプがテンポに合わせて点滅します。この状態をシンクロ待機状態(35ページ)といいます。



11 演奏しましょう。(= 録音スタート)

鍵盤を弾くと録音が始まります。

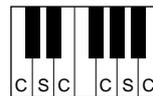
[START/STOP] ボタンで録音をスタートすることもできます。



録音したパッドデータをコードマッチオンの状態で再生させたい場合は、右記イラストのスケールノート(C, S)を使って録音してください。

コードマッチをオンに設定した場合、マルチパッドデータはここで録音したデータを元(ソース)として、左手鍵域でのコード押鍵に従って音程変換された音が鳴ります。音程変換の基本となるコードをソースコードといい、マルチパッドの録音ではソースコードは「CM7」になっています。

[使用できる鍵盤...C, D, E, G, A, B]



C = コードノート
C, S = スケールノート

12 スタート/ストップ
[START/STOP] ボタンを押して録音をストップします。

13 レコード
[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

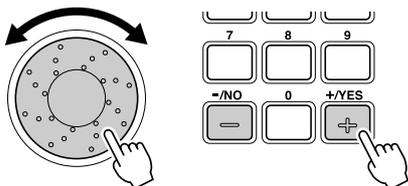
録音したパッドのコードマッチを設定する

コードマッチ
Chord Match

1~5 「ユーザーパッドに録音する」と同じ操作です。

6 ^{エディット} 「Edit (=編集) を選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



8 ^{コードマッチ} 「Chord Match」を選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



10 ^{オン/オフ} ON/OFF を設定します。

ON/OFF (オン/オフ) の設定はダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

設定するパッドの切り替えは [NEXT] [BACK] ボタンを押してください。

11 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音したパッドのバンクに名前をつける

ネーム
Name

1~7 「録音したパッドのコードマッチを設定する」と同じ操作です。

8 ^{ネーム} 「Name (=名前) を選びます。

ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、^{ネーム} NAME画面にします。

- 10** 名前をつけます。
 鍵盤を使ってください。(21ページ)
 名前は12文字以内です。



- 11** ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。



録音したパッドをクリア(消去)する

クリア
Clear

- 1-7** 「録音したパッドのコードマッチを設定する」と同じ操作です。

- 8** ^{クリア} 「Clear (=消去) を選びます。
 ダイアル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。

- 9** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。

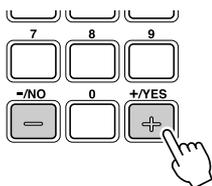


- 10** クリアしたいパッドを選びます。
 ダイアル、[+ /YES] ボタン、[- /NO] ボタンを使ってください。
 「ALL PADS」を選ぶと、4個のパッドデータがすべて消去されます。

- 11** ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



- 12** クリアを実行します。
 [+ /YES] ボタンを押してください。
 クリアを取り止める場合は [- /NO] ボタンを押してください。



- 13** ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。



自動伴奏スタイルを自分で作ってみましょう

ユーザースタイル(User Style)として、3個のオリジナルスタイルを作ることができます。
作った(録音した)スタイルは内蔵のスタイルと同じように鳴らすことができます。
ユーザースタイルはフロッピーディスクにセーブ/ロードして管理できます。(65ページ)

ユーザースタイルは内蔵のスタイルデータを基に作ります。内蔵のスタイルの中から自分の作りたいスタイルにもっとも近いイメージのスタイルを選び、各セクションの1トラックずつに伴奏パターンを録音し、スタイルを作りあげます。基本的な録音方法は以下の2つに分けられます。

- リズムトラックに録音する。 112ページ
- リズムトラック以外のトラックに録音する。 114ページ

録音したトラックのデータを後から編集することができます。

- クオンタイズ ... 録音したノートデータ(音符)のタイミングを揃えます。 116ページ
- ネーム 録音したスタイルに名前(16文字以内)をつけます。 118ページ
- クリア 録音したスタイルの一部または全部をクリア(消去)します。 118ページ
- CTAB 録音したスタイルを自動伴奏機能で演奏する際、左手鍵域でのコード押鍵に対してどのように音程変換して鳴らすかを定めるパラメーターです。 119ページ

ユーザースタイルのトラック構成

ユーザースタイルに録音できるトラックは以下のような構成になっています。
各セクションの1トラックずつに伴奏パターンを録音し、スタイルを作りあげます。

PSR-740		トラック			
COUNT	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
INTRO	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
INTRO	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN A	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN B	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN C	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN D	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN A	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN B	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN C	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN D	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
SIMPLE	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
ENDING	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
ENDING	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	

PSR-640		トラック			
INTRO	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN A	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN B	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN C	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
MAIN D	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN A	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN B	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN C	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
FILL IN D	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	
ENDING	RHYTHM SUB	CHORD1	PHRASE1	BASS	
	RHYTHM MAIN	CHORD2	PHRASE2	PAD	

PSR-740では96トラック(12セクション×8トラック)、PSR-640では80トラック(10セクション×8トラック)を1トラックずつ録音することになります。

ユーザースタイルに録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ(押鍵の強弱)
- ・ ピッチベンド操作
- ・ ピッチベンドレンジ
- ・ ボイスナンバー、ドラムキットナンバー(ボイスR1)*
- ・ ミキサーの設定(ボイスR1)*
- ・ パラメーターエディットの設定(ボイスR1)*
- ・ テンポ**
- ・ リバーブタイプ、および設定**
- ・ コーラスタイプ、および設定**
- ・ DSPタイプ、および設定**(PSR-740)
- ・ モジュレーションホイール操作(モジュレーション、ブライツネス、レゾナンス)(PSR-740)
- ・ フットボリューム操作(エクスペッション)

ユーザースタイルのメモリー容量は、1セクションにつき約1,950音、全体で約7,150音です。

*は、各セクションの各トラックに1つだけ録音できるものです。

**は、スタイルに1つだけ録音できるものです。

メモ

ユーザースタイルは、ボイスR1の鍵盤演奏で録音します。ボイスR2、ボイスLや自動伴奏は使えません。

STANDBYスイッチをオフにして電源を切っても、アダプターが接続されていれば、ユーザースタイルの録音データは保持されます。(159ページ)しかし、ユーザースタイルの録音データをライブラリーとして保存するためにも、フロッピーディスクに保存することをおすすめします。(65ページ)

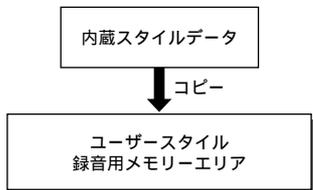
ユーザースタイルの録音上のポイント

ユーザーソングは、PSR-740/640の演奏をそのままMIDIデータとして録音するものですが、ユーザースタイルは録音方法がソングとは違います。以下にその違いをまとめます。

ループ方式の録音であること
自動伴奏は数小節の伴奏パターンの演奏をくり返す(ループ)ものですが、録音も同じようにループ方式になります。たとえば2小節のメインセクションの録音をスタートさせると、2小節の録音が何回もくり返されます。一度録音したデータはその次の「ループ」からは演奏されますので、耳で録音データの確認ができます。

オーバーダブ方式の録音であること
オーバーダブとは、一度録音したトラックに、元のデータを消さずに重ねて録音する方法のことです。スタイル録音では、クリア(118ページ)やドラムキャンセル(113ページ)の機能を使わない限り、一度録音したデータが消えることはありません。たとえば2小節のメインセクションの録音をスタートさせると、2小節の録音が何回もくり返されます。一度録音したデータはその次の「ループ」からは演奏されます。その録音データを耳で確認しながら、さらに重ねて新しいノートデータを録音していく方式です。

内蔵のスタイルデータを基にして作る方式であること



左図のように、内蔵スタイルの中から作りたいスタイルのイメージに最も近いものを選び、録音用のメモリーエリアへ内蔵スタイルデータがコピーされます。このメモリーエリアにコピーされたスタイルに対して、データを追加したり不要なデータを削除したりして、録音作業をすることになります。

リズムトラック以外のトラックは、まずクリアしてから録音します。

メモ

録音のときを知っておくと便利なポイントや注意点を説明します。

新規にユーザースタイルを録音する場合は、録音スタートする前に、ユーザースタイル3個のうち1個は空(クリアした状態)にしておいてください。3個とも録音されている場合、録音をスタートできません。

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、録音中のスタイルデータが失われますのでご注意ください。

録音中にレジストレーションメモリーを使えば、ボイスなどいろいろな設定をワンタッチで呼び出せるので、便利です。なお、録音モードに入るとレジストレーションメモリーのフリーズ設定が自動的にオンになります。(オフにはできません。)

メトロノームの設定(134ページ)をオンにしておけば、録音待機状態や録音中にメトロノーム音が鳴り、便利です。

録音したトラックのボイスデータだけを変更したい場合は、録音待機中にミキサー(90ページ)、パラメーターエディット(91ページ)を使って設定してください。

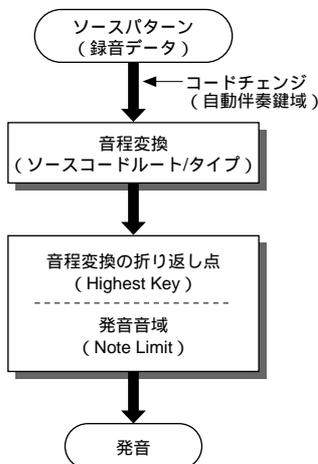
録音途中にPSR-740/640のメモリー容量がいっぱいになると、録音は自動的にストップします。

録音は小節単位で行われます。各セクションの小節数は変更できませんので、あらかじめ録音したい小節数のセクションを持った自動伴奏スタイルを選択してください。

作りたいスタイルのイメージに近いものが、内蔵スタイルにない場合は、拍子や小節数が作りたいスタイルと同じ内蔵スタイルを選び、全トラックデータを消去(クリア)してから、録音するとよいでしょう。

スタイルファイルフォーマットのしくみ

スタイルファイルフォーマット(SFF: Style File Format)とは、ヤマハの自動伴奏(オートアカンパニメント)機能のノウハウを集大成した「統一フォーマット」です。ユーザースタイル機能では、このSFFのしくみを最大限に活かして、より自由度の高いユーザースタイル作成が可能です。



CTAB(Cタブ)について 119ページ
左図は、リズムトラック以外の自動伴奏の音が鳴るまでのプロセスです。この中の「ソースパターン」がスタイルデータの元(ソース)になるものです。115ページで説明する録音方法では、このソースパターンを録音することになります。このソースパターンに、左図に記載したパラメーターとコードチェンジ(左手鍵域でのコード押鍵)を指定することで、実際に鳴る音程が決定されます。

「CTAB」とは、左手鍵域でのコード押鍵に対して、再生中のソースパターンをどのように音程変換して鳴らすかを決めるパラメーター群のことを指します。ユーザースタイル機能では、各トラックにソースパターンを録音し、各トラックにCTAB/パラメーターを設定することで、高度なユーザースタイル制作ができます。PSR-740/640では以下の4つのCTABパラメーターを設定できます。

- SOURCE CHORD ROOT ソースコードルート
- SOURCE CHORD TYPE ソースコードタイプ
- HIGHEST KEY 音程変換の折り返し点
- NOTE LIMIT 発音音域

メモ

CTAB(Cタブ)という用語はChannel table(チャンネルテーブル)の略語です。

各パラメーターの詳細説明は119ページを参照してください。

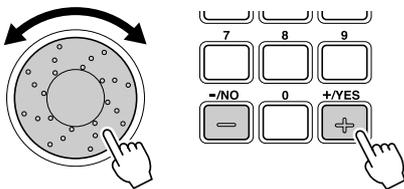
リズムトラックに録音する

ここでは、内蔵のスタイルのリズムトラック(打楽器)の演奏データを修正することで、オリジナルのリズムパターンを作成する方法を説明します。

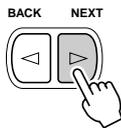
1 レコード
[RECORD] ボタンを押して、録音モードに入ります。



2 スタイル
「Style」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



4 基本とするスタイルを選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン、ナンバーボタンを使ってください。

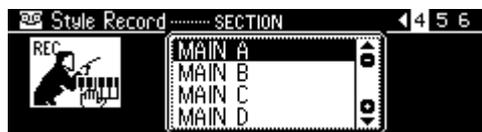
5 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



6 レコード
「Record (= 録音)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

7 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、セクション選択画面にします。

8 録音したいセクションを選びます。



9 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、トラック選択画面にします。

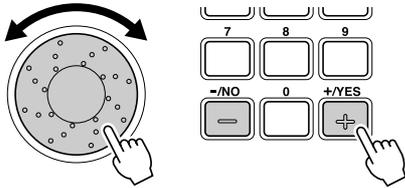
メモ

複数のセクションを同時に録音することはできません。

10

録音したいリズムトラックを選びます。

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使って、「RHYTHM MAIN」が「RHYTHM SUB」を選んでください。



メモ

複数のトラックを同時に録音することはできません。

11

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



12

ドラムキットを選びます。

[VOICE R1] ボタンを押して選んでください。(26 ページ)
元の画面に戻る際は [EXIT] ボタンを押してください。

メモ

リズムトラックの録音は、鍵盤下部のイラストを参考にして録音してください。(31 ページ)

13

録音をスタートします。

以下の2とおりがあります。

[START/STOP] ボタンを押すと、手順4で選んだスタイル、手順8で選んだセクション、手順10で選んだリズムトラックの録音がスタートします。

[SYNC START] ボタンを押し、シンクロ待機状態(25 ページ)にしてから、鍵盤を押すと、同様に再生がスタートします。



リズムパターンが何度もくりかえし再生されますので、それを聞きながら鍵盤を押すことで重ねて録音します。鍵盤に割り当てられた打楽器については、鍵盤の下に印刷されたイラストを参照してください。また、以下の方法で不要な打楽器音を消すこともできます。(ドラムキャンセル)

1) [NEXT] ボタンを押します。



2) 消去したい打楽器が割り当てられた鍵盤を押します。これにより、その打楽器のノートオン/オフデータが消去されます。

3) [BACK] ボタンを押して、元の画面に戻ります。

14

スタート/ストップ

[START/STOP] ボタンを押して録音をストップします。

15

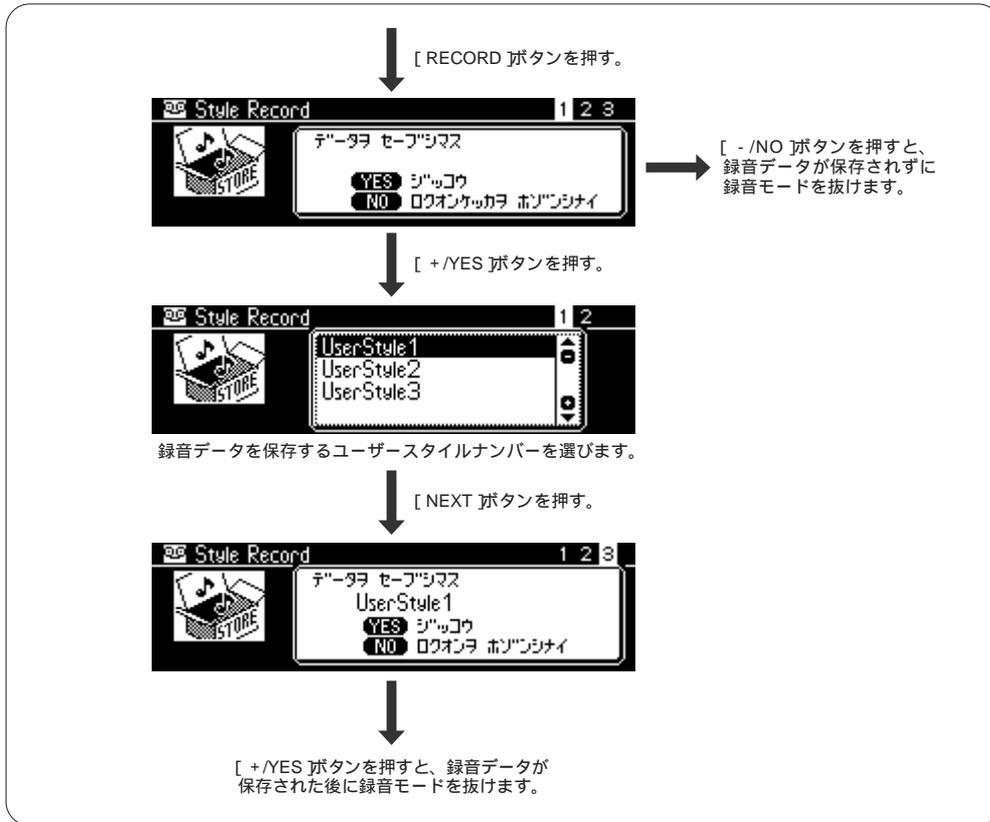
レコード

[RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音モードを抜ける前に、録音したデータを保存します。詳細は次ページを参照してください。

スタイル録音モードからの抜け方

スタイル録音モードから抜けるときは以下の手順に従ってください。



ベース/フレーズ/パッド/コードトラックに録音する

ここでは、内蔵のスタイルを基に、リズムトラック(打楽器)以外のトラックへの録音方法を説明します。

リズムトラックと違い、基にするスタイルのトラックデータをクリア(消去)してから録音することになります。

1~9 「リズムトラックに録音する」と同じ操作です。(112ページ)

10 録音したいトラックを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

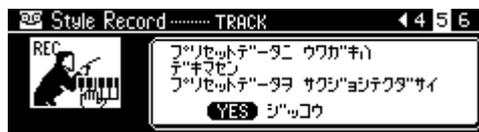
「BASS」「CHORD1」「CHORD2」「PAD」「PHRASE1」「PHRASE2」から選んでください。

メモ

複数のトラックを同時に録音することはできません。



11 ネクスト
[NEXT] ボタンを押します。



12 選んだトラックのデータをクリア(消去)します。

[+ /YES] ボタンを押してください。
 クリアをしない場合は [- /NO] ボタンを押してください。



13 録音に使うボイス(音色)を選びます。

[VOICE R1] ボタンを押して選んでください。(26 ページ)
 元の画面に戻る際は [EXIT] ボタンを押してください。

14 録音をスタートします。

以下の2通りの方法があります。

[START/STOP] ボタンを押します。

[SYNC START] ボタンを押し、シンクロ待機状態(25 ページ)にしてから、鍵盤を押すと、同様に録音がスタートします。



録音は何回もループでくり返されます。
 一度録音したノートデータは次のループからは演奏されますので、耳で確認しながら重ねて録音してください。

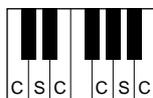
録音の際は、以下のルールに従ってください。

BASS、PHRASE1、PHRASE2トラックには、下記イラストのスケールノート(C、S)を使って録音してください。

[使用できる鍵盤...C, D, E, G, A, B]

CHORD1、CHORD2、PADトラックには、下記イラストのコードノート(C)を使って録音してください。

[使用できる鍵盤...C, E, G, B]



C = コードノート
 C, S = スケールノート

自動伴奏はここで録音したデータを元(ソース)として、左手鍵域でのコード押鍵に従って音程変換された音が鳴ります。音程変換の基本となるコードをソースコードといい、初期設定では「CM7」になっています。上記のルールはソースコード=CM7の場合です。

ソースコード(ルート/タイプ)はCTABパラメーター画面(120ページ)で変更できますが、各コードタイプによって上記のコードノート/スケールノートが違ってきます。各コードタイプによるコードノート/スケールノートについては121ページを参照してください。

メモ

イントロ、エンディングセクションを録音する場合は、このルールにとらわれず、自由にコード進行を持たせて録音すると、内蔵スタイルのような楽しい自動伴奏を作成することができます。

15 スタート/ストップ [START/STOP] ボタンを押して録音をストップします。

16 レコード [RECORD] ボタンを押して録音モードを抜けます。

録音モードからの抜け方については114ページを参照してください。

録音データのタイミングのばらつきを整える

クオンタイズ
Quantize

たとえば、以下のような4拍子のフレーズを録音したとします。



演奏しているときは、正確に弾いているつもりでも、タイミングが微妙に遅れたり早かったりする場合もあります。クオンタイズはそういった微妙な「ずれ」を補正してデータを書き直す機能です。

1~5 「リズムトラックに録音する」と同じ操作です。(112ページ)



6 ^{エディット} 「Edit (= 編集) を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

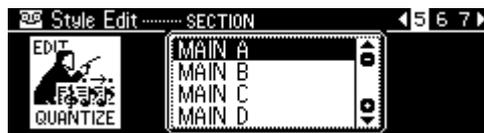
7 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



8 ^{クオンタイズ} 「Quantize」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



10 クオンタイズをかけたいセクションを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

11 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押します。



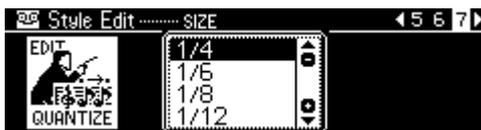
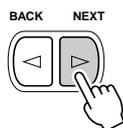
12 クオンタイズをかけたいトラックを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

13

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



14

クオンタイズのサイズ(分解能)を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

クオンタイズサイズはそのトラックで使用されている最小の音符に合わせて設定してください。たとえば、4分音符と8分音符が録音されているデータは、クオンタイズサイズ「1/8」でクオンタイズしてください。これを「1/4」でクオンタイズすると8分音符は、4分音符上に移動してしまいます。

クオンタイズサイズ一覧

サイズ	音 符
1/4	4分音符
1/6	3連4分音符
1/8	8分音符
1/12	3連8分音符
1/16	16分音符
1/24	3連16分音符
1/32	32分音符

クオンタイズする前の音符の状態



クオンタイズ値「8」でクオンタイズした後の音符の状態



15

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。



この画面でクオンタイズした後の状態を聞いて確認することができます。
[START/STOP] ボタンを押して聞いてみましょう。

16

クオンタイズを実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。

クオンタイズを取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



17

レコード

[RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。

録音モードからの抜け方については114ページを参照してください。

録音したスタイルに名前をつける

ネーム
Name

1~7 クオンタイズ(116 ページ)の場合と同じ操作です。



8 ^{ネーム} 「Name (= 名前) を選びます。
ダイアル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して ^{ネーム} NAME 画面に移ります。



10 スタイルに名前をつけます。
鍵盤を使ってください。(21 ページ)
名前は16文字以内です。

11 ^{レコード} [RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。
録音モードからの抜け方については114ページを参照してください。

録音したスタイルを消去する

クリア
Clear

1~7 クオンタイズ(116 ページ)の場合と同じ操作です。

8 ^{クリア} 「Clear (= 消去) を選びます。
ダイアル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタン
を使ってください。



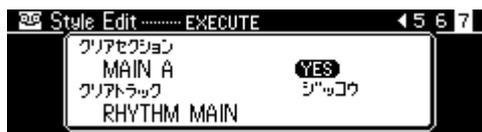
9 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、セクション選択画面にします。

10 クリアしたいセクションを選びます。
ダイアル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

11 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押して、トラック選択画面にします。

12 クリアしたいトラックを選びます。
ダイアル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

13 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、クリア実行画面にします。



14
クリアを実行します。
[+/YES] ボタンを押してください。
クリアを取り止める場合は [-/NO] ボタンを押してください。



15 レコード
[RECORD] ボタンを押して、録音モードを抜けます。
録音モードからの抜け方については114ページを参照してください。

録音したスタイルにCTAB設定をする

Cタブ
CTAB

CTAB(Cタブ)パラメーターについて

CTAB(Cタブ)とは、録音したスタイルを自動伴奏機能で演奏する際、左手鍵域でのコード押鍵に対してどのように音程変換して鳴らすかを定めるパラメーターです。

NOTE LIMIT...発音音域

ユーザースタイルのトラックに録音したノートデータに対して、発音鍵域(ローリミット[下限]、ハイリミット[上限])を設定します。発音鍵域を設定することにより、現実的でない音(ベースの高音や、ピッコロの低音など)を発音させずに、発音鍵域内のノートにオクターブをシフトします。

例)ローリミット「C3」、ハイリミット「D4」の場合

ルート変化	→	CM	C#M	...	FM	...
発音ノート	→	E3-G3-C4	F3-G#3-C#4		F3-A3-C4	

メモ

ローリミットとハイリミットの音程を1オクターブ以内に設定することはできません。

HIGH KEY...音程変換の折り返し点

ソースコードルートに対して、音程変換時のオクターブ折り返し点を設定します。たとえば、CM押鍵時に「C3-E3-G3」と発音するトラックは、ルートを上げると発音ノートも上がりますが、折り返し点を境に、1オクターブ下がります。(折り返します。)

例)折り返し点「F」の場合

ルート変化	→	CM	C#F	...	FM	F#F	...
発音ノート	→	C3-E3-G3	C#3-F3-G#3		F3-A3-C4	F#2-A#2-C#3	

メモ

HIGH KEYはBASS, PHRASE 1, 2トラックに対してだけ設定できます。

SOURCE CHORD...ソースコードルート/タイプ

ユーザースタイルを録音するときに、ソースパターンを何のキーで演奏するかを設定します。たとえばFmin7に設定すると、自動伴奏を鳴らす際にFmin7をコード押鍵すると録音データ(ソースパターン)がそのまま演奏されることになります。

初期設定はCM7(ソースコードルート「C」、ソースコードタイプ「M7」)です。

ここで設定したコードタイプによって、録音時に押鍵できる鍵盤(スケールノート、コードノート)が変わります。各コードタイプに対するスケールノート、コードノートについては121ページを参照してください。

CTAB(Cタブ)パラメーターの設定手順

1~7 クオンタイズ(116ページ)の場合と同じ操作です。

8 ^{Cタブエディット}
「CTAB Edit (= 編集) を選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



9 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押して、セクション選択画面にします。

10 ^{Cタブ}
CTAB設定をしたいセクションを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

11 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押して、トラック選択画面にします。

12 ^{Cタブ}
CTAB設定をしたいトラックを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

13 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押します。



14 ^{Cタブ}
CTABパラメーターを選びます。
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
パラメーターについては119ページを参照してください。

15 ^{ネクスト}
[NEXT] ボタンを押して、パラメータ設定画面にします。

16 ^{Cタブ}
CTABパラメーター値を設定します。
手順**14**でNOTE LIMIT(発音音域)を選んだ場合
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使って設定します。



手順**14**でHIGH KEYを選んだ場合
ダイアル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使って設定します。



手順14でSOURCE CHORD(ソースコードルート/タイプ)を選んだ場合
ダイアル、[+/YES ボタン、[-/NO]ボタンを使って設定します。

・コードルートを設定します。



[BACK]ボタン ↑ ↓ [NEXT]ボタン

・コードタイプを設定します。



17 必要に応じて手順14~16をくり返します。

[BACK]ボタンを押して手順14に戻ります。

18 レコード
[RECORD]ボタンを押して、録音モードを抜けます。

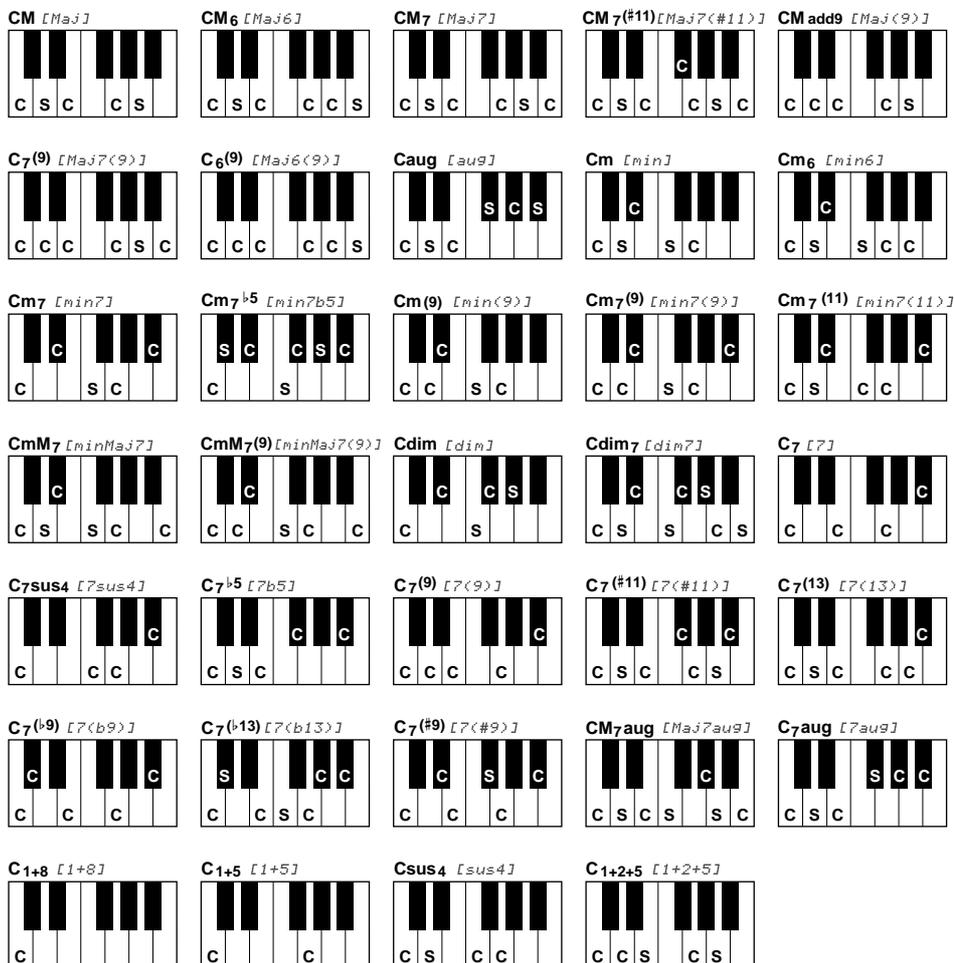
録音モードからの抜け方については114ページを参照してください。

ソースコードタイプによる録音方法について

ソースコードルート/タイプによって、録音時に押鍵できるノート(鍵盤)が違います。
以下のイラストに従って録音してください。

[ソースコードルート「C」の場合]

C=コードノート
C, S=スケールノート



MIDI機器を接続して演奏しましょう

ミディ
MIDI

PSR-740/640はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)、TO HOST端子、HOST SELECTスイッチがついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。

MIDIについてご存じない方は是非お読みください。

MIDIって何?	122ページ
MIDIでできること	124ページ
MIDIデータの互換性について	125ページ

パーソナルコンピューターとの接続方法について説明します。

パーソナルコンピューターと接続する	126ページ
-------------------	--------

MIDIに関して以下の設定ができます。

MIDIテンプレート	128ページ
MIDI送信設定	130ページ
MIDI受信設定	131ページ
ローカルコントロール	132ページ
クロック	132ページ
イニシャルセットアップセンド	133ページ

メモ

録音モード時、および自動伴奏/ソングの再生中はMIDI設定はできません。

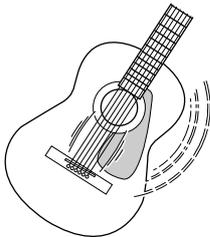
MIDIって何?

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか? 今世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

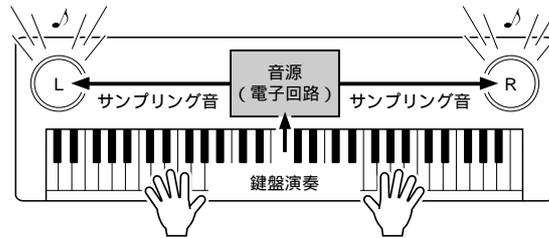
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、PSR-740/640の鍵盤でグランドピアノの音色で「ド」の音を4分音符の長さで強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どのボイスで」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るのです。

演奏情報の例

ボイスナンバー(どのボイスで)	1(グランドピアノ)
ノートナンバー(どの鍵盤を)	60(ド : C3)
ノートオン(いつ押さえたか)& ノートオフ(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ペロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

このようにPSR-740/640では、鍵盤演奏やボイス(音色)変更などのパネル操作のひとつひとつがMIDIデータとして処理されています。また自動伴奏(スタイル)やソング、マルチパッドの演奏、録音されるユーザーソング/ユーザースタイル/ユーザーパッドも同様にMIDIデータで構成されています。

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどと)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

チャンネルメッセージ

PSR-740/640はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	PSR-740/640の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	ボイスの設定(コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	ミキサー、パラメーターエディットの設定(パン、ボリュームなど)

システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	PSR-740/640の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラス/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック スタート/ストップ

MIDIインプリメンテーションチャート(178ページ)にPSR-740/640で送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。

メモ

ソング、スタイル、マルチパッドの演奏データもすべてMIDIデータです。

MIDI端子について

複数の機器間でMIDIデータ(演奏情報)をやりとりするために、それらの機器をケーブルで接続します。接続方法には、PSR-740/640のMIDI端子と外部機器のMIDI端子をMIDIケーブル(124ページ)で接続する方法と、PSR-740/640のTO HOST端子とパソコン(パーソナルコンピューター)のシリアルポートを専用ケーブル(126ページ)で接続する方法があります。

PSR-740/640のTO HOST端子とパソコンを接続すれば、PSR-740/640をMIDIインターフェース機器として使用できるため、専用のMIDIインターフェース機器は不要です。

PSR-740/640のリアパネルには2種類のMIDI端子とTO HOST端子がついています。

MIDI IN他のMIDI機器からのMIDIデータを受信します。

MIDI OUT PSR-740/640の演奏情報をMIDIデータとして他のMIDI機器へ送信します。

TO HOSTパソコンとの間でMIDIデータを送受信します。



メモ

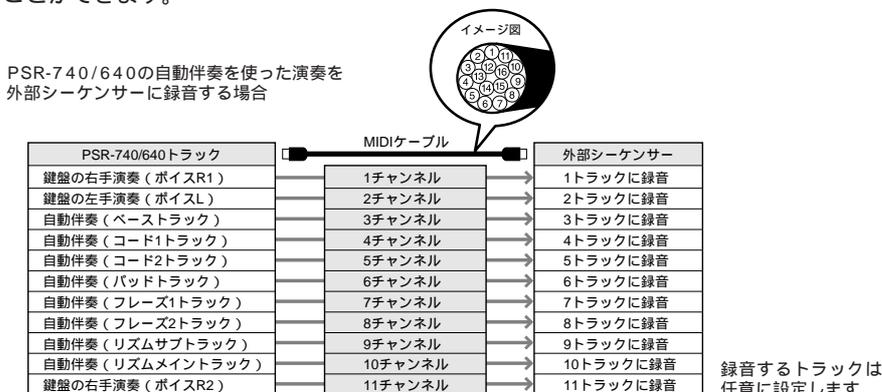
WindowsのパソコンとTO HOST端子を接続して使用する場合、パソコンにMIDIドライバーがインストールされていることが必要です。MIDIドライバーは付属のサンプルディスクに入っています。

MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などで買い求めください。

あまり長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

MIDI機器を接続して演奏しましょう

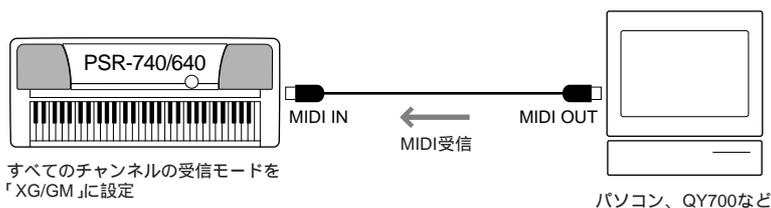
PSR-740/640はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器ですが、これは接続したケーブルの中を16本のパイプが通っているとイメージすればよいでしょう。PSR-740/640から外部機器にMIDIデータを送信する場合、MIDIデータは指定されたパイプ(チャンネル)を通して、外部機器に送信されます。たとえば、下のイラストのようにPSR-740/640の自動伴奏の演奏も含めて、複数のトラックを同時に送信することができます。



このように、データを送信する際に、何のデータをどのMIDIチャンネルで送信するかを設定しておく必要があります。(130ページ)

MIDIでできること

PSR-740/640をXGマルチ音源として(16チャンネルの演奏を同時に)鳴らす。



メモ
パソコンを使用する場合は、シーケンスソフトが必要になります。

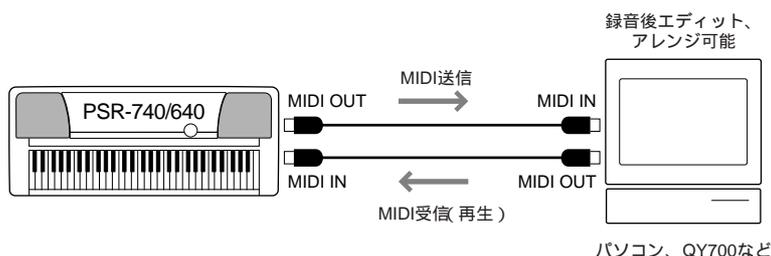
MIDI受信設定(131ページ)

PSR-740/640のXG音源で、MIDIキーボードの演奏を鳴らす。



MIDI受信設定(131ページ)

PSR-740/640で自動伴奏を使った演奏データ(1~16チャンネル)をまとめて外部シーケンサー(パソコン)などに録音する。録音後、外部シーケンサーで編集した上で、PSR-740/640を鳴らす。



MIDI送信設定(130ページ)

イニシャルセットアップセント(133ページ)

MIDIデータの互換性について

ここでは、PSR-740/640で録音したデータを他のMIDI機器で再生できるかどうか、あるいはその逆の、市販のいろいろな種類のディスクソフトや、電子楽器などで録音したソングデータ、パーソナルコンピュータなどで作成したソングデータをPSR-740/640で再生できるか、といった各種演奏データの互換性について考える上での、一般的な基礎知識の一端をご紹介します。実際は、再生できる場合でも、そのまま再生できる場合、再生するためにいくつかの特殊な作業が必要となる場合など、再生するMIDI機器やデータの特性により異なってきますので、事例ごとに、下記を参考にしてください。

シーケンスフォーマット

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

演奏データのシーケンスフォーマットと、PSR-740/640やMIDI機器が対応しているシーケンスフォーマットが一致していないと、再生できません。

SMF(スタンダードMIDIファイル)

代表的なシーケンスフォーマットの1つで、「フォーマット0」と「フォーマット1」があります。多くのMIDI機器が「SMFフォーマット0」に対応しており、また市販のディスクソフトの多くが「SMFフォーマット0」で作られています。

- ・PSR-740/640のディスクドライブは「SMFフォーマット0」と「SMFフォーマット1」の再生に対応しています。
- ・PSR-740/640のユーザーソングに録音した演奏データは「SMFフォーマット0」になります。

ESEQ(イーシーク)

ヤマハの多くの機器やディスクソフトで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

- ・PSR-740/640のディスクドライブは「ESEQイーシーク」の再生に対応しています。

XF

SMF(スタンダードMIDIファイル)をより拡張し、歌詞表示などを可能にしたヤマハ独自のシーケンスフォーマットです。

- ・PSR-740/640のディスクドライブは「XF」の再生に対応しています。

STYLE FILE(スタイルファイル)

スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏(オートアカンパニメント)機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。

- ・PSR-740/640では、スタイルファイルフォーマットで作成されたスタイルデータのディスクを本体にロードして再生させることができます。

音色配列フォーマット

MIDIでは音色を番号で指定します。(プログラムナンバーと言います。)その番号の付け方(音色を並べる順番)の規格を「音色配列フォーマット」と言います。

再生したい演奏データの音色配列フォーマットと、再生したいMIDI機器が対応している音色配列フォーマットが一致していないと、音色が正しく再生されません。主な音色配列フォーマットを紹介します。

メモ

これらの条件を満たしていても、機器の仕様や、演奏データの特殊な作り方により、完全な互換性が実現できない場合もあります。

GMシステムレベル1

代表的な音色配列フォーマットの1つです。

多くのMIDI機器が「GMシステムレベル1」に対応しています。また、市販のディスクソフトの多くが「GMシステムレベル1」で作られています。

- ・PSR-740/640は「GMシステムレベル1」に対応しています。

XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

- ・PSR-740/640は「XG」に対応しています。

DOX(Disk Orchestra Collection = ディスクオーケストラコレクション)

ヤマハクラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器で対応している音色配列です。ヤマハの別売ディスクソフト「ピアノアンサンブル」のDOCファイルなどで使われています。

- ・PSR-740/640は「DOC」に対応しています。

パーソナルコンピューターと接続する

PSR-740/640のTO HOST端子、またはMIDI端子とパソコン(パーソナルコンピューター)を接続すると、パソコン用の音楽ソフトを楽しむことができます。

接続には2つの方法があります。

PSR-740/640のMIDI端子を使った接続

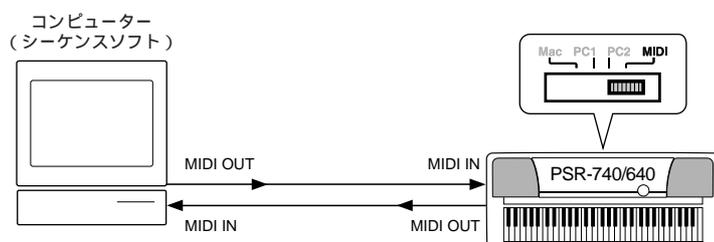
PSR-740/640のTO HOST端子を使った接続

PSR-740/640のMIDI端子を使った接続

コンピューター側に取り付けたMIDIインターフェース機器を使用して、コンピューターとPSR-740/640のMIDI端子を接続します。

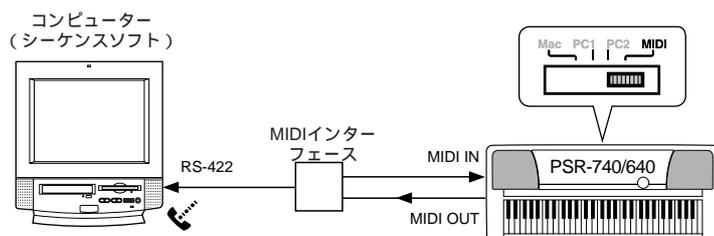
接続に使用するケーブルは、専用のMIDIケーブルをご使用ください。

MIDIインターフェース(別売)を装備したコンピューターの場合は、コンピューター側のMIDI OUT端子とPSR-740/640のMIDI IN端子とを接続します。PSR-740/640のHOSTセレクトスイッチは「MIDI」にセットします。



MacintoshシリーズのMIDIインターフェースを使用する場合は、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)にMIDIインターフェースを接続し、MIDIインターフェースのMIDI OUT端子とPSR-740/640のMIDI IN端子とを下図のように接続します。

PSR-740/640のHOSTセレクトスイッチは「MIDI」にセットします。



- ・ HOSTセレクトスイッチを「MIDI」に設定している場合は、TO HOST端子の入出力は無視されます。
- ・ Macintoshシリーズをお使いの場合、使用するMIDIインターフェースの設定に合わせて、アプリケーションソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを設定してください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。

PSR-740/640のTO HOST端子を使った接続

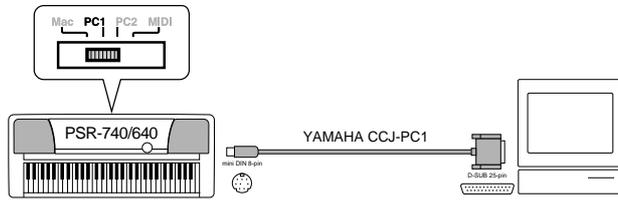
コンピューターのシリアルポート(RS-232C端子やRS-422端子)とPSR-740/640のTO HOST端子を接続します。

接続に使用するケーブルは、コンピューターの種類に合わせて下記のシリアルケーブル(別売)をご使用ください。

PC-9801, PC-9821シリーズ

シリアルケーブルYAMAHA CCJ-PC1NF(市販品の場合は、D-SUB 25P MINI DIN 8Pクロスケーブル)で、コンピューターのRS-232C端子とPSR-740/640のTO HOST端子とを接続します。

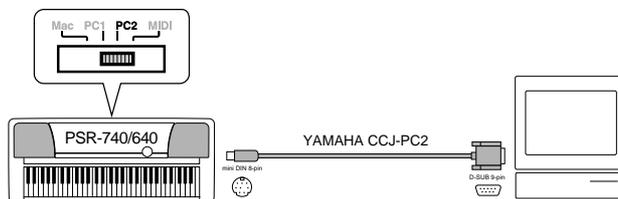
Windows 95/98用YAMAHA CBX MIDIドライバーをお使いの場合は“PC-2”に、Windows 3.1用YAMAHA CBX-T3ドライバーをお使いの場合は“PC-1”にセットします。



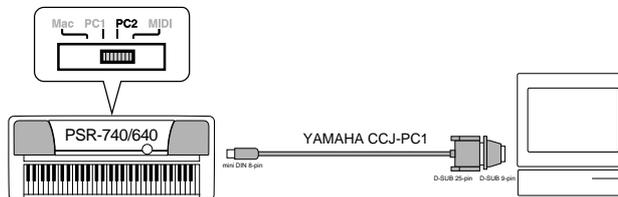
IBM-PC/ATシリーズ

シリアルケーブルYAMAHA CCJ-PC2(市販品の場合は、D-SUB 9P MINI DIN 8Pクロスケーブル)で、コンピューターのRS-232C端子とPSR-740/640のTO HOST端子とを接続します。

PSR-740/640のホストセレクトスイッチは“PC-2”にセットします。



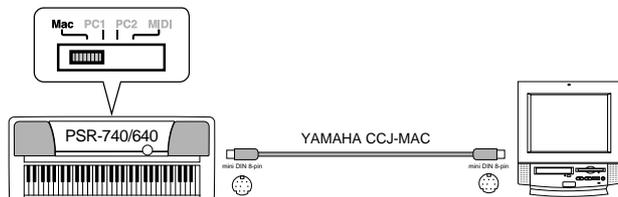
- ・ D-SUB 25P MINI DIN 8Pクロスケーブルをお使いの場合は、変換プラグアダプターでコンピューター側をD-SUB 9Pにして接続してください。



Macintoshシリーズ

シリアルケーブルYAMAHA CCJ-MAC(市販品の場合は、システムペリフェラルケーブル8ピン)で、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)とPSR-740/640のTO HOST端子とを接続します。

PSR-740/640のホストセレクトスイッチは“Mac”にセットします。



使用するシーケンスソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを1MHzに設定してご使用ください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。

使用するコンピューターやシーケンスソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

* Macintoshは、アップルコンピュータ株式会社の商標です。
 * PC-9801/9821は、日本電気株式会社の商標です。
 * IBM-PC/ATは、インターナショナルビジネスマシーン株式会社の商標です。
 その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標、および商標です。

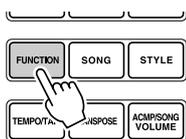
代表的なMIDI設定をワンタッチで設定する

MIDIテンプレート
MIDI Template

PSR-740/640はMIDI16チャンネルを扱う電子楽器ですが、データを送受信する際に、何のデータをどのMIDIチャンネルで送受信するかを決める必要があります。

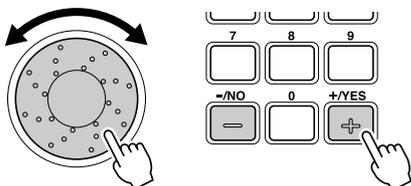
各チャンネルに対する設定方法は130、131ページで説明するとして、ここでは、代表的なMIDI送受信設定をワンタッチでできるMIDIテンプレートについて説明します。

1 ファンクション [FUNCTION] ボタンを押します。



2 ミディ メニューの中から「MIDI」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



3 ネクスト [NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。



4 MIDIテンプレート 「MIDI Template」を選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



5 ネクスト [NEXT] ボタンを押して、MIDI Template画面にします。



6 テンプレートを選びます。

ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
詳しくはMIDIテンプレートリスト(129ページ)を参照してください。



7

ネクスト

[NEXT] ボタンを押します。

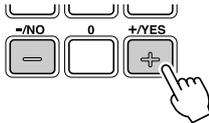


8

ロード (MIDIテンプレートの設定) を実行します。

[+ / YES] ボタンを押してください。

取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。



MIDIテンプレートリスト

TX1 KEYBOARD OUT...キーボードアウト(鍵盤演奏の出力)

鍵盤演奏(ボイスR1, R2, L)の情報をMIDI OUTする場合の設定です。PSR-740/640の鍵盤演奏だけを外部音源で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音する場合に使用します。MIDI送信チャンネルが下記の通り設定されます。

1ch = RIGHT1 3ch = LEFT
2ch = RIGHT2 4ch ~ 16ch = OFF

TX2 ACMP OUT...アカンパニメントアウト(自動伴奏の出力)

自動伴奏の演奏時にスタイルデータをMIDI OUTする場合の設定です。自動伴奏を外部音源で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音する場合に使用します。MIDI送信チャンネルが下記の通り設定されます。

9ch = RHYTHM SUB 12ch = CHORD1 15ch = PHRASE1
10ch = RHYTHM MAIN 13ch = CHORD2 16ch = PHRASE2
11ch = BASS 14ch = PAD

TX3 SONG OUT...ソングアウト(ソングの出力)

演奏時のソングデータをMIDI OUTする場合の設定です。ソング演奏を外部音源で鳴らす場合や、外部シーケンサーに録音する場合に使用します。

MIDI送信チャンネルにソングのMIDIチャンネルがそのまま設定されます。

TX4 MASTER KEYBOARD...マスターキーボード

PSR-740/640をマスターキーボードとして使用する場合に設定します。マスターキーボードとは、MIDIデータを出力するためのキーボードでそれ自身に音源を持っていないキーボードのことです。

RX1 XG MODULE...XGモジュール

PSR-740/640をXGマルチ音源として使用する場合に設定します。
MIDI受信チャンネルが全チャンネル「XG/GM」に設定されます。

RX2 MIDI ACCORDION...MIDIアコーディオン

受信チャンネルが下記のように設定されます。

1ch = KEYBOARD 3ch = ROOT
2ch = CHORD 4ch ~ 16ch = OFF

MIDIアコーディオンを接続して、PSR-740/640を演奏する場合の設定です。MIDIアコーディオンから、PSR-740/640の鍵盤のコントロールや自動伴奏の鍵域のコード/ベース検出を行います。

RX3 MIDI PEDAL...MIDIペダル

全受信チャンネルが「ROOT」に設定されます。

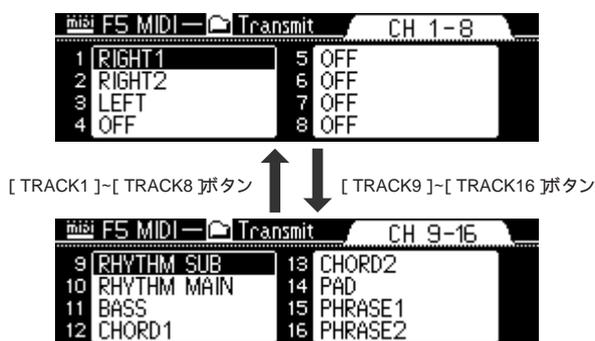
外部MIDIペダルなどを接続して演奏する場合の設定です。外部MIDIペダルなどから、PSR-740/640自動伴奏鍵域のベース検出をコントロールします。

MIDI送信設定

MIDIトランスミット(送信)
MIDI Transmit

MIDIデータを送信する際に、何のデータをどのMIDIチャンネルで送信するかを設定します。

- 1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ
メニューの中から「MIDI」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
- 3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。
- 4 トランスミットチャンネル
「Transmit Channel (= 送信チャンネル)」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。
- 5 ネクスト MIDIトランスミット
[NEXT] ボタンを押して、MIDI Transmit画面にします。
- 6 送信チャンネルの設定をします。
[TRACK1]-[TRACK16] ボタンで、MIDIチャンネルを選びます。



ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンで、送信するトラックを選びます。

- OFF 演奏データを送信しません。
- RIGHT1 鍵盤演奏ボイスR1
- RIGHT2 鍵盤演奏ボイスR2
- LEFT 鍵盤演奏ボイスL
- UPPER スプリットポイントより右側で弾いた鍵盤演奏。
R1/R2を設定した場合は、ボイスのオクターブ設定に従ったノートデータがMIDI出力されますが、UPPERを設定した場合は29ページで説明したノートデータがそのまま出力されます。
- LOWER スプリットポイントより左側で弾いた鍵盤演奏。
Lを設定した場合は、ボイスのオクターブ設定に従ったノートデータがMIDI出力されますが、LOWERを設定した場合は29ページで説明したノートデータがそのまま出力されます。
- RHYTHM SUB 自動伴奏リズムサブトラック
- RHYTHM MAIN 自動伴奏リズムメイントラック
- BASS 自動伴奏ベーストラック
- CHORD1 自動伴奏コード1トラック
- CHORD2 自動伴奏コード2トラック
- PAD 自動伴奏パッドトラック
- PHRASE1 自動伴奏フレーズ1トラック
- PHRASE2 自動伴奏フレーズ2トラック
- TRACK1 ~ 16 ソングトラック1~16

メモ

複数のチャンネルに同じ送信トラックを設定すると、数字の一番小さなチャンネルからそのトラックの演奏が出力されます。

電源を切っても、MIDI送信トラックの設定をバックアップ(保持)することができます。詳しくは159ページを参照してください。

初期(工場出荷時)の設定は以下の通りです。

- 1ch = RIGHT1
- 2ch = RIGHT2
- 3ch = LEFT
- 4ch = OFF
- 5ch = OFF
- 6ch = OFF
- 7ch = OFF
- 8ch = OFF
- 9ch = RHYTHM SUB
- 10ch = RHYTHM MAIN
- 11ch = BASS
- 12ch = CHORD1
- 13ch = CHORD2
- 14ch = PAD
- 15ch = PHRASE1
- 16ch = PHRASE2

MIDIループによる機器の動作不良を避けるため、PSR-740/640のローカルオン/オフの設定(132ページ)と、外部機器のMIDI THRUの設定を確認してください。

MIDI受信設定

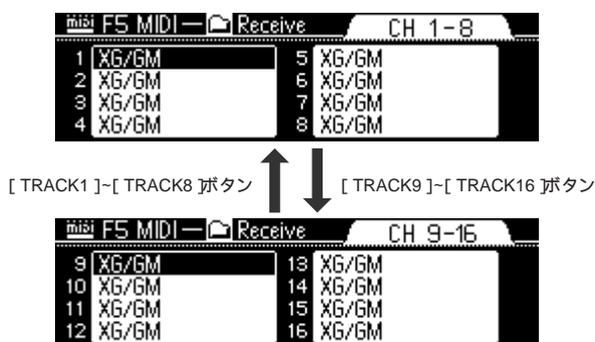
MIDIレシーブ(受信)
MIDI Receive

外部機器の送信チャンネルとPSR-740/640の受信チャンネルを合わせれば、外部機器の演奏をPSR-740/640で鳴らせます。

PSR-740/640では、どのチャンネルでデータを受信して(受信チャンネルの設定)、受信したデータでPSR-740/640をどのように鳴らすかを組み合わせて設定します。

- 1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ
メニューの中から「MIDI」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
- 3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。
- 4 レシーブチャンネル
「Receive Channel (= 受信チャンネル)」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
- 5 ネクスト MIDIレシーブ
[NEXT] ボタンを押して、MIDI Receive画面にします。
- 6 受信チャンネルの設定をします。

[TRACK1]-[TRACK16] ボタンで、MIDIチャンネルを選びます。



ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンで、そのチャンネルの受信方法を設定します。

- ・OFF(オフ)..... 演奏データを受信しません。
- ・XG/GM 受信した演奏データがPSR-740/640の音源に直接入力され、外部機器(シーケンサー、パソコンなど)の演奏をPSR-740/640の音源で鳴らすことができます。
- ・KEYBOARD(キーボード).... 受信した演奏データがPSR-740/640の押鍵やパネル操作と同様に扱われます。PSR-740/640の自動伴奏をオンにしておけば、フィンガリングの設定に従い、外部MIDIキーボードでPSR-740/640の自動伴奏を演奏できます。
- ・CHORD(コード)..... 受信したノートオン/オフメッセージが自動伴奏のコード鍵域の押鍵として認識されます。検出されるコードはPSR-740/640パネル上のフィンガリングの設定に従います。コードはPSR-740/640パネル上の自動伴奏オン/オフ、スプリットポイントの設定に関係なく検出されます。
- ・ROOT(ルート)..... 受信したノートオン/オフメッセージが自動伴奏のコード鍵域のルート音として認識されます。ルート音はPSR-740/640パネル上の自動伴奏オン/オフ、フィンガリング設定、スプリットポイントの設定に関係なく検出されます。
- ・V.HARMONY 受信した演奏データがボーカルハーモニー(ボコーダタイプ)用に使われます。
(ボーカルハーモニー)
(PSR-740)

メモ

初期(工場出荷時)は全チャンネル「XG/GM」に設定されています。

電源を切っても、MIDI受信モードの設定バックアップ(保持)することができます。詳しくは159ページを参照してください。

録音モード時は、MIDI受信設定はできません。

ローカルコントロール

ローカルコントロール
Local Control

PSR-740/640は、鍵盤を弾いて内蔵の音源を鳴らすしくみになっています。この状態をローカルコントロールオン(ON)といいます。ローカルコントロールをオフ(OFF)にすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもPSR-740/640からは音が出なくなります。PSR-740/640から音が出なくなっても、鍵盤を弾いた演奏情報をMIDI出力させることはできますので、PSR-740/640では音を鳴らさずに外部音源を鳴らしたいときに、ローカルコントロールをオフ(OFF)にします。

メモ

電源を入れた時、ローカルコントロールの設定は「ON」(ローカルオン)です。

- 1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ
メニューの中から「MIDI」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
- 3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。
- 4 ローカルコントロール
「Local Control」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。
- 5 ネクスト ローカルコントロール
[NEXT] ボタンを押して、Local Control画面にします。
- 6 オン/オフ
ON/OFFを設定します。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。



- ON(ローカルオン)..... 本体の演奏は通常どおりPSR-740/640で発音します。またMIDI INから受信した情報もPSR-740/640で発音します。
- OFF(ローカルオフ)..... 本体の演奏はPSR-740/640で発音しません。ただし、MIDI INから受信した情報「XG/GM」に設定された受信チャンネルの情報のみはPSR-740/640で発音します。

クロック

クロック
Clock

PSR-740/640の自動伴奏やソングの演奏は本体内部のクロックに従っています。外部MIDIシーケンサーと接続して演奏する場合などは、どちらのクロックを使うかを決める必要があります。

- 1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。
- 2 ミディ
メニューの中から「MIDI」を選びます。
ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。

4 クロック
「Clock」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

5 ネクスト クロック
[NEXT] ボタンを押して、Clock画面にします。

6 設定をします。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。



INTERNAL(インターナル=内部)..... PSR-740/640の内部クロックで作動します。

EXTERNAL(エクスターナル=外部)..... 外部機器のクロックで作動します。

メモ

電源を入れた時、クロックの設定は「INTERNAL」です。

クロックが「EXTERNAL」の時、以下のような現象が起こります。

- ・パネルの[START/STOP] ボタンを押しても、自動伴奏/ソングはスタートしません。
- ・マルチパッドを押しても、演奏されません。
- ・テンゴ表示が「EC」となり、パネルでテンゴ変更できなくなります。

イニシャルセットアップセンド

イニシャルセットアップセンド
Initial Setup Send

PSR-740/640のパネル設定を外部機器に送信することができます。たとえば、PSR-740/640の演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、演奏の前にPSR-740/640のパネル設定を外部シーケンサーに送信(イニシャルセットアップセンド)して、録音してください。

1 ファンクション
[FUNCTION] ボタンを押します。

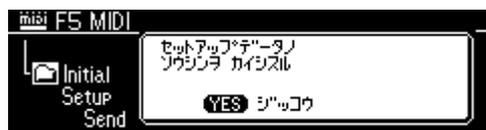
2 ミディ
メニューの中から「MIDI」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

3 ネクスト
[NEXT] ボタンを押して、MIDI画面にします。

4 イニシャルセットアップセンド
「Initial Setup Send」を選びます。
ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使ってください。

5 ネクスト イニシャルセットアップセンド
[NEXT] ボタンを押して、Initial Setup Send画面にします。

6 イニシャルセットアップセンド
Initial Setup Sendを実行します。
[+ / YES] ボタンを押してください。
取り止める場合は [- / NO] ボタンを押してください。

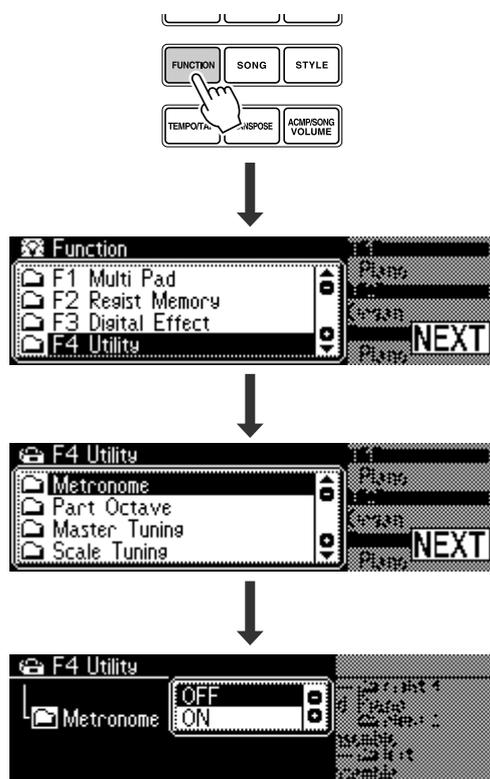


その他の便利な機能を説明します。

この章で説明する機能は、FUNCTIONの中でのUtility(ユーティリティ)の中で設定するものです。

メトロノームを鳴らす	134ページ
R1, R2, Lのオクターブを調整する(パートオクターブ)	135ページ
楽器全体のピッチを調整する(マスターチューニング)	135ページ
鍵盤ごとのピッチを調整する(スケールチューニング)	135ページ
スプリットポイントを設定する	135ページ
鍵盤を弾いたときの感度を設定する(タッチセンス)	136ページ
ボイスセット	136ページ
フットスイッチの機能を設定する	137ページ
フットボリュームの機能を設定する	138ページ
ピッチベンドの変化幅を変更する	139ページ
モジュレーションホイールの機能を設定する	139ページ

各機能の設定方法は以下のとおりです。



1 ^{ファンクション} [FUNCTION] ボタンを押す。

2 ^{ユーティリティ} 「Utility」を選ぶ。

3 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押す。

4 各メニューを選ぶ。

5 ^{ネクスト} [NEXT] ボタンを押す。

6 値を設定する。

以下の説明では、手順6に該当する部分を説明します。

メトロノームを鳴らす

メトロノーム
Metronome

設定をON(オン)にすることで、以下の場合に、設定されたテンポにしたがってメトロノームを鳴らすことができます。

- ・自動伴奏演奏中
- ・ディスクソング/デモソング演奏中
- ・シンクロ待機中
- ・ユーザーソング/ユーザースタイル/ユーザーパッド録音待機中
- ・ユーザーソング/ユーザースタイル/ユーザーパッド録音中



ダイヤル、[+ / YES] ボタン、[- / NO] ボタンを使って、ON/OFFを設定します。

メモ

ソングモードでフリーテンポのソングディスクがセットされている場合、メトロノームを鳴らすことはできません。フリーテンポとは、曲の実際のテンポとは関係なく、データ上ではテンポ一定となっているソングデータのことです。

R1, R2, Lのオクターブを調整する

パートオクターブ
Part Octave

鍵盤演奏のボイスR1, R2, Lの相互のオクターブ関係を調整します。



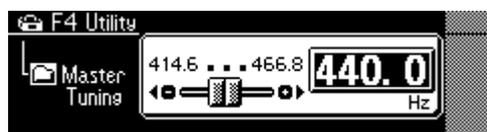
パートの設定 (R1, R2, L) は、[PART ON/OFF] ボタン (VOICE R1, VOICE R2, VOICE L) を押します。

オクターブ値の設定はダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使います。

楽器全体のピッチを調整する

マスターチューニング
Master Tuning

PSR-740/640全体のチューニング(音程 [ピッチ])の微調整をします。

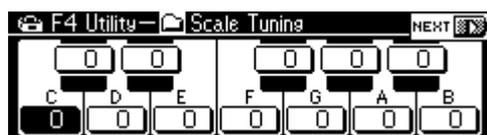


ダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使って設定します。

鍵盤ごとのピッチを調整する

スケールチューニング
Scale Tuning

PSR-740/640のノート(鍵盤)ごとにチューニング(ピッチの微調整)をします。ノート(鍵盤)ごとにチューニングすれば、さまざまなスケール(音階)で演奏することができます。ここでのチューニングは鍵盤演奏だけでなく、自動伴奏/マルチパッドの演奏にも有効です。



ノート(鍵盤)の切り替えは[NEXT] ボタン、[BACK] ボタンを使ってください。調整はダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

設定範囲は - 64 ~ + 63セント、チューニングの単位は「1セント = 1/100半音」です。

メモ

ノートごとのチューニング値は全オクターブ共通になります。

[-/NO] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

スプリットポイントを設定する

スプリットポイント
Split Point

鍵盤の機能を左右で分割するポイントのことをスプリットポイントといいます。

自動伴奏オンの場合

スプリットポイントの左側の鍵域は自動伴奏用のコード鍵域になります。 35 ページ

自動伴奏オフの場合

スプリットポイントの左側の鍵域はボイスLで弾くことができます。 28 ページ

メモ

スプリットポイントの初期設定は「F#2/G2」です。



調整はダイヤル、[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを使ってください。

鍵盤を弾いたときの感度を設定する

タッチセンス
Touch Sensitivity

鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する機能をタッチレスポンスといいます。タッチセンスはこのタッチレスポンスの感度を決める値です。



メモ

タッチセンス0またはオフは、ハーブシコードやオルガンなどの本来タッチレスポンスのないボイスの演奏に適しています。

ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタン、ナンバーボタンを使って設定します。

タッチセンスの値が大きいほど、微妙な強弱の変化がつけやすくなります。タッチセンスを「0」に設定すると、タッチレスポンスはオフとなり、鍵盤を押さえる強弱にかかわらず音量が一定になります。また、パネルの[TOUCH]ボタンをオフ(消灯)にすることで、タッチレスポンスはオフとなり、鍵盤を押さえる強弱にかかわらず音量が一定になります。



ボイスセット

ボイスセット
Voice Set

PSR-740/640では、R1のパネルボイスそれぞれに最適な設定があらかじめ決められています。ボイスセット機能をオンにすれば、ボイスR1にパネルボイスを選んだ時に、そのパネルボイスに最適な設定が自動的にセットされるため、すぐに演奏を始めることができ、大変便利です。

ボイスセットパラメーター

- ・ボイスR1(ボリューム、パン、リバーブデプス、コーラスデプス、DSPデプス*、オクターブ)
- ・ボイスR2(ボイスナンバー、ボリューム、パン、リバーブデプス、コーラスデプス、DSPデプス*、オクターブ)
- ・ハーモニータイプ、およびハーモニーボリューム、パート設定
- ・DSPオン/オフ、FAST/SLOWオン/オフ、およびDSPタイプ
- ・マルチエフェクトDSPドライ/ウェット(PSR-740)
- ・マルチエフェクト接続方法(PSR-740)

*は、PSR-640のみ

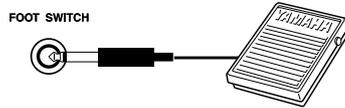


ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使って、ON/OFFを設定します。

フットスイッチの機能を設定する

フットスイッチ
FOOTSWITCH

リアパネルのフットスイッチ端子に接続したフットスイッチは、初期設定ではサステインペダルとして機能しますが、その他にもいろいろな機能を持たせることができます。また、スイッチの極性を変更する(オン/オフを逆転させる)こともできます。



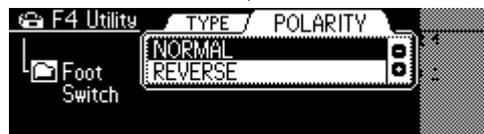
フットスイッチに設定する
機能を定める



ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタン
を使ってください。

[NEXT]ボタンを押す。

フットスイッチの極性を定める



ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタン
を使ってください。

フットスイッチに設定できる機能

SUSTAIN(サステイン)	この機能に設定してフットスイッチを踏むと、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。	 ここでフットスイッチを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く。
SOSTENUTO(ソステヌート)	この機能に設定してフットスイッチを踏むと、踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。	 ここでフットスイッチを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く。
SOFT(ソフト)	この機能に設定してフットスイッチを踏むと、音量がわずかに下がり、音の響きが柔らかくなります。	
REGISTRATION + (レジストレーション +)	フットスイッチを踏むと、ナンバーが1つ大きいレジストレーションを呼び出します。たとえば、バンク1 - 3が呼び出されているときにフットスイッチを踏むと、1 - 4が、さらにもう一度踏むと2 - 1が呼び出されます。	
REGISTRATION - (レジストレーション -)	フットスイッチを踏むと、ナンバーが1つ小さいレジストレーションを呼び出します。たとえば、バンク3 - 2が呼び出されているときにフットスイッチを踏むと、3 - 1が、さらにもう一度踏むと2 - 4が呼び出されます。	
START/STOP (スタート/ストップ)	フットスイッチを踏むと、パネルのSTART/STOPボタンと同様に機能します。	
SYNCHRO STOP (シンクロストップ)	フットスイッチを踏むと、パネルのSYNC STOPボタンと同様に機能します。	
BASS HOLD(ベースホールド)	フットスイッチを踏み込んでいる間、自動伴奏のベースの根音がホールドされます。	
BREAK(ブレイク)	フットスイッチを踏むと、演奏中の自動伴奏がストップ(ブレイク)します。フットスイッチから足を離すと次の小節から再スタートします。	
TAP TEMPO(タップテンポ)	フットスイッチを踏むと、パネルのTAP TEMPOボタンと同様に機能します。	

メモ

フットスイッチに「REGISTRATION +」や「REGISTRATION -」を設定して演奏する場合は、演奏に使用するレジストレーションメモリーすべてに「フットスイッチ機能=REGISTRATION +」または「フットスイッチ機能=REGISTRATION -」を記録するようにしてください。そうすれば「REGISTRATION +」や「REGISTRATION -」を有効に使えます。

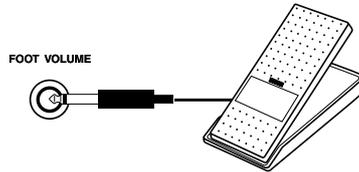
フットスイッチの極性

NORMAL(ノーマル)	使用するフットスイッチによっては上記で説明した(踏んだときにサステインの効果がある、など)動作と逆になる場合があります。その場合は「REVERSE」に設定してください。
REVERSE(リバース)	

フットボリュームの機能を設定する

フットボリューム
FOOT VOLUME

リアパネルのフットボリューム端子に接続したフットボリュームは、初期設定ではエクスプレッション（鍵盤演奏の音量調整）として機能しますが、その他にもいろいろな機能を持たせることができます。また、スイッチの極性を変更する（オン/オフを逆転させる）こともできます。



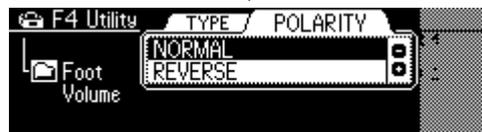
フットボリュームに設定する機能を決める



ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

[NEXT]ボタンを押す。

フットボリュームの極性を決める



ダイヤル、[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを使ってください。

フットボリュームに設定できる機能

MASTER(エクスプレッション-マスター)	鍵盤演奏(R1, R2, L)、自動伴奏、マルチパッドなどPSR-740/640で鳴るすべての音量をコントロールします。
KEYBOARD(エクスプレッション-鍵盤 R1, R2, L)	鍵盤演奏(R1, R2, L)の音量をコントロールします。
RIGHT1(エクスプレッション-RIGHT1)	鍵盤演奏(R1)の音量をコントロールします。
RIGHT2(エクスプレッション-RIGHT2)	鍵盤演奏(R2)の音量をコントロールします。
LEFT(エクスプレッション-LEFT)	鍵盤演奏(L)の音量をコントロールします。
ACMP/SONG(エクスプレッション-自動伴奏/ソング)	自動伴奏/ソングの音量をコントロールします。
SUSTAIN(サステイン)	フットスイッチの場合と同じです。(137ページ)
SOSTENUTO(ソステヌート)	
SOFT(ソフト)	
REGISTRATION +(レジストレーション+)	
REGISTRATION -(レジストレーション-)	
START/STOP(スタート/ストップ)	
SYNC STOP(シンクロストップ)	
BREAK(ブレイク)	
BASS HOLD(ベースホールド)	
TAP TEMP(タップテンポ)	

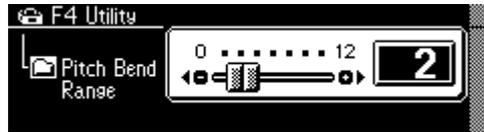
フットボリュームの極性

NORMAL(ノーマル)	フットボリュームをフットスイッチの機能(サステイン~タップ/テンポ)として使用する場合、電源を入れたときのフットボリュームの位置によっては上記で説明した(踏んだときにサステインの効果がある、など)動作と逆になる場合があります。その場合に「 REVERSE 」に設定してください。
REVERSE(リバース)	

ピッチベンドの変化幅を変更する

ピッチベンドレンジ
Pitch Bend Range

ピッチベンドの変化幅(ピッチベンドレンジ)を、0~12半音(1オクターブ)の範囲で変えることができます。



ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタン、ナンバーボタンを使って、ピッチベンドレンジを設定します。

モジュレーションホイールの機能を設定する(PSR-740)

モジュレーションホイール
Modulation Wheel

モジュレーションホイールにビブラートをかける以外の機能を持たせることができます。



ダイヤル、[+ /YES]ボタン、[- /NO]ボタンを使って、機能を選びます。

モジュレーションホイールに設定できる機能

MODULATION(モジュレーション)	鍵盤演奏(ボイスR1, R2, L)にビブラート(変調効果)をかける機能です。
BRIGHTNESS(ブライトネス)	鍵盤演奏(ボイスR1, R2, L)の音色の明るさを調整します。
RESONANCE(レゾナンス)	鍵盤演奏(ボイスR1, R2, L)の音色にくせをつけます。

ボイスリスト

パネルボイスとXGボイスについて

PSR-740/640のボイス(音色)は、「パネルボイス(ドラムキット含む)」と「XGボイス」の2種類があり、全部でPSR-740:761種類、PSR-640:715種類あります。

パネルボイスは、XGボイスをベースに音質を向上した「XG拡張ボイス」です。

XGボイスはXGの音色配列(125ページ)に対応したボイスです。

また、PSR-740にはオルガンフルートボイス(32ページ)もあります。

ボイス(音色)構成

	パネルボイス	ドラムキット (パネルボイス)	XGボイス	オルガンフルート
PSR-740	1~267	268~280	281~760	761
PSR-640	1~223	224~235	236~715	

メモ

リストにはボイスナンバー、MIDIプログラムチェンジナンバーを掲載します。MIDIを使ってPSR-740/640のボイスを鳴らす場合は、このプログラムチェンジナンバーを使用してください。

フットスイッチにサステイン、またはソステヌート機能を持たせている場合(137ページ)、フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、ボイス(音色)によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

最大同時発音数について

PSR-740の最大同時発音数は64音、PSR-640は32音です。これは、ボイスR1、R2、Lや自動伴奏(オートアカンパニメント)、ソングなどを含めたすべての発音数の合計です。したがって、自動伴奏(オートアカンパニメント)やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。最大同時発音数を越えると、後着優先で発音します。

PSR-740パネルボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
Piano				
1	0	112	0	Aco.Grand Pian(グランドピアノ)
2	0	112	1	Bright Aco.Pian(ブライトピアノ)
3	0	112	3	Honky Tonk Pian(ホンキートンクピアノ)
4	0	114	2	Rock Pian(ロックピアノ)
5	0	112	2	Midi Grand Pian(MIDIグランドピアノ)
6	0	113	2	CP 8(CP 80)
7	0	112	6	Harpsichord(ハープシコード)
8	0	113	6	GrandHarpsichord(グランドハープシコード)
E.Piano				
9	0	114	4	Galaxy El.Pian(ギャラクシーエレクトリックピアノ)
10	0	117	4	Stage El.Pian(ステージエレクトリックピアノ)
11	0	115	4	Polaris El.Pian(ポラリスエレクトリックピアノ)
12	0	118	4	Suitcase El.Pian(スーツケースエレクトリックピアノ)
13	0	117	5	SuperDX El.Pian(スーパーDXエレクトリックピアノ)
14	0	112	5	DXModernEl.Pian(DXモダンエレクトリックピアノ)
15	0	116	4	Vintage El.Pian(ビンテージエレクトリックピアノ)
16	0	112	4	Funk El.Pian(ファンクエレクトリックピアノ)
17	0	115	5	Modern El.Pian(モダンエレクトリックピアノ)
18	0	113	5	Hyper Tines(ハイパーティーンズ)
19	0	116	5	New Tines(ニューティーンズ)
20	0	114	5	Venus El.Pian(ビーナスエレクトリックピアノ)
21	0	113	4	Tremolo El.Pian(トレモロエレクトリックピアノ)
22	0	112	7	Clav(クラビ)
23	0	113	7	Wah Clav(ワウクラビ)
Organ				
24	0	117	18	Rotor Organ(ローターオルガン)
25	0	112	16	Jazz Organ 1(ジャズオルガン1)
26	0	113	16	Jazz Organ 2(ジャズオルガン2)
27	0	120	16	Glass Jazz Organ(グラスジャズオルガン)
28	0	112	17	Click Organ(クリックオルガン)
29	0	113	17	Dance Organ(ダンスオルガン)
30	0	115	16	Drawbar Organ(ドロウバーオルガン)
31	0	115	17	MellowDrawOrgan(メロドロウバーオルガン)
32	0	116	16	BrightDrawOrgan(ブライトドロウバーオルガン)
33	0	112	18	Rock Organ 1(ロックオルガン1)
34	0	113	18	Rock Organ 2(ロックオルガン2)
35	0	118	18	Vintage Organ(ビンテージオルガン)
36	0	114	18	Purple Organ(パープルオルガン)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
37	0	115	18	FullRockerOrg(フルロッカー)
38	0	116	18	Rotary Drive Org(ロータリードライブオルガン)
39	0	116	17	60's Organ(60年代風オルガン)
40	0	118	17	Electric Organ(エレクトリックオルガン)
41	0	114	16	Theater Organ 1(シアターオルガン1)
42	0	114	17	Theater Organ 2(シアターオルガン2)
43	0	112	19	Pipe Organ(パイプオルガン)
44	0	113	19	Chapel Organ 1(チャペルオルガン1)
45	0	114	19	Chapel Organ 2(チャペルオルガン2)
46	0	115	19	Chapel Organ 3(チャペルオルガン3)
47	0	112	20	Reed Organ(リードオルガン)
Accordion				
48	0	113	21	Trad.Accordion(トラディショナルアコーディオン)
49	0	112	21	MusetteAccordion(ミュゼットアコーディオン)
50	0	112	23	Tango Accordion(タンゴアコーディオン)
51	0	113	23	Bandoneon(バンドネオン)
52	0	114	21	Soft Accordion(ソフトアコーディオン)
53	0	115	21	Small Accordion(スモールアコーディオン)
54	0	116	21	Accordion(アコーディオン)
55	0	113	22	Modern Harp(モダンハープ)
56	0	112	22	Harmonica(ハーモニカ)
57	0	114	22	Blues Harp(ブルースハープ)
Guitar				
58	0	113	24	Spanish Guitar(スパニッシュギター)
59	0	112	24	Classic Guita(クラシックギター)
60	0	112	25	Folk Guita(フォークギター)
61	0	113	25	12Strings Guitar(12弦ギター)
62	0	114	24	SmoothNylonGuit(スムーズナイロンギター)
63	0	115	25	Campfire Guita(キャンプファイヤーギター)
64	0	112	26	Jazz Guita(ジャズギター)
65	0	113	26	Octave Guita(オクターブギター)
66	0	114	26	Hawaiian Guita(ハワイアンギター)
67	0	118	27	Solid Guita(ソリッドギター)
68	0	116	27	BrightCleanGuit(ブライトクリーンギター)
69	0	112	27	Clean Guita(クリーンギター)
70	0	119	27	Elec.12StrGuita(エレクトリック12弦ギター)
71	0	113	27	Tremolo Guita(トレモロギター)
72	0	114	27	Slap Guita(スラップギター)
73	0	113	28	Funk Guita(ファンクギター)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
74	0	112	28	Muted Guitar(ミュートギター)
75	0	113	30	Crunch Guitar(クランチギター)
76	0	113	29	Feedback Guitar(フィードバックギター)
77	0	112	29	Overdriven Guitar(オーバードライブギター)
78	0	112	30	Distortion Guitar(ディストーションギター)
79	0	122	27	Wah Guitar(ワウギター)
80	0	115	27	Pedal Steel Guitar(ペダルスチールギター)
81	0	114	25	Mandolin(マンドリン)
82	0	121	27	Solid Chord Guitar(ソリッドコードギター)
83	0	114	30	Stack Crunch Guitar(スタッククランチギター)
84	0	120	27	Vintage Trem Guitar(ビンテージトレモロギター)
85	0	117	27	60's Clean Guitar(60年代風クリーンギター)
Bass				
86	0	112	33	Finger Bass(フィンガーベース)
87	0	112	32	Acoustic Bass(アコースティックベース)
88	0	113	32	Upright Bass(アップライトベース)
89	0	114	32	Aco. Bass & Cymbal(ベースアンドシンバル)
90	0	112	34	Pick Bass(ピックベース)
91	0	112	35	Fretless Bass(フレットレスベース)
92	0	113	35	Jaco Bass(ジャコベース)
93	0	112	36	Slap Bass(スラップベース)
94	0	112	37	Funk Bass(ファンクベース)
95	0	113	36	Fusion Bass(フェュージョンベース)
96	0	112	38	Synth Bass(シンセベース)
97	0	112	39	Analog Bass(アナログベース)
98	0	115	39	Touch Bass(タッチベース)
99	0	114	39	Snap Bass(スナップベース)
100	0	115	38	Click Bass(クリックベース)
101	0	113	39	Dance Bass(ダンスベース)
102	0	113	38	Hi-Q Bass(ハイQベース)
103	0	114	38	Rave Bass(レイブベース)
Strings				
104	0	112	48	String Ensemble(ストリングス)
105	0	116	49	Classical Strings(クラシックストリングス)
106	0	113	48	Orchestra Strings(オーケストラストリングス)
107	0	114	48	Symphonic Strings(シンフォニックストリングス)
108	0	116	48	Bow Strings(ボウストリングス)
109	0	113	49	Slow Attack Strngs(スローストリングス)
110	0	114	49	Strings Quartet(ストリングスカルテット)
111	0	115	48	Concerto Strings(コンチェルトストリングス)
112	0	115	49	Marcato Strings(マルカートストリングス)
113	0	112	49	Chamber Strings(チェンバーストリングス)
114	0	112	44	Tremolo Strings(トレモロストリングス)
115	0	112	45	Pizzicato Strings(ピチカートストリングス)
116	0	112	50	Synth Strings(シンセストリングス)
117	0	112	51	Analog Strings(アナログストリングス)
118	0	112	55	Orchestra Hit(オーケストラヒット)
119	0	112	40	Solo Violin(ソロバイオリン)
120	0	113	40	Soft Violin(ソフトバイオリン)
121	0	112	110	Fiddle(フィドル)
122	0	112	41	Viola(ビオラ)
123	0	112	42	Celli(チェロ)
124	0	112	43	Contrabass(コントラバス)
125	0	112	46	Harp(ハープ)
126	0	113	46	Hackbret(ハックブレット)
127	0	112	106	Shamisen(三味線)
128	0	112	107	Koto(琴)
129	0	112	104	Sitar(シター)
130	0	112	105	Banjó(バンジョー)
Choir				
131	0	114	52	Hah Choir(ハークワイア)
132	0	112	52	Choir(クワイア)
133	0	115	52	Uuh Choir(ウークワイア)
134	0	112	54	Air Choir(エアークワイア)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
135	0	113	53	Gothic Vox(ゴシックボックス)
136	0	113	54	Voices(ボイス)
137	0	113	52	Vocal Ensemble(ボーカルアンサンブル)
138	0	112	53	Vox Human(ボックスヒューマナ)
Trumpet				
139	0	115	56	Sweet Trumpet(スウィートトランペット)
140	0	112	56	Solo Trumpet(ソロトランペット)
141	0	114	56	Soft Trumpet(ソフトトランペット)
142	0	116	56	Jazz Trumpet(ジャズトランペット)
143	0	117	56	Air Trumpet(エアトランペット)
144	0	113	56	Flugel Horn(フリュージェルホーン)
145	0	112	59	Muted Trumpet(ミュートトランペット)
146	0	112	57	Solo Trombone(ソロトロンボーン)
147	0	116	57	Trombone(トロンボーン)
148	0	114	57	Mellow Trombone(メロウトロンボーン)
149	0	115	57	Soft Trombone(ソフトトロンボーン)
150	0	112	60	French Horn(フレンチホルン)
151	0	112	58	Tuba(チューバ)
Brass				
152	0	113	61	Big Band Brass(ビッグバンドブラス)
153	0	121	61	Big Brass(ビッグブラス)
154	0	112	61	Brass Section(ブラスセクション)
155	0	116	61	Mellow Brass(メロウブラス)
156	0	117	61	Small Brass(スモールブラス)
157	0	118	61	Pop Brass(ポップブラス)
158	0	119	61	Mellow Horns(メロウホーンズ)
159	0	124	61	Step Brass(ステップブラス)
160	0	123	61	Soft Brass(ソフトブラス)
161	0	113	59	Ballroom Brass(ボールルームブラス)
162	0	114	61	Full Horns(フルホーンズ)
163	0	115	61	High Brass(ハイブラス)
164	0	120	61	Bright Brass(ブライトブラス)
165	0	122	61	Trumpet Ensemble(トランペットアンサンブル)
166	0	113	57	Trombone Section(トロンボーンセクション)
167	0	112	62	Synth Brass(シンセブラス)
168	0	112	63	Analog Brass(アナログブラス)
169	0	113	62	Jump Brass(ジャンプブラス)
170	0	114	62	Techno Brass(テクノブラス)
Saxophone				
171	0	117	66	Sweet Tenor Sax(スウィートテナーサクソ)
172	0	114	65	Sweet Alto Sax(スウィートアルトサクソ)
173	0	114	71	Sweet Clarinet(スウィートクラリネット)
174	0	118	66	Growl Sax(グロウルサクソ)
175	0	114	66	Breathy Tenor Sax(ブレシーテナーサクソ)
176	0	113	65	Breathy Alto Sax(ブレシーアルトサクソ)
177	0	112	64	Soprano Sax(ソプラノサクソ)
178	0	112	65	Alto Sax(アルトサクソ)
179	0	112	66	Tenor Sax(テナーサクソ)
180	0	112	67	Baritone Sax(バリトンサクソ)
181	0	113	67	Rock Baritone Sax(ロックバリトンサクソ)
182	0	116	66	Sax Section(サックスセクション)
183	0	115	66	Sax Combo(サックスコンビ)
184	0	112	71	Clarinet(クラリネット)
185	0	113	71	Mellow Clarinet(メロウクラリネット)
186	0	113	66	Woodwind Ensemble(ウッドウィンドアンサンブル)
187	0	112	68	Oboe(オーボエ)
188	0	112	69	English Horn(イングリッシュホルン)
189	0	112	70	Bassoon(パスーン)
Flute				
190	0	114	73	Sweet Flute(スウィートフルート)
191	0	112	73	Flute(フルード)
192	0	115	73	Classical Flute(クラシカルフルード)
193	0	113	73	Pan Flute(パンフルード)
194	0	112	72	Piccolo(ピッコロフルード)

ボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
195	0	112	75	Ethnic Flute(エスニックフルート)
196	0	112	77	Shakuhachi(尺八)
197	0	112	78	Whistle(ホイッスル)
198	0	112	74	Recorder(リコーダー)
199	0	112	79	Ocarina(オカリナ)
200	0	112	109	Bagpipe(バグパイプ)
Synth Lead				
201	0	116	81	Fire Wire(ファイアワイヤー)
202	0	120	81	Wire Lead(ワイアーリード)
203	0	112	80	Square Lead(矩形波リード)
204	0	112	81	Sawtooth Lead(ノコギリ波リード)
205	0	113	81	Big Lead(ビッグリード)
206	0	112	98	Stardust(スターダスト)
207	0	114	81	Blast(ブラスター)
208	0	115	81	Analogor(アナログン)
209	0	113	84	Adrenaline(アドレナリン)
210	0	113	80	Vintage Lead(ビンテージリード)
211	0	113	98	Sun Bell(サンベル)
212	0	112	83	Aero Lead(エアロリード)
213	0	114	80	Mini Lead(ミニリード)
214	0	115	80	Vinylead(ビニリード)
215	0	117	81	Warp(ワープ)
216	0	116	80	Hi Bias(ハイバイアス)
217	0	117	80	Meta Wood(メタウッド)
218	0	118	80	Tiny Lead(タイニーリード)
219	0	118	81	Sub Aqua(サブアクア)
220	0	119	81	Fargo(ファーゴ)
221	0	112	84	Portatone(ポータトーン)
222	0	112	96	Synchronize(シンクロナイズ)
223	0	113	87	Impact(インパクト)
224	0	121	81	Funky Lead(ファンキーリード)
225	0	113	96	Rhythmic(リズマティック)
226	0	119	80	Synth Flute(シンセフルート)
227	0	112	87	Under Heim(アンダーハイム)
228	0	114	96	Clockwork(クロックワーク)
Synth Pad				
229	0	113	94	Insomnia(インソムニア)
230	0	115	88	Golden Age(ゴールデンエイジ)
231	0	112	90	Krypton(クリプトン)
232	0	113	99	Cyber Pad(サイバーパッド)
233	0	112	95	Wave 2001(ウェーブ2001)
234	0	112	94	Equinox(イクイノックス)
235	0	114	88	Stargate(スターゲート)
236	0	112	92	DX Pad(DXパッド)
237	0	112	93	Loch Ness(ロッホネス)
238	0	114	93	Glass Pad(グラスパッド)
239	0	112	88	Fantasia(ファンタジア)
240	0	112	91	Xenon Pad(ゼノンパッド)
241	0	112	101	Skydiver(スカイダイバー)
242	0	112	97	Far East(ファーイースト)
243	0	114	95	Template(テンプレート)
244	0	112	89	Area 51(エリア51)
245	0	112	99	Atmosphere Pad(アトモスフィア)
246	0	113	89	Dark Moor(ダークムーン)
247	0	115	94	Ionosphere(アイオノスフィア)
248	0	113	93	Phase IV(フェイズIV)
249	0	113	88	Symbion(シンビアント)
250	0	114	94	Solaris(ソラリス)
251	0	116	88	Time Travel(タイムトラベル)
252	0	117	88	Millenium(ミレニアム)
253	0	113	95	Transform(トランスフォーム)
254	0	112	103	Baroque(バロック)
255	0	114	89	Dunes(デューン)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
Percussion				
256	0	113	11	Jazz Vibraphone(ジャズビブラフォン)
257	0	112	11	Vibraphone(ビブラフォン)
258	0	112	12	Marimba(マリンバ)
259	0	112	13	Xylophone(シロフォン)
260	0	112	114	Steel Drums(スチールドラム)
261	0	112	8	Celesta(チェレスタ)
262	0	112	9	Glockenspiel(グロッケンスピール)
263	0	112	10	Music Box(ミュージックボックス)
264	0	112	14	Tubular Bells(チューブラーベル)
265	0	112	108	Kalimba(カリンバ)
266	0	112	47	Timpan(ティンパニ)
267	0	112	15	Dulcimer(ダルシマー)
Drum Kits				
268	127	0	0	Standard Kit 1(スタンダードキット1)
269	127	0	1	Standard Kit 2(スタンダードキット2)
270	127	0	4	Hit Kit(ヒットキット)
271	127	0	8	Room Kit(ルームキット)
272	127	0	16	Rock Kit(ロックキット)
273	127	0	24	Electronic Kit(エレクトロニックキット)
274	127	0	25	Analog Kit(アナログキット)
275	127	0	27	Dance Kit(ダンスキット)
276	127	0	32	Jazz Kit(ジャズキット)
277	127	0	40	Brush Kit(ブラッシュキット)
278	127	0	48	Symphony Kit(シンフォニーキット)
279	126	0	0	SFX Kit 1(SFXキット1)
280	126	0	1	SFX Kit 2(SFXキット2)

PSR-640パネルボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
Piano				
1	0	112	0	Aco.Grand Pian(グランドピアノ)
2	0	112	1	Bright Aco.Pian(ブライトピアノ)
3	0	112	3	Honky Tonk Pian(ホンキートンクピアノ)
4	0	114	2	Rock Pian(ロックピアノ)
5	0	112	2	Midi Grand Pian(MIDIグランドピアノ)
6	0	113	2	CP 8(CP 80)
7	0	112	6	Harpsichord(ハープシコード)
8	0	113	6	GrandHarpsichord(グランドハープシコード)
E.Piano				
9	0	114	4	Galaxy El.Pian(ギャラクシーエレクトリックピアノ)
10	0	115	4	Polaris El.Pian(ポラリスエレクトリックピアノ)
11	0	118	4	SuitcaseEl.Pian(スーツケースエレクトリックピアノ)
12	0	117	5	SuperDX El.Pian(スーパー-DXエレクトリックピアノ)
13	0	112	5	DXModernEl.Pian(DXモダンエレクトリックピアノ)
14	0	112	4	Funk El.Pian(ファンクエレクトリックピアノ)
15	0	115	5	Modern El.Pian(モダンエレクトリックピアノ)
16	0	113	5	Hyper Tines(ハイパータインズ)
17	0	116	5	New Tines(ニュータインズ)
18	0	114	5	Venus El.Pian(ビーナスエレクトリックピアノ)
19	0	113	4	Tremolo El.Pian(トレモロエレクトリックピアノ)
20	0	112	7	Clav(クラビ)
21	0	113	7	Wah Clav(ワウクラビ)
Organ				
22	0	117	18	Rotor Organ(ローターオルガン)
23	0	112	16	Jazz Organ 1(ジャズオルガン1)
24	0	113	16	Jazz Organ 2(ジャズオルガン2)
25	0	120	16	Glass Jazz Organ(グラスジャズオルガン)
26	0	112	17	Click Organ(クリックオルガン)
27	0	113	17	Dance Organ(ダンスオルガン)
28	0	115	16	Drawbar Organ(ドロウバーオルガン)
29	0	115	17	MellowDrawOrgan(メロウドロウバーオルガン)
30	0	116	16	BrightDrawOrgan(ブライトドロウバーオルガン)
31	0	112	18	Rock Organ 1(ロックオルガン1)
32	0	113	18	Rock Organ 2(ロックオルガン2)
33	0	114	18	Purple Organ(パープルオルガン)
34	0	116	17	60's Organ(60年代風オルガン)
35	0	117	17	Blues Organ(ブルースオルガン)
36	0	117	16	16+1 Organ(16'+1' オルガン)
37	0	118	16	16+2 Organ(16'+2' オルガン)
38	0	119	16	16+4 Organ(16'+4' オルガン)
39	0	118	17	Electric Organ(エレクトリックオルガン)
40	0	114	16	Theater Organ 1(シアターオルガン1)
41	0	114	17	Theater Organ 2(シアターオルガン)
42	0	112	19	Pipe Organ(パイプオルガン)
43	0	113	19	Chapel Organ 1(チャペルオルガン1)
44	0	114	19	Chapel Organ 2(チャペルオルガン2)
45	0	115	19	Chapel Organ 3(チャペルオルガン3)
46	0	112	20	Reed Organ(リードオルガン)
Accordion				
47	0	113	21	Trad.Accordion(トラディショナルアコーディオン)
48	0	112	21	MusetteAccordion(ミュゼットアコーディオン)
49	0	112	23	Tango Accordion(タンゴアコーディオン)
50	0	113	23	Bandoneon(バンドネオン)
51	0	114	21	Soft Accordion(ソフトアコーディオン)
52	0	115	21	Accordion(アコーディオン)
53	0	112	22	Harmonic(ハーモニカ)
Guitar				
54	0	113	24	Spanish Guitar(スパニッシュギター)
55	0	112	24	Classic Guitar(クラシックギター)
56	0	112	25	Folk Guitar(フォークギター)
57	0	113	25	12Strings Guitar(12弦ギター)
58	0	114	24	SmoothNylonGuit(スムースナイロンギター)
59	0	115	25	Campfire Guitar(キャンプファイヤーギター)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
60	0	112	26	Jazz Guita(ジャズギター)
61	0	113	26	Octave Guita(オクターブギター)
62	0	114	26	Hawaiian Guita(ハワイアンギター)
63	0	118	27	Solid Guita(ソリッドギター)
64	0	116	27	BrightCleanGuit(ブライトクリーンギター)
65	0	112	27	Clean Guita(クリーンギター)
66	0	119	27	Elec.12StrGuita(エレクトリック12弦ギター)
67	0	113	27	Tremolo Guita(トレモロギター)
68	0	114	27	Slap Guita(スラップギター)
69	0	113	28	Funk Guita(ファンクギター)
70	0	112	28	Muted Guita(ミュートギター)
71	0	113	30	Crunch Guita(クランチギター)
72	0	113	29	Feedback Guita(フィードバックギター)
73	0	112	29	OverdrivenGuita(オーバードライブギター)
74	0	112	30	DistortionGuita(ディストーションギター)
75	0	115	27	PedalSteelGuita(ペダルスチールギター)
76	0	114	25	Mandolin(マンドリン)
77	0	121	27	SolidChordGuita(ソリッドコードギター)
78	0	120	27	VintageTremGt(ビンテージトレモロギター)
79	0	117	27	60'sCleanGuita(60年代風クリーンギター)
Bass				
80	0	112	33	Finger Bass(フィンガーベース)
81	0	112	32	Acoustic Bass(アコースティックベース)
82	0	114	32	Aco.Bass&Cymba(ベースアンドシンバル)
83	0	112	34	Pick Bass(ピックベース)
84	0	112	35	Fretless Bass(フレットレスベース)
85	0	113	35	Jaco Bass(ジャコベース)
86	0	112	36	Slap Bass(スラップベース)
87	0	112	37	Funk Bass(ファンクベース)
88	0	113	36	Fusion Bass(フュージョンベース)
89	0	112	38	Synth Bass(シンセベース)
90	0	112	39	Analog Bass(アナログベース)
91	0	113	39	Dance Bass(ダンスベース)
92	0	113	38	Hi-Q Bass(ハイQベース)
93	0	114	38	Rave Bass(レイブベース)
Strings				
94	0	112	48	String Ensemble(ストリングス)
95	0	113	48	OrchestraStrings(オーケストラストリングス)
96	0	114	48	SymphonicStrings(シンフォニックストリングス)
97	0	113	49	SlowAttackStrng(スローストリングス)
98	0	114	49	Strings Quartet(ストリングスカルテット)
99	0	115	48	Concerto Strings(コンチェルトストリングス)
100	0	115	49	Marcato Strings(マルカートストリングス)
101	0	112	49	Chamber Strings(チェンバーストリングス)
102	0	112	44	Tremolo Strings(トレモロストリングス)
103	0	112	45	PizzicatoStrings(ピチカートストリングス)
104	0	112	50	Synth Strings(シンセストリングス)
105	0	112	51	Analog Strings(アナログストリングス)
106	0	112	55	Orchestra Hit(オーケストラヒット)
107	0	112	40	Solo Violin(ソロバイオリン)
108	0	113	40	Soft Violin(ソフトバイオリン)
109	0	112	110	Fiddle(フィドル)
110	0	112	41	Viola(ビオラ)
111	0	112	42	Cello(チェロ)
112	0	112	43	Contrabass(コントラバス)
113	0	112	46	Harp(ハープ)
114	0	113	46	Hackbrett(ハックブレット)
115	0	112	106	Shamiser(三味線)
116	0	112	107	Koto(琴)
117	0	112	104	Sita(シタール)
118	0	112	105	Banj(バンジョー)
Choir				
119	0	112	52	Choir(クワイア)
120	0	112	54	Air Choir(エアークワイア)

ボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
121	0	113	53	Gothic Vox(ゴシックボックス)
122	0	113	52	Vocal Ensemble(ボーカルアンサンブル)
123	0	112	53	Vox Humana(ボックスヒューマナ)
Trumpet				
124	0	115	56	Sweet Trumpet(スウィートトランペット)
125	0	112	56	Solo Trumpet(ソロトランペット)
126	0	114	56	Soft Trumpet(ソフトトランペット)
127	0	113	56	Flugel Horn(フリューゲルホーン)
128	0	112	59	Muted Trumpet(ミュートトランペット)
129	0	112	57	Trombone(トロンボーン)
130	0	114	57	Mellow Trombone(メロウトロンボーン)
131	0	112	60	French Horn(フレンチホルン)
132	0	112	58	Tuba(チューバ)
Brass				
133	0	113	61	Big Band Brass(ビッグバンドブラス)
134	0	112	61	Brass Section(ブラスセクション)
135	0	116	61	Mellow Brass(メロウブラス)
136	0	117	61	Small Brass(スモールブラス)
137	0	118	61	Pop Brass(ポップブラス)
138	0	119	61	Mellow Horn(メロウホーンズ)
139	0	113	59	Ballroom Brass(ボールルームブラス)
140	0	114	61	Full Horns(フルホーンズ)
141	0	115	61	High Brass(ハイブラス)
142	0	120	61	Bright Brass(ブライتبラス)
143	0	113	57	Trombone Section(トロンボーンセクション)
144	0	112	62	Synth Brass(シンセブラス)
145	0	112	63	Analog Brass(アナログブラス)
146	0	113	62	Jump Brass(ジャンプブラス)
147	0	114	62	Techno Brass(テクノブラス)
Saxophone				
148	0	117	66	Sweet Tenor Sax(スウィートテナーサクソ)
149	0	114	65	Sweet Alto Sax(スウィートアルトサクソ)
150	0	114	71	Sweet Clarinet(スウィートクラリネット)
151	0	114	66	Breathy Tenor Sax(ブレスシーテナーサクソ)
152	0	113	65	Breathy Alto Sax(ブレスシーアルトサクソ)
153	0	112	64	Soprano Sax(ソプラノサクソ)
154	0	112	65	Alto Sax(アルトサクソ)
155	0	112	66	Tenor Sax(テナーサクソ)
156	0	112	67	Baritone Sax(バリトンサクソ)
157	0	116	66	Sax Section(サクソセクション)
158	0	115	66	Sax Comb(サクソコンボ)
159	0	112	71	Clarinet(クラリネット)
160	0	113	71	Mellow Clarinet(メロウクラリネット)
161	0	113	66	Woodwind Ensemble(ウッドウィンドアンサンブル)
162	0	112	68	Oboe(オーボエ)
163	0	112	69	English Horn(イングリッシュホルン)
164	0	112	70	Bassoon(バスーン)
Flute				
165	0	112	73	Flute(フルート)
166	0	113	73	Pan Flute(パンフルート)
167	0	112	72	Piccolo(ピッコロフルート)
168	0	112	75	Ethnic Flute(エスニックフルート)
169	0	112	77	Shakuhachi(尺八)
170	0	112	78	Whistle(ホイッスル)
171	0	112	74	Recorder(リコーダー)
172	0	112	79	Ocarina(オカリナ)
173	0	112	109	Bagpipe(バグパイプ)
Synth Lead				
174	0	116	81	Fire Wire(ファイアワイヤー)
175	0	112	80	Square Lead(矩形波リード)
176	0	112	81	Sawtooth Lead(ノコギリ波リード)
177	0	113	81	Big Lead(ビッグリード)
178	0	112	98	Stardust(スターダスト)
179	0	114	81	Blaster(ブラスター)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
180	0	115	81	Analogon(アナログン)
181	0	113	80	Vintage Lead(ビンテージリード)
182	0	113	98	Sun Bell(サンベル)
183	0	112	83	Aero Lead(エアロリード)
184	0	114	80	Mini Lead(ミニリード)
185	0	115	80	Vinylead(ビニリード)
186	0	117	81	Warp(ワープ)
187	0	116	80	Hi Bias(ハイバイアス)
188	0	117	80	Meta Wood(メタウッド)
189	0	118	80	Tiny Lead(タイニーリード)
190	0	118	81	Sub Aqua(サブアクア)
191	0	119	81	Farg(ファージ)
Synth Pad				
192	0	113	94	Insomnia(インソムニア)
193	0	115	88	Golden Age(ゴールデンエイジ)
194	0	112	90	Krypton(クリプトン)
195	0	113	99	Cyber Pad(サイバーパッド)
196	0	112	95	Wave 2001(ウェーブ2001)
197	0	112	94	Equinox(イクイノックス)
198	0	114	88	Stargate(スターゲート)
199	0	112	92	DX Pad(DXパッド)
200	0	112	93	Loch Ness(ロッホネス)
201	0	112	88	Fantasia(ファンタジア)
202	0	112	91	Xenon Pad(ゼノンパッド)
203	0	112	89	Area 51(エリア51)
204	0	112	99	Atmosphere Pad(アトモスフィア)
205	0	113	89	Dark Moon(ダークムーン)
206	0	115	94	Ionosphere(アイオノスフィア)
207	0	113	93	Phase IV(フェイズIV)
208	0	113	88	Symbion(シンピアント)
209	0	114	94	Solaris(ソラリス)
210	0	117	88	Millenium(ミレニアム)
211	0	113	95	Transform(トランスフォーム)
Percussion				
212	0	113	11	Jazz Vibraphone(ジャズビブラフォン)
213	0	112	11	Vibraphone(ビブラフォン)
214	0	112	12	Marimba(マリンバ)
215	0	112	13	Xylophone(シロフォン)
216	0	112	114	Steel Drum(スチールドラム)
217	0	112	8	Celesta(チェレスタ)
218	0	112	9	Glockenspiel(グロッケンスピール)
219	0	112	10	Music Box(ミュージックボックス)
220	0	112	14	Tubular Bells(チューブラーベル)
221	0	112	108	Kalimba(カリンバ)
222	0	112	47	Timpani(ティンパニ)
223	0	112	15	Dulcimer(ダルシマー)
Drum Kits				
224	127	0	0	Standard Kit 1(スタンダードキット1)
225	127	0	1	Standard Kit 2(スタンダードキット2)
226	127	0	8	Room Kit(ルームキット)
227	127	0	16	Rock Kit(ロックキット)
228	127	0	24	Electronic Kit(エレクトロニックキット)
229	127	0	25	Analog Kit(アナログキット)
230	127	0	27	Dance Kit(ダンスキット)
231	127	0	32	Jazz Kit(ジャズキット)
232	127	0	40	Brush Kit(ブラッシュキット)
233	127	0	48	Symphony Kit(シンフォニーキット)
234	126	0	0	SFX Kit 1(SFXキット1)
235	126	0	1	SFX Kit 2(SFXキット2)

PSR-740/640 XGボイスリスト

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
281	236	0	0	0	Aco.Grand Piano
282	237	0	1	0	Grand Piano KSP
283	238	0	18	0	MellowGrandPiano
284	239	0	40	0	Piano Strings
285	240	0	41	0	Dream
286	241	0	0	1	Bright Aco.Piano
287	242	0	1	1	Bright Piano KSP
288	243	0	0	2	Elec.Grand Piano
289	244	0	1	2	ElecGrndPianoKSP
290	245	0	32	2	Detuned CP80
291	246	0	40	2	Layered CP 1
292	247	0	41	2	Layered CP 2
293	248	0	0	3	Honkytonk Piano
294	249	0	1	3	HonkytonkPnoKSP
295	250	0	0	4	Electric Piano 1
296	251	0	1	4	Elec.Piano 1 KSP
297	252	0	18	4	MellowEl.Piano1
298	253	0	32	4	ChorusEl.Piano1
299	254	0	40	4	Hard El.Piano
300	255	0	45	4	VIXfadeEl.Piano1
301	256	0	64	4	60's El.Piano 1
302	257	0	0	5	Electric Piano 2
303	258	0	1	5	Elec.Piano 2 KSP
304	259	0	32	5	ChorusEl.Piano2
305	260	0	33	5	DX El.Piano Hard
306	261	0	34	5	DX Legend
307	262	0	40	5	DX PhaseEl.Piano
308	263	0	41	5	DX+AnalogElPiano
309	264	0	42	5	DX Koto El.Piano
310	265	0	45	5	VIXfadeEl.Piano2
311	266	0	0	6	Harpsichord
312	267	0	1	6	Harpsichord KSP
313	268	0	25	6	Harpsichord 2
314	269	0	35	6	Harpsichord 3
315	270	0	0	7	Clavi.
316	271	0	1	7	Clavi.KSP
317	272	0	27	7	Clavi.Wah
318	273	0	64	7	Pulse Clavi.
319	274	0	65	7	Pierce Clavi.
320	275	0	0	8	Celesta
321	276	0	0	9	Glockenspiel
322	277	0	0	10	Music Box
323	278	0	64	10	Orgel
324	279	0	0	11	Vibraphone
325	280	0	1	11	Vibraphone KSP
326	281	0	45	11	Hard Vibraphone
327	282	0	0	12	Marimba
328	283	0	1	12	Marimba KSP
329	284	0	64	12	Sine Marimba
330	285	0	97	12	Balimba
331	286	0	98	12	Log Drums
332	287	0	0	13	Xylophone
333	288	0	0	14	Tubular Bells
334	289	0	96	14	Church Bells
335	290	0	97	14	Carillon
336	291	0	0	15	Dulcimer
337	292	0	35	15	Dulcimer 2
338	293	0	96	15	Cimbalom
339	294	0	97	15	Santur
340	295	0	0	16	Drawbar Organ
341	296	0	32	16	DetunedDrawOrgan
342	297	0	33	16	60sDrawbarOrgan1
343	298	0	34	16	60sDrawbarOrgan2
344	299	0	35	16	70sDrawbarOrgan1
345	300	0	36	16	Drawbar Organ 2
346	301	0	37	16	60sDrawbarOrgan3
347	302	0	38	16	Even Bar Organ
348	303	0	40	16	16+2'2/3 Organ
349	304	0	64	16	Organ Bass

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
350	305	0	65	16	70sDrawbarOrgan2
351	306	0	66	16	Cheezy Organ
352	307	0	67	16	Drawbar Organ 3
353	308	0	0	17	Percussive Organ
354	309	0	24	17	70s Perc.Organ 1
355	310	0	32	17	DetunedPercOrgan
356	311	0	33	17	Light Organ
357	312	0	37	17	PercussiveOrgan2
358	313	0	0	18	Rock Organ
359	314	0	64	18	Rotary Organ
360	315	0	65	18	SlowRotaryOrgan
361	316	0	66	18	FastRotaryOrgan
362	317	0	0	19	Church Organ
363	318	0	32	19	Church Organ 3
364	319	0	35	19	Church Organ 2
365	320	0	40	19	Notre Dame
366	321	0	64	19	Organ Flute
367	322	0	65	19	Trem.Organ Flute
368	323	0	0	20	Reed Organ
369	324	0	40	20	Puff Organ
370	325	0	0	21	Accordion
371	326	0	32	21	Accord It
372	327	0	0	22	Harmonica
373	328	0	32	22	Harmonica 2
374	329	0	0	23	Tango Accordion
375	330	0	64	23	TangoAccordion2
376	331	0	0	24	Nylon Guitar
377	332	0	16	24	Nylon Guitar 2
378	333	0	25	24	Nylon Guitar 3
379	334	0	43	24	Velo.GuitarHarmo
380	335	0	96	24	Ukulele
381	336	0	0	25	Steel Guitar
382	337	0	16	25	Steel Guitar 2
383	338	0	35	25	12-string Guitar
384	339	0	40	25	Nylon&Steel Gtr
385	340	0	41	25	Steel Gtr & Body
386	341	0	96	25	Mandolin
387	342	0	0	26	Jazz Guitar
388	343	0	18	26	Mellow Guitar
389	344	0	32	26	Jazz Amp
390	345	0	0	27	Clean Guitar
391	346	0	32	27	Chorus Guitar
392	347	0	0	28	Muted Guitar
393	348	0	40	28	Funk Guitar 1
394	349	0	41	28	MutedSteelGuitar
395	350	0	43	28	Funk Guitar 2
396	351	0	45	28	Jazz Man
397	352	0	0	29	OverdrivenGuitar
398	353	0	43	29	Guitar Pinch
399	354	0	0	30	DistortionGuitar
400	355	0	40	30	Feedback Guitar
401	356	0	41	30	FeedbackGuitar2
402	357	0	0	31	Guitar Harmonics
403	358	0	65	31	Guitar Feedback
404	359	0	66	31	GuitarHarmonics2
405	360	0	0	32	Acoustic Bass
406	361	0	40	32	Jazz Rhythm
407	362	0	45	32	VelXfUprightBass
408	363	0	0	33	Finger Bass
409	364	0	18	33	Finger Bass Dark
410	365	0	27	33	Flange Bass
411	366	0	40	33	Bass&DistortedEG
412	367	0	43	33	Finger Slap Bass
413	368	0	45	33	Finger Bass 2
414	369	0	65	33	Modulated Bass
415	370	0	0	34	Pick Bass
416	371	0	28	34	Muted Pick Bass
417	372	0	0	35	Fretless Bass
418	373	0	32	35	Fretless Bass 2

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
419	374	0	33	35	Fretless Bass 3
420	375	0	34	35	Fretless Bass 4
421	376	0	96	35	Synth Fretless
422	377	0	97	35	Smooth Fretless
423	378	0	0	36	Slap Bass 1
424	379	0	27	36	Resonant Slap
425	380	0	32	36	Punch Thumb Bass
426	381	0	0	37	Slap Bass 2
427	382	0	43	37	Velocity Sw.Slap
428	383	0	0	38	Synth Bass 1
429	384	0	18	38	SynthBass1Dark
430	385	0	20	38	FastResonantBass
431	386	0	24	38	Acid Bass
432	387	0	35	38	Clavi Bass
433	388	0	40	38	TechnoSynthBass
434	389	0	64	38	Orbiter
435	390	0	65	38	Square Bass
436	391	0	66	38	Rubber Bass
437	392	0	96	38	Hammer
438	393	0	0	39	Synth Bass 2
439	394	0	6	39	MellowSynthBass
440	395	0	12	39	Sequenced Bass
441	396	0	18	39	Click Synth Bass
442	397	0	19	39	SynthBass2Dark
443	398	0	32	39	SmoothSynthBass
444	399	0	40	39	ModularSynthBass
445	400	0	41	39	DX Bass
446	401	0	64	39	X Wire Bass
447	402	0	0	40	Violin
448	403	0	8	40	SlowAttackViolin
449	404	0	0	41	Viola
450	405	0	0	42	Cello
451	406	0	0	43	Contrabass
452	407	0	0	44	Tremolo Strings
453	408	0	8	44	SlwAtkTremStrngs
454	409	0	40	44	Suspense Strings
455	410	0	0	45	PizzicatoStrings
456	411	0	0	46	Orchestral Harp
457	412	0	40	46	Yang Chin
458	413	0	0	47	Timpani
459	414	0	0	48	StringEnsemble1
460	415	0	3	48	Stereo Strings
461	416	0	8	48	SlowAttackStrngs
462	417	0	24	48	Arco Strings
463	418	0	35	48	60's Strings
464	419	0	40	48	Orchestra
465	420	0	41	48	Orchestra 2
466	421	0	42	48	TremoloOrchestra
467	422	0	45	48	Velocity Strings
468	423	0	0	49	StringEnsemble2
469	424	0	3	49	StereoSlowStrngs
470	425	0	8	49	Legato Strings
471	426	0	40	49	Warm Strings
472	427	0	41	49	Kingdom
473	428	0	64	49	70's Strings
474	429	0	65	49	StringEnsemble3
475	430	0	0	50	Synth Strings 1
476	431	0	27	50	Resonant Strings
477	432	0	64	50	Synth Strings 4
478	433	0	65	50	Synth Strings 5
479	434	0	0	51	Synth Strings 2
480	435	0	0	52	Choir Aahs
481	436	0	3	52	Stereo Choir
482	437	0	16	52	Choir Aahs 2
483	438	0	32	52	Mellow Choir
484	439	0	40	52	Choir Strings
485	440	0	0	53	Voice Oohs
486	441	0	0	54	Synth Voice
487	442	0	40	54	Synth Voice 2

ボイスリスト

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
488	443	0	41	54	Choral
489	444	0	64	54	Analog Voice
490	445	0	0	55	Orchestra Hit
491	446	0	35	55	Orchestra Hit 2
492	447	0	64	55	Impact
493	448	0	0	56	Trumpet
494	449	0	16	56	Trumpet 2
495	450	0	17	56	Bright Trumpet
496	451	0	32	56	Warm Trumpet
497	452	0	0	57	Trombone
498	453	0	18	57	Trombone 2
499	454	0	0	58	Tuba
500	455	0	16	58	Tuba 2
501	456	0	0	59	Muted Trumpet
502	457	0	0	60	French Horn
503	458	0	6	60	French Horn Solo
504	459	0	32	60	French Horn 2
505	460	0	37	60	Horn Orchestra
506	461	0	0	61	Brass Section
507	462	0	35	61	Trp&TrbSection
508	463	0	40	61	Brass Section 2
509	464	0	41	61	High Brass
510	465	0	42	61	Mellow Brass
511	466	0	0	62	Synth Brass 1
512	467	0	12	62	Quack Brass
513	468	0	20	62	Reso Synth Brass
514	469	0	24	62	Poly Brass
515	470	0	27	62	Synth Brass 3
516	471	0	32	62	Jump Brass
517	472	0	45	62	AnalogVeloBrass1
518	473	0	64	62	Analog Brass 1
519	474	0	0	63	Synth Brass 2
520	475	0	18	63	Soft Brass
521	476	0	40	63	Synth Brass 4
522	477	0	41	63	Choir Brass
523	478	0	45	63	AnalogVeloBrass2
524	479	0	64	63	Analog Brass 2
525	480	0	0	64	Soprano Sax
526	481	0	0	65	Alto Sax
527	482	0	40	65	Sax Section
528	483	0	43	65	Hyper Alto Sax
529	484	0	0	66	Tenor Sax
530	485	0	40	66	BreathyTenorSax
531	486	0	41	66	Soft Tenor Sax
532	487	0	64	66	Tenor Sax 2
533	488	0	0	67	Baritone Sax
534	489	0	0	68	Oboe
535	490	0	0	69	English Horn
536	491	0	0	70	Bassoon
537	492	0	0	71	Clarinet
538	493	0	0	72	Piccolo
539	494	0	0	73	Flute
540	495	0	0	74	Recorder
541	496	0	0	75	Pan Flute
542	497	0	0	76	Blown Bottle
543	498	0	0	77	Shakuhachi
544	499	0	0	78	Whistle
545	500	0	0	79	Ocarina
546	501	0	0	80	Square Lead
547	502	0	6	80	Square Lead 2
548	503	0	8	80	LM Square
549	504	0	18	80	Hollow
550	505	0	19	80	Shroud
551	506	0	64	80	Mellow
552	507	0	65	80	Solo Sine
553	508	0	66	80	Sine Lead
554	509	0	0	81	Sawtooth Lead
555	510	0	6	81	Sawtooth Lead 2
556	511	0	8	81	Thick Sawtooth
557	512	0	18	81	Dynamic Sawtooth
558	513	0	19	81	Digital Sawtooth
559	514	0	20	81	Big Lead

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
560	515	0	24	81	Heavy Synth
561	516	0	25	81	Waspy Synth
562	517	0	40	81	Pulse Sawtooth
563	518	0	41	81	Dr. Lead
564	519	0	45	81	Velocity Lead
565	520	0	96	81	Sequenced Analog
566	521	0	0	82	Calliope Lead
567	522	0	65	82	Pure Pad
568	523	0	0	83	Chiff Lead
569	524	0	64	83	Rubby
570	525	0	0	84	Charang Lead
571	526	0	64	84	Distorted Lead
572	527	0	65	84	Wire Lead
573	528	0	0	85	Voice Lead
574	529	0	24	85	Synth Aahs
575	530	0	64	85	Vox Lead
576	531	0	0	86	Fifths Lead
577	532	0	35	86	Big Five
578	533	0	0	87	Bass & Lead
579	534	0	16	87	Big & Low
580	535	0	64	87	Fat & Perky
581	536	0	65	87	Soft Whirl
582	537	0	0	88	New Age Pad
583	538	0	64	88	Fantasy
584	539	0	0	89	Warm Pad
585	540	0	16	89	Thick Pad
586	541	0	17	89	Soft Pad
587	542	0	18	89	Sine Pad
588	543	0	64	89	Horn Pad
589	544	0	65	89	Rotary Strings
590	545	0	0	90	Poly Synth Pad
591	546	0	64	90	Poly Pad 80
592	547	0	65	90	Click Pad
593	548	0	66	90	Analog Pad
594	549	0	67	90	Square Pad
595	550	0	0	91	Choir Pad
596	551	0	64	91	Heaven
597	552	0	66	91	Utopia
598	553	0	67	91	CC Pad
599	554	0	0	92	Bowed Pad
600	555	0	64	92	Glacier
601	556	0	65	92	Glass Pad
602	557	0	0	93	Metallic Pad
603	558	0	64	93	Tine Pad
604	559	0	65	93	Pan Pad
605	560	0	0	94	Halo Pad
606	561	0	0	95	Sweep Pad
607	562	0	20	95	Shwimmer
608	563	0	27	95	Converge
609	564	0	64	95	Polar Pad
610	565	0	66	95	Celestial
611	566	0	0	96	Rain
612	567	0	45	96	Clavi Pad
613	568	0	64	96	Harmo Rain
614	569	0	65	96	African Wind
615	570	0	66	96	Carib
616	571	0	0	97	Sound Track
617	572	0	27	97	Prologue
618	573	0	64	97	Ancestral
619	574	0	0	98	Crystal
620	575	0	12	98	Synth Drum Comp
621	576	0	14	98	Popcorn
622	577	0	18	98	Tiny Bells
623	578	0	35	98	Round Glocken
624	579	0	40	98	Glocken.Chimes
625	580	0	41	98	Clear Bells
626	581	0	42	98	Chorus Bells
627	582	0	64	98	Synth Mallet
628	583	0	65	98	Soft Crystal
629	584	0	66	98	LoudGlockenspiel
630	585	0	67	98	Christmas Bells
631	586	0	68	98	Vibraphone Bells

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
632	587	0	69	98	Digital Bells
633	588	0	70	98	Air Bells
634	589	0	71	98	Bell Harp
635	590	0	72	98	Gamelimba
636	591	0	0	99	Atmosphere
637	592	0	18	99	Warm Atmosphere
638	593	0	19	99	Hollow Release
639	594	0	40	99	Nylon El.Piano
640	595	0	64	99	Nylon Harp
641	596	0	65	99	Harp Vox
642	597	0	66	99	Atmosphere Pad
643	598	0	67	99	Planet
644	599	0	0	100	Brightness
645	600	0	64	100	Fantasy Bells
646	601	0	96	100	Smokey
647	602	0	0	101	Goblins
648	603	0	64	101	Goblins Synth
649	604	0	65	101	Creeper
650	605	0	66	101	Ring Pad
651	606	0	67	101	Ritual
652	607	0	68	101	To Heaven
653	608	0	70	101	Night
654	609	0	71	101	Glisten
655	610	0	96	101	Bell Choir
656	611	0	0	102	Echoes
657	612	0	8	102	Echoes 2
658	613	0	14	102	Echo Pan
659	614	0	64	102	Echo Bells
660	615	0	65	102	Big Pan
661	616	0	66	102	Synth Piano
662	617	0	67	102	Creation
663	618	0	68	102	Star Dust
664	619	0	69	102	Resonant&Panning
665	620	0	0	103	Sci-Fi
666	621	0	64	103	Starz
667	622	0	0	104	Sitar
668	623	0	32	104	Detuned Sitar
669	624	0	35	104	Sitar 2
670	625	0	96	104	Tambra
671	626	0	97	104	Tamboura
672	627	0	0	105	Banjo
673	628	0	28	105	Muted Banjo
674	629	0	96	105	Rabab
675	630	0	97	105	Gopichant
676	631	0	98	105	Oud
677	632	0	0	106	Shamisen
678	633	0	0	107	Koto
679	634	0	96	107	Taisho-kin
680	635	0	97	107	Kanoon
681	636	0	0	108	Kalimba
682	637	0	0	109	Bagpipe
683	638	0	0	110	Fiddle
684	639	0	0	111	Shanai
685	640	0	64	111	Shanai 2
686	641	0	96	111	Pungi
687	642	0	97	111	Hichiriki
688	643	0	0	112	Tinkle Bell
689	644	0	96	112	Bonang
690	645	0	97	112	Altair
691	646	0	98	112	Gamelan Gongs
692	647	0	99	112	Stereo Gamelan
693	648	0	100	112	Rama Cymbal
694	649	0	101	112	Asian Bells
695	650	0	0	113	Agogo
696	651	0	0	114	Steel Drums
697	652	0	97	114	Glass Percussion
698	653	0	98	114	Thai Bells
699	654	0	0	115	Woodblock
700	655	0	96	115	Castanets
701	656	0	0	116	Taiko Drum
702	657	0	96	116	Gran Cassa
703	658	0	0	117	Melodic Tom

PSR-740 ボイス No.	PSR-640 ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	ボイスネーム
		MSB	LSB		
704	659	0	64	117	Melodic Tom 2
705	660	0	65	117	Real Tom
706	661	0	66	117	Rock Tom
707	662	0	0	118	Synth Drum
708	663	0	64	118	Analog Tom
709	664	0	65	118	Electronic Perc.
710	665	0	0	119	Reverse Cymbal
711	666	0	0	120	GuitarFretNoise
712	667	0	0	121	Breath Noise
713	668	0	0	122	Seashore
714	669	0	0	123	Bird Tweet
715	670	0	0	124	Telephone Ring
716	671	0	0	125	Helicopter
717	672	0	0	126	Applause
718	673	0	0	127	Gunshot
719	674	64	0	0	Cutting Noise
720	675	64	0	1	Cutting Noise 2
721	676	64	0	3	String Slap
722	677	64	0	16	Flute Key Click
723	678	64	0	32	Shower
724	679	64	0	33	Thunder
725	680	64	0	34	Wind
726	681	64	0	35	Stream
727	682	64	0	36	Bubble
728	683	64	0	37	Feed
729	684	64	0	48	Dog
730	685	64	0	49	Horse
731	686	64	0	50	Bird Tweet 2
732	687	64	0	54	Ghost
733	688	64	0	55	Maou
734	689	64	0	64	Phone Call
735	690	64	0	65	Door Squeak
736	691	64	0	66	Door Slam
737	692	64	0	67	Scratch Cut
738	693	64	0	68	Scratch Split
739	694	64	0	69	Wind Chime
740	695	64	0	70	Telephone Ring 2
741	696	64	0	80	CarEngineIgnition
742	697	64	0	81	Car Tires Squeal
743	698	64	0	82	Car Passing
744	699	64	0	83	Car Crash
745	700	64	0	84	Siren
746	701	64	0	85	Train
747	702	64	0	86	Jet Plane
748	703	64	0	87	Starship
749	704	64	0	88	Burst
750	705	64	0	89	Roller Coaster
751	706	64	0	90	Submarine
752	707	64	0	96	Laugh
753	708	64	0	97	Scream
754	709	64	0	98	Punch
755	710	64	0	99	Heartbeat
756	711	64	0	100	FootSteps
757	712	64	0	112	Machine Gun
758	713	64	0	113	Laser Gun
759	714	64	0	114	Explosion
760	715	64	0	115	Firework

ドラムキットリスト

← は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

各パーカッション音の使用発音数は1です。

PSR-740/640の鍵盤のNote#とNoteはこの表よりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1のNote#24/Note C0「シーククリックH」を鍵盤で鳴らす場合は、Note#36/Note C1の鍵盤を押さえます。

Bank MSB	127	127	127	127	127	127	127	
Bank LSB	0	0	0	0	0	0	0	
Prgram Number	0	1	4	8	16	24	25	
Note #	Note	スタンダードキット1	スタンダードキット2	ヒットキット (PSR-740 only)	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット	アナログキット
	13	C#-1	スルドミュート	←	←	←	←	←
	14	D-1	スルドオープン	←	←	←	←	←
	15	D#-1	ハイキュー	←	←	←	←	←
	16	E-1	ウィップスラップ	←	←	←	←	←
	17	F-1	スクラッチブッシュ	←	←	←	←	←
	18	F#-1	スクラッチブル	←	←	←	←	←
	19	G-1	フィンガー snaap	←	←	←	←	←
	20	G#-1	クリックノイズ	←	←	←	←	←
	21	A-1	メトロノームクリック	←	←	←	←	←
	22	A#-1	メトロノームベル	←	←	←	←	←
	23	B-1	シーククリックL	←	←	←	←	←
	24	C0	シーククリックH	←	←	←	←	←
C1	25	C#0	ブラッシュタツプ	←	←	←	←	←
	26	D0	ブラッシュスワール	←	←	←	←	←
D1	27	D#0	ブラッシュスラップ	←	←	←	←	←
	28	E0	ブラッシュタツプスワール	←	←	←	リバースシンバル	リバースシンバル
E1	29	F0	スネアロール	←	←	←	←	←
F1	30	F#0	カスタネット	←	←	←	ハイキュー2	ハイキュー2
G1	31	G0	スネアHソフト	スネアHソフト2	スネアエレクトロニック	←	スネアロックH	スネアL
	32	G#0	スティックス	←	←	←	←	←
A1	33	A0	バスドラムソフト	←	バスドラムハードL	←	←	バスドラムH
	34	A#0	オープンリムショット	オープンリムショット2	スネアピッチ	←	←	←
B1	35	B0	バスドラムハード	←	バスドラムウェット	←	バスドラムH	バスドラムロック
C2	36	C1	バスドラム	バスドラム2	バスドラムハードH	←	バスドラムロック	バスドラムゲート
	37	C#1	サイドスティック	←	スティックアンビエント	←	←	アナログサイドスティック
D2	38	D1	スネアM	スネアM2	スネアアンビエント	スネアールームL	スネアロックL	スネアロックL
	39	D#1	ハンドクラップ	←	←	←	←	←
E2	40	E1	スネアHハード	←	スネアHハード	スネアールームH	スネアロックリム	スネアロックH
F2	41	F1	フロアタムL	←	フロアタム1	ルームタム1	ロックタム1	エレクトロニックタム1
	42	F#1	ハイハットクローズ	←	ハイハットクローズ	←	←	←
G2	43	G1	フロアタムH	←	ハイブリッドタム2	ルームタム2	ロックタム2	エレクトロニックタム2
	44	G#1	ハイハットペダル	←	ハイブリッドタム1	←	←	←
A2	45	A1	ロータム	←	ハイブリッドタム3	ルームタム3	ロックタム3	エレクトロニックタム3
	46	A#1	ハイハットオープン	←	ハイハットオープン	←	←	←
B2	47	B1	ミッドタムL	←	ハイブリッドタム4	ルームタム4	ロックタム4	エレクトロニックタム4
	48	C2	ミッドタムH	←	ハイブリッドタム5	ルームタム5	ロックタム5	エレクトロニックタム5
C3	49	C#2	クラッシュシンバル1	←	←	←	←	←
	50	D2	ハイタム	←	ハイブリッドタム6	ルームタム6	ロックタム6	エレクトロニックタム6
D3	51	D#2	ライドシンバル1	←	←	←	←	←
E3	52	E2	チャイニーズシンバル	←	←	←	←	←
F3	53	F2	ライドシンバルカップ	←	←	←	←	←
	54	F#2	タンバリン	←	タンバリンライト	←	←	←
G3	55	G2	スブラッシュシンバル	←	←	←	←	←
	56	G#2	カウベル	←	←	←	←	←
A3	57	A2	クラッシュシンバル2	←	←	←	←	←
	58	A#2	ビブラスラップ	←	←	←	←	←
B3	59	B2	ライドシンバル2	←	←	←	←	←
C4	60	C3	ボンゴH	←	←	←	←	←
	61	C#3	ボンゴL	←	←	←	←	←
D4	62	D3	コンガHミュート	←	←	←	←	←
	63	D#3	コンガHオープン	←	←	←	←	←
E4	64	E3	コンガL	←	←	←	←	←
F4	65	F3	ティンパレスH	←	←	←	←	←
	66	F#3	ティンパレスL	←	←	←	←	←
G4	67	G3	アゴゴH	←	←	←	←	←
	68	G#3	アゴゴL	←	←	←	←	←
A4	69	A3	カバサ	←	←	←	←	←
	70	A#3	マラカス	←	←	←	←	←
B4	71	B3	サンバホイッスルH	←	←	←	←	←
C5	72	C4	サンバホイッスルL	←	←	←	←	←
	73	C#4	ギロショット	←	←	←	←	←
D5	74	D4	ギロロング	←	←	←	←	←
	75	D#4	クラベス	←	←	←	←	←
E5	76	E4	ウッドブロックH	←	←	←	←	←
F5	77	F4	ウッドブロックL	←	←	←	←	←
	78	F#4	クイーカミュート	←	←	←	←	←
G5	79	G4	クイーカオープン	←	←	←	←	←
	80	G#4	トライアングルミュート	←	←	←	←	←
A5	81	A4	トライアングルオープン	←	←	←	←	←
	82	A#4	シェイカー	←	←	←	←	←
B5	83	B4	ジングルベル	←	←	←	←	←
C6	84	C5	ベルツリー	←	←	←	←	←
	85	C#5						
	86	D5						
	87	D#5						
	88	E5						
	89	F5						
	90	F#5						
	91	G5						

ドラムキットリスト

Bank MSB		127	127	127	127	126	126
Bank LSB		0	0	0	0	0	0
Prgram Number		27	32	40	48	0	1
Note #	Note	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット	シンフォニーキット	SFXキット1	SFXキット2
	13	C#-1	<---	<---	<---	<---	
	14	D-1	<---	<---	<---	<---	
	15	D#-1	<---	<---	<---	<---	
	16	E-1	<---	<---	<---	<---	
	17	F-1	<---	<---	<---	<---	
	18	F#-1	<---	<---	<---	<---	
	19	G-1	<---	<---	<---	<---	
	20	G#-1	<---	<---	<---	<---	
	21	A-1	<---	<---	<---	<---	
	22	A#-1	<---	<---	<---	<---	
	23	B-1	<---	<---	<---	<---	
	24	C0	<---	<---	<---	<---	
C1	25	C#0	<---	<---	<---	<---	
	26	D0	<---	<---	<---	<---	
D1	27	D#0	<---	<---	<---	<---	
	28	E0	リバーシシバル	<---	<---	<---	
E1	29	F0	<---	<---	<---	<---	
	30	F#0	ハイキュー 2	<---	<---	<---	
F1	31	G0	アナログスネアスナッピー	スネアジャズHライト	ブラッシュスラップ L	<---	
G1	32	G#0	<---	<---	<---	<---	
	33	A0	アナログバスドラムダンス1	<---	<---	バスドラム L	
A1	34	A#0	アナログスネアオープンリム	<---	<---	<---	
	35	B0	アナログバスドラムダンス2	<---	<---	グランカッサ	
C2	36	C1	アナログバスドラムダンス3	バスドラムジャズ	バスドラムジャズ	グランカッサミュート	ギターカッティングノイズ
	37	C#1	アナログサイドスティック	<---	<---	<---	ギターカッティングノイズ2
D2	38	D1	アナログスネアキュー	スネアジャズL	ブラッシュスラップ	マーチングスネアM	ドアスラム
	39	D#1	<---	<---	<---	<---	ドアスラム
E2	40	E1	スネアアナログ・アコースティック	スネアジャズM	ブラッシュタップ	マーチングスネアH	ストリングスラップ
	41	F1	アナログタム 1	<---	ブラッシュタム 1	<---	スクラッチカット
F2	42	F#1	アナログハイハットクローズ3	<---	<---	<---	スクラッチ
G2	43	G1	アナログタム 2	<---	ブラッシュタム 2	<---	ウィンドチャイム
	44	G#1	アナログハイハットクローズ4	<---	<---	<---	テレホンリング2
A2	45	A1	アナログタム 3	<---	ブラッシュタム 3	<---	
	46	A#1	アナログハイハットオープン2	<---	<---	<---	
B2	47	B1	アナログタム 4	<---	ブラッシュタム 4	<---	
	48	C2	アナログタム 5	<---	ブラッシュタム 5	<---	
C3	49	C#2	アナログシンバル	<---	<---	ハンドシンバル L	
D3	50	D2	アナログタム 6	<---	ブラッシュタム 6	<---	
	51	D#2	<---	<---	<---	ハンドシンバルショートL	
E3	52	E2	<---	<---	<---	<---	フルートキック
F3	53	F2	<---	<---	<---	<---	エンジンスタート
	54	F#2	<---	<---	<---	<---	タイヤスクイール
G3	55	G2	<---	<---	<---	<---	カーバッシング
	56	G#2	アナログカウベル	<---	<---	<---	クラッシュ
A3	57	A2	<---	<---	<---	ハンドシンバルH	サイレン
	58	A#2	<---	<---	<---	<---	列車
B3	59	B2	<---	<---	<---	ハンドシンバルショートH	ジェット機
	60	C3	<---	<---	<---	<---	宇宙船
C4	61	C#3	<---	<---	<---	<---	バーストノイズ
	62	D3	アナログコンガH	<---	<---	<---	コースター
D4	63	D#3	アナログコンガM	<---	<---	<---	潜水艦
	64	E3	アナログコンガL	<---	<---	<---	
E4	65	F3	<---	<---	<---	<---	
F4	66	F#3	<---	<---	<---	<---	
G4	67	G3	<---	<---	<---	<---	
	68	G#3	<---	<---	<---	<---	シャワー
A4	69	A3	<---	<---	<---	<---	雷
	70	A#3	アナログマラカス	<---	<---	<---	風
B4	71	B3	<---	<---	<---	<---	川
	72	C4	<---	<---	<---	<---	泡
C5	73	C#4	<---	<---	<---	<---	フィード
	74	D4	<---	<---	<---	<---	
D5	75	D#4	アナログクラベス	<---	<---	<---	
E5	76	E4	<---	<---	<---	<---	
F5	77	F4	<---	<---	<---	<---	
	78	F#4	スクラッチブッシュ	<---	<---	<---	
G5	79	G4	スクラッチブル	<---	<---	<---	
	80	G#4	<---	<---	<---	<---	
A5	81	A4	<---	<---	<---	<---	
	82	A#4	<---	<---	<---	<---	
B5	83	B4	<---	<---	<---	<---	
	84	C5	<---	<---	<---	<---	犬
C6	85	C#5	<---	<---	<---	<---	マシガン
	86	D5	<---	<---	<---	<---	レーザガン
	87	D#5	<---	<---	<---	<---	爆発音
	88	E5	<---	<---	<---	<---	花火
	89	F5	<---	<---	<---	<---	
	90	F#5	<---	<---	<---	<---	幽霊
	91	G5	<---	<---	<---	<---	マオウ

スタイルリスト

スタイル No.	スタイルネーム
8ビート	
1	8Beat 1(8ビート1)
2	8Beat 2(8ビート2)
3	8Beat Adria(8ビートアドリア)
4	8Beat Pop 1(8ビートポップ1)
5	8Beat Pop 2(8ビートポップ2)
6	British Pop(ブリティッシュポップ)
7	8Beat Rock(8ビートロック)
8	8Beat Soft(8ビートソフト)
9	8Beat 3(8ビート3)
16ビート	
10	16Beat 1(16ビート1)
11	16Beat 2(16ビート2)
12	16Beat 3(16ビート3)
13	16Beat 4(16ビート4)
14	16Beat 5(16ビート5)
15	Soft Fusion(ソフトフュージョン)
16	Hip Hop Pop(ヒップホップポップ)
17	16Beat Funk(16ビートファンク)
18	Funky Pop(ファンキーポップ)
19	80's Fusion(80's フュージョン)
20	Jazz Rock(ジャズロック)
21	Fusion Shuffle(フュージョンシャフル)
22	16Beat 6(16ビート6)
8ビートバラード	
23	Piano Ballad(ピアノバラード)
24	U.S. Ballad(USバラード)
25	Slow Rock 1(スローロック1)
26	Slow Rock 2(スローロック2)
27	Modern 6/8(モダン6/8)
28	Guitar Ballad(ギターバラード)
29	Organ Ballad(オルガンバラード)
30	Blues Ballad(ブルースバラード)
31	Epic Ballad(エピックバラード)
16ビートバラード	
32	16Beat Ballad 1(16ビートバラード1)
33	16Beat Ballad 2(16ビートバラード2)
34	Rock Ballad(ロックバラード)
35	Slow Ballad(スローバラード)
36	Analog Pop(アナログポップ)
37	Pop Ballad 1(ポップバラード1)
38	Pop Ballad 2(ポップバラード2)
39	Cool Nigh(クールナイト)
40	Pop Ballad 3(ポップバラード3)
ロック	
41	Rock 1(ロック1)
42	Hard Rock(ハードロック)
43	Rock & Roll 1(ロックンロール1)
44	Rock Shuffle(ロックシャフル)
45	Twist 1(ツイスト1)
46	4/4 Blues(4/4ブルース)
47	Rock 2(ロック2)
48	8Beat Hea(8ビートヒート)
49	Rock & Roll 2(ロックンロール2)
50	Twist 2(ツイスト2)
51	Blues Rock(ブルースロック)
52	6/8 Rock(6/8ロック)
ダンスフロアー	
53	Clubdance(クラブダンス)
54	Techno(テクノ)
55	Entrance(エントランス)
56	Eurobeat(ユーロビート)
57	Trance 1(トランス1)
58	Trance 2(トランス2)

スタイル No.	スタイルネーム
59	Cool Dance(クールダンス)
60	Funky Trip Hop(ファンキートリップホップ)
61	House(ハウス)
62	Handbag(ハンドバッグ)
63	Tip(チップ)
ディスコ	
64	70's Disco(70's ディスコ)
65	90's Disco(90's ディスコ)
66	Disco Soul(ディスコソウル)
67	Miami Pop(マイアミポップ)
68	Disco Tropic(ディスコトロピック)
69	Disco Hands(ディスコハンズ)
70	Electro Pop(エレクトロポップ)
スイング&ジャズ	
71	Swing 1(スイング1)
72	Big Band 1(ビッグバンド1)
73	Big Band Ballad(ビッグバンドバラード)
74	Jazz Ballad(ジャズバラード)
75	Jazz Trio(ジャズトリオ)
76	Boogie 1(ブギ1)
77	Dixieland 1(デキシーランド1)
78	Big Band Boogie(ビッグバンドブギ)
79	Gypsy Swing(ジブシースイング)
80	Bebo(ビーポップ)
81	Swing 2(スイング2)
82	Big Band 2(ビッグバンド2)
83	Boogie 2(ブギ2)
84	Dixieland 2(デキシーランド2)
リズム&ブルース	
85	Gospel Shuffle(ゴスペルシャフル)
86	R & B 1(リズム&ブルース1)
87	Motown(モータウン)
88	Soul(ソウル)
89	Soul Shuffle(ソウルシャフル)
90	R & B 2(リズム&ブルース2)
91	6/8 Blues(6/8ブルース)
カントリー	
92	Country Rock(カントリーロック)
93	Country 8Beat(カントリー8ビート)
94	Country Pop(カントリーポップ)
95	Country Shuffle(カントリーシャフル)
96	Country Swing(カントリースイング)
97	Bluegrass(ブルーグラス)
98	Country Ballad(カントリーバラード)
99	Two Step(ツーステップ)
100	Cowboy Boogie(カウボーイブギ)
101	Hoedown(ホウダウン)
ラテン	
102	Samba Rio(サンパリオ)
103	Bossa Nova 1(ボサノバ1)
104	Bossa Nova 2(ボサノバ2)
105	Reggae(レゲエ)
106	Swing Reggae(スイングレゲエ)
107	Guitar Rhumba(ギタールンバ)
108	Guitar Bossa(ギターボサ)
109	Salsa(サルサ)
110	Mambo(マンボ)
111	Jazz Samba(ジャズサンバ)
112	Pop Bossa 1(ポップボサ1)
113	Pop Bossa 2(ポップボサ2)
114	Pop Reggae(ポップレゲエ)
115	Pop Cha Cha(ポップチャチャ)
ボールルーム	
116	Slow Fox(スローフォックス)

スタイル No.	スタイルネーム
117	Quickstep(クイックステップ)
118	Tango(タンゴ)
119	Cha Cha Cha(チャチャチャ)
120	Samba 1(サンパリオ)
121	Rhumba(ルンバ)
122	Pasodoble(パソドブレ)
123	Jive(ジャイブ)
124	Beguine 1(ビギン1)
125	Foxtrot(フォックストロット)
トラディショナル	
126	U.S. March(USマーチ)
127	German March(ジャーマンマーチ)
128	6/8 March 1(6/8マーチ1)
129	Polka(ポルカ)
130	Polka Pop 1(ポルカポップ1)
131	Polka Pop 2(ポルカポップ2)
132	Polka Oberkrainer(ポルカオーバークライナー)
133	Tarantella(タランテラ)
134	Hully Gully(ハーリーガーリー)
ワルツ	
135	Pop Waltz(ポップワルツ)
136	Jazz Waltz 1(ジャズワルツ1)
137	Country Waltz(カントリーワルツ)
138	Vienna Waltz(ウィンナワルツ)
139	Slow Waltz 1(スローワルツ1)
140	Orch. Waltz(オーケストラワルツ)
141	Waltz Oberkrainer(ワルツオーバークライナー)
142	Musette(ミュゼット)
143	Guitar Waltz(ギターワルツ)
ピアニスト	
144	Stride(ストライド)
145	Boogie 3(ブギ3)
146	Swing 3(スイング3)
147	Pianomar(ピアノマン)
148	8Beat 4(8ビート4)
149	Ballad 1(バラード1)
150	Ballad 2(バラード2)
151	6/8 Ballad(6/8バラード)
152	Ragtime(ラグタイム)
153	March(マーチ)
154	6/8 March 2(6/8マーチ2)
155	Bossa Nova 3(ボサノバ3)
156	Beguine 2(ビギン2)
157	Samba 2(サンパ2)
158	Waltz(ワルツ)
159	Slow Waltz 2(スローワルツ2)
160	Jazz Waltz 2(ジャズワルツ2)

マルチパッドバンクリスト

バンク名	コードマッチ				リピート			
	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4
Fanfare(ファンファーレ)				-	-	-	-	-
Crysta(クリスタル)					-	-	-	-
Gothic_V(ゴシック)					-	-	-	-
TechSyn1(テクノシンセ1)								
TechSyn2(テクノシンセ2)								
TechSyn3(テクノシンセ3)				-				
TechSyn4(テクノシンセ4)				-				
PianoSeq(ピアノシーケンス)					-	-	-	-
OrcheHit(オーケストラヒット)					-	-	-	-
Traffic(トラフィック)	-	-	-	-	-	-	-	-
Chirp(チャープ)	-	-	-	-	-	-	-	-
HorrorSE(ホラーSE)	-	-	-	-	-	-	-	-
Noise(ノイズ)	-	-	-	-	-	-	-	-
WaterSE(ウォーターSE)	-	-	-	-	-	-	-	-
AnalogKit(アナログキット)	-	-	-	-	-	-	-	-
TechKit(テクノキット)	-	-	-	-	-	-	-	-
RockKit(ロックキット)	-	-	-	-	-	-	-	-
TomFlam(トムフラム)	-	-	-	-	-	-	-	-
LatinPerc1(ラテンパーカッション1)	-	-	-	-	-	-	-	-
LatinPerc2(ラテンパーカッション2)	-	-	-	-	-	-	-	-
Brassy1(ブラッシー1)					-	-	-	-
Brassy2(ブラッシー2)					-	-	-	-
Swing(スインギー)								
SynBrass(シンセブラス)					-	-	-	-
GuitarPlay1(ギタープレイ1)								
GuitarPlay2(ギタープレイ2)								
GuitarPlay3(ギタープレイ3)								
GuitarPlay4(ギタープレイ4)								
PianoMar(ピアノマン)								-
SalsaPian(サルサピアノ)								
SambaShow(サンバショー)	-	-	-	-				
Accordior(アコーディオン)					-	-	-	-
Arpeggio(アルペジオ)					-	-	-	-
Classi(クラシック)					-	-	-	-
Twinkle(トゥィンクル)					-	-	-	-
TimbalesRol(ティンパレスロール)	-	-	-	-	-	-	-	-

マルチパッドのデータには以下の2種類に分けられます。
 ・データの最後まで演奏したら自動的にストップするもの(リピートオフ)
 ・データを繰り返し演奏するもの(リピートオン)
 リピートオンのパッドの演奏は[STOP]ボタンを押すまで、繰り返し続きます。

デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ

■ PSR-740

リバーブ(システムエフェクト)

パネル操作でリバーブタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したリバーブタイプ/デプスが選択されています。

コーラス(システムエフェクト)

パネル操作でコーラスタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したコーラスタイプ/デプスが選択されています。

DSP(システム/インサクションエフェクト)

パネル操作でDSPタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したDSPタイプ/デプスが選択されています。

DSP1~3(インサクションエフェクト)

PSR-740ではマルチエフェクトとして3つのDSP系統があり、それぞれのオン/オフをパネルのボタンで操作します。74種類のDSPタイプがありますが、通常はスタイルに適したDSPタイプ/デプスが選択されています。

DSP4(インサクションエフェクト)

マイク入力音に対してかかるDSPで、オン/オフをパネルのボタンで操作します。74種類のDSPタイプがあり、自由に選ぶことができます。

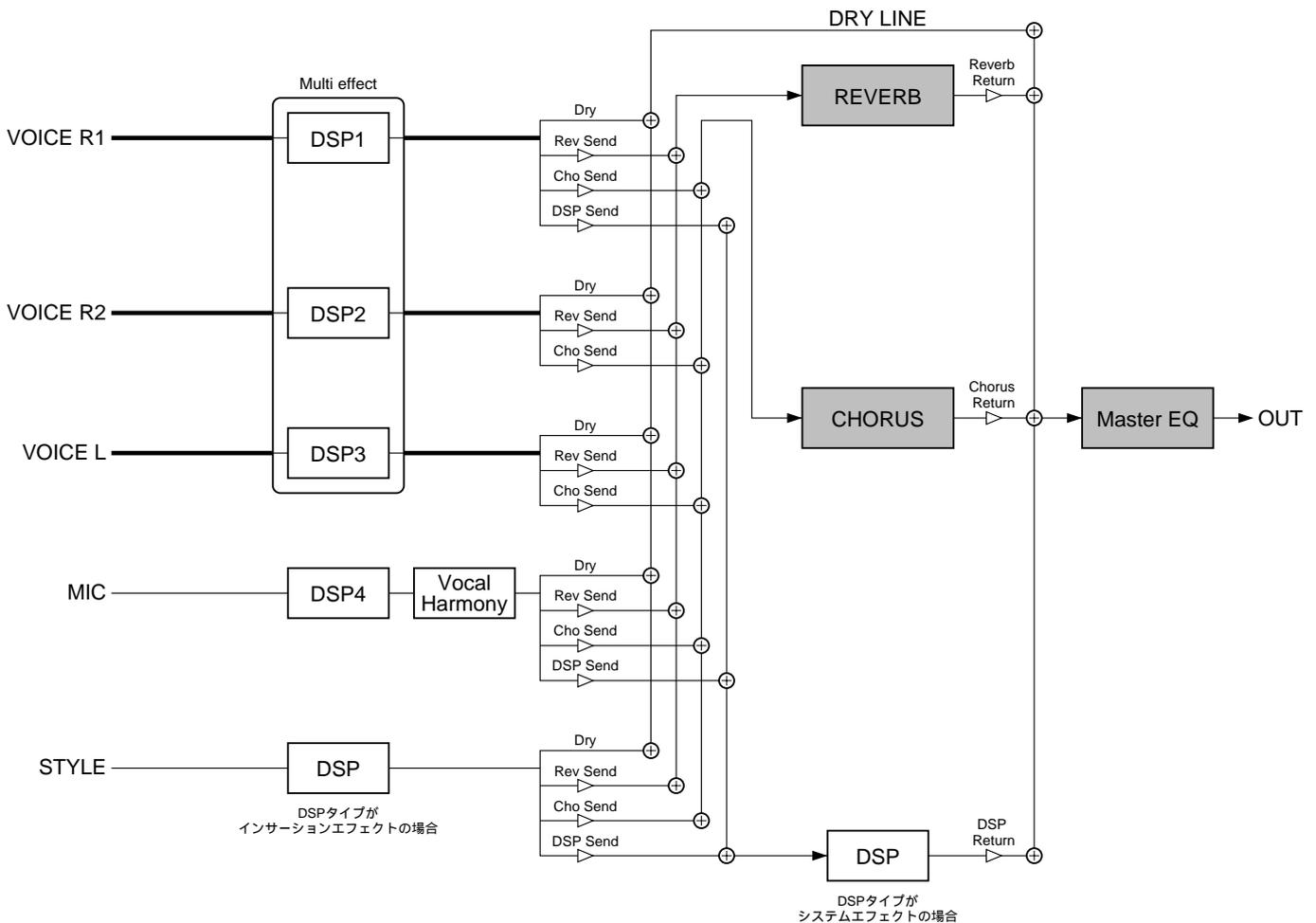
マスターEQ(インサクションエフェクト)

パネル操作でオン/オフ、タイプおよびデプスを設定できます。

メモ

エフェクトに関する設定の中には、PSR-740のパネルでは行えないものもあります。MIDI IN演奏情報にエフェクト設定データ(システムエクスクルーシブ)があれば、個別に設定することができます。詳細はMIDIデータフォーマットを参照してください。

以下のイラストはPSR-740のパネル操作で設定できるエフェクトパラメーターの関係を図にしたものです。



■ PSR-640

リバーブ(システムエフェクト)

パネル操作でリバーブタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したリバーブタイプ/デプスが選択されています。

コーラス(システムエフェクト)

パネル操作でコーラスタイプ/デプスを設定できますが、通常はスタイルに適したコーラスタイプ/デプスが選択されています。

DSP(システム/インサージョンエフェクト)

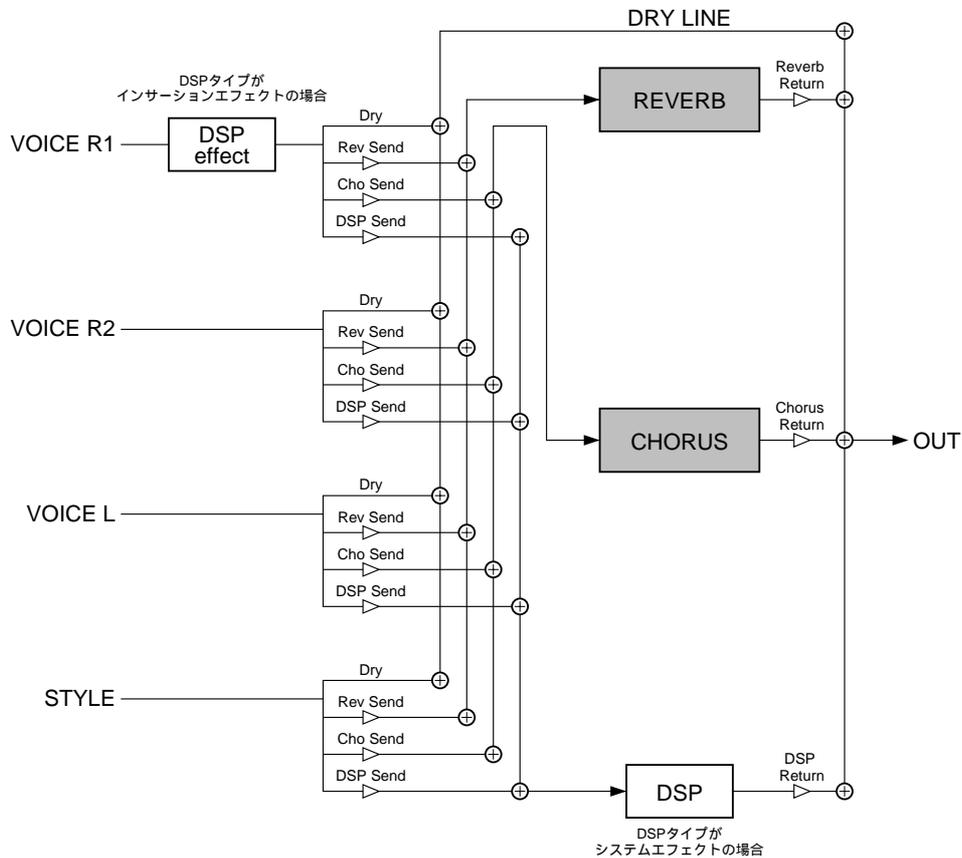
パネル操作でオン/オフ、DSPタイプ/デプスを設定できます。

DSPエフェクトのタイプにシステムエフェクトが選ばれている場合と、インサージョンエフェクトが選ばれている場合とで、デジタルエフェクトのしくみが大きく異なります。

メモ

エフェクトに関する設定の中には、PSR-640のパネルでは行えないものもあります。MIDI IN演奏情報にエフェクト設定データ(システムエクスクルーシブ)があれば、個別に設定することができます。詳細はMIDIデータフォーマットを参照してください。

以下のイラストはPSR-640のパネル操作で設定できるエフェクトパラメーターの関係を図にしたものです。



デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ

リバーブタイプリスト(PSR-740/640)

タイプ	システム/インサージョン	説明
Hall1~5(ホール1~5)	システム	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Room1~7(ルーム1~7)	システム	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Stage1~4(ステージ1~4)	システム	ソロ楽器に適したリバーブです。
Plate1~3(プレート1~3)	システム	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
White Room(ホワイトルーム)	システム	若干のイニシャルディレイを持った独特のショートリバーブです。
Tunnel(トンネル)	システム	左右に広がった筒状の空間のシミュレートです。
Canyon(キャニオン)	システム	限りなく広がる幻想的な音の世界をイメージしたものです。
Basement(ベースメント)	システム	若干のイニシャルディレイの後に、独特の響きを持ったリバーブです。
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトをOFFにします。

コーラスタイプリスト(PSR-740/640)

タイプ	システム/インサージョン	説明
Chorus1~8(コーラス1~8)	システム	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
Celeste1, 2(セレステ1, 2)	システム	3相のLFOにより、音にうねりと広がりを与えるプログラムです。
Flanger1~5(フランジャー1~5)	システム	ジェットサウンドを作り出す効果です。
Symphonic1, 2(シンフォニック1, 2)	システム	音にうねりと広がりを与える効果です。(PSR-740)
Phase(フェイザー)	システム	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。(PSR-740)
Ensemble Detune(アンサンブルデチューン)	システム	音程をわずかにずらした音を付加することによる、うねりのないコーラスエフェクトです。(PSR-740)
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトをOFFにします。

DSPタイプリスト(PSR-640)

タイプ	システム/インサージョン	説明
Hall1~5(ホール1~5)	システム	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Room1~7(ルーム1~7)	システム	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Stage1~4(ステージ1~4)	システム	ソロ楽器に適したリバーブです。
Plate1~3(プレート1~3)	システム	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
Delay L-C-R 1, 2(ディレイL-C-R 1, 2)	システム	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
Delay L-Right(ディレイL-R)	システム	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。 2本のフィードバックディレイを持っています。
Echo(エコー)	システム	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
Cross Delay(クロスディレイ)	システム	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
ER1, 2	システム	リバーブの初期反射音のみを取り出したエフェクトです。
Gate Reverb(ゲートリバーブ)	システム	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
Reverse Gate(リバースゲート)	システム	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
Karaoke1~3(カラオケ1~3)	システム	カラオケ用のエコーと同じ仕組みのフィードバック付きのディレイです。
Chorus1~8(コーラス1~8)	システム	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
Celeste1, 2(セレステ1, 2)	システム	3相のLFOにより、音にうねりと広がりを与えるプログラムです。
Flanger1~5(フランジャー1~5)	システム	ジェットサウンドを作り出す効果です。
Symphonic(シンフォニック)	システム	音にうねりと広がりを与える効果です。
Rotary Speaker1~6(ロータリースピーカー1~6)	インサージョン	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
Tremolo1~3(トレモロ1~3)	インサージョン	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
Guitar Tremolo(ギタートレモロ)	インサージョン	エレクトリックギターのトレモロをシミュレートしたものです。
Auto Pan1, 2(オートパン1, 2)	インサージョン	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
Phaser 1, 2(フェイザー1, 2)	システム	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
Distortion Hard(ディストーションハード)	インサージョン	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
Distortion Soft(ディストーションソフト)	インサージョン	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
Distortion Heavy(ディストーションヘビー)	インサージョン	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ヘビー)
Overdrive(オーバードライブ)	インサージョン	音にマイルドな歪みを与えます。
Amp Simulator(ギターアンプシミュレーター)	インサージョン	ギターアンプをシミュレートしたものです。
EQ Disc(イコライザーディスク)	インサージョン	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスク風のエフェクト効果が得られます。
EQ Telephone(イコライザーテレフォン)	インサージョン	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
3Band EQ(3バンドイコライザー)	インサージョン	LOW, MID, HIGHのイコライジングが可能な MONO EQ です。
2Band EQ(2バンドイコライザー)	インサージョン	LOW, HIGHのイコライジングが可能な STEREO EQ です。ドラムパートに最適です。
Auto Wah1, 2(オートワウ1, 2)	インサージョン	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトをOFFにします。
Through(スルー)	-	エフェクトをかけずにバイパスします。

デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ

DSPタイプリスト(PSR-740)

タイプ	システム/インサージョン	説明
Hall1~5(ホール1~5)	システム	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Room1~7(ルーム1~7)	システム	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Stage1~4(ステージ1~4)	システム	ソロ楽器に適したリバーブです。
Plate1~3(プレート1~3)	システム	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
Delay L-C-R 1, 2(ディレイL-C-R 1, 2)	システム	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
Delay L-Right(ディレイL-R)	システム	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。
Echo(エコー)	システム	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
Cross Delay(クロスディレイ)	システム	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
ER1, 2	システム	リバーブの初期反射音のみを取り出したエフェクトです。
Gate Reverb(ゲートリバーブ)	システム	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
Reverse Gate(リバースゲート)	システム	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
White Room(ホワイトルーム)	システム	若干のイニシャルディレイを持った独特のショートリバーブです。
Tunnel(トンネル)	システム	左右に広がった筒状の空間のシミュレートです。
Canyon(キャニオン)	システム	限りなく広がる幻想的な音の世界をイメージしたものです。
Basemen(ベースメント)	システム	若干のイニシャルディレイの後に、独特の響きを持ったリバーブです。
Karaoke1~3(カラオケ1~3)	システム	カラオケ用のエコーと同じ仕組みのフィードバック付きのディレイです。
Chorus1~8(コーラス1~8)	システム	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
Celeste1, 2(セレステ1, 2)	システム	3相のLFOにより、音にうねりと広がりを与えるプログラムです。
Flanger1~5(フランジャー1~5)	システム	ジェットサウンドを作り出す効果です。
Symphonic1, 2(シンフォニック1, 2)	システム	音にうねりと広がりを与える効果です。
Rotary Speaker 1~6(ロータリースピーカー1~6)	システム	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
2way Rotary Speaker(2ウェイロータリースピーカー)	システム	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
Tremolo1~3(トレモロ1~3)	システム	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
Guitar Tremolo(ギタートレモロ)	システム	エレクトリックギターのトレモロをシミュレートしたものです。
Auto Pan1, 2(オートパン1, 2)	システム	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
Phaser 1, 2(フェイザー1, 2)	システム	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
Distortion Hard(ディストーションハード)	システム	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
Distortion Soft(ディストーションソフト)	システム	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
Distortion Heavy(ディストーションヘビー)	システム	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ヘビー)
Overdrive(オーバードライブ)	システム	音にマイルドな歪みを与えます。
Comp + Distortion(コンプレッサー+ディストーション)	システム	前段にコンプレッサーがあるため、入力レベルにかかわらず均等に歪ませることができます。
Amp Simulator(ギターアンプシミュレーター)	システム	ギターアンプをシミュレートしたものです。
EQ Disc(イコライザーディスク)	システム	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスク風のエフェクト効果が得られます。
EQ Telephone(イコライザーテレフォン)	システム	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
3Band EQ(3バンドイコライザー)	システム	LOW, MID, HIGHのイコライジングが可能なMONO EQです。
2Band EQ(2バンドイコライザー)	システム	LOW, HIGHのイコライジングが可能なSTEREO EQです。ドラムパートに最適です。
Auto Wah1, 2(オートワウ1, 2)	システム	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
Touch Wah1, 2(タッチワウ1, 2)	システム	入力レベルによりWah Filterの中心周波数を変えるエフェクトです。
AWah+Distortion(オートワウ+ディストーション)	システム	オートワウの出力をディストーションにより、歪ませたものです。
AWah+Overdrive(オートワウ+オーバードライブ)	システム	オートワウの出力をオーバードライブにより、歪ませたものです。
Harmonic Enhance(ハーモニックエンハンサー)	システム	入力信号に新たな倍音を付加し音をきわだたせるエフェクトです。
TWah+Distortion(タッチワウ+ディストーション)	システム	タッチワウの出力をディストーションにより、歪ませたものです。
TWah+Overdrive(タッチワウ+オーバードライブ)	システム	タッチワウの出力をオーバードライブにより、歪ませたものです。
Compressor(コンプレッサー)	システム	設定レベル以上の信号が入力されると出力を抑えます。また音にアタック感を与えることもできます。
Noise Gate(ノイズゲート)	システム	入力信号が設定レベル以下になると、入力をゲートします。
Pitch change 1, 2(ピッチチェンジ)	システム	入力信号の音程を変えるエフェクトです。
Voice Cancel(ボイスキャンセル)	システム	CDなどのソースのボーカル部分を減衰させることができます。
Ensemble Detune(アンサンブルデチューン)	システム	音程をわずかにずらした音を付加することによる、うねりのないコーラスエフェクトです。
Ambience(アンビエンス)	システム	音の定位をぼかして空間的な広がりを得るエフェクトです。
Talking Modulator(トーキングモジュレーター)	システム	トーキングモジュレーター
Lo-Fi	システム	入力信号の音質を粗くします。
Distortion+Delay(ディストーション+ディレイ)	システム	ディストーションとディレイを直列に接続したものです。
Overdrive+Delay(オーバードライブ+ディレイ)	システム	オーバードライブとディレイを直列に接続したものです。
Comp+Dist+Delay(コンプレッサー+ディストーション+ディレイ)	システム	コンプレッサーとディストーションとディレイを直列に接続したものです。
Comp+OD+Delay(コンプレッサー+オーバードライブ+ディレイ)	システム	コンプレッサーとオーバードライブとディレイを直列に接続したものです。
Wah+Dist+Delay(ワウ+ディストーション+ディレイ)	システム	タッチワウとディストーションとディレイを直列に接続したものです。
Wah+OD+Delay(ワウ+オーバードライブ+ディレイ)	システム	タッチワウとオーバードライブとディレイを直列に接続したものです。
No Effect(ノーエフェクト)	-	エフェクトをOFFにします。
Through(スルー)	-	エフェクトをかけずにバイパスします。

デジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP)のしくみ

DSP1～4タイプリスト(PSR-740)

タイプ	システム/インサクション	説明
Hall1～5(ホール1～5)	インサクション	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Room1～7(ルーム1～7)	インサクション	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
Stage1～4(ステージ1～4)	インサクション	ソロ楽器に適したリバーブです。
Plate1～3(プレート1～3)	インサクション	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
Delay L-C-R 1, 2(ディレイL-C-R 1, 2)	インサクション	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
Delay L-Right(ディレイL-R)	インサクション	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。
Echo(エコー)	インサクション	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
Cross Delay(クロスディレイ)	インサクション	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
Karaoke1～3(カラオケ1～3)	インサクション	カラオケ用のエコーと同じ仕組みのフィードバック付きのディレイです。
Chorus1～8(コーラス1～8)	インサクション	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
Celeste1, 2(セレステ1, 2)	インサクション	3相のLFOにより、音にうねりと広がりを与えるプログラムです。
Flanger1～5(フランジャー1～5)	インサクション	ジェットサウンドを作り出す効果です。
Symphonic1, 2(シンフォニック1, 2)	インサクション	音にうねりと広がりを与える効果です。
Rotary Speaker 1～6(ロータリースピーカー1～6)	インサクション	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
Tremolo1～3(トレモロ1～3)	インサクション	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
Guitar Tremolo(ギタートレモロ)	インサクション	エレクトリックギターのトレモロをシミュレートしたものです。
Auto Pan1, 2(オートパン1, 2)	インサクション	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
Phase(フェイザー1)	インサクション	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
Distortion Hard(ディストーションハード)	インサクション	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
Distortion Soft(ディストーションソフト)	インサクション	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
Distortion Heavy(ディストーションヘビー)	インサクション	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ヘビー)
Overdrive(オーバードライブ)	インサクション	音にマイルドな歪みを与えます。
Amp Simulator(ギターアンプシミュレーター)	インサクション	ギターアンプをシミュレートしたものです。
EQ Disc(イコライザーディスコ)	インサクション	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られます。
EQ Telephone(イコライザーテレフォン)	インサクション	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
3Band EQ(3バンドイコライザー)	インサクション	LOW, MID, HIGHのイコライジングが可能なMONO EQです。
2Band EQ(2バンドイコライザー)	インサクション	LOW, HIGHのイコライジングが可能なSTEREO EQです。ドラムパートに最適です。
Auto Wah1, 2(オートワウ1, 2)	インサクション	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
Harmonic Enhance(ハーモニックエンハンサー)	インサクション	入力信号に新たな倍音を付加し音をきわだたせるエフェクトです。
Touch Wah1, 2(タッチワウ1, 2)	インサクション	入力レベルによりWah Filterの中心周波数を変えるエフェクトです。
Compressor(コンプレッサー)	インサクション	設定レベル以上の信号が入力されると出力を抑えます。また音にアタック感を与えることもできます。
Noise Gate(ノイズゲート)	インサクション	入力信号が設定レベル以下になると、入力をゲートします。
Ensemble Detune(アンサンブルデチューン)	インサクション	音程をわずかにずらした音を付加することによる、うねりのないコーラスエフェクトです。
Through(スルー)	-	エフェクトをかけずにバイパスします。

ハーモニー/エコータイプリスト

Harmony (ハーモニー)	Due(デュエット)		押鍵音に、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、2声のハーモニーになります。
	1+5		押鍵音の5度上の音が重なり、2音のハーモニーになります。
	Country(カントリー)		押鍵音よりも高い音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、2声のハーモニーになります。
	Tri(トリオ)		押鍵音に、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、3声のハーモニーになります。
	Block		押鍵音に、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声、または5声のハーモニーになります。
	4Way Close1(4ウェイクローズ1)		押鍵音に近い音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声のハーモニーになります。
	4Way Close2(4ウェイクローズ2)		押鍵音に近い音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声のハーモニーになります。 演奏するコードタイプによって、このハーモニータイプはメロディ演奏に華やかでテンションのきいた音を加えます。
	4Way Open(4ウェイオープン)		押鍵音から離れた音域で、コード鍵域のコードにマッチした音が付加され、4声のハーモニーになります。 押鍵音より2オクターブ低い音が鳴ることもありますので、あまり低い音で弾かないようにしてください。
Octave(オクターブ)		押鍵音の1オクターブ下の音が付加されます。	
Strum(ストラム)		ブロック同様のボイス構成ですが、このタイプはアルペジオで発音します。	
Echo(エコー)	Echo1/4(エコー1/4)		押鍵音に、設定されたテンポでエコー(こだま)効果がかかります。
	Echo1/6(エコー1/6)		
	Echo1/8(エコー1/8)		
	Echo1/12(エコー1/12)		
Tremolo(トレモロ)	Tremolo1/8(トレモロ1/8)		押鍵音に、設定されたテンポでトレモロ効果がかかります。
	Tremolo1/12(トレモロ1/12)		
	Tremolo1/16(トレモロ1/16)		
	Tremolo1/32(トレモロ1/32)		
Trill(トリル)	Trill1/12(トリル1/12)		2つの音を押しえると、それぞれの音が交互に、設定されたテンポで繰り返し発音します。
	Trill1/16(トリル1/16)		
	Trill1/24(トリル1/24)		
	Trill1/32(トリル1/32)		

ボーカルハーモニー(PSR-740)

ボーカルハーモニータイプリスト

Standard Duet	(スタンダードデュエット)
Girl In Duet	(ガールデュエット)
Lisa&Tina	(リサ アンド ティナ)
Sing B+G	(シング B+G)
Dream Girls	(ドリーム ガールズ)
Men Choir	(メン クワイア)
Women Choir	(ウィミン クワイア)
Closed Choir	(クローズ クワイア)
Mixed Choir	(ミックス クワイア)
Country Men	(カントリー メン)
Country Girls	(カントリー ガールズ)
Barber Shop	(バーバーショップ)
Jazz Men Choir	(ジャズ メン クワイア)
Jazz Women Choir	(ジャズ ウィミン クワイア)
JazzClosed Choir	(ジャズ クローズ クワイア)
Jazz Mixed Choir	(ジャズ ミックス クワイア)
Diatonic Jazz	(ダイアトニック ジャズ)
Diatonic Girl	(ダイアトニック ガール)
A Capella Boy	(アカペラ ボーイ)
A Capella Mix	(アカペラ ミックス)
ACapellaDiatonic	(アカペラ ダイアトニック)
Falsetto Duet	(ファルセット デュエット)
Falsetto Trio	(ファルセット トリオ)
FalsettoDiatonic	(ファルセット ダイアトニック)
Falsetto Jazz	(ファルセット ジャズ)
FalsettoAcapella	(ファルセット アカペラ)
2 Unison Low	(2ユニゾン ロー)
2 Unison High	(2ユニゾン ハイ)
3 Unison Low	(3ユニゾン ロー)
3 Unison High	(3ユニゾン ハイ)
Voice&Instrument	(ボイス アンド インストゥルメント)
Chordal XG	(コーダルXG)
Vocoder Auto Up	(ボコーダー オート アップ)
Vocoder Auto Lo	(ボコーダー オート ロー)
Vocoder Mode Up	(ボコーダー モード アップ)
Vocoder Mode Lo	(ボコーダー モード ロー)
Vocoder Girl Up	(ボコーダー ガール アップ)

Vocoder Girl Lo	(ボコーダー ガール ロー)
Vocoder Pitch Up	(ボコーダー ピッチ アップ)
Vocoder Pitch Lo	(ボコーダー ピッチ ロー)
Karaoke Auto	(カラオケ オート)
Karaoke Mode	(カラオケ モード)
Karaoke Girl	(カラオケ ガール)
Karaoke Pitch	(カラオケ ピッチ)
Vocoder XG	(ボコーダーXG)
Sing Bass	(シング ベース)
Speedy Mouse	(スピーディ マウス)
Chromatic XG	(クロマティック XG)
Detune XG	(デチューン XG)
Thru	(スルー)

初期化(イニシャライズ)の方法

バックアップデータ

PSR-740/640のパネル上の設定は、電源を切るとそれぞれの初期設定に戻ります。

ただし、以下のパラメーターについては、電源アダプターを接続している間はバックアップ(保持)されています。

・ユーザースタイルデータ	110ページ	・マスターイコライザー設定(PSR-740)	59ページ
・ユーザーパッドデータ	106ページ	・フィンガリング設定	40ページ
・レジストレーションメモリーデータ	62ページ	・スプリットポイント	135ページ
・レジストレーションメモリーバンクナンバー	64ページ	・サステインオン/オフ	31ページ
・レジストレーションメモリー/ ワンタッチセッティング切り替え状態	63ページ	・オクターブ設定(パートオクターブ)	135ページ
・レジストレーションメモリーフリーズオン/オフ	63ページ	・ピッチベンドレンジ	30ページ
・MIDI送信設定	130ページ	・モジュレーションホイール機能(PSR-740)	30ページ
・MIDI受信設定	131ページ	・スケールチューニング	135ページ
・ボイスセットオン/オフ	136ページ	・トランスポーズ	30ページ
・ボイスL設定(ボイスチェンジ、ミキサー、 パラメーターエディット)	88ページ	・フットスイッチ機能、極性	137ページ
・オルガンフルート設定(PSR-740)	32ページ	・フットボリューム機能、極性	138ページ
・ボーカルハーモニー設定(PSR-740)	82ページ	・タッチオン/オフ、タッチセンス	136ページ
・トークセッティング(PSR-740)	86ページ	・マルチパッド設定	48ページ
		・マスターチューニング	135ページ
		・メトロノームオン/オフ	134ページ

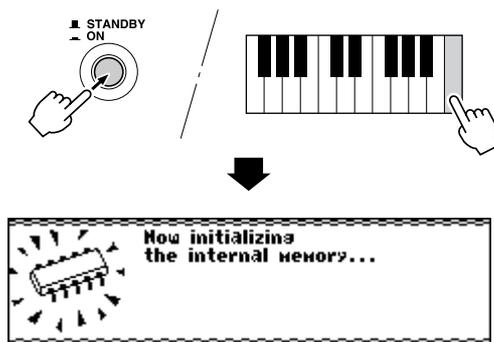
電源アダプターを接続していなくても、約1週間は上記のパラメーター設定は保持されます。1週間を過ぎると、上記パラメーターはすべて初期設定に戻ります。したがって、設定内容を保持したい場合は少なくとも1週間以内に数分間は電源を入れてください。

上記パラメーターの設定内容を確実に保持する方法として、フロッピーディスクにセーブすることをおすすめします。ディスクにセーブする時にファイルタイプに「All」を選択しておけば(69ページ参照)、上記パラメーターの設定内容はすべてディスクにセーブされます。

初期化(イニシャライズ)の方法

上記のデータも含め、PSR-740/640のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。

- 1 [STANDBY/ON]スイッチを押して電源を切ります。
- 2 鍵盤の最高音(白鍵)を同時に押しながら、[STANDBY/ON]スイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。



メモ

初期化を実行すると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますのでご注意ください。

PSR-740/640が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行ってください。

オプション商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥ 4,000	キーボードスタンド L-6	¥ 8,000	
フットスイッチ	FC4	¥ 3,000	L-7	¥ 20,000	
	FC5	¥ 1,500	MIDIケーブル	YAMAHA MIDI-15(15m)	¥ 3,000
フットボリューム	FC-7	¥ 6,000		MIDI-03(3m)	¥ 1,100
ソフトケース	SCC-35	¥ 10,000	シリアルケーブル	YAMAHA CCJ-PC1NF	¥ 3,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

エラーメッセージリスト

ディスクにファイルが
ありません!
ファイルの
名前が
ディスクに
存在しません

ディスク操作(ロード、コピー、デリート)の際に、ディスクにファイルが無い場合に
表示されます。

ディスクが
フォーマット
されていません!

未フォーマットのディスクをディスクドライブに挿入すると表示されます。

ディスクエラー
です!

フォーマット、ロード、セーブ、デリート、コピーなどの実行中にエラーが生じた
場合に表示されます。

ディスクを交換してください。

また、ディスクからデータをロードする際、ディスクがこわれていたり、内蔵メモ
リ容量がいっぱいでロードできなくなった場合にも表示されます。

ディスクプロテクトが
かかっています!

ディスクのライトプロテクトがオン(タブの窓が開いた状態(66ページ))になってい
て、セーブなどディスクへの書き込みができない場合に表示されます。ディスクを取
り出し、ライトプロテクトをオフにしてからもう1度ディスクを挿入してください。

ファイルプロテクトが
かかっています!
コピー/ロード
できません

市販のディスクでファイルにプロテクトがかかっている場合に表示されます。
この場合、コピーやデリートなどができません。

ディスクが
読み取れません!
ディスクに
存在しません

ディスクドライブにフロッピーディスクが入っていません。

ディスクが
抜けました!

セーブ、ロード、コピーなどディスクからの読み取り中、ディスクへの書き込み中
にディスクが抜かれました。

ディスクの
容量がいっぱい
です!
これ以上の
ディスクに
書き込めません

ディスクの容量がいっぱいになり、これ以上ディスクに書き込めません。
不要なファイルを削除(デリート)しましょう。

ディスクが
壊れています!
ディスクに
書き込めません

違うディスクへのソングコピー操作の際(72ページ)に、関係ないディスクが挿入
されました。

正しいディスクを挿入してください。

新しい
ファイルの名前
がすでに
ディスクに
あります!

新しいファイルに名前をつける場合、同じ名前のファイルがすでにディスクにあり
ます。

ロック
できません!
ディスクに
ロック
できません
60曲
までです

ディスクへのソング録音は60曲までです。60曲を越えて録音しようとする
と表示されます。

メモリー
がいっぱい
です!
これ以上の
メモリー
に書き込め
ません

ユーザースタイル、ユーザーパッドの録音中に内蔵メモリーの容量がいっぱい
になった時に表示されます。

<p>メモリーカ タリマセン イラナイ テータヲ クリアシテクタサイ</p>	<p>スタイル録音モードで、内蔵メモリー容量がいっぱいになるとクオンタイズや録音をしようとする则表示されます。</p>
<p>データ カ アリマセン</p>	<p>録音モードで、録音データが無いトラックに対してクオンタイズやクリアなどの編集をしようとする、表示されるメッセージです。</p>
<p>アイテム ユーザースタイル カ アリマセン</p>	<p>ユーザースタイル3個すべてにデータが録音されている場合に、新規にスタイル録音をスタートさせようとする则表示されるメッセージです。録音スタート前に、3個のうち少なくとも1個はクリアしてから録音をスタートさせてください。</p>
<p>プリセットデータ クオンタイズ テキマセン</p>	<p>ユーザースタイル録音モードで、リズムトラック以外のトラックのプリセットデータに対してクオンタイズなどの編集をしようとする、表示されるメッセージです。</p>
<p>ロクオン チュウ ソウリ テキマセン</p>	<p>録音中に操作できないボタンを押した場合に表示されます。</p>
<p>ロクオンチュウ、リセイチチュウ、 テキストドライブ サトウチュウ MIDIセッテイ テキマセン</p>	<p>録音中、再生中などMIDI設定ができない場合にMIDI設定しようとする则表示されます。</p>
<p>スタイル/リズム ロクオンチュウ ハーモニー ツカエマセン</p>	<p>ユーザースタイル録音中、ユーザーパッド録音中はハーモニーをオンにできません。</p>
<p>スタイル/リズム ロクオンチュウ DSP ツカエマセン。</p>	<p>ユーザースタイル録音中、ユーザーパッド録音中はDSPを使えません。</p>
<p>リズム ロクオンチュウ セッテイ テキマセン</p>	<p>マルチパッド録音モードの時に、FUNCTIONの「Multi Pad」を選ぶと表示されます。マルチパッド録音モードではFunctionの「Multi Pad」には入れません。</p>
<p>バックアップ エラー テキス!</p>	<p>内蔵メモリーのバックアップデータ(159ページ)が壊れています。初期化(159ページ)をしてください。</p>
<p>バックアップデータ ヨ ショカ シテイマス...</p>	<p>内蔵メモリーのバックアップデータ(159ページ)を初期化(159ページ)しています。</p>
<p>シリアルケーブル カ PCニ セツツク リセ イナイカ、PCノ テンゲツ カ リイッ イマセン。</p>	<p>ホストセレクトスイッチを「PC-1」「PC-2」に設定し、シリアルケーブルをTO HOST端子に接続した状態でコンピューターにケーブルが接続されていない場合、または、接続されているがコンピューターの電源が入っていない場合に表示されます。</p>

故障かな？と思ったら

現象	原因および解決方法
[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がある。	本体に電流が流れるため、故障ではありません。
PSR-740/640から雑音が出る。	PSR-740/640の近くで携帯電話を使っていないか(または呼び出し音が鳴っていないか)を確認してください。 PSR-740/640の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。 PSR-740/640の近くでは携帯電話の電源を切ってください。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミキサー(90ページ)ボリュームの設定を確認してください。ボリューム値が0の場合は、鍵盤を押さえても音は鳴りません。 ・ ローカルコントロール(132ページ)の設定を確認してください。オフに設定されていれば鍵盤を押さえても音は鳴りません。 ・ レジストレーションメモリーや録音モードのネーミング機能(21ページ)の画面になっていないか、確認してください。この画面のときは、鍵盤を押さえても音は鳴りません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同時に押さえた鍵盤の音で鳴らない音がある。 ・ 鍵盤演奏をすると、自動伴奏やソングの演奏音が途切れることがある。 	PSR-740/640の最大同時発音数を越えています。鍵盤演奏、自動伴奏、ソングなど、すべての演奏音は最大同時発音数の範囲内であれば正常に発音します。
パネルのボタンを押しても、機能しない。	パネルがディスクモード(25ページ)になっていないか、確認してください。ディスクモードではディスク操作に関連しないボタンは機能しません。
[START/STOP]ボタンを押しても、自動伴奏やソングがスタートしない。またマルチパッドを押しても演奏されない。	MIDIクロックの設定(132ページ)を確認してください。「EXTERNAL」に設定してある場合は[START/STOP]ボタンを押しても、自動伴奏やソングがスタートしない。またマルチパッドを押しても演奏されません。
シンク口待機状態であるにもかかわらず、鍵盤を押しても自動伴奏がスタートしない。	自動伴奏オンの場合は、スプリットポイントの右側の鍵盤を押しても自動伴奏はスタートしません。スプリットポイントの左側のコード鍵域を押してください。
自動伴奏に関連するボタンが機能がしない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [SYNC START]ボタン ・ [SYNC STOP]ボタン ・ [ACMP ON/OFF]ボタン ・ レジストレーションメモリーの[FREEZE]ボタン 	ソングモード(25ページ)になっていないか確認してください。ソングモードでは自動伴奏に関連するボタンは機能しません。
鍵盤演奏やソング、自動伴奏、マルチパッドの演奏で、特定の音程が正しく鳴らない。	スケールチューニング(135ページ)の設定を確認してください。スケールチューニングの設定をすべて0にすれば、正しい音程で鳴ります。
スプリットポイントに関係なく、自動伴奏のコードが検出されてしまう。	フィンガリングの設定が「FULL KEYBOARD」になっていないか確認してください。この場合、鍵域でコードが検出されます。
ハーモニーをオンにできない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィンガリングの設定が「FULL KEYBOARD」になっていないか確認してください。この場合、ハーモニーは機能しません。 ・ ボイスR1にドラムキットを選んでいる場合、ハーモニーは機能しません。他の音色を選んでください。
MIDIケーブルを接続しても、MIDIデータが送受信されない。	HOST SELECTスイッチが「MIDI」以外のところになっていないか確認してください。HOST SELECTスイッチが「MIDI」以外のところになっているとMIDIケーブルを接続してもMIDIデータは送受信できません。
ボーカルハーモニー機能を使って歌っていると、ハーモニーの音程がはっきりしなかったり、音が歪むなど、正常にハーモニーが付かないことがある。	マイクに、歌っている声以外の音が入ると、ハーモニーの音程がはっきりしなかったり、音が歪むなど、正常にハーモニーが付かない状態になります。その場合は以下のことに注意してご使用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ マイクはなるべく口に近づけて使ってください。 ・ 単一指向性マイクを使ってください。 ・ マスターボリュームまたは自動伴奏/ソングボリュームの音量を下げてください。 ・ マイクはスピーカーに近づけすぎないようにしてください。

MIDIデータフォーマット

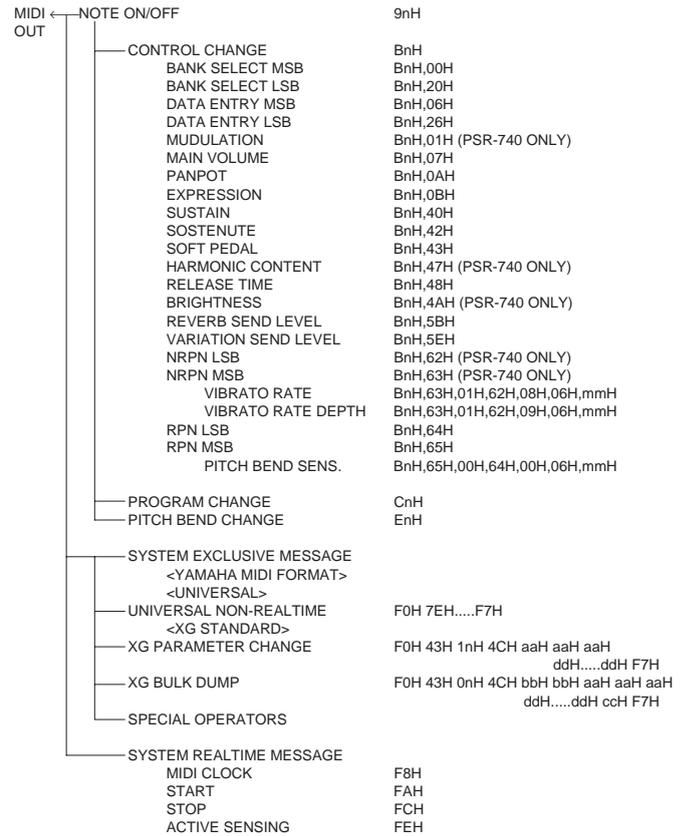
「MIDIデータフォーマット」は、データ/値を10進数や2進数、16進数で表現しています。16進数の場合は数値の後または列の頭に「H」Hexadecimalが付いています。また、「n」は任意の整数を表します。

データ/値を入力する場合は、以下のテーブルをご参照ください。

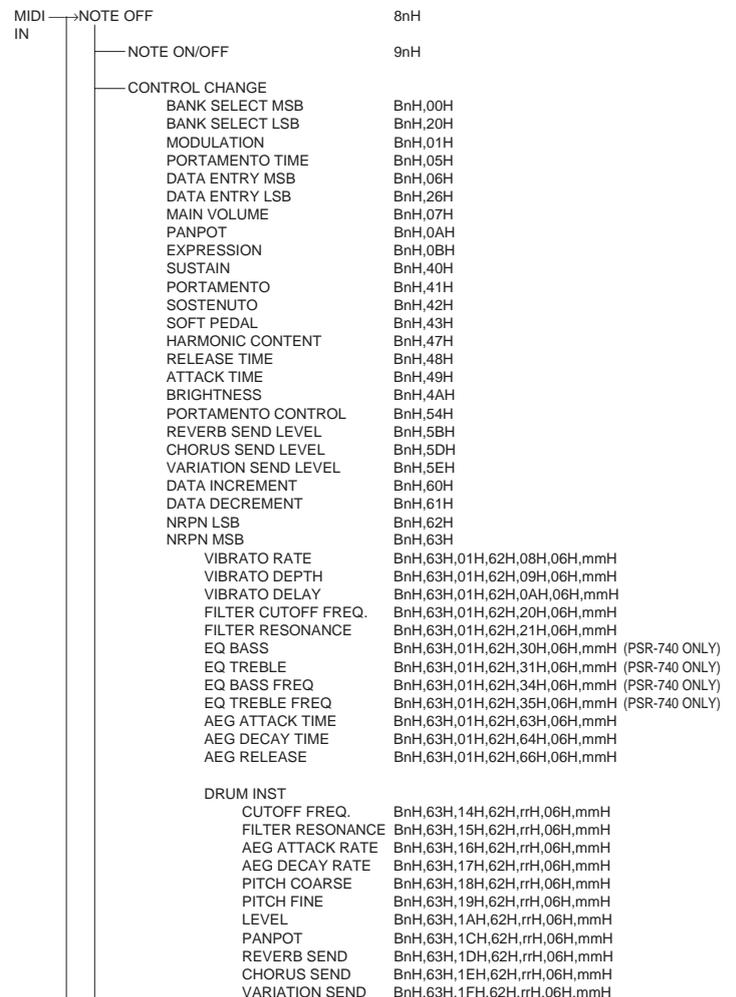
10進数	16進数	2進数	10進数	16進数	2進数
0	00	0000 0000	64	40	0100 0000
1	01	0000 0001	65	41	0100 0001
2	02	0000 0010	66	42	0100 0010
3	03	0000 0011	67	43	0100 0011
4	04	0000 0100	68	44	0100 0100
5	05	0000 0101	69	45	0100 0101
6	06	0000 0110	70	46	0100 0110
7	07	0000 0111	71	47	0100 0111
8	08	0000 1000	72	48	0100 1000
9	09	0000 1001	73	49	0100 1001
10	0A	0000 1010	74	4A	0100 1010
11	0B	0000 1011	75	4B	0100 1011
12	0C	0000 1100	76	4C	0100 1100
13	0D	0000 1101	77	4D	0100 1101
14	0E	0000 1110	78	4E	0100 1110
15	0F	0000 1111	79	4F	0100 1111
16	10	0001 0000	80	50	0101 0000
17	11	0001 0001	81	51	0101 0001
18	12	0001 0010	82	52	0101 0010
19	13	0001 0011	83	53	0101 0011
20	14	0001 0100	84	54	0101 0100
21	15	0001 0101	85	55	0101 0101
22	16	0001 0110	86	56	0101 0110
23	17	0001 0111	87	57	0101 0111
24	18	0001 1000	88	58	0101 1000
25	19	0001 1001	89	59	0101 1001
26	1A	0001 1010	90	5A	0101 1010
27	1B	0001 1011	91	5B	0101 1011
28	1C	0001 1100	92	5C	0101 1100
29	1D	0001 1101	93	5D	0101 1101
30	1E	0001 1110	94	5E	0101 1110
31	1F	0001 1111	95	5F	0101 1111
32	20	0010 0000	96	60	0110 0000
33	21	0010 0001	97	61	0110 0001
34	22	0010 0010	98	62	0110 0010
35	23	0010 0011	99	63	0110 0011
36	24	0010 0100	100	64	0110 0100
37	25	0010 0101	101	65	0110 0101
38	26	0010 0110	102	66	0110 0110
39	27	0010 0111	103	67	0110 0111
40	28	0010 1000	104	68	0110 1000
41	29	0010 1001	105	69	0110 1001
42	2A	0010 1010	106	6A	0110 1010
43	2B	0010 1011	107	6B	0110 1011
44	2C	0010 1100	108	6C	0110 1100
45	2D	0010 1101	109	6D	0110 1101
46	2E	0010 1110	110	6E	0110 1110
47	2F	0010 1111	111	6F	0110 1111
48	30	0011 0000	112	70	0111 0000
49	31	0011 0001	113	71	0111 0001
50	32	0011 0010	114	72	0111 0010
51	33	0011 0011	115	73	0111 0011
52	34	0011 0100	116	74	0111 0100
53	35	0011 0101	117	75	0111 0101
54	36	0011 0110	118	76	0111 0110
55	37	0011 0111	119	77	0111 0111
56	38	0011 1000	120	78	0111 1000
57	39	0011 1001	121	79	0111 1001
58	3A	0011 1010	122	7A	0111 1010
59	3B	0011 1011	123	7B	0111 1011
60	3C	0011 1100	124	7C	0111 1100
61	3D	0011 1101	125	7D	0111 1101
62	3E	0011 1110	126	7E	0111 1110
63	3F	0011 1111	127	7F	0111 1111

- 上記のテーブル以外でも、たとえば、144 - 159 (10進数) 9nH/1001 0000 - 1001 1111 (2進数) は、それぞれ (1 - 16) チャンネルごとのノートオンメッセージを示します。
- 176 - 191 (BnH/1011 0000 - 1011 1111) は、それぞれ (1 - 16) チャンネルごとのコントロールチェンジメッセージを示します。
- 192 - 207 (CnH/1100 0000 - 1100 1111) は、それぞれ (1 - 16) チャンネルごとのプログラムチェンジメッセージを示します。
- 240 (F0H/1111 0000) は、システムエクスクルーシブメッセージの始まりを示します。
- 247 (F7H/1111 0111) は、システムエクスクルーシブメッセージの終わりを示します。
- aaH (16進数) 0aaaaaa (2進数) はデータのアドレスを示します。アドレスは、High、MidとLowがあります。
- bbH/0bbbbbbbはバイトカウントを示します。
- ccH/0cccccccはチェックサムを示します。
- ddH/0dddddddはデータ/値を示します。

(1)送信



(2)受信



VOCAL HARMONY	
HARMONY MUTE	BnH,63H,00H,62H,01H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
DETUNE MODULATION	BnH,63H,01H,62H,1AH,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
HARMONY1 VOLUME	BnH,63H,02H,62H,10H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
HARMONY2 VOLUME	BnH,63H,02H,62H,11H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
HARMONY1 PAN	BnH,63H,02H,62H,20H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
HARMONY2 PAN	BnH,63H,02H,62H,21H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
HARMONY1 DETUNE	BnH,63H,02H,62H,30H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
HARMONY2 DETUNE	BnH,63H,02H,62H,31H,06H,mmH (PSR-740 ONLY)
RPN LSB	BnH,64H
RPN MSB	BnH,65H
PITCH BEND SENS.	BnH,65H,00H,64H,00H,06H,mmH
FINE TUNING	BnH,65H,00H,64H,01H,06H,mmH,26H,IIH
COARSE TUNING	BnH,65H,00H,64H,02H,06H,mmH
NULL	BnH,65H,7FH,64H,7FH
ALL SOUND OFF	BnH,78H,00H
RESET ALL CONTROLLERS	BnH,79H,00H
ALL NOTES OFF	BnH,7BH,00H
OMNI OFF	BnH,7CH,00H
OMNI ON	BnH,7DH,00H
MONO	BnH,7EH
POLY	BnH,7FH
PROGRAM CHANGE	CnH
CHANNEL AFTER TOUCH	DnH
PITCH BEND CHANGE	EnH
SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE	
<YAMAHA MIDI FORMAT>	
<UNIVERSAL>	
UNIVERSAL REALTIME	F0H 7FH.....F7H
UNIVERSAL NON-REALTIME	F0H 7EH.....F7H
<XG STANDARD>	
XG PARAMETER CHANGE	F0H 43H 1nH 4CH aaH aaH aaH ddHddH F7H
XG BULK DUMP	F0H 43H 0nH 4CH bbH bbH aaH aaH ddH.....ddH cch F7H
PARAMETER REQUEST	F0H 43H 3nH 4CH aaH aaH aaH F7H
DUMP REQUEST	F0H 43H 2nH 4CH aaH aaH aaH F7H
SPECIAL OPERATORS	
Others	
SYSTEM REALTIME MESSAGE	
MIDI CLOCK	F8H
START	FAH
STOP	FCH
ACTIVE SENSING	FEH

(3) 送信 / 受信

(3-1) CHANNEL VOICE MESSAGES

(3-1-1) NOTE OFF (受信のみ)

STATUS	1001nnnn(8nH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2) - 127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvv	vは無視

(3-1-2) NOTE ON/OFF

STATUS	1001nnnn(9nH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2) - 127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvv	(v = 0) NOTE ON
	00000000	(v = 0) NOTE OFF

(3-1-3) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnn(CnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp	p = 0 - 127

* XG DRUM VOICE番号とPROGRAM NUMBERとの対応

P = 0	Standard Kit
P = 1	Standard2 Kit
P = 4	Hit Kit
P = 8	Room Kit
P = 16	Rock Kit
P = 24	Electric Kit
P = 25	Analog Kit
P = 27	Dance Kit
P = 32	Jazz Kit
P = 40	Brush Kit
P = 48	Symphony Kit

* XG SFX KIT番号とPROGRAM NUMBERとの対応

P = 0	SFX1 Kit
P = 1	SFX2 Kit

ドラムボイスが選ばれているときに異なるドラムボイスのプログラムチェンジを受信すると、その時ドラムボイスで使用していたドラムセットアップデータは、新しいドラムボイスのデータにリセットされる。

(3-1-4) CHANNEL AFTER TOUCH (受信のみ)

STATUS	1101nnnn(DnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
VALUE	0vvvvvv	v = 0 - 127 AFTER TOUCH VALUE

(3-1-5) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn(EnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvv	PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvv	PITCH BEND CHANGE MSB

(3-1-6) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnn(BnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	c = CONTROL NUMBER
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	v = DATA VALUE

* 送信する CONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0: XG NORMAL, 64: SFX NORMAL, 126: XG SFX KIT, 127: XG DRUM
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127
c = 1	MODULATION	; v = 0 - 127
c = 6	DATA ENTRY MSB	; v = 0 - 127
c = 38	DATA ENTRY LSB	; v = 0 - 127
c = 7	MAIN VOLUME	; v = 0 - 127
c = 10	PANPOT	; v = 0 - 127
c = 11	EXPRESSION	; v = 0 - 127
c = 64	SUSTAIN	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 66	SOSTENUTO	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 67	SOFT PEDAL	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 71	HARMONIC CONTENT	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63 (PSR-740 ONLY)
c = 72	RELEASE TIME	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63
c = 74	BRIGHTNESS	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63
		(PSR-740 ONLY)
c = 91	REVERB SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 93	CHORUS SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 94	VARIATION SEND LEVEL	; v = 0 - 127
		(Connection=1[System]の時のみ)
c = 98	NRPN LSB	(3-4)NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 99	NRPN MSB	(3-4)NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 100	RPN LSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 101	RPN MSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照

* 受信する CONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0: XG NORMAL, 64: SFX NORMAL, 126: XG SFX KIT, 127: XG DRUM
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127
c = 1	MODULATION	; v = 0 - 127
c = 5	PORTAMENTO TIME	; v = 0 - 127
c = 6	DATA ENTRY MSB	; v = 0 - 127
c = 38	DATA ENTRY LSB	; v = 0 - 127
c = 7	MAIN VOLUME	; v = 0 - 127
c = 10	PANPOT	; v = 0 - 127
c = 11	EXPRESSION	; v = 0 - 127
c = 64	SUSTAIN	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 66	PORTAMENTO	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 66	SOSTENUTO	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 67	SOFT PEDAL	; v = 0-63: OFF, 64-127: ON
c = 71	HARMONIC CONTENT	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63
c = 72	RELEASE TIME	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63
c = 73	ATTACK TIME	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63
c = 74	BRIGHTNESS	; v = 0:-64 - 64.0 - 127:+63
c = 84	PORTAMENTO CONTROL	; v = 0 - 127
c = 91	REVERB SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 93	CHORUS SEND LEVEL	; v = 0 - 127
c = 94	VARIATION SEND LEVEL	; v = 0 - 127
		(Connection=1[System]の時のみ)
c = 96	DATA INCREMENT	; v = 0 - 127
c = 97	DATA DECREMENT	; v = 0 - 127
c = 98	NRPN LSB	(3-4)NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 99	NRPN MSB	(3-4)NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 100	RPN LSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照
c = 101	RPN MSB	(3-3)REGISTERED PARAMETER NUMBER参照

*1 RPN, NRPNで指定パラメーターを設定する時のみ用いる。

*2 リズム音色に対しては無効。

・PROGRAM CHANGEを受信するまで、BANK SELECTの処理は保留される。ボイスバンクを含めて、ボイスを変更する場合、BANK SELECTとプログラムチェンジメッセージをセットにして、BANK SELECT MSB, LSB, PROGRAM CHANGEの順で送信すること。

・MODULATIONはピッチの深さをコントロールする。

・PORTAMENTO TIMEはPortamento Switch = ONの時のピッチ変化速度を調節する。0でPortamento最短時間、12でPortamento最長時間となる。

・PANPOTはステレオ音色、リズム音色とも音色のプリセット値に対し相対的に変化する。

・PORTAMENTO CONTROLにおいて、Portamentoタイムは常に0に固定。

・HARMONIC CONTENTは、音色で設定されているレゾナンスを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。値が大きくなるほどクセのある音になる。音色により、効果のある範囲が設定できる範囲より狭い場合がある。

・RELEASE TIMEは、音色で設定されているエンベロープリリースタイムを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。

・ATTACK TIMEは、音色で設定されているエンベロープアタックタイムを調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。

・BRIGHTNESSは、音色で設定されているカットオフ周波数を調節する。相対変化のパラメーターであるため、64を基準として増減の指定をする。値が小さくなるほど柔らかな音になる。音色により、効果のある範囲が設定できる範囲より狭い場合がある。

(3-2) CHANNEL MODE MESSAGES

STATUS	1011nnnn(BnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	c = CONTROL NUMBER
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	v = DATA VALUE

(3-2-1) ALL SOUND OFF (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 78H, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルの発音中の音をすべて消音する。
ノート・オンやホールド・オンなどのチャンネルメッセージの状態も消去する。

(3-2-2) RESET ALL CONTROLLERS (受信のみ)

(CONTROL NUMBER = 79H, DATA VALUE = 0)

以下のコントローラーの設定値をリセットする。

PITCH BEND CHANGE	0 (中点)
AFTER TOUCH	0 (最小)
MODULATION	0 (最小)
EXPRESSION	127 (最大)
SUSTAIN	0 (オフ)
SOSTENUTO	0 (オフ)
SOFT PEDAL	0 (オフ)
NRPN	番号未設定状態、内部データは変化しない
RPN	番号未設定状態、内部データは変化しない
PORTAMENT CONTROL	リセット
PORTAMENTO	0 (オフ)

(3-2-3) ALL NOTES OFF (受信のみ)

(CONTROL NUMBER = 7BH, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルのオンしているノートをすべてオフする。ただし、サステインまたはソステヌートがオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しない。

(3-2-4) OMNI OFF (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7CH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFFを受信したときと同じ処理を行う。

(3-2-5) OMNI ON (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7DH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFFを受信したときと同じ処理を行う。

OMNI ONにはならない。

(3-2-6) MONO (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7EH, DATA VALUE = 0)

ALL SOUND OFFを受信したときと同じ処理を行なう。3rd byte(モ/ノ数)が0-16の範囲内であれば該当チャンネルをMode4(m=1)にする。

(3-2-7) POLY (受信のみ) (CONTROL NUMBER = 7FH, DATA VALUE = 0)

ALL SOUND OFFを受信したときと同じ処理を行ない、該当チャンネルをMode3にする。

(3-3) REGISTERED PARAMETER NUMBER (RPN)

STATUS	1011nnnn(BnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
RPN LSB	01100100(64H)	
RPN LSB NUMBER	0ppppppp	p = RPN LSB(下表参照)
RPN MSB	01100101(65H)	
RPN MSB	0qqqqqqq	q = RPN MSB(下表参照)
DATA ENTRY MSB	00000110(06H)	
DATA VALUE	0mmmmmmm	m = Data Value
DATA ENTRY LSB	00100110(26H)	
DATA VALUE	0lllllll	l = Data Value

まず RPN MSB/LSB でパラメーターを指定し、その後データエントリー-MSB/LSB でそのパラメーターの値を設定する。

RPN	D.ENTRY	MSB	LSB	PARAMETER NAME	DATA RANGE
00H	00H	mmH		PITCH BEND SENSITIVITY	00H - 18H (0 - 24 半音)
01H	00H	mmH	llH	FINE TUNE	{mmH, llH} = {00H, 00H} - {40H, 00H} - {7FH, 7FH} (-8192*100/8192) - 0 - (+8192*100/8192)
02H	00H	mmH		COARSE TUNE	28H - 40H - 58H (-24 - 0 - +24 半音)
7FH	7FH			NULL	RPN番号が指定されていない状態になる。内部の設定値には影響しない。

(3-4) NON-REGISTERED PARAMETER NUMBER (NRPN)

(PSR-640は受信のみ)

STATUS	1011nnnn(BnH)	n = 0 - 15 VOICE CHANNEL NUMBER
NRPN LSB	01100010(62H)	
NRPN LSB NUMBER	0ppppppp	p = NRPN LSB(下表参照)
NRPN MSB	01100011(63H)	
NRPN MSB NUMBER	0qqqqqqq	q = NRPN MSB(下表参照)
DATA ENTRY MSB	00000110(06H)	
DATA VALUE	0mmmmmmm	m = Data Value

まず NRPN MSB/LSB でパラメーターを指定し、その後データエントリー-MSB/LSB でそのパラメーターの値を設定する。

NRPN	D.ENTRY	MSB	LSB	PARAMETER NAME	DATA RANGE
01H	08H	mmH		VIBRATO RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	09H	mmH		VIBRATO DEPTH	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	0AH	mmH		VIBRATO DELAY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	20H	mmH		FILTER CUTOFF FREQUENCY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	21H	mmH		FILTER RESONANCE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	30H	mmH		EQ BASS	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63) (PSR-740 ONLY)
01H	31H	mmH		EQ TREBLE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63) (PSR-740 ONLY)
01H	34H	mmH		EQ BASS FREQUENCY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63) (PSR-740 ONLY)
01H	35H	mmH		EQ TREBLE FREQUENCY	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63) (PSR-740 ONLY)
01H	63H	mmH		EG ATTACK TIME	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	64H	mmH		EG DECAY TIME	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
01H	66H	mmH		EG RELEASE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
14H	rrH	mmH		DRUM FILTER CUTOFF FREQ.	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
15H	rrH	mmH		DRUM FILTER RESONANCE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
16H	rrH	mmH		DRUM AEG ATTACK RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
17H	rrH	mmH		DRUM AEG DECAY RATE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
18H	rrH	mmH		DRUM PITCH COARSE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
19H	rrH	mmH		DRUM PITCH FINE	00H - 40H - 7FH (-64 - 0 - +63)
1AH	rrH	mmH		DRUM LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1CH	rrH	mmH		DRUM PANPOT	00H, 01H - 40H - 7FH (random, left - center - right)

1DH	rrH	mmH	DRUM REVERB SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1EH	rrH	mmH	DRUM CHORUS SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
1FH	rrH	mmH	DRUM VARIATION SEND LEVEL	00H - 7FH (0 - 最大)
00H	01H	mmH	HARMONY MUTE	(PSR-740 ONLY)
01H	1AH	mmH	DETUNE MODULATION	(PSR-740 ONLY)
02H	10H	mmH	HARMONY1 VOLUME	(PSR-740 ONLY)
02H	11H	mmH	HARMONY2 VOLUME	(PSR-740 ONLY)
02H	20H	mmH	HARMONY1 PAN	(PSR-740 ONLY)
02H	21H	mmH	HARMONY2 PAN	(PSR-740 ONLY)
02H	30H	mmH	HARMONY1 DETUNE	(PSR-740 ONLY)
02H	31H	mmH	HARMONY2 DETUNE	(PSR-740 ONLY)

MSB 14H-1FH(ドラム用)はそのチャンネルにドラムボイスがアサインされている場合のみ有効。

rrH : drum instrument note number

(3-5) SYSTEM REALTIME MESSAGES

(3-5-1) MIDI CLOCK

STATUS 11111000 (F8H)

送信: 96分 Timing で送信する。

受信: 楽器本体の Clock が External に変更された場合、外部接続機器からの FAH 受信後に96分 Timing として外部からの Clock を受信し、同期するようになる。Tempo用 Timing Clock として内部 Clock を使用するかまたは MIDI IN から入る Timing Clock を使用するかの選択が行える。

(3-5-2) START

STATUS 11111010 (FAH)

送信: 楽器本体のオートアカンパニメント、ソング再生がスタートしたときに出力される。

受信: 楽器本体の状態によるが、オートアカンパニメント、ソング再生、ソング録音がスタートする。クロックモードが内部(Ext. ClockがInternal)の場合は、FAHは受信しない。

(3-5-3) STOP

STATUS 11111100 (FCH)

送信: 楽器本体のオートアカンパニメント、ソング再生がストップしたときに出力される。

受信: 楽器本体の状態によるが、オートアカンパニメント、ソング再生、ソング録音がストップする。

(3-5-4) ACTIVE SENSING

STATUS 11111110 (FEH)

約 200 msec 毎に送信する。

この Code を一度受信すると、Sensing を開始する。約 400 msec 以上の間、Status も Data も来ない時は、MIDI 受信 Buffer を Clear し、発音している音と Sustain を強制的に OFF にする。また、各 Control 情報の値は初期設定値にリセットする。

(3-6) SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE

(3-6-1) YAMAHA MIDI FORMAT

(3-6-1-1) SECTION CONTROL

(PSR-640)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01111110	7E	Style	
00000000	00		
0sssssss	SS	Switch No.	
		00H	: INTRO A
		01H	: INTRO B
		02H	: INTRO C
		03H ~ 07H	: INTRO D
		08H	: MAIN A
		09H	: MAIN B
		0AH	: MAIN C
		0BH ~ 0FH	: MAIN D
		10H	: FILL IN A
		11H	: FILL IN B
		12H	: FILL IN C
		13H ~ 17H	: FILL IN D
		18H	: BREAK FILL IN A
		19H	: BREAK FILL IN B
		1AH	: BREAK FILL IN C
		1BH ~ 1FH	: BREAK FILL IN D
		20H	: ENDING A
		21H	: ENDING B
		22H	: ENDING C
		23H ~ 27H	: ENDING D
0ddddddd	DD	Switch On/Off: 00H(Off), 7FH(On)	
11110111	F7	End of Exclusive	

(PSR-740)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01111110	7E	Style	
00000000	00		
0sssssss	SS	Switch No.	
		00H	: INTRO A
		01H	: INTRO B
		02H	: INTRO C
		03H	: INTRO D
		04H	: COUNT INTRO A
		05H	: COUNT INTRO B
		06H	: COUNT INTRO C
		07H	: COUNT INTRO D
		08H	: MAIN A
		09H	: MAIN B
		0AH	: MAIN C
		0BH ~ 0FH	: MAIN D
		10H	: FILL IN A
		11H	: FILL IN B
		12H	: FILL IN C
		13H ~ 17H	: FILL IN D

MIDIデータフォーマット

18H	:	BREAK FILL IN A
19H	:	BREAK FILL IN B
1AH	:	BREAK FILL IN C
1BH ~ 1FH	:	BREAK FILL IN D
20H	:	ENDING A
21H	:	ENDING B
22H	:	ENDING C
23H	:	ENDING D
24H	:	SIMPLE ENDING A
25H	:	SIMPLE ENDING B
26H	:	SIMPLE ENDING C
27H	:	SIMPLE ENDING D
0ddddd	DD	Switch On/Off: 00H(Off),7FH(On)
11110111	F7	End of Exclusive

ONコードを受信すると指定したセクションに変化する。

(3-6-1-2) TEMPO CONTROL

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
01111110	7E	Style
00000000	01	Tempo4
0tttttt	TT	Tempo4
0tttttt	TT	Tempo3
0tttttt	TT	Tempo2
0tttttt	TT	Tempo1
11110111	F7	End of Exclusive

内部クロックを受信したテンポ値に変更する。
Tempo4からTempo1はSMFのテンポイベント値24ビットを下位から7ビット毎に分割し、Tempo1から格納する。

(3-6-2) UNIVERSAL SYSTEM EXCLUSIVE

(3-6-2-1) UNIVERSAL REALTIME MESSAGE

(3-6-2-1-1) MIDI MASTER VOLUME(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01111111	7F	Universal Realtime
01111111	7F	ID of target Device
00000100	04	Sub-ID #1=Device Control Message
00000001	01	Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss	SS	Volume LSB
0tttttt	TT	Volume MSB
11110111	F7	End of Exclusive
または		
11110000	F0	Exclusive status
01111111	7F	Universal Realtime
0xxxxxxx	XN	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0. X = don't care
00000100	04	Sub-ID #1=Device Control Message
00000001	01	Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss	SS	Volume LSB
0tttttt	TT	Volume MSB
11110111	F7	End of Exclusive

全チャンネルの VOLUME を一括で変更する。
TT の値をMIDI マスターボリューム値として用いる。(SSの値は無視)

(3-6-2-2) UNIVERSAL NON REALTIME MESSAGE

(3-6-2-2-1) GENERAL MIDI SYSTEM ON

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01111110	7E	Universal Non-Realtime
01111111	7F	ID of target Device
00001001	09	Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001	01	Sub-ID #2=General MIDI On
11110111	F7	End of Exclusive
または		
11110000	F0	Exclusive status
01111110	7E	Universal Non-Realtime
0xxxxxxx	XN	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0. X = don't care
00001001	09	Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001	01	Sub-ID #2=General MIDI On
11110111	F7	End of Exclusive

On を受信することにより、SYSTEM MODE がXG に変更される。MIDI マスターチューニングを除く全てのControlデータ設定値をDefaultに戻す。このメッセージの実行には、約50msかかるため、次のメッセージとの間隔を注意すること。GM ON受信後は、以下のMessageに制限がかかる。

10ChでのBank Select MSB/LSBは、無視され、Drum音色固定となる。
10Ch以外でのBank Select MSB/LSBは、127/0以外は、無視する。

NRPNは受信しない。
XG ONを受信すると、これらの制限は解除される。

(3-6-3) XG STANDARD

(3-6-3-1) XG PARAMETER CHANGE

(3-6-3-1-1) XG SYSTEM ON

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1N	Device Number
01001100	4C	Model ID
00000000	00	Address High
00000000	00	Address Mid
01111110	7E	Address Low
00000000	00	Data
11110111	F7	End of Exclusive

On を受信することにより、SYSTEM MODE がXG に変更される。ControllerがResetされ、付表のMultiPart,Effectのすべてのデータと、All Systemのうち(XG)と記されているデータすべての設定値が、Default値になる。
このメッセージの実行には、約50msかかるため、次のメッセージとの間隔を注意すること。

(3-6-3-1-2) XG PARAMETER CHANGE		
2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1N	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaa	AA	Address Low
0ddddd	DD	Data
:	:	:
11110111	F7	End of Exclusive

Data Sizeが2または2のパラメータは、そのSize分のデータを送信する。
Address および Parameterについては、付表1-2 ~ 1-8 P. 168 ~ 170 を参照すること。

以下の種類のデータを送受信する。

System Data
Multi Effect1 Data
Multi EQ Data(PSR-740 ONLY)
Multi Effect2 Data(PSR-740 ONLY)
Special Effect Data(PSR-740 ONLY)
Multi Part Data
A/D Part Data(PSR-740 ONLY)
Drums Setup Data

(3-6-3-2) XG BULK DUMP

2進	16進	
01110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0000nnnn	0N	Device Number
01001100	4C	Model ID
0bbbbbbb	BB	ByteCount MSB
0bbbbbbb	BB	ByteCount LSB
0aaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaa	AA	Address Low
0ddddd	DD	Data
:	:	:
0ccccccc	CC	Check sum
11110111	F7	End of Exclusive

Address および Byte Count は、付表1-2 ~ 1-8 P. 168 ~ 170 を参照すること。
Check sum はByte Count、Start Address、Data、Check sum 自身を加算した値の下位7bit がゼロになる値である。
XG バルクダンプ、バルクリクエストでは Address にブロックの先頭を指定した場合のみ受信する。
ブロックとは付表中 Total Size として括弧されるデータ列の単位を示す。

以下の種類のデータを送受信する。(送信はBulk Dump Requestを受信した時のみ)

System Data
System Information(送信のみ)
Multi Effect1 Data
Multi EQ Data(PSR-740 ONLY)
Multi Effect2 Data(PSR-740 ONLY)
Special Effect Data(PSR-740 ONLY)
Multi Part Data
A/D Part Data(PSR-740 ONLY)
Drums Setup Data

(3-6-3-3) XG PARAMETER REQUEST(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0011nnnn	3n	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaa	AA	Address Low
11110111	F7	End of Exclusive

Address および Byte Count は、付表1-2 ~ 1-8 P. 168 ~ 170 を参照すること。

以下の種類のデータを受信する。

System Data
Multi Effect1 Data
Multi EQ Data(PSR-740 ONLY)
Multi Effect2 Data(PSR-740 ONLY)
Special Effect Data(PSR-740 ONLY)
Multi Part Data
A/D Part Data(PSR-740 ONLY)
Drums Setup Data

(3-6-3-4) XG DUMP REQUEST(受信のみ)

2進	16進	
11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0010nnnn	2n	Device Number
01001100	4C	Model ID
0aaaaaaa	AA	Address High
0aaaaaaa	AA	Address Mid
0aaaaaaa	AA	Address Low
11110111	F7	End of Exclusive

Address および Byte Count は、付表1-2 ~ 1-8 P. 168 ~ 170 を参照すること。

以下の種類のデータを受信する。

System Data
System Information
Multi Effect1 Data
Multi EQ Data(PSR-740 ONLY)
Multi Effect2 Data(PSR-740 ONLY)
Special Effect Data(PSR-740 ONLY)
Multi Part Data
A/D Part Data(PSR-740 ONLY)
Drums Setup Data

(3-6-4) CLAVINOVA MIDI COMPLIANCE

(3-6-4-1) DOC MULTI TIMBRE ON / OFF(受信のみ)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010nnn	1N	N: 3(DOC Multi Timbre Off),4(DOC Multi Timbre On)	
11110111	F7	End of Exclusive	

(3-6-4-2) MIDI FA CANCEL(受信のみ)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
01100001	61	MIDI FA Cancel	
11110111	F7	End of Exclusive	

このメッセージを受信すると[FAH]を受けてもリズムがスタートしないようになる。

(3-6-4-3) BULK DATA ORGAN FLUTE DATA (PSR-740 ONLY)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00000110	06	Bulk ID	
00001011	0B	Bulk No.(0BH : ORGAN FLUTE DATA)	
00000000	00	Data Length	
00000000	00	Data Length	
00000001	01	Data Length	
00000110	06	Data Length	
00000000	d1	Bulk Data 1st	
:	:	:	
00000000	d22	Bulk Data 22th	
00000000	cc	don't care	
11110111	F7	End of Exclusive	

[BULK DATA]

1st 0nH	n: channel No.	Discription	
2nd Drawer	[1]	00 - 07H	0 : - [dB]
3rd	[1 1/3]	00 - 07H	1 : -12 [dB]
4th	[aux. 1]	00H	2 : -9 [dB]
5th	[2]	00 - 07H	3 : -6 [dB]
6th	[2 2/3]	00 - 07H	4 : -4.5 [dB]
7th	[4]	00 - 07H	5 : -3 [dB]
8th	[5 1/3]	00 - 07H	6 : -1.5 [dB]
9th	[8]	00 - 07H	7 : 0 [dB]
10th	[16]	00 - 07H	
11th	[Attack 2]	00 - 07H	
12th	[Attack 2 2/3]	00 - 07H	
13th	[Attack 4]	00 - 07H	
14th Settings	[Attack Length]	00 - 07H	
15th	[Response]	00 - 07H	
16th	[Attack Mode]	00 - 01H	00H : Each, 01 : First
17th	[Wave Variation]	00 - 01H	00H : Sine, 01H : Tone Wheel
18th	[Volume]	00 - 08H	
19th	[予備 4]	00H	
20th	[予備 5]	00H	
21th	[予備 6]	00H	
22th	[予備 7]	00H	

(3-6-5) SPECIAL OPERATORS

(3-6-5-1) VOLUME ,EXPRESSION AND PAN REALTIME CONTROL OFF

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
0000nnnn	0N	N = MIDI Channel	
01000101	45	Volume and Expression Realtime Control Off	
0vvvvvv	VV	Value VV: Of=7FH, on=00H	
11110111	F7	End of Exclusive	

このExclusiveのOnを受信するとその後のVolume,Expression,PANの変更はキーオン時のみ有効になる。Offを受信すると通常に戻る。

(3-6-5-2) Vocal Harmony Pitch to Note (PSR-740 ONLY)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
00000000	00	Channel No. (always 00)	
01010000	50	Vocal Harmony Additional Parameter Control No.	
00000000	00	Pitch to Note Parameter No.	
0sssssss	SS	Pitch To Note switch	
		00H : Off	
		01H : On	
11110111	F7	End of Exclusive	

(3-6-5-3) Vocal Harmony Pitch to Note Part (PSR-740 ONLY)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
00000000	00	Channel No. (always 00)	
01010000	50	Vocal Harmony Additional Parameter Control No.	
00000001	01	Pitch to Note Part Parameter No.	
0sssssss	SS	Pitch To Note Part No.	
		00H : Right1	
		01H : Right2	
		02H : Left	
		04H : Upper	
11110111	F7	End of Exclusive	

(3-6-5-4) Vocal Harmony Vocoder Part (Harmony Part(Panel)) (PSR-740 ONLY)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
00000000	00	Channel No. (always 00)	
01010000	50	Vocal Harmony Additional Parameter Control No.	
00010000	10	Vocoder Part Parameter No.	
0sssssss	SS	Harmony Part No.	
		00H : Off	
		01H : Upper	
		02H : Lower	
11110111	F7	End of Exclusive	

(3-6-5-5) Voal Harmony Additional Reverb Depth(受信のみ)(PSR-740 ONLY)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
00000000	00	Channel No. (always 00)	
01010000	50	Vocal Harmony Additional Parameter Control No.	
00010001	11	Voal Harmony Additional Reverb Depth Parameter No.	
0sssssss	SS	Value (0 - 7FH)	
11110111	F7	End of Exclusive	

(3-6-5-6) Voal Harmony Additional Chorus Depth(受信のみ)(PSR-740 ONLY)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
01110011	73	Clavinova ID	
00000001	01	Clavinova common ID	
00010001	11	Sub ID	
00000000	00	Channel No. (always 00)	
01010000	50	Vocal Harmony Additional Parameter Control No.	
00010010	12	Voal Harmony Additional Chorus Depth Parameter No.	
0sssssss	SS	Value (0 - 7FH)	
11110111	F7	End of Exclusive	

(3-6-6) Others

(3-6-6-1) MIDI MASTER TUNING(受信のみ)

2進	16進		
11110000	F0	Exclusive status	
01000011	43	YAMAHA ID	
0001nnnn	1N	When N is received N=0-F, whichever is received. When N is transmitted N always=0.	
00100111	27	Model ID	
00110000	30	Sub ID	
00000000	00		
00000000	00		
0mmmmmmm	MM	Master Tune MSB	
0lllllll	LL	Master Tune LSB	
0ccccccc	CC	don't care	
11110111	F7	End of Exclusive	

全チャンネルの TUNING を一括で変更する。
MM,LL の値をMIDI マスターチューニング値として用いる。(N及びCCの値は無視)

T = M-128

T : 実際のチューニング値(-99cent - +99cent)

M : MM の0 - 3ビットを MSB、LLの0 - 3ビットを LSB とする 1 バイトの値(28 - 228)

この設定はGMシステムオン、XGシステムオンでリセットされない。

MIDIデータフォーマット

< 付表 1-1 > Parmeter Basic Address

	Parameter Change Address			Description
	(H)	(M)	(L)	
SYSTEM	00	00	00	System
	00	00	7D	Drum Setup Reset
	00	00	7E	XG System On
	00	00	7F	All Parameter Reset
INFORMATION	01	00	00	System Information
EFFECT 1	02	01	00	Effect1(Reverb,Chorus,Variation)
MULTI EQ	02	40	00	Multi EQ(PSR-740 ONLY)
EFFECT 2	03	00	00	Effect2(PSR-740 ONLY)
SPECIAL EFFECT	04	00	00	Special Effect2(PSR-740 ONLY)
MULTI PART	08	00	00	Multi Part 1
				:
	08	0F	00	Multi Part 16
A/D PART 10	00	00		A/D Part 1(PSR-740 ONLY)
DRUM 30	0D	00		Drum Setup 1 → Address
31	0D	00		Drum Setup 2
				Parameter
				:
			3n	0D 0 note number 13
			3n	0E 0 note number 14
			:	:
			3n	5B 0 note number 91

< 付表 1-2 > MIDI Parameter Change table (SYSTEM)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
00 00	00	0000	Master Tune	-102.4..+102.3[cent]	00 04 00 00
01	4	..07FF		1st bit3-0 → bit15-12	(400)
02				2nd bit3-0 → bit11-8	(XG GM onでResetされない)
03				3rd bit3-0 → bit7-4	
04	1	00..7F	Master Volume	0..127	7F
05	1		Not Used		
06	1	28..58	Transpose	-24..+24[semitones]	40
7D		0n	Drum Setup Reset	n=Drum Setup Number	
7E		00	XG System On	00=XG Sytem on	
7F		00	All Parameter Reset	00=on (receive only)	
TOTAL SIZE 7					

< 付表 1-3 > MIDI Parameter table (System information)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description
01 00	00	E 20..7F	Model Name	32..127(ASCII)
:				
0D				
0E	1	00		
0F	1	00		
TOTAL SIZE 10				

(Dump Requestにより送信される。受信は行なわない。Bulk Dump Only)

< 付表 1-4 > MIDI Parameter Change table (EFFECT 1)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
02 01	00	2 00..7F	Reverb Type MSB	Ef. Type List 参照	01(=HALL1)
			Reverb Type LSB	00 : basic type	00
02	1	00..7F	Reverb Parameter 1	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
03	1	00..7F	Reverb Parameter 2	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
04	1	00..7F	Reverb Parameter 3	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
05	1	00..7F	Reverb Parameter 4	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
06	1	00..7F	Reverb Parameter 5	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
07	1	00..7F	Reverb Parameter 6	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
08	1	00..7F	Reverb Parameter 7	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
09	1	00..7F	Reverb Parameter 8	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
0A	1	00..7F	Reverb Parameter 9	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
0B	1	00..7F	Reverb Parameter 10	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
0C	1	00..7F	Reverb Return	- ..0..+6dB(0..64..127)	40
0D	1	01..7F	Reverb Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
TOTAL SIZE 0E					
02 01	10	1 00..7F	Reverb Parameter 11	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
11	1	00..7F	Reverb Parameter 12	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
12	1	00..7F	Reverb Parameter 13	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
13	1	00..7F	Reverb Parameter 14	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
14	1	00..7F	Reverb Parameter 15	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
15	1	00..7F	Reverb Parameter 16	Ef. Parameter List 参照	Depend on Reverb type
TOTAL SIZE 6					
02 01	20	2 00..7F	Chorus Type MSB	Effect Type List 参照	41(=Chorus1)
			Chorus Type LSB	00 : basic type	00
22	1	00..7F	Chorus Parameter 1	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
23	1	00..7F	Chorus Parameter 2	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
24	1	00..7F	Chorus Parameter 3	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
25	1	00..7F	Chorus Parameter 4	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
26	1	00..7F	Chorus Parameter 5	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
27	1	00..7F	Chorus Parameter 6	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
28	1	00..7F	Chorus Parameter 7	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
29	1	00..7F	Chorus Parameter 8	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
2A	1	00..7F	Chorus Parameter 9	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
2B	1	00..7F	Chorus Parameter 10	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
2C	1	00..7F	Chorus Return	- ..0..+6dB(0..64..127)	40
2D	1	01..7F	Chorus Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
2E	1	00..7F	Send Chorus To Reverb	- ..0..+6dB(0..64..127)	00
TOTAL SIZE 0F					

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
02 01 30	1	00..7F	Chorus Parameter 11	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
31	1	00..7F	Chorus Parameter 12	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
32	1	00..7F	Chorus Parameter 13	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
33	1	00..7F	Chorus Parameter 14	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
34	1	00..7F	Chorus Parameter 15	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
35	1	00..7F	Chorus Parameter 16	Ef. Parameter List 参照	Depend on Chorus Type
TOTAL SIZE 6					
02 01 40	2	00..7F	Variation Type MSB	Ef. Type List 参照	05(=DELAY L,C,R)
		00..7F	Variation Type LSB	00 : basic type	00
42	2	00..7F	Vari. Param. 1 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 1 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
44	2	00..7F	Vari. Param. 2 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 2 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
46	2	00..7F	Vari. Param. 3 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 3 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
48	2	00..7F	Vari. Param. 4 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 4 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
4A	2	00..7F	Vari. Param. 5 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 5 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
4C	2	00..7F	Vari. Param. 6 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 6 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
4E	2	00..7F	Vari. Param. 7 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 7 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
50	2	00..7F	Vari. Param. 8 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 8 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
52	2	00..7F	Vari. Param. 9 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 9 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
54	2	00..7F	Vari. Param. 10 MSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
		00..7F	Vari. Param. 10 LSB	Ef. Parameter List 参照	Depend on Vari. Type
56	1	00..7F	Variation Return	- ..0..+6dB(0..64..127)	40
57	1	01..7F	Variation Pan	L63..C..R63(1..64..127)	40
58	1	00..7F	Send Vari. To Reverb	- ..0..+6dB(0..64..127)	00
59	1	00..7F	Send Vari. To Chorus	- ..0..+6dB(0..64..127)	00
5A	1	00..01	Variation Connection	0:insertion,1:system	00
5B	1	00..7F	Variation Part	part1..16(0..15),AD1(64), off(16..63,65..127)	7F
5C	1	00..7F	MW Vari. Ctrl Depth	-64..+63	40
5D	1	00..7F	PB Vari. Ctrl Depth	-64..+63	40
5E	1	00..7F	CAT Vari. Ctrl Depth	-64..+63	40
5F	1	00..7F	Not Used		
60	1	00..7F	Not Used		
TOTAL SIZE 21					
02 01 70	1	00..7F	Variation Parameter 11	option Parameter	Depend on Variation Type
71	1	00..7F	Variation Parameter 12	option Parameter	Depend on Variation Type
72	1	00..7F	Variation Parameter 13	option Parameter	Depend on Variation Type
73	1	00..7F	Variation Parameter 14	option Parameter	Depend on Variation Type
74	1	00..7F	Variation Parameter 15	option Parameter	Depend on Variation Type
75	1	00..7F	Variation Parameter 16	option Parameter	Depend on Variation Type
TOTAL SIZE 6					

< 付表 1-5 > MIDI Parameter Change table (MULTI EQ)(PSR-740 ONLY)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
02 40 00	1	34..4C	EQ Type	0:FLAT 1:JAZZ 2:POPS 3:ROCK 4:CLASSIC	00
01	1	34..4C	EQ Gain1	-12..+12[dB]	40
02	1	04..28	EQ Frequency1	32..2000[Hz]	0C
03	1	01..78	EQ Q1	0.1..12.0	07
04	1	00..01	EQ Shape1	00:Shelving,01:Peaking	00
05	1	34..4C	EQ Gain2	-12..+12[dB]	40
06	1	0E..36	EQ Frequency2	0.1..10[KHz]	1C
07	1	01..78	EQ Q2	0.1..12.0	07
08	1		Not Used		
09	1	34..4C	EQ Gain3	-12..+12[dB]	40
0A	1	0E..36	EQ Frequency3	0.1..10[KHz]	22
0B	1	01..78	EQ Q3	0.1..12.0	07
0C	1		Not Used		
0D	1	34..4C	EQ Gain4	-12..+12[dB]	40
0E	1	0E..36	EQ Frequency4	0.1..10[KHz]	2E
0F	1	01..78	EQ Q4	0.1..12.0	07
10	1		Not Used		
11	1	34..4C	EQ Gain5	-12..+12[dB]	40
12	1	1C..3A	EQ Frequency5	0.5..16.0[KHz]	34
13	1	01..78	EQ Q5	0.1..12.0	07
14	1	00..01	EQ Shape5	00:Shelving,01:Peaking	00
TOTAL SIZE 15					

< 付表 1-6 > MIDI Parameter change table (Effect2)(PSR-740 ONLY)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
03 0n 00	2	00..7F	Insertion Type MSB	Ef.Type List参照* 49(=DISTORTION) *	
		00..7F	Insertion Type LSB	00 : basic type	00
02	1	00..7F	Insertion Parameter1	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03	1	00..7F	Insertion Parameter2	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
04	1	00..7F	Insertion Parameter3	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
05	1	00..7F	Insertion Parameter4	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
06	1	00..7F	Insertion Parameter5	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
07	1	00..7F	Insertion Parameter6	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
08	1	00..7F	Insertion Parameter7	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
09	1	00..7F	Insertion Parameter8	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
0A	1	00..7F	Insertion Parameter9	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
0B	1	00..7F	Insertion Parameter10	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
0C	1	00..7F	Insertion Part	Part1..16,OFF	7F
0D	1	00..7F	MW INS CTRL DPT		40
0E	1	00..7F	BEND INS CTRL DPT		40
0F	1	00..7F	CAT INS CTRL DPT		40
10	1	00..7F	Not Used		
11	1	00..7F	Not Used		
TOTAL SIZE 12					
03 0n 20	1	00..7F	Insertion Parameter11	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion 1 Type
21	1	00..7F	Insertion Parameter12	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion 1 Type
22	1	00..7F	Insertion Parameter13	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion 1 Type
23	1	00..7F	Insertion Parameter14	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion 1 Type
24	1	00..7F	Insertion Parameter15	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion 1 Type
25	1	00..7F	Insertion Parameter16	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion 1 Type
TOTAL SIZE 06					

MIDIデータフォーマット

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
03 0n 30	2	00..7F	Ins. Param.1 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.1 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 32	2	00..7F	Ins. Param.2 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.2 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 34	2	00..7F	Ins. Param.3 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.3 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 36	2	00..7F	Ins. Param.4 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.4 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 38	2	00..7F	Ins. Param.5 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.5 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 3A	2	00..7F	Ins. Param.6 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.6 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 3C	2	00..7F	Ins. Param.7 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.7 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 3E	2	00..7F	Ins. Param.8 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.8 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 40	2	00..7F	Ins. Param.9 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.9 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
03 0n 42	2	00..7F	Ins. Param.10 MSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
		00..7F	Ins. Param.10 LSB	Ef. Parameter List参照	Depend on Insertion Type
TOTAL SIZE 14					

MSBが不要なEFFECT TYPE使用時は、Address02～0BのParameterを受信し、Address30～42は受信しない。

MSBが不要なEFFECT TYPE使用時は、Address30～42のParameterを受信し、Address02～0Bは受信しない。

EFFECT TYPEの情報を含むバルクの送信は、Address02～0BのParameterが必ず送信されるが、MSBが不要なEFFECT TYPEの場合は、バルク受信においてもAddress02～0BのParameterは受信しない、n=Insertion Effect No.(0-1)

< 付表 1-7 > MIDI Parameter Change table (SPECIAL EFFECT) (PSR-740 ONLY)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description (H)	Default Value (H)
04 00 00	2	00..7F	Insertion Effect Type MSB	Effect Map参照	49(=DISTORTION)
		00..7F	Insertion Effect Type LSB	00 : basic type	00
02	1	00..7F	Insertion Effect Parameter1	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
03	1	00..7F	Insertion Effect Parameter2	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
04	1	00..7F	Insertion Effect Parameter3	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
05	1	00..7F	Insertion Effect Parameter4	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
06	1	00..7F	Insertion Effect Parameter5	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
07	1	00..7F	Insertion Effect Parameter6	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
08	1	00..7F	Insertion Effect Parameter7	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
09	1	00..7F	Insertion Effect Parameter8	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
0A	1	00..7F	Insertion Effect Parameter9	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
0B	1	00..7F	Insertion Effect Parameter10	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
0C	1	00..7F	Insertion Effect Part	Part1...16(0...15) AD1(64) Off(16...63, 65...127)	7F
0D	1	00..7F	Not Used		
0E	1	00..7F	Not Used		
0F	1	00..7F	Not Used		
10	1	00..7F	Not Used		
11	1	00..7F	Not Used		
TOTAL SIZE 12					
04 00 14	1	00..7F	Unique Insertion Effect External Control CH1(Harmony Channel)	1...16(0...15) Off(127)	7F
15	1	00..7F	Unique Insertion Effect External Control CH2(Melody Channel)	1...16(0...15) Off(127)	7F
TOTAL SIZE 2					
04 00 20	1	00..7F	Insertion Effect Parameter11	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
21	1	00..7F	Insertion Effect Parameter12	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
22	1	00..7F	Insertion Effect Parameter13	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
23	1	00..7F	Insertion Effect Parameter14	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
24	1	00..7F	Insertion Effect Parameter15	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
25	1	00..7F	Insertion Effect Parameter16	Ef. Parameter List参照	depends on insertion 1 type
TOTAL SIZE 6					

< 付表 1-8 > MIDI Parameter Change table (MULTI PART)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
08 nn 00	1	00..20	Element Reserve	0..32	0(Part10),2(Others)
nn 01	1	00..7F	Bank Select MSB	0..127	7F(Part10),00(Others)
nn 02	1	00..7F	Bank Select LSB	0..127	00
nn 03	1	00..7F	Program Number	1..128	00
nn 04	1	00..0F, 7F	Rcv Channel	0..16;1..16,127;off	Part No.
nn 05	1	00..01	Mono/Poly Mode	0:mono,1:poly	01
nn 06	1	00..02	Same Note Number Key On Assign	0:single 1:multi 2:inst (for DRUM)	00
nn 07	1	00..03	Part Mode	0:normal 1..3:drum thru.drum1..2	00 (Part10以外) 02 (Part10)
nn 08	1	28..58	Note Shift	-24..+24[semitones]	40
nn 09	2	00..FF	Detune	-12.8..+12.7[Hz] 1st bit3..0 → bit7..4 2nd bit3..0 → bit3..0	08 00 (80)
nn 0B	1	00..7F	Volume	0..127	64
nn 0C	1	00..7F	Velocity Sense Depth	0..127	40
nn 0D	1	00..7F	Velocity Sense Offset	0..127	40
nn 0E	1	00..7F	Pan	0:random L63..C..R63(1..64..127)	40
nn 0F	1	00..7F	Note Limit Low	C-2..G8	00
nn 10	1	00..7F	Note Limit High	C-2..G8	7F
nn 11	1	00..7F	Dry Level	0..127	7F
nn 12	1	00..7F	Chorus Send	0..127	00
nn 13	1	00..7F	Reverb Send	0..127	28
nn 14	1	00..7F	Variation Send	0..127	00
nn 15	1	00..7F	Vibrato Rate	-64..+63	40
nn 16	1	00..7F	Vibrato Depth	-64..+63	40
nn 17	1	00..7F	Vibrato Delay	-64..+63	40
nn 18	1	00..7F	Filter Cutoff Freq.	-64..+63	40
nn 19	1	00..7F	Filter Resonance	-64..+63	40
nn 1A	1	00..7F	EG Attack Time	-64..+63	40
nn 1B	1	00..7F	EG Decay Time	-64..+63	40
nn 1C	1	00..7F	EG Release Time	-64..+63	40

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
nn 1D	1	28..58	MW Pitch Control	-24..+24[semitones]	40
nn 1E	1	00..7F	MW Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
nn 1F	1	00..7F	MW Amp. Control	-100..+100[%]	40
nn 20	1	00..7F	MW LFO PMod Depth	0..127	0A
nn 21	1	00..7F	MW LFO FMod Depth	0..127	00
nn 22	1	00..7F	MW LFO AMod Depth	0..127	00
nn 23	1	28..58	Bend Pitch Control	-24..+24[semitones]	42
nn 24	1	00..7F	Bend Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
nn 25	1	00..7F	Bend Amp. Control	-100..+100[%]	40
nn 26	1	00..7F	Bend LFO PMod Depth	0..127	00
nn 27	1	00..7F	Bend LFO FMod Depth	0..127	00
nn 28	1	00..7F	Bend LFO AMod Depth	0..127	00
TOTAL SIZE 29					
nn 30	:	:	Not Used	:	:
nn 40	:	:	Not Used	:	:
nn 41	1	00..7F	Scale Tuning C	-64..+63[cent]	40
nn 42	1	00..7F	Scale Tuning C#	-64..+63[cent]	40
nn 43	1	00..7F	Scale Tuning D	-64..+63[cent]	40
nn 44	1	00..7F	Scale Tuning D#	-64..+63[cent]	40
nn 45	1	00..7F	Scale Tuning E	-64..+63[cent]	40
nn 46	1	00..7F	Scale Tuning F	-64..+63[cent]	40
nn 47	1	00..7F	Scale Tuning F#	-64..+63[cent]	40
nn 48	1	00..7F	Scale Tuning G	-64..+63[cent]	40
nn 49	1	00..7F	Scale Tuning G#	-64..+63[cent]	40
nn 4A	1	00..7F	Scale Tuning A	-64..+63[cent]	40
nn 4B	1	00..7F	Scale Tuning A#	-64..+63[cent]	40
nn 4C	1	00..7F	Scale Tuning B	-64..+63[cent]	40
nn 4D	1	28..58	CAT Pitch Control	-24..+24[semitones]	40
nn 4E	1	00..7F	CAT Filter Control	-9600..+9450[cent]	40
nn 4F	1	00..7F	CAT Amplitude Control	-100..+100[%]	40
nn 50	1	00..7F	CAT LFO PMod Depth	0..127	00
nn 51	1	00..7F	CAT LFO FMod Depth	0..127	00
nn 52	1	00..7F	CAT LFO AMod Depth	0..127	00
nn 53	:	:	Not Used	:	:
nn 66	:	:	Not Used	:	:
nn 67	1	00..01	Portamento Switch	off/on	00
nn 68	1	00..7F	Portamento Time	0..127	00
nn 69	:	:	Not Used	:	:
nn 6E	:	:	Not Used	:	:
TOTAL SIZE 3F					

nn = PartNumber

Partにドラムボイスがアサインされている場合、以下のパラメーターは効果がからない。

- Bank Select LSB
- Pitch EG
- Portamento
- Soft Pedal
- Mono/Poly
- Scale Tuning

< 付表 1-9 > MIDI Parameter Change table (A/D PART) (PSR-740 ONLY)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description	Default Value (H)
10 nn 00	1	:	Not Use	:	:
01	1	:	Not Use	:	:
02	1	:	Not Use	:	:
03	1	:	Not Use	:	:
04	1	00..0F, 7F	Rcv Channel	A1...A16, OFF	7F
05	1	:	Not Use	:	:
0A	1	:	Not Use	:	:
0B	1	00..7F	Volume	0..127	00
0C	1	:	Not Use	:	:
0D	1	:	Not Use	:	:
0E	1	01...7F	Pan	L63...C...R63 (1...127)	40
0F	1	:	Not Use	:	:
10	1	:	Not Use	:	:
11	1	00..7F	Dry Level	0..127	7F
12	1	00..7F	Chorus Send	0..127	00
13	1	00..7F	Reverb Send	0..127	00
14	1	00..7F	Variation Send	0..127	00
TOTAL SIZE 15					

< 付表 1-10 > MIDI Parameter Change table (DRUM SETUP)

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter Name	Description (H)	Default Value (H)
3n rr 00	1	00..7F	Pitch Coarse	-64..+63	40
3n rr 01	1	00..7F	Pitch Fine	-64..+63[cent]	40
3n rr 02	1	00..7F	Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 03	1	00..7F	Alternate Group	0:off,1..127	Depend on the Note
3n rr 04	1	00..7F	Pan	0:random L63..C...R63(1..64..127)	Depend on the Note
3n rr 05	1	00..7F	Reverb Send Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 06	1	00..7F	Chorus Send Level	0..127	Depend on the Note
3n rr 07	1	00..7F	Variation Send Level	0..127	7F
3n rr 08	1	00..01	Key Assign	0:single,1:multi	00
3n rr 09	1	00..01	Rcv Note Off	off/on	Depend on the Note
3n rr 0A	1	00..01	Rcv Note On	off/on	01
3n rr 0B	1	00..7F	Filter Cutoff Freq.	-64..63	40
3n rr 0C	1	00..7F	Filter Resonance	-64..63	40
3n rr 0D	1	00..7F	EG Attack Rate	-64..63	40
3n rr 0E	1	00..7F	EG Decay1 Rate	-64..63	40
3n rr 0F	1	00..7F	EG Decay2 Rate	-64..63	40
TOTAL SIZE 10					

n:Drum Setup Number(0 - 1)

rr:note number(ODH - 5BH)

XG SYSTEM on や GM on メッセージを受信すると、Drum Setup Parameterはすべて初期化される。
Drum Setup Reset メッセージにより、各Drum Setup Parameterを初期化することができる。

MIDIデータフォーマット

< 付表 1-11 > Effect Type List

- XG ESSENTIAL EFFECT(XG必須)
- Same as LSB=0
- XG OPTION EFFECT
- XG OPTION EFFECT(Only PSR-740)
- パネル用に拡張したType

TYPE LSBに、EFFECT TYPEを持たない値を受信した場合、LSB=0のTYPEとなる。
 []ナンバー/名前はパネル上でのもの。

REVERB TYPE (PSR-740/640)

TYPE MSB		TYPE LSB											
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20	
000	00	NO EFFECT											
001	01	[1]HALL1	[5]HALL2					[2]HALL2	[3]HALL3	[4]HALL4			
002	02	[10]ROOM1	[11]ROOM2	[12]ROOM3				[6]ROOM1	[7]ROOM2	[8]ROOM3	[9]ROOM4		
003	03	[15]STAGE1	[16]STAGE2					[13]STAGE1	[14]STAGE2				
004	04	[19]PLATE						[17]PLATE1	[18]PLATE2				
005	05	NO EFFECT											
...											
015	0F	NO EFFECT											
016	10	[20]WHITE ROOM											
017	11	[21]TUNNEL											
018	12	[22]CANYON											
019	13	[23]BASEMENT											
020	14	NO EFFECT											
...											
127	7F	NO EFFECT											

CHORUS TYPE (PSR-740/640)

TYPE MSB		TYPE LSB											
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20	
000	00	NO EFFECT											
001	01	NO EFFECT											
...											
064	40	NO EFFECT											
065	41	[6]CHORUS1	[7]CHORUS2	[5]CHORUS5		[8]CHORUS4							
066	42	[9]CELESTE1	[4]CHORUS4	[10]CELESTE3		[2]CHORUS2		[3]CHORUS3	[1]CHORUS1				
067	43	[15]FLANGER 1	[14]FLANGER4			[1]FLANGER1		[12]FLANGER2	[13]FLANGER3				
068	44	[17]SYMPHONIC (PSR-740)						[16]Symphonic (PSR-740)					
069	45	NO EFFECT											
...											
071	47	NO EFFECT											
072	48	[18]PHASER 1 (PSR-740)											
073	49	NO EFFECT											
...											
086	56	NO EFFECT											
087	57	[19]ENSEMBLE DETUNE(PSR-740)											
088	58	NO EFFECT											
...											
127	7F	NO EFFECT											

VARIATION TYPE (0-63) (PSR-640)

TYPE MSB		TYPE LSB											
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20	
000	00	NO EFFECT											
001	01	[1]HALL1	[5]HALL2					[2]HALL2	[3]HALL3	[4]HALL4			
002	02	[10]ROOM1	[11]ROOM2	[12]ROOM3				[6]ROOM1	[7]ROOM2	[8]ROOM3	[9]ROOM4		
003	03	[15]STAGE1	[16]STAGE2					[13]STAGE1	[14]STAGE2				
004	04	[19]PLATE						[17]PLATE1	[18]PLATE2				
005	05	[21]DELAY L,C,R						[20]Delay LCR					
006	06	[22]DELAY L,R											
007	07	[23]ECHO											
008	08	[24]CROSS DELAY											
009	09	[25]ER1	[26]ER2										
010	0A	[27]GATE REVERB											
011	0B	[28]REVERS GATE											
012	0C	NO EFFECT or THRU*											
...											
019	13	NO EFFECT or THRU*											
020	14	[29]KARAOKE 1	[30]KARAOKE 2	[31]KARAOKE 3									
021	15	NO EFFECT or THRU*											
...											
063	3F	NO EFFECT or THRU*											

* Effect Connectionが、Systemの時 No effect, Insertionの時 Thru.

VARIATION TYPE (64-127) (PSR-640)

TYPE MSB		TYPE LSB											
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20	
064	40	THRU											
065	41	[37]CHORUS1	[38]CHORUS2	[36]CHORUS5		[39]CHORUS4							
066	42	[40]CELESTE1	[35]CHORUS4	[41]CELESTE3		[33]CHORUS2		[34]CHORUS3	[32]CHORUS1	[53]Rotary Sp5			
067	43	[46]FLANGER 1	[45]FLANGER 4			[42]FLANGER1		[43]FLANGER2	[44]FLANGER3				
068	44	[48]SYMPHONIC						[47]Symphonic					
069	45	[54]ROTARY SP.						[49]Rotary Sp1					
070	46	[57]TREMLO						[55]Tremolo1	[52]Rotary Sp4				
071	47	[60]AUTO PAN						[59]AutoPan	[50]Rotary Sp2	[51]Rotary Sp3	[56]Tremolo2	[58]Gr Tremolo	
072	48	[61]PHASER				[62]PHASER 2							
073	49	[65]DISTORTION											
074	4A	[66]OVER DRIVE											
075	4B	[67]AMP SIM.											
076	4C	[70]3BAND EQ						[63]DIST.HARD	[64]DIST.SOFT				
077	4D	[71]2BAND EQ						[68]EQ DISCO	[69]EQ TEL				
078	4E	[73]AUTO WAH						[72]Auto Wah					
079	4F	NO EFFECT or THRU*											
...											
127	7F	NO EFFECT or THRU*											

* Effect Connectionが、Systemの時 No effect, Insertionの時 Thru.

VARIATION TYPE (0-63) (PSR-740)

TYPE MSB		TYPE LSB										
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20
000	00	NO EFFECT										
001	01	[1]HALL1	[5]HALL2					[2]HALL2	[3]HALL3	[4]HALL4		
002	02	[10]ROOM1	[11]ROOM2	[12]ROOM3				[6]ROOM1	[7]ROOM2	[8]ROOM3	[9]ROOM4	
003	03	[15]STAGE1	[16]STAGE2					[13]STAGE1	[14]STAGE2			
004	04	[19]PLATE						[17]PLATE1	[18]PLATE2			
005	05	[21]DELAY L.C.R						[20]Delay LCR				
006	06	[22]DELAY L.R										
007	07	[23]ECHO										
008	08	[24]CROSS DELAY										
009	09	[25]ER1	[26]ER2									
010	0A	[27]GATE REVERB										
011	0B	[28]REVERS GATE										
012	0C	NO EFFECT or THRU*										
:	:	:										
015	0F	NO EFFECT or THRU*										
016	10	[29]WHITE ROOM										
017	11	[30]TUNNEL										
018	12	[31]CANYON										
019	13	[32]BASEMENT										
020	14	[33]KARAOKE 1	[34]KARAOKE 2	[35]KARAOKE 3								
021	15	NO EFFECT or THRU*										
:	:	:										
063	3F	NO EFFECT or THRU*										

* Effect Connectionが、Systemの時 No effect, Insertionの時 Thru.

VARIATION TYPE (64-127) (PSR-740)

TYPE MSB		TYPE LSB										
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20
064	40	THRU										
065	41	[41]CHORUS1	[42]CHORUS2	[40]CHORUS5		[43]CHORUS4						
066	42	[44]CELESTE1	[39]CHORUS4	[45]CELESTE3		[37]CHORUS2		[38]CHORUS3	[36]CHORUS1	[57]Rotary Sp5		
067	43	[50]FLANGER 1	[49]FLANGER 4			[46]FLANGER1		[47]FLANGER2	[48]FLANGER3			
068	44	[52]SYMPHONIC						[51]Symphonic				
069	45	[58]ROTARY SP.						[53]Rotary Sp1				
070	46	[62]TREMLOLO						[60]Tremolo1	[56]Rotary Sp4			
071	47	[65]AUTO PAN						[64]AutoPan	[54]Rotary Sp2	[55]Rotary Sp3	[61]Tremolo2	[63]Gtr Tremolo
072	48	[66]PHASER				[67]PHASER 2						
073	49	[70]DISTORTION	[72]COMP +DISTORTION									
074	4A	[71]OVER DRIVE										
075	4B	[73]AMP SIM.						[68]DIST.HARD	[69]DIST.SOFT			
076	4C	[76]3BAND EQ						[74]EQ DISCO	[75]EQ TEL			
077	4D	[77]2BAND EQ										
078	4E	[79]AUTO WAH	[82]AUTO WAH +DIST	[83]AUTO WAH +OVERDRIVE				[78]Auto Wah				
079	4F	THRU										
080	50	[89]PITCH CHANGE1	[90]PITCH CHANGE2									
081	51	[84]HARMONIC ENHANCER										
082	52	[80]TOUCH WAH 1	[85]TOUCH WAH +DIST	[86]TOUCH WAH +OVERDRIVE		[81]TOUCH WAH 2						
083	53	[87]COMPRESSOR										
084	54	[88]NOISE GATE										
085	55	[91]VOICE CANCEL										
086	56	[59]2WAY ROTARY SP										
087	57	[92]ENSEMBLE DETUNE										
088	58	[93]AMBIENCE										
089	59	THRU										
:	:	:										
092	5C	THRU										
093	5D	[94]TALKING MODULATOR										
094	5E	[95]LO-FI										
095	5F	[96]DIST+DELAY	[97]OVERDRIVE +DELAY									
096	60	[98]COMP+DIST +DELAY	[99]COMP +OVERDRIVE +DELAY									
097	61	[100]WAH+DIST +DELAY	[101]WAH +OVERDRIVE +DELAY									
098	62	THRU										
:	:	:										
127	7F	THRU										

INSERTION TYPE (PSR-740)

TYPE MSB		TYPE LSB										
DEC	HEX	00	01	02	03...07	08	09...15	16	17	18	19	20
000	0	THRU										
001	1	[1]HALL 1	[5]HALL 2					[2]HALL2	[3]HALL3	[4]HALL4		
002	2	[10]ROOM 1	[11]ROOM 2	[12]ROOM 3				[6]ROOM1	[7]ROOM2	[8]ROOM3	[9]ROOM4	
003	3	[15]STAGE 1	[16]STAGE 2					[13]STAGE1	[14]STAGE2			
004	4	[19]PLATE						[17]PLATE1	[18]PLATE2			
005	5	[21]DELAY L.C.R						[20]Delay LCR				
006	6	[22]DELAY L.R										
007	7	[23]ECHO										
008	8	[24]CROSS DELAY										
009	9	THRU										
:	:	:										
019	13	THRU										
020	14	[25]KARAOKE 1	[26]KARAOKE 2	[27]KARAOKE 3								
021	15	THRU										
:	:	:										
064	40	THRU										
065	41	[33]CHORUS 1	[34]CHORUS 2	[32]CHORUS 3		[35]CHORUS 4						
066	42	[36]CELESTE 1	[31]CELESTE 2	[37]CELESTE 3		[29]CELESTE 4		[30]CHORUS3	[28]CHORUS1	[49]Rotary Sp5		
067	43	[42]FLANGER 1	[41]FLANGER 2			[38]FLANGER 3		[39]FLANGER2	[40]FLANGER3			
068	44	[44]SYMPHONIC						[43]Symphonic				
069	45	[50]ROTARY SPEAKER 1						[45]Rotary Sp1				
070	46	[53]TREMLOLO						[51]Tremolo1	[48]Rotary Sp4			
071	47	[56]AUTO PAN						[55]AutoPan	[46]Rotary Sp2	[47]Rotary Sp3	[52]Tremolo2	[54]Gtr Tremolo
072	48	[57]PHASER 1										
073	49	[60]DISTORTION										
074	4A	[61]OVER DRIVE										
075	4B	[62]AMP SIMULATOR						[58]DIST.HARD	[59]DIST.SOFT			
076	4C	[65]3-BAND EQ						[63]EQ DISCO	[64]EQ TEL			
077	4D	[66]2-BAND EQ										
078	4E	[68]AUTO WAH(LFO)						[67]Auto Wah				
079	4F	THRU										
080	50	THRU										
081	51	[69]HARMONIC ENHANCER										
082	52	[70]TOUCH WAH 1				[71]TOUCH WAH 2						
083	53	[72]COMPRESSOR										
084	54	[73]NOISE GATE										
085	55	THRU										
086	56	THRU										
087	57	[74]ENSEMBLE DETUNE										
088	58	THRU										
:	:	:										
127	7F	THRU										

MIDIデータフォーマット

< 付表 1-12 > Effect Parameter List

HALL1,HALL2, ROOM1,ROOM2,ROOM3, STAGE1,STAGE2, PLATE (reverb, variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Reverb Time	0.3-30.0s	0-69	table#4		
2	Diffusion	0-10	0-10			
3	Initial Delay	0.1mS-99.3mS	0-63	table#5		
4	HPF Cutoff	Thru-8.0kHz	0-52	table#3		
5	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
6						
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Rev Delay	0.1mS-99.3mS	0-63	table#5		
12	Density	0-4 (reverb, variation block) 0-4 (reverb, variation block) 0-2 (insertion block)	0-4 0-3 0-2		PSR-740 PSR-640	
13	Er/Rev Balance	E63>R - E=R - E<R63	1-127			
14	High Damp	0.1-1.0	1-10			
15	Feedback Level	-63+63	1-127			
16						

WHITE ROOM, TUNNEL, CANYON, BASEMENT (reverb, variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Reverb Time	0.3-30.0s	0-69	table#4		
2	Diffusion	0-10	0-10			
3	Initial Delay	0.1mS-99.3mS	0-63	table#5		
4	HPF Cutoff	Thru-8.0kHz	0-52	table#3		
5	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
6	Width	0.5-10.2m	0-37	table#11		
7	Height	0.5-20.2m	0-73	table#11		
8	Depth	0.5-30.2m	0-104	table#11		
9	Wall Vary	0-30	0-30			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Rev Delay	0.1mS-99.3mS	0-63	table#5		
12	Density	0-4	0-4		PSR-740 PSR-640	
13	Er/Rev Balance	E63>R - E=R - E<R63	1-127			
14	High Damp	0.1-1.0	1-10		PSR-740 only	
15	Feedback Level	-63+63	1-127			
16						

DELAY L,C,R (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Lch Delay	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
2	Rch Delay	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
3	Cch Delay	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
4	Feedback Delay	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
5	Feedback Level	-63+63	1-127			
6	Cch Level	0-127	0-127			
7	High Damp	0.1-1.0	1-10			
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
14	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
15	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
16	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			

DELAY L,R (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Lch Delay	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
2	Rch Delay	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
3	Feedback Delay 1	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
4	Feedback Delay 2	0.1-715.0ms (variation block) 0.1-715.0ms (insertion block)	1-7150 1-7150			
5	Feedback Level	-63+63	1-127			
6	High Damp	0.1-1.0	1-10			
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
14	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
15	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
16	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			

ECHO (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Lch Delay1	0.1-355.0ms (variation block) 0.1-355.0ms (insertion block)	1-3550 1-3550			
2	Lch Feedback Level	-63+63	1-127			
3	Rch Delay1	0.1-355.0ms (variation block) 0.1-355.0ms (insertion block)	1-3550 1-3550			
4	Rch Feedback Level	-63+63	1-127			
5	High Damp	0.1-1.0	1-10			
6	Lch Delay2	0.1-355.0ms (variation block) 0.1-355.0ms (insertion block)	1-3550 1-3550			
7	Rch Delay2	0.1-355.0ms (variation block) 0.1-355.0ms (insertion block)	1-3550 1-3550			
8	Delay2 Level	0-127	0-127			
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
14	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
15	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
16	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			

CROSS DELAY (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	L->R Delay	0.1-355.0ms (variation block) 0.1-355.0ms (insertion block)	1-3550 1-3550			
2	R->L Delay	0.1-355.0ms (variation block) 0.1-355.0ms (insertion block)	1-3550 1-3550			
3	Feedback Level	-63+63	1-127			
4	Input Select	L,R,L&R	0-2			
5	High Damp	0.1-1.0	1-10			
6						
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
14	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
15	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
16	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			

EARLY REF1,EARLY REF2(variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Type	S-1,L-H, Rdm, Rvs, Plt, Spr	0-5			
2	Room Size	0.1-7.0	0-44	table#6		
3	Diffusion	0-10	0-10			
4	Initial Delay	0.1mS-99.3mS	0-63	table#5		
5	Feedback Level	-63+63	1-127			
6	HPF Cutoff	Thru-8.0kHz	0-52	table#3		
7	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Liveness	0-10	0-10			
12	Density	0-3	0-3			
13	High Damp	0.1-1.0	1-10			
14						
15						
16						

GATE REVERB, REVERSE GATE (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Type	TypeA, TypeB	0-1			
2	Room Size	0.1-20.0	0-127	table#6		
3	Diffusion	0-10	0-10			
4	Initial Delay	0.1mS-200.0mS	0-127	table#5		
5	Feedback Level	-63+63	1-127			
6	HPF Cutoff	Thru-8.0kHz	0-52	table#3		
7	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Liveness	0-10	0-10			
12	Density	0-3	0-3			
13	High Damp	0.1-1.0	1-10			
14						
15						
16						

KARAOKE1,2,3 (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Delay Time	0.1mS-400.0mS	0-127	table#7		
2	Feedback Level	-63+63	1-127			
3	HPF Cutoff	Thru-8.0kHz	0-52	table#3		
4	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
5						
6						
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13						
14						
15						
16						

CHORUS1,2,3,4, CELESTE1,2,3,4 (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		
2	LFO Depth	0-127	0-127			
3	Feedback Level	-63+63	1-127			
4	Delay Offset	0.0mS-50mS	0-127	table#2		
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz (variation block)	14-54	table#3	PSR-740 only	
12	EQ Mid Gain	-12+12dB (variation block)	52-76		PSR-740 only	
13	EQ Mid Width	1.0-12.0 (variation block)	10-120		PSR-740 only	
14						
15	Input Mode	mono/stereo	0-1			
16						

FLANGER1,2,3 (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		
2	LFO Depth	0-127	0-127			
3	Feedback Level	-63+63	1-127			
4	Delay Offset	0.0mS-50mS	0-127	table#2		
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz (variation block)	14-54	table#3	PSR-740 only	
12	EQ Mid Gain	-12+12dB (variation block)	52-76		PSR-740 only	
13	EQ Mid Width	1.0-12.0 (variation block)	10-120		PSR-740 only	
14	LFO Phase Difference	-180+180deg(resolution=3deg)	4-124			
15						
16						

SYMPHONIC (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		
2	LFO Depth	0-127	0-127			
3	Delay Offset	0.0mS-50mS	0-127	table#2		
4						
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz 50Hz-2.0kHz	4-40 8-40	table#3 table#3	PSR-740 PSR-640	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz 12+12dB	28-58 52-76	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz (variation block)	14-54	table#3	PSR-740 only	
12	EQ Mid Gain	-12+12dB (variation block)	52-76		PSR-740 only	

AMBIENCE (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Delay Time	0.0mS-50mS	0-127	table#2		
2	Output Phase	normal/invers	0-1			
3						
4						
5	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3		
6	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
7	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
8	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
9	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13						
14						
15						
16						

ROTARY SPEAKER (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		●
2	LFO Depth	0-127	0-127			
3						
4						
5	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
6	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
7	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
8	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
9	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz (variation block)	14-54	table#3	PSR-740 only	
12	EQ Mid Gain	-12+12dB (variation block)	52-76		PSR-740 only	
13	EQ Mid Width	1.0-12.0 (variation block)	10-120		PSR-740 only	
14						
15						
16						

2WAY ROTARY SPEAKER (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Rotor Speed	0.0Hz-39.7Hz	0-127	table#1		●
2	Drive Low	0-127	0-127			
3	Drive High	0-127	0-127			
4	Low/High	L63>H - L=H - L<H63	1-127			
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3		
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
11	Crossover Frequency	100Hz-10.0kHz	14-54	table#3		
12	Mic L-R Angle	0deg-180deg(resolution=3deg.)	0-60			
13						
14						
15						
16						

TREMLO (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		●
2	AM Depth	0-127	0-127			
3	PM Depth	0-127	0-127			
4						
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
11	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz (variation block)	14-54	table#3	PSR-740 only	
12	EQ Mid Gain	-12+12dB (variation block)	52-76		PSR-740 only	
13	EQ Mid Width	1.0-12.0 (variation block)	10-120		PSR-740 only	
14	LFO Phase Difference	-180+180deg(resolution=3deg.)	4-124			
15	Input Mode	mono/stereo	0-1			
16						

AUTO PAN (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		●
2	L/R Depth	0-127	0-127			
3	F/R Depth	0-127	0-127			
4	PAN Direction	L<>R,L>R,L<R,Lturn,Rturn,L/R	0-5			
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
11	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz (variation block)	14-54	table#3	PSR-740 only	
12	EQ Mid Gain	-12+12dB (variation block)	52-76		PSR-740 only	
13	EQ Mid Width	1.0-12.0 (variation block)	10-120		PSR-740 only	
14						
15						
16						

PHASER 1 (chorus, variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		
2	LFO Depth	0-127	0-127			
3	Phase Shift Offset	0-127	0-127			
4	Feedback Level	-63+63	1-127			
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Stage	4,5,6 (chorus, insertion block)	4-6			
		4-12 (variation block)	4-12		PSR-740	
		6-10 (variation block)	6-10		PSR-640	
12	Diffusion	mono/stereo	0-1			
13						
14						
15						
16						

PHASER 2 (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	LFO Frequency	0.00Hz-39.7Hz	0-127	table#1		
2	LFO Depth	0-127	0-127			
3	Phase Shift Offset	0-127	0-127			
4	Feedback Level	-63+63	1-127			
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Stage	3,4,5,6	3-6		PSR-740	
12		3,4,5	3-5		PSR-640	
13	LFO Phase Difference	-180deg+180deg (resolution=3deg.)	4-124			
14						
15						
16						

DISTORTION, OVERDRIVE (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Drive	0-127	0-127			●
2	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
3	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
4	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
5	Output Level	0-127	0-127			
6						
7	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz	14-54	table#3	PSR-740	
8	EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76		PSR-640	
9	EQ Mid Width	1.0-12.0	10-120			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11						
12	Edge(Clip Curve)	0-127	0-127		mild-sharp	
13						
14						
15						
16						

COMP-DIST (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Drive	0-127	0-127			●
2	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3		
3	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
4	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
5	Output Level	0-127	0-127			
6						
7	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz	14-54	table#3		
8	EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76			
9	EQ Mid Width	1.0-12.0	10-120			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11	Edge(Clip Curve)	0-127	0-127		mild-sharp	
12	Attack	1ms-40ms	0-19		table#8	
13	Release	10ms-60ms	0-15		table#9	
14	Threshold	-48dB-6dB	79-121			
15	Ratio	1.0-20.0	0-7		table#10	
16						

AMP SIMULATOR (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Drive	0-127	0-127			●
2	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube	0-3			
3	LPF Cutoff	1.0k-Thru	34-60	table#3		
4	Output Level	0-127	0-127			
5						
6						
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11	Edge(Clip Curve)	0-127	0-127		mild-sharp	
12						
13						
14						
15						
16						

3BAND EQ(MONO) (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
2	EQ Mid Frequency	100Hz-10.0kHz	14-54	table#3	PSR-740	
3	EQ Mid Gain	-12+12dB	28-54		PSR-640	
4	EQ Mid Width	1.0-12.0	52-76			
5	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
6	EQ Low Frequency	50Hz-2.0kHz	8-40	table#3		
7	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58			
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15	Input Mode	mono/stereo	0-1			
16						

2BAND EQ(STEREO) (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3	PSR-740	
2	EQ Low Gain	-12+12dB	8-40		PSR-640	
3	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
4	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
5						

MIDIデータフォーマット

TOUCH WAH 1 (variation, insertion block), TOUCH WAH+DIST (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Sensitive	0-127	0-127			●
2	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127			
3	Resonance	1.0-12.0	10-120			
4						
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3		
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11	Drive	0-127(variation block)	0-127			
12						
13						
14						
15						
16						

TOUCH WAH 2 (variation, insertion block), TOUCH WAH+ODRV (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Sensitive	0-127	0-127			●
2	Cutoff Frequency Offset	0-127	0-127			
3	Resonance	1.0-12.0	10-120			
4						
5						
6	EQ Low Frequency	32Hz-2.0kHz	4-40	table#3		
7	EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
8	EQ High Frequency	500Hz-16.0kHz	28-58	table#3		
9	EQ High Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			
11	Drive	0-127(variation block)	0-127			
12	EQ Low Gain(distortion)	-12+12dB(variation block)	52-76			
13	EQ Mid Gain(distortion)	-12+12dB(variation block)	52-76			
14	LPF Cutoff	1.0kHz-thru(variation block)	34-60	table#3		
15	Output Level	0-127(variation block)	0-127			
16	Release	10-680ms	52-67			

PITCH CHANGE 1 (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Pitch	-24+24	40-88			
2	Initial Delay	0.1ms-400.0ms	0-127	table#7		
3	Fine 1	-50+50	14-114			
4	Fine 2	-50+50	14-114			
5	Feedback Level	-63+63	1-127			
6						
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Pan 1	L63-R63	1-127			
12	Output Level 1	0-127	0-127			
13	Pan 2	L63-R63	1-127			
14	Output Level 2	0-127	0-127			
15						
16						

PITCH CHANGE 2 (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Pitch	-24+24	40-88			
2	Initial Delay	0.1ms-400.0ms	0-127	table#7		
3	Fine 1	-50+50cent	14-114			
4	Fine 2	-50+50cent	14-114			
5	Feedback Level	-63+63	1-127			
6						
7						
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Pan 1	L63-R63	1-127			
12	Output Level 1	0-127	0-127			
13	Pan 2	L63-R63	1-127			
14	Output Level 2	0-127	0-127			
15						
16						

COMPRESSOR (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Attack	1-40ms	0-19	table#8		
2	Release	10-680ms	0-15	table#9		
3	Threshold	-48-6dB	79-121			
4	Ratio	1.0-20.0	0-7	table#10		
5	Output Level	0-127	0-127			
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

NOISE GATE (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Attack	1-40ms	0-19	table#8		
2	Release	10-680ms	0-15	table#9		
3	Threshold	-72-30dB	55-97			
4	Output Level	0-127	0-127			
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

VOICE CANCEL (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11	Low Adjust	0-26	0-26			
12	High Adjust	0-26	0-26			
13						
14						
15						
16						

NO EFFECT (reverb, chorus, variation block), THRU (variation, insertion block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

HARMONIC ENHANCER (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	HPF Cutoff	500Hz-16kHz	28-58	table#3		
2	Drive	0-127	0-127			
3	Mix Level	0-127	0-127			
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

TALKING MODULATION (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Vowel	a,i,u,e,o	0-4			
2	Move speed	1-62	1-62			
3	Drive	0-127	0-127			
4	Output Level	0-127	0-127			
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

LO-FI (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Sampling Freq Control	a,i,u,e,o	0-4			
2	Word Length	1-62	1-62			
3	Output Gain	0-127	0-127			
4	LPF Cutoff	0-127	0-127			
5	Filter Type	Thru,PowerBass,Radio,Tel,Clean,Low	0-5			
6	LPF Resonance	1.0-12.0	10-120			
7	Bit Assign	0-6	0-6			
8	Emphasis	Off/On	0-1			
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13						
14						
15	Input Mode	mono/stereo				
16						

DIST+DELAT (variation block), OVERDRIVE+DELAT (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Lch Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860			
2	Rch Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860			
3	Delay Feedback Time	0.1-1486.0ms	1-14860			
4	Delay Feedback Level	-63+63	1-127			
5	Delay Mix	0-127	0-127			
6	Dist Drive	0-127	0-127			
7	Dist Output Level	0-127	0-127			
8	Dist EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
9	Dist EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76			
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11						
12						
13						
14						
15						
16						

COMP+DIST+DELAT (variation block), COMP+OVERDRIVE+DELAT (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860			
2	Delay Feedback Level	-63+63	1-127			
3	Delay Mix	0-127	0-127			
4	Dist Drive	0-127	0-127			
5	Dist Output Level	0-127	0-127			
6	Dist EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
7	Dist EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76			
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Comp. Attack	1ms-40ms	0-19	table#8		
12	Comp. Release	10ms-680ms	0-15	table#9		
13	Comp. Threshold	-48dB-6dB	79-121			
14	Comp. Ratio	1.0-20.0	0-7	table#10		
15						
16						

WAH+DIST+DELAT (variation block), WAH+OVERDRIVE+DELAT (variation block)

No.	Parameter	Display	Value	See Table	Comment	Control
1	Delay Time	0.1-1486.0ms	1-14860			
2	Delay Feedback Level	-63+63	1-127			
3	Delay Mix	0-127	0-127			
4	Dist Drive	0-127	0-127			
5	Dist Output Level	0-127	0-127			
6	Dist EQ Low Gain	-12+12dB	52-76			
7	Dist EQ Mid Gain	-12+12dB	52-76			
8						
9						
10	Dry/Wet	D63>W - D=W - D<W63	1-127			●
11	Wah Sensitive	0-127	0-127			
12	Wah Cutoff Freq Offset	0-127	0-127			
13	Wah Resonance	1.0-12.0	10-120			
14	Wah Release	10-680ms	52-67			
15						
16						

*"Dry/Wet" is available when variation connection = Insertion.

< 付表 1-13 > Effect Data Value Assign Table

Table#1

LFO Frequency							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.00	32	1.35	64	2.69	96	8.41
1	0.04	33	1.39	65	2.78	97	8.75
2	0.08	34	1.43	66	2.86	98	9.08
3	0.13	35	1.47	67	2.94	99	9.42
4	0.17	36	1.51	68	3.03	100	9.76
5	0.21	37	1.56	69	3.11	101	10.1
6	0.25	38	1.60	70	3.20	102	10.8
7	0.29	39	1.64	71	3.28	103	11.4
8	0.34	40	1.68	72	3.37	104	12.1
9	0.38	41	1.72	73	3.45	105	12.8
10	0.42	42	1.77	74	3.53	106	13.5
11	0.46	43	1.81	75	3.62	107	14.1
12	0.51	44	1.85	76	3.70	108	14.8
13	0.55	45	1.89	77	3.87	109	15.5
14	0.59	46	1.94	78	4.04	110	16.2
15	0.63	47	1.98	79	4.21	111	16.8
16	0.67	48	2.02	80	4.37	112	17.5
17	0.72	49	2.06	81	4.54	113	18.2
18	0.76	50	2.10	82	4.71	114	19.5
19	0.80	51	2.15	83	4.88	115	20.9
20	0.84	52	2.19	84	5.05	116	22.2
21	0.88	53	2.23	85	5.22	117	23.6
22	0.93	54	2.27	86	5.38	118	24.9
23	0.97	55	2.31	87	5.55	119	26.2
24	1.01	56	2.36	88	5.72	120	27.6
25	1.05	57	2.40	89	6.06	121	28.9
26	1.09	58	2.44	90	6.39	122	30.3
27	1.14	59	2.48	91	6.73	123	31.6
28	1.18	60	2.52	92	7.07	124	33.0
29	1.22	61	2.57	93	7.40	125	34.3
30	1.26	62	2.61	94	7.74	126	37.0
31	1.30	63	2.65	95	8.08	127	39.7

Table#4

Reverb time					
Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.3	32	3.5	64	17.0
1	0.4	33	3.6	65	18.0
2	0.5	34	3.7	66	19.0
3	0.6	35	3.8	67	20.0
4	0.7	36	3.9	68	25.0
5	0.8	37	4.0	69	30.0
6	0.9	38	4.1		
7	1.0	39	4.2		
8	1.1	40	4.3		
9	1.2	41	4.4		
10	1.3	42	4.5		
11	1.4	43	4.6		
12	1.5	44	4.7		
13	1.6	45	4.8		
14	1.7	46	4.9		
15	1.8	47	5.0		
16	1.9	48	5.5		
17	2.0	49	6.0		
18	2.1	50	6.5		
19	2.2	51	7.0		
20	2.3	52	7.5		
21	2.4	53	8.0		
22	2.5	54	8.5		
23	2.6	55	9.0		
24	2.7	56	9.5		
25	2.8	57	10.0		
26	2.9	58	11.0		
27	3.0	59	12.0		
28	3.1	60	13.0		
29	3.2	61	14.0		
30	3.3	62	15.0		
31	3.4	63	16.0		

Table#7

Delay Time(400.0ms)							
Data	Value	Data	Value	Data	Value		
0	0.1	32	100.9	64	201.6	96	302.4
1	3.2	33	104.0	65	204.8	97	305.5
2	6.4	34	107.2	66	207.9	98	308.7
3	9.5	35	110.3	67	211.1	99	311.8
4	12.7	36	113.5	68	214.2	100	315.0
5	15.8	37	116.6	69	217.4	101	318.1
6	19.0	38	119.8	70	220.5	102	321.3
7	22.1	39	122.9	71	223.7	103	324.4
8	25.3	40	126.1	72	226.8	104	327.6
9	28.4	41	129.2	73	230.0	105	330.7
10	31.6	42	132.4	74	233.1	106	333.9
11	34.7	43	135.5	75	236.3	107	337.0
12	37.9	44	138.6	76	239.4	108	340.2
13	41.0	45	141.8	77	242.6	109	343.3
14	44.2	46	144.9	78	245.7	110	346.5
15	47.3	47	148.1	79	248.9	111	349.6
16	50.5	48	151.2	80	252.0	112	352.8
17	53.6	49	154.4	81	255.2	113	355.9
18	56.8	50	157.5	82	258.3	114	359.1
19	59.9	51	160.7	83	261.5	115	362.2
20	63.1	52	163.8	84	264.6	116	365.4
21	66.2	53	167.0	85	267.7	117	368.5
22	69.4	54	170.1	86	270.9	118	371.7
23	72.5	55	173.3	87	274.0	119	374.8
24	75.7	56	176.4	88	277.2	120	378.0
25	78.8	57	179.6	89	280.3	121	381.1
26	82.0	58	182.7	90	283.5	122	384.3
27	85.1	59	185.9	91	286.6	123	387.4
28	88.3	60	189.0	92	289.8	124	390.6
29	91.4	61	192.2	93	292.9	125	393.7
30	94.6	62	195.3	94	296.1	126	396.9
31	97.7	63	198.5	95	299.2	127	400.0

Table#11

Reverb Width:Depth:Height							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.5	32	8.8	64	17.6	96	27.5
1	0.8	33	9.1	65	17.9	97	27.8
2	1.0	34	9.4	66	18.2	98	28.1
3	1.3	35	9.6	67	18.5	99	28.5
4	1.5	36	9.9	68	18.8	100	28.8
5	1.8	37	10.2	69	19.1	101	29.2
6	2.0	38	10.4	70	19.4	102	29.5
7	2.3	39	10.7	71	19.7	103	29.9
8	2.6	40	11.0	72	20.0	104	30.2
9	2.8	41	11.2	73	20.2		
10	3.1	42	11.5	74	20.5		
11	3.3	43	11.8	75	20.8		
12	3.6	44	12.1	76	21.1		
13	3.9	45	12.3	77	21.4		
14	4.1	46	12.6	78	21.7		
15	4.4	47	12.9	79	22.0		
16	4.6	48	13.1	80	22.4		
17	4.9	49	13.4	81	22.7		
18	5.2	50	13.7	82	23.0		
19	5.4	51	14.0	83	23.3		
20	5.7	52	14.2	84	23.6		
21	5.9	53	14.5	85	23.9		
22	6.2	54	14.8	86	24.2		
23	6.5	55	15.1	87	24.5		
24	6.7	56	15.4	88	24.9		
25	7.0	57	15.6	89	25.2		
26	7.2	58	15.9	90	25.5		
27	7.5	59	16.2	91	25.8		
28	7.8	60	16.5	92	26.1		
29	8.0	61	16.8	93	26.5		
30	8.3	62	17.1	94	26.8		
31	8.6	63	17.3	95	27.1		

Table#2

Modulation Delay Offset							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value
0	0.0	32	3.2	64	6.4	96	9.6
1	0.1	33	3.3	65	6.5	97	9.7
2	0.2	34	3.4	66	6.6	98	9.8
3	0.3	35	3.5	67	6.7	99	9.9
4	0.4	36	3.6	68	6.8	100	10.0
5	0.5	37	3.7	69	6.9	101	11.1
6	0.6	38	3.8	70	7.0	102	12.2
7	0.7	39	3.9	71	7.1	103	13.3
8	0.8	40	4.0	72	7.2	104	14.4
9	0.9	41	4.1	73	7.3	105	15.5
10	1.0	42	4.2	74	7.4	106	17.1
11	1.1	43	4.3	75	7.5	107	18.6
12	1.2	44	4.4	76	7.6	108	20.2
13	1.3	45	4.5	77	7.7	109	21.8
14	1.4	46	4.6	78	7.8	110	23.3
15	1.5	47	4.7	79	7.9	111	24.9
16	1.6	48	4.8	80	8.0	112	26.5
17	1.7	49	4.9	81	8.1	113	28.0
18	1.8	50	5.0	82	8.2	114	29.6
19	1.9	51	5.1	83	8.3	115	31.2
20	2.0	52	5.2	84	8.4	116	32.8
21	2.1	53	5.3	85	8.5	117	34.3
22	2.2	54	5.4	86	8.6	118	35.9
23	2.3	55	5.5	87	8.7	119	37.5
24	2.4	56	5.6	88	8.8	120	39.0
25	2.5	57	5.7	89	8.9	121	40.6
26	2.6	58	5.8	90	9.0	122	42.2
27	2.7	59	5.9	91	9.1	123	43.7
28	2.8	60	6.0	92	9.2	124	45.3
29	2.9	61	6.1	93	9.3	125	46.9
30	3.0	62	6.2	94	9.4	126	48.4
31	3.1	63	6.3	95	9.5	127	50.0

Table#5

Delay Time(200.0ms)							
Data	Value	Data	Value	Data	Value		
0	0.1	32	50.5	64	100.8	96	151.2
1	1.7	33	52.0	65	102.4	97	152.8
2	3.2	34	53.6	66	104.0	98	154.4
3	4.8	35	55.2	67	105.6	99	155.9
4	6.4	36	56.8	68	107.1	100	157.5
5	8.0	37	58.3	69	108.7	101	159.1
6	9.5	38	59.9	70	110.3	102	160.6
7	11.1	39	61.5	71	111.9	103	162.2
8	12.7	40	63.1	72	113.4	104	163.8
9	14.3	41	64.6	73	115.0	105	165.4
10	15.8	42	66.2	74	116.6	106	166.9
11	17.4	43	67.8	75	118.2	107	168.5
12	19.0	44	69.4	76	119.7	108	170.1
13	20.6	45	70.9	77	121.3	109	171.7
14	22.1	46	72.5	78	122.9	110	173.2
15	23.7	47	74.1	79	124.4	111	174.8
16	25.3	48	75.7	80	126.0	112	176.4
17							

MIDIインプリメンテーションチャート

[Portable Keyboard]
Model : PSR-740

MIDI Implementation Chart

Date :3-MAR-1999
Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 16 *1 1 - 16 *1	1 - 16 *2 1 - 16 *2	
Mode Default Messages Altered	3 x *****	3 x x	
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH,v=1-127 x 9nH,v=0	o 9nH,v=1-127 x	
After Key's Touch Ch's	x x	x o	
Pitch Bend	o	o	
Control Change	0,32 o 1,7,10,11 o 5 x 6,38 o 64,66-67 o 65 x 71-72,74 o 73 x 84 x 91,93-94 o 96-97 x 98-99 o 100-101 o	o o o o o o o o o o o o o o o	Bank Select Portamento Time Data Entry Portamento Sound Controller Sound Controller Portament Cntrl Effect SendLevel Data Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	o 0 - 127	
System Exclusive	o	o	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	x x x	x x x	
System Real Time : Clock : Commands	o o	o o	
Aux Messages : All Sound Off : Reset All Cntrls : Local ON/OFF : All Notes OFF : Active Sense : Reset	x x x x o x	o o x o(123-127) o x	

Mode 1 : OMNI ON , POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON ,MONO
Mode 4 : OMNI OFF,MONO"

o : Yes
x : No

[Portable Keyboard]
Model : PSR-640

MIDI Implementation Chart

Date :3-MAR-1999
Version : 1.0

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 16 *1 1 - 16 *1	1 - 16 *2 1 - 16 *2	
Mode Default Messages Altered	3 x *****	3 x x	
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH,v=1-127 x 9nH,v=0	o 9nH,v=1-127 x	
After Touch Key's Ch's	x x	x o	
Pitch Bend	o	o	
Control Change	0,32 o 1,5 x 7,10,11 o 6,38 o 64,66-67 o 65 x 72 o 71,73-74 x 84 x 91,93-94 o 96-97 x 98-99 x 100-101 o	o o o o o o o o o o o o o o	Bank Select Data Entry Portamento Sound Controller Sound Controller Portament Cntrl Effect SendLevel Data Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	o 0 - 127	
System Exclusive	o	o	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	x x x	x x x	
System : Clock Real Time : Commands o	o o	o o	
Aux Messages : All Sound Off : Reset All Cntrls : Local ON/OFF : All Notes OFF : Active Sense : Reset	x x x x o x	o o x o(123-127) o x	

Mode 1 : OMNI ON , POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON ,MONO
Mode 4 : OMNI OFF,MONO

o : Yes
x : No

MIDIインプリメンテーションチャート

*1 R1、R2、L、スタイル、ソングの各トラックはパネル設定により送信できません。(130ページ)

*2 初期設定(工場出荷時)でMIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能しパネル音色、あるいは他のパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、スタイル、マルチパッドおよびソングセッティングに影響します。

- ・ MIDI マスターチューン、XG システムマスターチューン
- ・ XG システムトランスポーズ
- ・ リバーブ、コーラス、DSPエフェクトおよびMULTI EFFECT設定を変更するシステムエクスクルーシブメッセージ
- ・ XG MULTI EQ PARAMETER(PSR-740)

また、以下のMIDI受信モード設定においても鍵盤演奏、パネル設定に影響します。これらのモードはパネル操作によって選択することができます。(131ページ)

Keyboard(キーボード): Keyboardに設定されたチャンネルで受信したノートオン/オフメッセージは、鍵盤演奏と同じ方法で扱われます。以下のチャンネルメッセージだけがこのモードにおいて認識されます。

- ・ ノートオン/オフ
- ・ コントロールチェンジバンクセレクト(R1のみ)
- ・ モジュレーションボリューム(R1のみ)
- ・ データエントリーパンポット(R1のみ)
- ・ エクスプレッションサステイン
- ・ ソステヌート
- ・ ソフトペダル
- ・ ハーモニックコンテンツ
- ・ リリースタイム
- ・ ブライトネス

- エフェクト1デブス(リバーブセンドレベル(R1のみ))
- エフェクト3デブス(コーラスセンドレベル(R1のみ))
- エフェクト4デブス(パリエーションセンドレベル(R1のみ))
- NRPN(ビブラートレート、ビブラートデブス)(R1のみ(PSR-740のみ))
- RPN(ピッチバンドセンシティビティ)
- オールノートオフ
- ・ プログラムチェンジ(R1のみ)
- ・ ピッチバンド

Root(ルート): Rootに設定されたチャンネルで受信したノートオン/オフメッセージは、アカンパニメント鍵域のベース音として認識されません。ベース音はパネル上のアカンパニメントオン/オフ、フィンガリングモード、アカンパニメントのスプリットポイントに関係なく検出されません。

Chord(コード): Chordに設定されたチャンネルで受信したノートオン/オフメッセージは、アカンパニメント鍵域での押鍵として認識されます。検出されるコードはフィンガリングモードに依存します。コードはパネル上のアカンパニメントオン/オフ、アカンパニメントのスプリットポイントに関係なく検出されません。

V. Harmony(ボーカルハーモニー): 「ボーカルハーモニーMIDI仕様」を参照してください。(下記(PSR-740))

Off(オフ): Offに設定されたチャンネルにおいてチャンネルメッセージは一切受信しません。

ボーカルハーモニーMIDI仕様(PSR-740のみ)

Channel message

1) Note on / off
9n kk vv note on message Harmony ch Melody ch

Vocoder modeにおいて発音ピッチの指定 Velocityは認識しない。 Melody chにおいては、Gender Threshold ソースとしても使用する。

8n kk vv note off message
9n kk 00

Vocoder modeにおいては発音している音をオフする。 Melody chにおいては、Gender Threshold ソースとしても使用する。

2) Control change

Bn 40 vv damper pedal
64 RPN
65 RPN
62 NRPN
63 NRPN
06 Data entry MSB
64 Data Increment
26 Data Decrement
7B All note off

3) RPN

MSB LSB
00 00 Pitch bend sensitivity
7F 7F NULL

4) NRPN

MSB	LSB	機能	Harmony ch	Melody ch
00	00	Harmony mute		×
01	08	Vibrato rate modulation		
01	09	Vibrato depth modulation		
01	0A	Vibrato delay modulation		
01	1A	Detune modulation	×	全体デチューン量をコントロールする。
02	10	Harmony 1 volume	×	
02	11	Harmony 2 volume	×	
02	20	Harmony 1 pan	×	
02	21	Harmony 2 pan	×	
02	30	Harmony 1 detune	×	
02	31	Harmony 2 detune	×	

5) Pitch bend

E0 nn nn

メロディーchではリードジェンダーがオンの時に効果する。

索引

五十音順

ア

アカンパニメントボリューム	39
アタックフッテージ	32
アタックモード	32
アタックレングス	32

イ

イコライザー	59
移調(トランスポーズ)	16, 30
イニシャルセットアップセンド	133
インサージョンエフェクト	54, 152, 153
イントロ	36

エ

エコー	56
エディット	92, 108, 116
エンディング	36

オ

オートアカンパニメント(自動伴奏)	34
オートフィル	36
オクターブ	88, 102, 135
オプション商品	159
オルガンサウンド	32
オルガンタイプ	32
オルガンフルート	32
オンベースコード	42
音量を調整	15

カ

外部出力(AUX OUT)	13
各部の名称	10

キ

キーボードパーカッション	31
極性(フットスイッチ、フットボリューム)	137, 138

ク

クオンタイズ	100, 116
クリア	105, 109, 118
グループ	45
グループスイング	45
グループタイプ	46, 47
グループプレート	46
クロック	132
クロマティック	85

ケ

ゲイン	61
鍵盤	29
鍵盤ごとのピッチを調整	135

鍵盤で打楽器音を鳴らす	31
鍵盤を弾いたときの感度	136

コ

コーダル	85
コード	16, 29, 35, 40, 42, 131
コード1/2(自動伴奏トラック)	39
コードノート	115, 121
コードマッチ(マルチパッド)	48, 49, 108
コーラス	52
コーラストイプリスト	154
故障かな?と思ったら	162
コピー	72
コントロールチェンジ	123

サ

再生	34, 35, 76
最大同時発音数	140
サステイン	12, 31
サンプルディスク	4, 65, 76

シ

システムエフェクト	54, 152
自動伴奏(オートアカンパニメント)	34
自動伴奏オン/オフ	25
受信チャンネル	131
仕様	186
初期化	68, 159
シングルフィンガー	40
シンクロスタート	35, 36
シンクロストップ	43
シンクロ待機状態	25, 35

ス

スケールチューニング	135
スタート	15, 34, 35, 67, 77, 95, 97, 107, 113, 115
スタートメジャー	79, 99
スタイル	34, 110, 150
スタイルファイル	9, 65, 111, 125
スタイルモード	25
スタンダード	59
スタンダードMIDI	125
スタンバイ/オンスイッチ	15
スプリットポイント	29, 35, 42, 135

セ

セーブ	68, 95, 97, 103
セクション(自動伴奏)	36

ソ

送信チャンネル	131
ソースコードタイプ	111
ソースコードルート	111
ソステヌート	137, 138
ソングブレイモード	77

ソングボリューム 78
ソングモード 25

タ

ダイアル 19
ダイナミクス 45
ダイナミクスタイプ 46, 47
ダイナミクスデプス 46
ダイレクトアクセス 21, 24
タッチセンス 136
タッチレスポンス 136
タップ 38, 137, 138

チ

チューニング 135

テ

ディスクモード 25
ディスコ 59
ディスプレイ 16
デジタルエフェクト 50, 152
デチューン 85
デモソング 15
デリート 75
電源アダプター 12
電源の準備 12
電源を入れる 15
テンポ 16, 38

ト

同梱品 4
トークセッティング 86
トークボリューム 87
トータルボリューム 87
ドライ/ウェット 55
ドラムキット 31
ドラムキットリスト 148
ドラムキャンセル 113
トランスポーズ 16, 30, 81

ナ

ナンバーボタン 20

ノ

ノートオフ 122
ノートオン 122

ハ

パートオクターブ 135
パートの設定 88
ハーモニー 56
ハーモニー/エコータイプリスト 157
ハーモニーパート 58
ハーモニーボリューム 57

発音音域 111, 120
パッド(自動伴奏トラック) 39
パネル設定 63
パネルボイス 140
パラメーターエディット 91
パン 88, 123
バンク 64, 108, 151
バンド 59

ヒ

ビートランプ 16
ピッチ 135
ピッチトゥーノート 85
ピッチベンド 30
ピッチベンドレンジ 139
ピッチ補正 85
ビブラートスピード 32

フ

フィルイン 36
フィンガード1 40
フィンガード2 42
フィンガリング 42
フォーマット 68
フッテージ 32
フットスイッチ 12, 137
フットボリューム 12, 138
譜面立て 4, 14
ブライト 59
ブライトネス 139
フリーズ機能 63
フルキーボード 42
フレーズ1/2(自動伴奏トラック) 39
プログラムチェンジ 123
フロッピーディスク 65

ヘ

ベース(自動伴奏トラック) 39
ヘッドフォン 13
ベロシティ 122

ホ

ボイス(音色) 26
ボイスセット 136
ボイスリスト 140
ボーカルハーモニー 82
ボーカルハーモニーモード 85
ボコーダー 85
保証とアフターサービス 187
ボリューム 15, 39, 57, 78, 82, 90, 102, 123

マ

マイク 13, 82, 83
マイルド 59
マスターイコライザー 50, 59
マスターボリューム 15

マルチエフェクト	50, 54
マルチエフェクトタイプリスト	156
マルチパッド	48
マルチパッドバンクリスト	151
マルチフィンガー	42

ミ

ミディ(MIDI)	122
-----------------	-----

メ

メインA(セクション)	36
メインB(セクション)	36
メインC(セクション)	36
メインD(セクション)	36
メジャー	16, 79, 98
メトロノーム	134

モ

モード	25
モジュレーションホイール	30

ユ

ユーザースタイル	110
ユーザーソング	92
ユーザーパッド	106

リ

リズム(自動伴奏トラック)	39
リードジェンダー	84, 85
リハーサルモード	25
リバーブ	50, 83
リバーブタイプリスト	154
リピート再生	80

ル

ルート	111, 115, 119, 131
ルートキー	40

レ

レジストレーションメモリー	62
レスポンス	32
レゾナンス	139

ロ

ローカルコントロール	132
ロード	60, 70, 129
ローファイ	59
録音	92, 106, 110
録音モード	25

ワ

和文シート	4, 14
ワンタッチセッティング	44

アルファベット順

A

ACCOMPANIMENT(オートアカンパニメント = 自動伴奏)	34
ACMP(ACCOMPANIMENTの省略)	35
AUX OUT	13

B

BACK(バック)	17
BANK(バンク)	49, 64
BREAK(ブレイク)	137, 138
BRIGHTNESS(ブライトネス)	139

C

CHORD(コード = 和音)	39
CHORD MATCH(コードマッチ)	48, 49, 108
CHORDAL(コーダル)	83, 85
Chorus(コーラス)	52
CHROMATIC(クロマティック)	85
Clear(クリア = 消去)	105, 109, 118
Clock(クロック)	132
Copy(コピー)	72
CTAB(Cタブ)	110

D

DELETE(デリート = 削除)	75
Depth(デプス = 効果の深さ)	46, 54
DETUNE(デチューン)	85
DIRECT ACCESS(ダイレクトアクセス)	21
DOC	9, 125
DSP	50, 53, 54, 83, 87, 152

E

ECHO(エコー)	56
Edit(エディット = 編集)	88, 91, 92, 102, 108, 116
EXIT	17
EXTERNAL(エクスターナル = 外部の)	133

F

FOOT SWITCH(フットスイッチ)	12, 137
FOOT VOLUME(フットボリューム)	12, 138
FORMAT(初期化)	68
FREEZE(フリーズ = 固定)	63
FUNCTION(ファンクション = 機能)	17, 134

G

GM	9, 125
----------	--------

H

HARMONY(ハーモニー)	56
HIGH KEY(ハイキー)	119

I

Initial Setup Send(イニシャルセットアップ SEND).....	133
INPUT VOLUME(インプットボリューム=マイクからの入力ボリューム).....	82, 83
INTERNAL(インターナル=内部の).....	133

K

KEYBOARD(キーボード=鍵盤).....	129, 131, 138
-------------------------	---------------

L

LOAD(ロード).....	60, 70
Local Control(ローカルコントロール).....	132
LOWER(ロワー).....	85, 130

M

MASTER EQ(マスターイコライザー).....	59
MASTER VOLUME(マスターボリューム).....	15
Measure(メジャー=小節).....	79, 98
Metronome(メトロノーム).....	134
MIDI(ミディ).....	122
MIDIインプリメンテーションチャート.....	178
MIDI受信設定.....	131
MIDI送信設定.....	130
MIDI端子.....	13
MIDIチャンネル.....	124
MIDIデータフォーマット.....	163
MIDIテンプレート.....	128
MIXER(ミキサー).....	90
MODULATION WHEEL(モジュレーションホイール).....	139
MULTI PAD(マルチパッド).....	48
Multi Track(マルチトラック録音).....	96

N

Name(ネーム=名前).....	21
NEXT(ネクスト=次の).....	17
NOTE LIMIT(ノートリミット).....	111, 119

O

Octave(オクターブ).....	135
ONE TOUCH SETTING(ワンタッチセッティング).....	44

P

PAN(パン).....	91
Parameter Edit(パラメーターエディット).....	91
Part Octave(パートオクターブ).....	135
PART ON/OFF(パートオン/オフ).....	27, 28
PITCH BEND(ピッチベンド).....	30
PITCH BEND RANGE(ピッチベンドレンジ).....	139
Punch In/Out(パンチイン/アウト).....	99

Q

Quantize(クオンタイズ).....	100, 116
Quick(クイック録音).....	94

R

Receive(レシーブ=受信).....	131
RECORD(レコード=録音).....	92, 106, 110
REGISTRATION MEMORY (レジストレーションメモリー).....	62
Repeat(リピート).....	80
RESONANCE(レゾナンス).....	139
Return Level(リターンレベル).....	51, 52, 53
Reverb(リバーブ).....	50, 83, 152
ROOT(ルート).....	131

S

SAVE(セーブ=保存).....	68
Scale Tuning(スケールチューニング).....	135
SMF(スタンダードMIDIファイル).....	125
SOFT(ソフト).....	137, 138
SOSTENUTO(ソステヌート).....	137, 138
Split Point(スプリットポイント).....	29, 42, 135
Start Measure(スタートメジャー=開始する小節).....	79, 98
START/STOP(スタート/ストップ).....	34, 67, 77, 95, 97, 107, 113, 115
STYLE(スタイル).....	34
SUSTAIN(サステイン).....	31, 137, 138
SYNC START(シンクロスタート).....	25, 35
SYNC STOP(シンクロストップ).....	43

T

TALK(トーク).....	83
Talk Setting(トークセッティング).....	86
TEMPO/TAP(テンポ/タップ).....	38
TO HOST(トゥーホスト).....	123
Touch Sensitivity(タッチセンス).....	136
TRACK(トラック).....	33, 88
Transmit(トランスミット=送信).....	130
TRANSPOSE(トランスポーズ=移調).....	30, 81
Tuning(チューニング).....	135

U

UPPER(アッパー).....	85, 130
User Pad(ユーザーパッド).....	106
User Song(ユーザーソング).....	92
User Style(ユーザースタイル).....	110
UTILITY(ユーティリティ).....	68, 134

V

VOCODER(ボコーダー).....	85
VOICE(ボイス).....	26
VOICE CHANGE(ボイスチェンジ).....	89
VOICE L(ボイスL).....	28
VOICE R1(ボイスR1).....	26
VOICE R2(ボイスR2).....	27
Voice Set(ボイスセット).....	136
VOLUME(ボリューム).....	15, 39, 57, 78, 82, 90, 102, 123

X

XF.....	9, 125
XG.....	9, 125

コンピューターを使って、PSR-740/640をもっと楽しんでいただくために

何が必要なの？

PC(パーソナルコンピューター、以下略)
PCと楽器をつなぐケーブル(お使いのPCの種類によって異なります。詳しくは、127ページをご覧ください。)
MIDI Driver(PCから音源にデータを送るために必要なソフトウェアです。)
Macintoshをお使いの方は、すでにインストールされていますので、用意する必要はありません。
MIDI Driverのインストール方法については、「どうすればいいの?」をご参照ください。
MIDI再生用ソフト(PC上でMIDIソングデータを再生するために必要です。)
XGworks、MIDPLUG、メディアプレーヤーや市販のシーケンソフトのことです。詳細は、以下「何が出来るの?」や「どうすればいいの?」をご参照ください。

どうやってつなぐの？

PCのシリアルポート(RS-232C/RS-422)とPSR-740/640のTO HOST端子を専用ケーブルでつなぎます。詳細は127ページをご覧ください。

TO HOST 端子とは？

「1本のケーブルでMIDIデータの送受信ができる端子です。」

HINT TO HOST端子は大変便利な端子です。この端子がない場合、通常のMIDIケーブルを2本使用し、さらにPC側にMIDI用ボードを装着する必要があります。特にNote PCをご使用の場合、MIDI用ボードを装着できないので、TO HOST端子は大変便利です。

インターネットをすでにご利用の方は、引き続き以下をお読みください

インターネットを未使用の方は、「インターネット未使用の方のために」をお読みください。

何が出来るの？

自宅でカラオケが楽しめます。(マイク、マイク用アンプは別途必要です。)
通信歌楽 <http://www.midilink.co.jp/yamaha/>
にアクセスしてみましょう。きっと楽しさが実感できるはずです。
Macintoshをお使いの方は、別売りのソフト“歌楽”を使用するとカラオケが楽しめます。
インターネット上で世界中のMIDIソングデータが聴けます。
MIDPLUGなどのMIDI再生ソフトをインストールすれば、世界中のMIDIファイルが再生可能です。また、自分のハードディスクにダウンロードすれば、無限にライブラリが増えていきます。最新のヒット曲をダウンロードできます。
<http://www.yamaha.co.jp/xg/pds/pds.html>
(YAMAHAのフリーソング集です。)
<http://www.midilink.co.jp/yamaha/>
<http://www.midipal.co.jp/>
<http://www.avexnet.or.jp/midizone/index.htm>

ピアノの練習が自宅で手軽にできます。
別売りのソフト“これからはじめる大人のピアノ”を使用してピアノのレッスンが可能です。
<http://www.ymm.co.jp/cdrom/pds/>
市販のMIDIソングデータを使用して、自分だけのソングデータの作成が可能です。
XGworksを使用して好みの作/編曲ができます。
<http://www.yamaha.co.jp/xg/utility/xgwup.html>から無料で体験版がダウンロードできます。
XGworksは、YAMAHA独自のシーケンサーでMIDIソングデータの編集/作成が容易です。

どうすればいいの？

Windows95/98をお使いの方

- 1 YAMAHA MIDI Driverをインストールしてください。
同梱ディスクにMIDI Driverが入っています。
インストール方法については、同梱ディスク内のREADME.txtをご参照ください。
- 2 PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは127ページをご覧ください)
- 3 <http://www.yamaha.co.jp/xg/pds/pds.html>にアクセスし、MIDIデータを入力し、ダブルクリックしてください。
- 4 メディアプレーヤーが立ち上がり、音が出ることを確認してください。
メディアプレーヤーが立ち上がらない場合、
<http://www.yamaha.co.jp/xg/midplug/top.html>にアクセスしてMIDPLUGをダウンロードしてください。

Macintoshをお使いの方

- MIDI Driverのインストールは必要ありません。
- 1 PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは127ページをご覧ください)
 - 2 <http://www.yamaha.co.jp/xg/midplug/top.html>にアクセスしてMIDPLUGをダウンロードしてください。
 - 3 <http://www.yamaha.co.jp/xg/pds/pds.html>にアクセスし、MIDIデータを選び、クリックしてください。
MIDPLUGが立ち上がり、音が出ます。

インターネットを未使用の方のために

何が出来るの？

ピアノの練習が自宅で手軽にできます。
別売りのソフト“これからはじめる大人のピアノ”を使用してピアノのレッスンが可能です。
市販のMIDIソングデータを使用して、自分だけのソングデータの作成が可能です。
XGworksを使用して好みの作/編曲ができます。
XGworksは、YAMAHA独自のシーケンサーでMIDIソングデータの編集/作成が容易です。

どうすればいいの？

Windows95/98をお使いの方

- 1 YAMAHA MIDI Driverをインストールしてください。
同梱ディスクにMIDI Driverが入っています。
インストール方法については、同梱ディスク内のREADME.txtをご参照ください。
 - 2 PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは127ページをご覧ください)
MIDIデータを再生するために、MIDPLUG/XGworksなどのソフトウェアが必要です。
- #### Macintoshをお使いの方
- MIDI Driverのインストールは必要ありません。
PCと楽器をつなぎます。(専用ケーブルが必要です。詳しくは127ページをご覧ください)
MIDIデータを再生するために、MIDPLUGなどのソフトウェアが必要です。

* 記載してあるURLは予告なく変更されることがあります。
* 上記情報を通じて得られたデータなどには各々著作権を保持する権利者があり、お客様が個人的な楽しみのため以外の目的でご使用、無断複製等を行ったり、商業的、あるいは公的に使用した場合著作権侵害にあたります。

* 上記情報を通じて得られた情報およびそれを運用した結果については弊社では一切責任を負いません。
* 通信障害によるデータ破損については弊社では、一切責任を負いません。
* Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
* Macintoshは、米国 Apple社の商標です。

仕様一覧

鍵盤	レギュラーサイズ61鍵 C1～C6：タッチレスボンス付)
ディスプレイ	大型液晶ディスプレイ(LCD)
セットアップ	スタンバイ/オンスイッチ マスターボリューム：MIN～MAX 入力ボリューム：MIC/LINE(PSR-740)
デモソング	PSR-740：10曲 PSR-640：8曲
ヘルプ/操作ガイド 対応言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語
リアルタイムコントロール	ピッチベンドホイール モジュレーションホイール(PSR-740)
コントロール&ナンバーボタン	VOICE L, VOICE R1, VOICE R2, FUNCTION, SONG, STYLE, TEMPO/TAP, TRANSPOSE, ACMP/SONG VOLUME, VOICE CHANGE, MIXER, ORGAN FLUTE(PSR-740), GROOVE(PSR-740), MULTI EFFECT(PSR-740), VOCAL HARMONY(PSR-740), DIRECT ACCESS, NEXT, BACK, EXIT, データダイアル, ナンバーボタン[0]～[9], [+ /YES], [- /NO]
ボイス	PSR-740：パネルボイス267音色+13ドラムキット+XGボイス480音色+1オルガンボイス 最大同時発音数64 PSR-640：パネルボイス223音色+12ドラムキット+XGボイス480音色 最大同時発音数32 ボイスセット機能 R1/R2/Lボイス パートオン/オフ(R1/R2/L) ボイスチェンジ ミキサー(ボリューム) パラメーターエディット：Octave, Pan, Reverb Depth, Chorus Depth, DSP Depth
オルガンフルード(PSR-740)	オルガンタイプ：8種類 ビブラートスピード アタックモード アタックフッテージ レングス レスポンス フッテージ
自動伴奏	160スタイル 自動伴奏トラック：RHYTHM1/2, BASS, CHORD 1/2, PAD, PHRASE1/2 自動伴奏トラック設定：オン/オフ 自動伴奏コントロール：自動伴奏オン/オフ、シンクロスタート、シンクロストップ、スタート/ストップ、カウントイントロ(PSR-740)、イントロ、メイン/オートフィル、シンブルエンディング/リタリダンド(PSR-740)、エンディング/リタリダンド ビートランブ 自動伴奏ボリューム ボイスチェンジ ミキサー パラメーターエディット：Pan, Reverb depth, Chorus depth, DSP depth(PSR-640) ワンタッチセッティング フィンガリング：マルチフィンガー/シングルフィンガー/フィンガード1/フィンガード2/フルキーボード
グループ(PSR-740)	グループタイプ：11種類 ダイナミクスタイプ：18種類
マルチパッド	36マルチパッドバンク コードマッチ ネーミング
デジタルエフェクト	PSR-740：リバーブ：24種類 コーラス：20種類 DSP(システム/インサクション)：102種類 DSP1-3(マルチエフェクト)：74種類 DSP4(マイク入力音)：74種類 ハーモニー/エコー：22種類 マスターEQ：5種類 PSR-640：リバーブ：24種類 コーラス：16種類 DSP(システム/インサクション)：74種類 ハーモニー/エコー：22種類

レジストレーションメモリー：1～4	32バンク ネーミング 自動伴奏フリーズ
ディスク	ソング再生/録音 ロード セーブ ユーティリティ：フォーマット、ソングコピー、デリート
ソング	ソング音量 ソングトラック設定：オン/オフ リピートプレイ ソングトランスポーズ
ソング録音	クイック録音/マルチ録音 録音トラック：1～16 パンチイン/パンチアウト クオンタイズ ネーミング クリア セットアップデータ：Volume, Octave, Pan, Reverb depth, Chorus depth, DSP depth
マルチパッド録音	マルチパッドバンク：4(37～40) ネーミング クリア コードマッチ
スタイル録音	ユーザースタイル：3(161～163) 録音トラック PSR-740：12セクション×8トラック PSR-640：10セクション×8トラック ドラムキャンセル クオンタイズ ネーミング クリア Ctab設定
MIDI	送信設定、受信設定、ローカルコントロール、クロック、イニシャルセットアップセンド、MIDIテンプレート
その他の機能	メトロノーム、パートオクターブ、マスターチューニング、スケールチューニング、スプリットポイント、タッチセンス、ボイスセット、フットスイッチ機能設定、フットボリューム機能設定、ピッチベンドレンジ、モジュレーションホイール機能設定(PSR-740)
Auxiliary Jacks	DC IN 10-12V, PHONES, FOOT SWITCH, FOOT VOLUME, AUX OUT(R, L+R/L), MIDI IN/OUT, TO HOST, MIC/LINE IN(PSR-740)
アンプ実用最大出力	電源アダプターPA-6使用時：6W + 6W
スピーカー	12 cm x 2 + 5 cm x 2
消費電力	33W
電源	アダプター：PA-6
寸法(幅×奥×高mm)	973 x 399 x 161
重量(kg)	PSR-740：10.2kg PSR-640：10kg
付属品	サンプルディスク 電源アダプターPA-6 譜面立て 和文シート 取扱説明書 保証書

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、バックライト、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL. 087-822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-1158

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器事業部 営業部 国内営業第二グループ	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL. 053-460-3275
EM東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5476
EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL. 022-222-6147
EM大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL. 06-6252-5231
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>

ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division, Yamaha Corporation
© 1999 Yamaha Corporation

V386490 909POCP1.3-02B0 Printed in Japan